

学修の手びき2024

履修登録時間割表(学生控)

曜日 時間	月		火		水		木		金		土	
1	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	
2	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	
3	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	
4	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	
5	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	
6	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名	通年・前期	□□□□ 科目名
	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名	後期	□□□□ 科目名
	期		期		期		期		期		期	

集中講義・科目時間割外	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名
	□□□□ 科目名	卒卒卒 論制研	□□□□ 科目名	教育実習	□□□□ 科目名
	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名	□□□□ 科目名	教育実習事前事後指導	□□□□ 科目名

学籍番号 _____ 氏 名 _____

学修の手びき2024



和光ポータル(PC サイト版)はここからアクセス→
(12ページ)



学修の手びき2024

目 次	P 2
-----	-----

履修の基本	P 9
-------	-----

カリキュラム

履修プログラム	P 37
---------	------

共通教養課程	P 45
--------	------

外国語課程	P 57
-------	------

専門課程	現代人間学部 P 69
------	-------------

表現学部	P203
------	------

経済経営学部	P233
--------	------

キャリア関連科目	P275
----------	------

科目等履修生制度	P279
----------	------

その他	P283
-----	------

異質力で、輝く。》》

和光大学

目 次

2024年度学年暦	4
和光大学の理念と教育方針	6
教育課程	8

履修の基本.....9

学籍番号	10
学生証	10
コア・クラス・ティーチャー (C.C.T.)	11
大学からの諸連絡について	11
和光ポータル	12
授業について	14
試験	15
レポート	15
単位の修得	16
G P A 制度	18
単位互換制度	19
進級と卒業	21
転部・転科	22
休学・復学・退学・除籍・再入学	22
各種届出	25
取扱証明書	28
履修登録について (必読)	31

履修プログラム37

共通教養課程45

外国語課程57

専門課程

現代人間学部

心理教育学科

共通教養課程	45
外国語課程	57
専門課程 学部共通科目	69
2017～2024年度入学生「心理学専修」	71
2023～2024年度入学生「子ども教育専修」	85
2019～2022年度入学生「子ども教育専修」	107
2018年度入学生「子ども教育専修」	129

現代社会学科

共通教養課程	45
外国語課程	57

専門課程	学部共通科目	69
	学科専門科目	151
人間科学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程	学部共通科目	69
	学科専門科目	163
	2021～2024年度入学生	163
	2019～2020年度入学生	179
身体環境共生学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程	学部共通科目	69
	学科専門科目	191
表現学部		
総合文化学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程		203
芸術学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程		219
経済経営学部		
経済学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程	2024年度入学生	233
	2017～2023年度入学生	247
経営学科		
共通教養課程		45
外国語課程		57
専門課程		261
キャリア関連科目		
		275
科目等履修生制度		
		279
その他		
		283
履修規程等		284
キャンパス案内		290

2024年度学年暦

4 月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				
5 月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
6 月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	²³ / ₃₀	24	25	26	27	28	29
7 月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
8 月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
9 月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

主な行事予定

3月26日、27日、29日 在学生学科別説明会
 4月4日 新入生入学登録
 5日、6日、8日 新入生学科別説明会
 8日～15日 第1回履修登録・抽選希望登録期間(23:59まで)
 9日～15日 許可手続き・授業オリエンテーション期間
 9日～ 前期授業開始
 16日 抽選結果発表(18:00)
 20日～22日 第2回履修登録・抽選希望登録期間(23:59まで)
 27日～29日 履修訂正・第3回抽選希望登録期間(23:59まで)
 29日 休日授業

7月5日 前期補習講義・前期末試験時間割発表
 15日 休日授業
 24日、25日 前期補習講義
 7月30日、31日、8月1日～3日、5日 前期末試験

7月30日、31日、8月1日～3日、5日 前期末試験
 8月6日～10日 集中講義
 11日～ 夏期休業期間(9月16日まで)

9月2日 前期成績公開
 2日～4日 評価理由照会期間
 9日～12日 後期履修訂正・抽選希望登録期間(23:59まで)
 17日～ 後期授業開始
 19日～23日 後期履修確認期間(23:59まで)
 23日 休日授業

は授業のある日です。

は補習講義、試験、集中講義期間です。

入試の前日は入構制限があるので、必ず大学HPで確認してください。

10月	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ⑭ 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	10月14日 休日授業 下旬 入学試験
11月	日 月 火 水 木 金 土 1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 ②③ 24 25 26 27 28 29 30	11月上旬 大学祭（全学休講予定） 10日 和光学園創立記念日 下旬 入学試験 23日 休日授業
12月	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	12月中旬 入学試験 卒業論文・制作・研究最終締切日 （P、U、W 12月20日 T 12月17日 G 12月24日、25日） 12月24日～1月5日 冬期休業
1月	日 月 火 水 木 金 土 ① 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 ⑭ 28 29 30 31	1月6日 後期補習講義・学年末試験時間割発表 6日～11日、20日 後期通常授業 ⑭～⑯日 後期補習講義 17日～19日 大学入学共通テストに関わる入構禁止 ⑰～⑳日、㉑日 学年末試験 29日、30日 入学試験
2月	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 ②③ ④ 25 26 27 28	2月25日 入学試験 26日 卒業判定結果発表
3月	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 ⑳ 21 22 ㉓ ㉔ ㉕ 25 26 27 28 29	3月3日 入学試験 5日 後期・通年成績公開 5日～7日 評価理由照会期間 19日 修了証書交付 20日～ 春期休業 下旬 2025年度在学生学科別説明会

時間割外オンライン授業
配信スケジュール

開講期ごとに、第1週目配信日より毎週月曜日に15週連続で配信します。

前期：第1週目 4月15日（月）

後期：第1週目 9月23日（月）

※冬期休業のため、第14週目は1月6日（月）配信

和光大学の理念と教育方針

1. 和光大学の創立

和光大学は、1933（昭和8）年成城学園から分かれ、父母や教師を中心とした有志の人びとによって、東京世田谷の地に建てられた和光学園を母体として、1966（昭和41）年に創立された大学です。

梅根悟初代学長は、日本の教育史学の確立者であり、第二次大戦後の教育改革や新しい大学制度作りにあたったのオピニオンリーダーでした。

梅根学長は大学の創立に際して、「和光大学の理念と教育方針」を明確に掲げました。それは第1回の入学登録の際に、最初の入学生に対して行われた「学長告辞」や、「和光大学の教育方針」などに示されています。どちらの文章も皆さんは梅根悟著『小さな実験大学』で読むことができます。その後和光大学はこれを指針としながら、時勢の流れの中で常に自己検証と実践を重ねて来ました。その結果、試行錯誤を重ねたことや、時代の荒波の中で再検討を余儀なくされたことも多々あります。しかし、和光大学の理念と教育方針の根幹には、初代梅根学長の示された精神が今も脈々と波打っています。そこで梅根学長が初期に提示された理念と方針を振り返り、今も和光大学が大事にしている事柄を述べておきたいと思います。

2. 初代学長梅根悟の大学像

（1）大学は自由な研究の共同体

梅根学長の強調されたことは、大学は「自由な研究と学習の共同体」でなければならないということです。こうした考え方は梅根学長が、かつての日本の大学の多くが、国家の要請に基づく官吏養成をその出発点としているのに対して、大学の原点を中世のボローニャやパリなどにおいてユニヴァーシティと呼ばれる集団が形成される初発の状況に求め、直接には成城学園を創立された澤柳政太郎の教育理念に学んだ結論なのでした。

「自由な研究の共同体」とは、まず大学が「学問の自由という理念に基礎づけられた、研究者の集団であり、そこで、自由で創造的な学術の研究が、共同して行われるということを第一義的な存在理由とする」ものとして成り立つものです。大学は単なる教育機関でなく、自由で創造的な、そして目先の実利的な功利性に惑わされない。基礎的な研究が、活発に、共同して行われるのが本来の姿であるということになります。別の言葉で言えば、教員が常に研究と教育に真剣でその実をあげている場合にだけ、大学と学問の自由は保障されると梅根学長は謳っています。

（2）大学は自由な学習の共同体

「自由な学習の共同体」については、ベルリン大学のヴィジョンを語ったシュライエルマッヘルの「大学の学生はこれまで彼らが学んで来た学校とはちがって、学習に関して何らの強制をもうけない、彼らはどこに行け、ここに行けと命令されることはない。また行ってはならないと禁じられるところは一つもない。誰も彼らに向って、この授業時間、あの講義に出席せよと命令する者はない。彼らが学業をさぼっても、学業を放棄しても、誰も文句を言う者はいない」という言葉が引用されています。

（3）現在の和光大学のカリキュラムの工夫

この理想をそのまま現在の大学制度の中で実現することはできませんが、この理念に基づいて和光大学のカリキュラムは多岐にわたる豊富な科目を準備し、なるべく自由に選択できるような工夫が行われています。この科目の選択の自由は和光大学の開学以来の伝統的な特色です。

ところで「自由な研究と学習の共同体」という言葉にはもう一つの意味があります。それは教師と学生は一方が教え、他方が学ぶという一方通行のものではなく、同じテーブルについて、教師と学生という立場の違いを越えて、ともに研究する場である、ということです。梅根学長の教育史研究によりますと、「自由な研究の共同体」という考え方と「自由な学習の共同体」という考え方は別々に発展したのですが、梅根学長は、これを統一的なものにしようとされたのです。

3. 和光大学の教育方針

和光大学の教育方針は以上のような理念を教育のうえに実現しようとするものです。「個性の独創の無限の進展を助成する教育の実現を理想」（澤柳）とするものといえましょう。

このための方法として「和光大学の教育方針」は7つの項目にわたって述べています。

(1)少人数教育、(2)総合性と専門性、(3)一般教育、(4)補正授業、(5)単位制度、(6)単位認定制度と試験制度、(7)学生の課外活動。

この全部に関して知りたい方は梅根悟著『小さな実験大学』をご覧ください。ここでは重要な4つの点について述べておきます。

(1) 少人数教育

ここで強調されていることはプロゼミ、ゼミなどという一面では閉鎖的とも言えるスモールクラスによって教員と学生、学生相互の人的接触を基にすることであり、他方その閉鎖性と同時に多面的な専門、さまざまな教員、学生が交流しあえる開放的な場の形成をも追求するということです。今日和光大学は当初考えられた小規模大学という枠を越えて、学生数からいって中規模程度の大学になって来ていますが、そのなかでこの当初の方針は基本的には貫かれています。

(2) 総合性と専門性

ここでは梅根学長は「教育を狭い専門性への職人教育的とじ込めから解放して、生活との関連における総合的知性の育成をはかる」と謳っています。大学では専門的知識が要請されると同時に総合的知性をも要請されます。今日の学問は多岐に細分化され、それぞれはますます専門性を強めており、この専門性と総合性の両立は極めて困難な状況となっています。しかし、大学の教育はあくまでこの両者のせめぎあうなかで模索を続けなければなりません。和光大学はその道を追求し続けます。

(3) 一般教育の理念 と「全学共通教 養科目」

ところで、大学は「大学設置基準」という法の規制のもとにあります。この省令が1991(平成3)年に大幅に改められ、従来のものより規制が緩やかになり、各大学の自主性をより尊重するものとなりました。「大学設置基準の大綱化」といわれるものです。この法規制の変容のうちには梅根学長が早くから主張し、批判し続けてこられたことの一端が取り入れられていますが、この新基準では専門教育科目と一般教育科目の区分が廃止されました。そこで(3)の「一般教育」について、梅根学長が展開された説は、現状とは合わないものとなりましたが、それでも、総合的知性、総合的教養の重視という理念と、一般教育と専門教育を分割してとらえない、その考え方を引き継ぎ、1年次から4年次にわたって取得できる形式で「全学共通教養科目」を1995年度から発足させました。

(4) 学生の課外活動

学生が大学内においてクラブ・サークル等を組織して、各種の文化的・スポーツ的活動を行うことは、大学が提供する教育課程による以外のさまざまな人生経験と教養を得ることができ、望ましいことです。しかし小・中・高校の場合と違って、大学にあっては、これらの諸活動は、原則的には、大学の本来の機能や活動の埒外にもあるものであって、大学としては開学当初から原則上、これにタッチせず学生自身の活動を見守るという方針で臨んでいます。今日では公的私的な場でさまざまな文化・スポーツ活動を行う機会がふんだんにあるので、学生はそういう場を利用し、学外の学生や市民と交流することもいろいろな意味で有益なことです。大学内でのそういった活動も学生相互の友好を深めるという利点があると思われます。従って、大学は、その本来の研究と教育の機能に支障のない限りにおいて、そうした学生の諸活動のために施設の利用の便をはかり、また必要な助言を行い、それが大多数の学生に参加の機会を与える企画を持つ場合(例えば大学祭の開催)やクラブ・サークル活動の維持・発展に向けては、課外活動援助金制度を設け適切な財政的援助を行って来ています。

4. むすび

本学においては、大学自身のイニシアチブや積極的助成によって特にクラブ活動や運動部の育成を行うようなことはしない、ノーサポート・ノーコントロールという方針で臨んでいます。

以上が開学当初に掲げられ、今もなお引き継がれている和光大学の理念および教育方針です。これらのことは、今後とも和光大学の礎となり続けるでしょうが、創立以来の世界の地殻変動ともいえるべき社会状況、文化状況の激しい変化は、おそらく梅根学長の予見、今現在の教員の予見をも上回るものであります。大学のあり方はこの変化に対応し、あるいは先取りをして見直しが行われなければならないのは当然です。現に和光大学はいま新しい21世紀の大学像を全学を挙げて模索しています。

大学は創設以来着実な歩みを進めてきました。かつての「小さな実験大学」は中堅の実験大学になり、激しい地殻変動にも耐えられる力をつけてきました。しかし、ここにきて大学を取り巻く環境は一層激しく変化し始め、われわれはこの事態をよく見きわめ、新しい世界における大学の道を探し求めることが要請されています。

この間、大学は人間関係学科の人間関係学部への発展、続いて経済学部部の改革、人文学部の表現学部への改組転換、経済学部を経営学部への名称変更を行ってきました。2007年度からは、人間関係学部・表現学部を改組し、新たな教育体制を整えました。これにより、開学当初の2学部4学科であった学部学科構成は、3学部7学科という構成に発展してきました。もちろん、これにとどまらず更なる改革を目指し現在は、3学部6学科で構成されていますが、一般にいわれている大学全入時代にあたり、本学は内容を充実させ、自己検証を行い、それにより困難に立ち向かうつもりです。

教育課程

1. 本学教育課程の 特色

和光大学は、高等教育学術研究の場であると共に、大学教育のあり方について「和光大学の理念と教育方針」を基礎に、研究的・実験的に検討することをめざしています。そうしたことから、本学の教育課程は、他の大学とは異なる特色をもっています。

本学に学ぶ諸君にとって、その特色を正しく知ることは諸君の学修・学生生活にとって必要です。次ページ以降において、本学の教育課程とその特色を共通教養課程、外国語課程、各学科専門教育課程の順で紹介します。

2. 本学の教育課程

本学の教育課程を構成する授業科目は、その内容により、共通教養科目、外国語科目、専門科目および資格取得に必要な科目に分けられます。

外国語科目は、9種類の言語から選択できます。

専門科目は、各学部・学科によって異なりますが、おおむね必修科目、選択必修科目と、自由選択・関連科目に分けられます。

資格課程科目は、教職課程など、本学において取得できる資格に必要な課程ごとに分けられています。

履修の基本

履修の
基本

1. 学籍番号

入学手続きを完了した学生に学籍番号が与えられます。この番号は、学生証などに記載され、卒業後も変わらず残されます。学籍番号は、入学年度、学科、個人番号を示します。

例) 2 4 P 9 9 9
 | | |
 入学年度 学科等記号 個人番号
 (西暦下 2 桁)

学科等記号

現代人間学部	心理教育学科	P
	現代社会学科	U
	人間科学科	W
	身体環境共生学科	W
表現学部	総合文化学科	T
	芸術学科	G
経済経営学部	経済学科	E
	経営学科	B
大学院		M
科目等履修生		K
特別聴講学生・生徒		C
研究生		Q

2. 学生証

(1) 学生証とは

学生証は、本学の学生であることを証明するものです。学生であることによって受ける社会的ないくつかの特典を享受するときに必要なものであり、大学には一定の責任が生じます。このことから大学では学生証の取り扱いを慎重にしていますので、学生みなさんもよく理解してください。登校時は常時携帯し、本学教職員が提示を求める時はこれに応じてください。

(2) 有効期限

有効期限は在籍中の期間です。
退学した場合、除籍になった場合は、学生証をすみやかに教学支援課へ返却してください。

(3) 学生証の交付

学生証は、新入生には入学登録会場で交付します。
在学生には学科説明会以降、新年度資料配付会場で裏面シールのみ交付しますので、前年度のシールと貼りかえてください。

(4) 学生証の取り扱い

学生証は、磁気ストライプカードとなっています。磁石などの影響で、カードの磁気が消え、図書・情報館の入館や証明書自動発行機の利用などで支障が増えています。学生証は、他の磁気カードと重ねたり、携帯電話・スマートフォン、財布の留め具などの磁石に近付けないように取り扱ってください。

3. コア・クラス・ティーチャー (C.C.T.)

コア・クラス・ティーチャーは、学修や学生生活などのさまざまな問題について相談相手となります。学生が退学・休学・復学・学費延納などの願い出や諸届を行う場合に、コア・クラス・ティーチャーの確認が必要になります。なお、専任教員にはオフィスアワー制度があります（詳細はP15参照）。

コア・クラス・ティーチャーは下表のとおりです。

現代人間学部	心理教育学科	1・2年次：1年次のプロゼミ担当教員 3・4年次：ゼミナール担当教員
	現代社会学科	1・2年次：1年次前期のプロゼミ担当教員 3・4年次：ゼミナール担当教員
	人間科学科 (2021年度以降入学生)	1年次前期のプロゼミ担当教員
	人間科学科 (2019～2020年度入学生)	1年次のプロゼミ担当教員
	身体環境共生学科	1年次のプロゼミ担当教員
表現学部	総合文化学科	1・2年次：前期プロゼミ担当教員 3・4年次：ゼミナール担当教員
	芸術学科	1年次：前期プロゼミ担当教員 2～4年次：ゼミナール担当教員 (非常勤講師担当のゼミナールはサブゼミの専任教員または学科長)
経済経営学部	経済学科	1年次のキャリア研究Ⅰ担当教員
	経営学科	1年次：ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）担当教員 2年次：ゼミナール2担当教員 3年次：ゼミナール3担当教員 4年次：ゼミナール4担当教員

4. 大学からの諸連絡について

大学では、休講、教室変更、学生の呼び出し、その他必要な連絡事項は、「和光ポータル」や学内の掲示板で連絡します。学科・課程によってはメールなどを用いることがあります。

電話による問い合わせや相談は、間違いが生じやすいため、特別な事情が無い限り対応できません。教学支援課の窓口で直接問い合わせ・相談を行ってください。

(1) 和光ポータル

連絡方法として主に使用されます（詳細はP12～13参照）。

見忘れ、見落としがないようにしてください。往々にして掲示を見落として、期限が過ぎてから駆け込んでくる学生がいます。このようなことのないよう十分注意してください。見落としたために生じた不利益について、大学は責任を負いません。

(2) 掲示板

授業に関する内容は、担当教員から依頼があったものが掲示板に掲示されます。所属学科以外の授業に関することは、当該学科ならびに各課程の掲示板で確認してください。

5. 和光ポータル

(1) 和光ポータルについて

和光ポータルは学生生活を送るうえで重要な登録や申請を行ったり、必要な情報を受け取ることができるインターネットを通じたウェブシステムです。和光大学の学生は必ず和光ポータルを使用します。毎日ログインをして最新の情報を確認し、見忘れ、見落としがないようにしてください。和光ポータルでは次のようなことができます。

- ・履修登録をする。
- ・授業のシラバスを閲覧する。
- ・授業に必要な資料・課題・ミーティングルームIDなどを受け取る。
- ・授業の課題やレポートを提出する。
- ・教員へ授業の質問をする。
- ・大学からの休講情報、教室変更情報、イベント情報、重要な連絡を受け取る。
- ・住所変更をする。

これらの機能は一部です。詳しい機能別一覧はP13に掲載しています。

履修登録を行うには漏れのない操作が必要です。操作を間違えた結果希望する授業を履修できない、認識が誤っていて卒業までの単位修得の計画が叶わないなどのケースが毎年起こります。

「履修登録マニュアル」を必ず参照し、自己責任において履修登録を行ってください。

また、一部授業はオンライン上で実施します。操作や資料閲覧方法につまずいてしまうと、その後の授業についていけなくなります。授業が始まる前に予め「オンライン授業マニュアル」を参照し、操作方法などを確認してください。

★「履修登録マニュアル」や「オンライン授業マニュアル」は、次のQRコードからアクセスしてください。



和光大学HP TOP>在学生の方>履修案内
<https://www.wako.ac.jp/for-student/course.html>

※履修している授業のみ「○」

6. 授業について

(1) 授業時間

1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限
9:00～10:30	10:40～12:10	12:10～13:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

(2) 開講期(形態)

和光大学は、原則として前期・後期で授業が終了する「セメスター制」をとっています。

- 1) 前期授業……前期のみ授業が行われるもの。
- 2) 後期授業……後期のみ授業が行われるもの。
- 3) 通年授業……1年間を通して授業が行われるもの。
- 4) 集中講義……8月の集中講義期間にまとめて授業が行われるもの。
- 5) 隔週授業……1週間おきに授業が行われるもの。
- 6) 補習講義……授業を担当教員の病気等の理由で休講となった場合、それを補うために補習講義期間に授業を行うことがあります。詳細については各授業時に担当教員から提示されます。日程等時間割は、補習講義期間の1週間前に掲示します。
- 7) その他……① 1コマ……1週間に1時限授業が行われる。
② 2コマ……1週間に2時限授業が行われる。

(3) 対面科目とオンライン科目

2024年度より、各科目は「対面科目」と「オンライン科目」に分類されます。

- ・対面科目 : 全授業回の半数超が対面授業。
- ・オンライン科目: 全授業回の半数超がオンライン授業。時間割外と時間割内の2種類。
 - 時間割外オンライン: 曜日時限を割り当てず、前期、後期または通年オンライン(原則、動画配信(オンデマンド)型)で授業が行われるもの。
原則、月曜日1限までに資料・課題が配信され同一週の土曜日5限までに課題を提出する授業です。同時双方向(ハイフレックス)型ではありません。
 - 時間割内オンライン: 曜日時限と教室を割り当て、全授業回の半数超がオンラインで授業が行われるもの。
全授業回についてZoom等を用いた同時双方向(ハイフレックス)型の科目もここに位置付けられます。

対面科目かオンライン科目なのは、本書内の各課程授業一覧表、または和光ポータルのシラバスにて確認できます。

また、卒業に必要な単位数124単位の中で、最低でも対面科目で64単位を修得する必要があります。詳細はP31を参照してください。

(4) 休講

次の場合休講措置がとられます。

- 1) 担当教員が病気、学会出張などのため、当該時限に出講できないとき。
- 2) 担当教員が急な事情により、授業開始時刻に教室に到着できず、30分を過ぎてもなお授業開始の見通しが立たないとき。
- 3) 担当教員が長期にわたり出講不可能となったとき。

①全学休講要件

地震・台風・雪などにより全学休講となる場合は、午前中の授業(1・2限)については午前7時をめぐり、午後の授業(3限以降)については午前10時をめぐり、和光ポータルおよび本学ホームページにてお知らせします。全学休講が疑われる場合は、その都度和光ポータルおよび本学ホームページを確認してください。

また、次の場合には全ての授業が休講(全学休講)となります。

- 1) 入学試験、創立記念日、大学祭など全学的な行事により、大学が全学休講と定める日。
- 2) 地震・台風・雪・ストライキなどにより、J R山手線、J R中央線、J R南武線、J R横浜線、小田急線のいずれかが全面運休した場合は次の休講措置を講ずる。
 - ・1時限目および2時限目の授業を休講とする場合: 午前6時30分の運行状況で判断し、午前7時をめぐり、ホームページおよび和光ポータルにて、案内・配信する。

②休講情報

・3時限目以降の授業を休講とする場合：午前9時30分の運行状況で判断し、午前10時をめぐり、ホームページおよび和光ポータルにて、案内・配信する。

※事故等による一部分の運休の場合は、授業を行います。

3) 大学において、全学的に授業を行うことが著しく困難となる事態が発生、または発生すると予測される場合。

授業が休講の場合、原則として和光ポータルで連絡します。また、B棟脇掲示板からも休講情報を確認できます。

(5) 教室変更

教室変更が生じた場合、原則として和光ポータルで連絡します。また、B棟脇掲示板からも教室変更情報を確認できます。

(6) 和光ポータルからの掲示配信について

和光ポータルからの休講情報（全学休講を除く）・教室変更情報は次の①～⑫のいずれかの時間に掲示配信されます。

◆配信スケジュール◆

① 6:30 ② 7:30 ③ 8:30 ④ 8:55 ⑤ 10:35 ⑥ 12:15 ⑦ 12:55 ⑧ 14:35 ⑨ 16:15
⑩ 17:55 ⑪ 20:00 ⑫ 21:00

(7) 授業内容等の相談とオフィスアワー制度について

教員は普段から時間の許す限り学生からの質問や相談に対応するよう努めています。授業時間の前後はもちろん、専任教員の研究室があるA棟やG棟2～3階は学生にも開かれていますので、授業内容等の相談に気軽に訪れてみてください。また、このような普段の対応に加えて、より学生の便宜を図るため専任教員のオフィスアワー制度を設けています。

オフィスアワーとは、教員が授業についての質問や相談を受けるために研究室等の指定場所に待機している時間帯のことです。この時間帯には、授業内容等に関する質問や勉強の方法、レポートについてなどの相談をすることができます。オフィスアワー実施期間は、学年暦に定められた前期・後期授業期間（補講・学内試験・集中講義を除く）です。もちろん、オフィスアワーでない時間帯にも、教員は可能な限り学生の相談に応じます。

各専任教員のオフィスアワーは、和光ポータルの「時間・シラバス」→「教員スケジュール」を参照してください。授業等でオフィスアワーに相談ができず、相談の時間を確約したい場合は、教学支援課で教員との連絡方法を確認したうえで、教員と連絡をとり指示を受けてください。なお、和光ポータル「授業Q&A」から質問することも可能ですが、返信まで1週間は待ってください。

7. 試験

(1) 試験期間

巻末の履修規程第8章を参照してください。

前期末試験	7月30日(火)～31日(水)、8月1日(木)～3日(土)、5日(月)
学年末試験	1月21日(火)～25日(土)、27日(月)

(2) 試験時間割

試験実施科目の実施要領は各授業時に発表されます。時間割は原則として試験実施2週間前に掲示します。試験期間外に試験を実施する授業もありますので、授業時の指示や掲示板および和光ポータルに注意してください。

8. レポート

(1) レポート課題

原則として担当教員が授業時に指示します。併せてA棟2階入口（オープンスペース）のレポート掲示板および和光ポータルに掲示されることがあります。

(2) 提出先

原則として授業時に担当教員へ提出してください。

ただし、担当教員が提出先をレポートボックスと指定した場合のみA棟2階入口（オープンスペース）のレポートボックスに投函してください（ホチキスの貸し出しはしていません。各自で事前に体裁を整えてから提出をしてください）。

(3) 提出締切

なお、提出期限後の投函や投函するレポートボックスの間違ひは一切取り扱いません。

締切の期限は厳守してください。

教学支援課レポートボックスは提出期限日の16：30で締め切ります。

16：30以降はいかなる場合でも受理しません。

無断で郵送されたレポートは、教学支援課および教員宅のいずれの場合も受理できません。

9. 単位の修得

(1) 単位制度

単位を修得するために必要な学修時間について

和光大学は他の大学と同様、単位制度（※1）を採用しており、卒業までに124単位以上を修得する必要があります。

文部科学省が定めた規則により、45時間の学修（知識や知能を身につけるために勉強したり研究したりすること）をもって1単位となります。

半期（前期・後期）は15週ですので、半期で1単位を修得するためには1週間に3時間の学修が、半期で2単位を修得するためには1週間に6時間の学修が必要です。これには授業時間に加え、自習時間が含まれます。

必要な学修時間に自習時間が含まれているのは、大学の科目は専門性が高いため、教材を読み返す時間、一人でじっくり考察する時間、能動的に課題に取り組む時間などが必須だと考えられているからです。

これは対面授業でもオンライン授業でも同じです。

和光大学には、1時限を基準として、半期科目（※2）と通年科目（※3）とがあります。半期は15週、通年は30週です。1時限は90分ですが、準備の時間を含めて1時限＝2時間とみなしますので、各科目の単位を修得するために必要な1週間の学修時間はそれぞれ次の通りとなります。

授業時間を含む1週間の学修時間（1時限を基準とする）

	1週間の学修時間	学修時間の内訳
半期で1単位の科目	3時間	1時限の授業と1時間の自習
半期で2単位の科目	6時間	1時限の授業と4時間の自習
通年で2単位の科目	3時間	1時限の授業と1時間の自習
通年で4単位の科目	6時間	1時限の授業と4時間の自習

例えば、半期2単位の科目の単位を対面授業で修得するためには、90分の講義を受けた上で、4時間の自習をすることになります。

履修登録を行うにあたっては、自分の生活リズムにあわせ、無理のない科目数を登録するように心がけて下さい。

（※1）単位制度

科目を修得するために必要な学修量（時間）を数で表したもの

1単位＝授業時間＋自習時間＝45時間

（※2）半期4単位の科目あり → ドイツ語 現代社会学科 人間科学科
身体環境共生学科 総合文化学科 芸術学科

（※3）通年8単位の科目あり → 総合文化学科 芸術学科

(2) 成績評価

成績の評価は五段階で評価し、100点満点では、60点以上が合格、それに満たないものは不合格となります。

可否	評価	点数
合格	秀	100～90点
	優	89～80点
	良	79～70点
	可	69～60点
	合	100～60点
不合格	×	59点以下
保留	認保	<ul style="list-style-type: none"> ・単位認定保留の科目は単位未修得です。 ・履修登録前に担当教員の指導を受けてください。 ・「認保」の評価のままの科目があると今年度に履修登録できない科目もあるので注意してください。 ・卒論・卒制・卒研を含め評価が保留の科目は改めて、履修登録などの必要な手続きを行ってください。

- (注) 1. 一度合格した科目の評価を変更することはできません。
 2. 不合格科目を再履修する場合には、次年度に履修登録が必要です。
 3. 評価が不合格(×)、保留(認保)については、成績証明書に記載されません。

(3) 成績の発表

成績発表は、学年暦(P4～)に記載された日程にて和光ポータルで行います。詳細は掲示板および和光ポータルでお知らせします。

※和光大学で聴講する特別聴講学生の成績は所属大学で単位認定しますので、和光大学では発表しません。成績を知りたいときは、所属大学に問い合わせてください。

(4) 保証人への学業成績送付

原則、全保証人宛に、9月中旬と3月中旬に「単位修得簿」を郵送します。ただし、入学手続き時に「送付に同意しない」申請をされた場合は、郵送しません。

なお、入学手続き時の申請を変更したい場合は、教学支援課で手続きを行ってください。

(5) 評価理由の照会

評価理由の照会を希望する学生は、照会期間内に教学支援課で手続きを行ってください。申請は、評価理由に疑問をもつ十分な理由がある場合に限ります。教学支援課から該当科目の担当教員に照会を依頼し、その回答をお伝えします。手続きの詳細は掲示板および和光ポータルでお知らせします。

期間外の申請、電話での問合せには応じません。

照会期間は成績発表後です。日程は学年暦(P4～)を確認してください。詳細は掲示板および和光ポータルでお知らせします。

10. G P A 制度

(1) G P A (Grade Point Average) について

和光大学では、学生一人ひとりの成績評価の水準を把握する目安として、G P Aを導入しています。近年は、本学内外の奨学金受給、大学院進学、留学、企業による採用人事など、さまざまな機会の判定の材料として、G P Aが用いられる場合が増えています。

学生の皆さんは、なるべく各自のG P Aを認識し、学修計画や進路選択に役立てるようにしてください。

(2) 対象学生

2016年度以降入学の学部学生

※再入学生は旧学籍2016年度以降入学とする。

(3) G P (Grade Point) について

成績評価 秀 = 4、優 = 3、良 = 2、可 = 1、不合格 = 0

※算出時、成績評価「保留」科目は0ポイントとなります。

(4) G P A 計算式

$$G P A = \frac{(\text{単位修得した科目の単位数} \times G P) \text{ 合計}}{\text{履修登録した科目の単位数 合計}}$$

※小数点第3位を四捨五入して算出します。

※履修登録した科目の単位数には、不合格を含みます。

《計算例》

英 語	秀	4 単位→	4 (G P) × 4 (単位) = 16
社会学	優	4 単位→	3 × 4 = 12
体 育	良	1 単位→	2 × 1 = 2
歴 史	可	2 単位→	1 × 2 = 2
数 学	不合格	4 単位→	0 × 4 = 0

$$\frac{16 + 12 + 2 + 2 + 0}{4 + 4 + 1 + 2 + 4} = 2.133333\cdots \Rightarrow G P A \quad 2.13$$

(5) 算出対象外とする科目

以下の科目は算出対象外となり、G P A 計算式には含めません。

- ・評価認定科目（成績評価「秀認」「優認」「良認」「可認」「合認」「認」）
- ・成績評価「合格」の科目
- ・資格課程（8000番台）科目

(6) G P A の確認について

和光ポータルまたはG P A 証明書から確認できます。

評価基準制度の変更により、和光ポータルからG P A が確認できない入学年度があります。

	G P A 制度対象	和光ポータル 【成績照会】	G P A 証明書
2019年度以降 入学生	対象	表示可	発行可
2016～2018年 度入学生	対象	表示△ (表示されるが実際のG P A と異なる場合がある)	発行可 (和光ポータル【成績照会】 画面の内容と異なる場合 があるが実際のG P A)
2015年度以前 入学生	対象外	表示不可	発行不可

11. 単位互換制度

(1) 協定大学 (特別聴講制度)

①派遣大学

和光大学に在籍したまま、協定を結んでいる国内の大学で1年間学ぶことができる制度を本学では特別聴講制度と呼んでいます。

2種類の形態があり、1年間通して受入大学で学修するものと、和光大学に通いながら受入大学の授業を受けるものがあります。受入大学で修得した単位は、大学間の協定で定められた単位数まで本学の卒業要件として認められます。

《1年間を通して派遣先大学へ行く》

沖縄大学、札幌大学、京都精華大学

《和光大学に通いながら派遣先大学の授業を受ける》

東京工芸大学（表現学部生のみ）、学術・文化・産業ネットワーク多摩開講大学（各年度の講座ごとに異なります）

②派遣対象学年

2～3年次生（沖縄大学・札幌大学・京都精華大学の申請時は1～2年次生）

③派遣人数

若干名

④派遣先大学の履修可能科目

沖縄大学：受入学科が開講する全ての科目（ただし、資格課程科目を除く）

札幌大学：基盤教育科目・専門科目（資格課程科目など一部履修できない科目があります）

京都精華大学：全学共通教育科目・学部専門教育科目

東京工芸大学：東京工芸大学が提供する科目

学術・文化・産業ネットワーク多摩：開講大学が提供する科目

⑤卒業要件として認定される単位

48単位まで（必修、選択必修、資格取得の必要科目等への認定は行いません）

⑥授業料

本学に納入し、受入大学への納入は免除されます。

履修する科目によっては、実習料等が別途必要となる場合があります。

⑦在学年数

派遣期間中は休学扱いにはならず、派遣期間は在学年数に算入されます。

⑧手続の流れ

沖縄大学・札幌大学・
京都精華大学

(1) 6月中旬 ～10月上旬

教学支援課窓口で各大学のシラバス、履修要項等を閲覧し、聴講希望の大学と学科・専攻を決めてください。

(2) 10月中旬

以下の書類を教学支援課に提出してください。

1. 特別聴講申請書（様式1 必ずペン書きのこと）
2. 申請理由書（様式2 プリンター印字またはペン書きのこと）
3. C.C.T.（コア・クラス・ティーチャー）の推薦書（和光大学長宛、A4用紙、書式自由）
4. 成績証明書（1年生の場合は、前期成績証明書）

(3) 1月下旬

受入大学の承認が得られた時点で、正式に決定となります。
申込者多数の場合、選考を行うこともあります。

(4) 4月 ～3月

受入大学で講義を受けられます。
事務手続きは、各大学の事務局から指示を受けてください。

(5) 4月

履修登録の前までに単位認定を行います。

東京工芸大学**(1) 3月下旬**

説明会で東京工芸大学で聴講できる科目等を説明します。続けて各自が希望する科目を仮登録します。希望者が多い科目は、人数調整を行います。

説明会を欠席すると聴講する権利を失いますので、希望者は必ず出席してください。

注意！

仮登録の際は、各自の履修計画に基づいて慎重に決定してください。

特に、和光大学で履修する予定の科目と授業時間が重ならないか、よく確認すること。

安易に仮登録をして後に取り下げるとは、東京工芸大学に多大な迷惑がかかりますので、絶対にやめてください。

(2) 仮登録終了後

東京工芸大学の承認が得られた時点で正式に受入決定となりますが、仮登録は済ませていますので、申請した授業に出席してください。

(3) 4月上旬

和光大学履修登録期間

和光ポータル履修登録画面に、あらかじめ仮登録科目が登録されていますので確認してください。仮登録科目は、削除や変更ができません。

(4) 4月下旬

正式受入決定者について和光ポータルで発表します。

(5) 授業開始後の注意事項

〈お知らせは和光ポータルおよび、東京工芸大学ポータルサイトで通知〉

休講情報や東京工芸大学の試験時間割等は東京工芸大学ポータルサイトでお知らせしますので、必ず確認してください。

重要！ 〈試験について〉

日程の都合で東京工芸大学の試験日と和光大学の試験日が重なる場合があります。その際は和光大学の試験を受けてください。東京工芸大学の試験については、指定された期間に東京工芸大学教務課へ理由書を提出して、追試験を受けることになります。試験時間割を確認し、重なる授業がある場合は、和光大学教学支援課で配付する所定の理由書に記入の上、提出してください。

成績評価については、聴講の次年度履修登録の前までに単位認定を行います。

その他、不明な点があれば、和光大学教学支援課まで問い合わせてください。

学術・文化・産業ネットワーク多摩

※2024年度の募集は中止します。

「学術・文化・産業ネットワーク多摩」に加盟する各大学が提供する科目を、提供科目を開講している大学に通って履修します。

履修した科目の成績評価については、聴講の次年度履修登録の前までに単位認定を行います。

履修希望者は、開講大学の履修登録期間開始日1週間前までに所定の書類を教学支援課に提出してください。詳細は教学支援課へお問い合わせください。

(2) 国内(協定大学を除く)の大学

在学中に他の大学において修得した単位を本学の単位として認定を希望する場合は、単位修得しようとする年の前年度10月末までに教学支援課に願い出てください。

詳細は巻末の履修規程の「在学中に他の大学において修得した単位の取扱いについて」を確認してください。

(3) 外国の大学

本学を休学して留学する場合は、この措置に該当しないので留意すること。

外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、またはこれに相当する教育機関をいいます。語学留学は認められないので注意してください。

自分の専門分野等の学問を外国の大学で学んだ場合、その修得した単位を、本学の「卒業に必要な単位」として認めようとする趣旨で設けられたものですので、認定限度を30単位としています。

① 留学する場合の手続き

本学4年の正規の在学期間の中で、外国へ留学し単位の換算認定を希望する場合には、前年度の10月末までに所定の手続きをとって教授会および学長の承認を求めなければなりません。

②提出書類

手続きは教学支援課に申し出てください。

提出書類は、以下のとおりです。

1. 留学計画書
2. 成績証明書（和光大学在学中のもの）
3. 留学する大学のカリキュラム表
4. 留学する大学のシラバス時間割等

③学費について

本学における正規の修業年限の中に留学期間を組み入れるので、その期間も本学所定の授業料を納める必要があります。

12. 進級と卒業

(1) 進級

本学では進級の制度（学年制）をとらず単位制を原則としています。よって修得単位数や休学の有無に関わらず1年ごとに学年が1つ上がります。なお、休学した場合は、休学期間分、卒業が延期されます。

(2) 卒業判定

卒業に必要な在学期間、修得単位と学費の納入について、教授会で審議の上、判定結果を2月中旬に発表します。判定結果は学生本人が直接確認するようにしてください。卒業判定に関する詳しい日程は、12月上旬に各学科掲示板および和光ポータルでお知らせします。

(3) 卒業要件と学位

4年以上在学し、所定の単位(合計124単位)を修得することにより、次の学位が授与されます。

現代人間学部 学士（人間関係学）

表現学部 学士（表現学）

2023年度以前入学生

経済経営学部 学士（経済学）

2024年度以降入学生

経済経営学部経済学科 学士（経済学）

経営学科 学士（経営学）

(4) 前期卒業制度

当該年度前期末で在学期間が4年間以上（休学期間を除く）となる学生に限り、前期終了後、前期科目の評価を含めた卒業判定を実施します。

(5) 進学について

本学では、卒業後、次のような修学制度を設置しています。

①大学院

本学の大学院には社会文化総合研究科の下、心理学専攻心理学コースがあります。大学院は Semester 制をとっており、修業期間は2年（4 Semester）、3年（6 Semester）、4年（8 Semester）の3種類があります。大学院を修了すると修士（学術）の学位が授与されます。

大学院の出願要項は、5月頃に入試広報課から発表されます。

※社会文化論専攻現代社会文化論コース、発達・教育臨床論コース、現代経済・ビジネスコースは2021年度をもって学生募集停止

②研究生

本学の専任教員を指導教員として、特定のテーマで1年間、研究活動を行います。

研究生（国内在住出願者）の出願要項については、1月上旬から教学支援課で配付します。研究生（海外在住出願者）の出願要項は9月下旬頃から教学支援課で配付します。

③科目等履修生

履修期間は1年間（大学院の科目等履修生は各 Semester ごと）で、一定数の科目を履修することができます。ただし、外国語科目など一部の科目については履修できません。

※科目等履修生制度については、P279以降に詳しく書かれています。

科目等履修生の出願要項は、2月初旬から教学支援課で配付します。大学院の科目等履修生の出願要項については、春 Semester は3月下旬から、秋 Semester は8月上旬から、教学支援課で配付します。

13. 転部・転科

入学後、他の学科へ転科したり、他の学部へ転部しようとするときは、1年次または2年次に所定の手続きを経て出願してください。出願可能な学部・学科（専修）および出願時期や試験科目等については、「編入学・転部・転科学生募集要項」（7月頃、入試広報課発表）で確認してください。

学科によっては必修科目等の関係から、4年の在学期間で卒業できない場合も考えられるので、事前に教学支援課に相談し、十分な学修計画を立てたうえで受験してください。

転部・転科する前の学部・学科で修得した単位は、履修登録までに下表の範囲内で新たな学部・学科の単位に認定します。詳細は新年度の転部・転科生オリエンテーションで説明します。

2年次転部・転科入学者		3年次転部・転科入学者	
教育課程	上限単位	教育課程	上限単位
共通教養科目	なし	共通教養科目	なし
外国語科目	なし	外国語科目	なし
専門科目	24	専門科目	40
教職等諸資格科目	和光大学編入学・転部転科者の単位認定規程第3条による	教職等諸資格科目	和光大学編入学・転部転科者の単位認定規程第3条による

14. 休学・復学・退学・除籍・再入学

(1) 休学

病気・その他事情があって、3カ月以上続けて就学の見込みがない場合、以下の手続きによって、休学を願い出ることができます。

休学期間は、以下の3通りになります。

- ・前期（4／1～9／30）
- ・後期（10／1～翌年3／31）
- ・通年（4／1～翌年3／31）

なお、休学した場合は、休学期間分、卒業が延期されます。

① 手続の流れ

- 1) 「休学願」用紙を教学支援課で受け取ってください。
 - 2) 必要事項をもれなく記入し、本人および保証人の連署の上、およびコア・クラス・ティーチャーと相談の上、必ず了解を得てから、教学支援課に提出してください。
 - 3) 提出された「願」は、教授会（毎月1回）の議を経て、学長が許可します。
 - 4) 許可されると「休学許可通知」が自宅に届きます。
- ※高等教育の修学支援新制度適用者の場合、別途案内があります。

② 提出期限

「休学願」は、原則として、休学しようとする期間の1カ月前までに教学支援課に提出してください。

（例）4／1から休学希望の場合→3／1までに提出してください。

10／1から休学希望の場合→9／1までに提出してください。

（締め切り日が日曜日等で窓口閉室日の場合はその前日が締め切り日となります）

③ 休学が許可されたら

- 1) 休学した期間の分だけ、卒業は延期されます（半年間の休学の場合は半年、1年間の休学の場合は1年間、それぞれ卒業が延期されます）。
- 2) 休学期間中の授業料および施設設備資金は不要ですが、別途在籍料が必要となります（詳しくは、管財課経理係にお問い合わせください）。
- 3) 休学期間中の履修登録は無効になります。

④ 休学期間が終わったら

休学期間の終了をもって復学となります。また、休学延長を希望される場合は「休学願」を、期限までに提出してください。なお、休学は通算して4年を超えることはできません。

(2) 復学

休学期間の終了をもって自動的に復学となります。

注意！

- ・「復学許可通知」が自宅に届くのは、復学日を過ぎてからになります。「復学許可通知」が届く前であっても、年度初めの学部・学科別説明会や各学期の授業には出席してください。
- ・通年休学の申請者が後期からの復学を希望する場合は、9／1までに「復学願」を教学支援課に提出してください（この場合、復学は10／1となります）。

(3) 退学

病気・その他事情により退学したいときは、「退学願」を以下の手続きに従い、教学支援課に提出してください。

※高等教育の修学支援新制度適用者の場合、別途案内があります。

① 手続の流れ

- 1) 「退学願」用紙を教学支援課で受け取ってください。
- 2) 必要事項をもれなく記入し、本人および保証人の連署の上、およびコア・クラス・ティーチャーと相談の上、必ず了解を得てから、教学支援課に提出してください。
- 3) 提出された「願」は、教授会（毎月1回）の議を経て、学長が許可します。
- 4) 許可されると「退学許可通知」が自宅に届きます。

② 提出期限

「退学願」は下記の提出期限内に、教学支援課に提出してください。

前年度3／31付退学を希望される場合→4／20までに提出してください

今年度9／30付退学を希望される場合→10／31までに提出してください。

（締め切り日が日曜日等で窓口閉室日の場合はその前日が締め切り日となります）

※授業料未納の状態で退学を希望されている場合、この期限を過ぎると、下記の「(4) 除籍」に基づき、除籍対象として扱われることになるので十分に注意してください（巻末の退学取扱規程・除籍取扱規程を参照してください）。

(4) 除籍

「指定された期日までに授業料を納入しない者(学則第40条)」は除籍されます。この場合、学籍は前期であれば8月31日付、後期であれば2月28日付で失われることになります。

家計の事情その他やむを得ない理由から、学費を期限までに納入できないときは、学費の延納を願い出ることが出来ます。詳細は学生支援課に問い合わせてください。

※「除籍」になると、離籍後に発行できる証明書が「退学証明書」ではなく「除籍証明書」になります。

※高等教育の修学支援新制度適用者で適格認定において遡及取消の対象となり、指定された期日までに授業料を納入しない者は、遡った日付で除籍となる場合があります。

(5) 再入学

本学を退学した者または除籍になった者が復籍を希望する場合、再入学を認めることがあります。

※再入学の出願は退学した日、または除籍になった日から起算して10年以内の者に限ります。

※再入学した後に退学した者、除籍となった者が、再び再入学の出願をすることはできません。

※現代人間学部心理教育学科保育専修／子ども教育専修幼児教育課程に再入学することはできません。

① 手続の流れ

- 1) 本学を退学した者、除籍になった者が再入学を希望するときは、「再入学願」を教学支援課で受け取ってください（例年、1月頃から配付を開始します）。
- 2) 必要事項をもれなく記入し、本人および保証人の連署の上、在学当時の指導教員（コア・クラス・ティーチャーまたはゼミ指導教員等）と面接の上、再入学したい理由等を説明し、必ず了解を得てから、成績証明書を添えて、教学支援課に提出してください。
- 3) 提出された「願」は、3月教授会の審査を経て、学長が許可します。
- 4) 許可されると「再入学承認通知」が自宅に届きます。

- | | |
|------------------|--|
| ②提出期限 | 「再入学願」は、2月下旬（詳細は再入学要項を参照）までに教学支援課まで提出してください。 |
| ③再入学が許可されたら | 4月に行われる再入学生オリエンテーション（面談）に、必ず出席してください。 |
| ④在学可能年限と卒業要件在学期間 | 在学可能年数は、既に在籍した期間を除く残余の期間となります。卒業要件を満たすためには、満4年の在学期間（休学期間を除く）を必要とします。 |
| ⑤学費について | 再入学する場合の学費は、再入学要項を参照してください。入学金等については半額となります（詳しくは管財課経理係にお問い合わせください）。 |
| ⑥再入学者の履修方法について | 原則として、再入学する学年の授業一覧表が適用されます。その際、履修登録までに単位認定作業を行います。詳しい日程等は、入学後、すみやかに教学支援課で確認してください。 |

15. 各種届出

(1) 欠席の扱い

①「欠席届」と「授業・試験欠席連絡票」

和光大学ではいわゆる「公欠」といった制度はありません。欠席の場合の評価の扱いや対応は、履修している授業の担当教員の判断によります。そのため、欠席をする場合、もしくは欠席した場合は、直接担当教員にその旨を理由と共に伝える必要があります。まずは、担当教員に相談をし、「授業・試験欠席連絡票」の発行指示があった場合は以下①を参照してください。

大学に来られない場合やオンライン授業の場合には、和光ポータル「授業 Q&A」から連絡してください。

教学支援課では、学生本人が担当教員に説明するための資料として、学生本人の申し出によって「授業・試験欠席連絡票」を発行しています。これは「学生本人の避けがたい事由のため、授業・試験を欠席せざるを得なかった」ことを示すものとなります。「授業・試験欠席連絡票」は、下記「欠席事由を証明できる資料」と共に「欠席届」を提出することで発行できます。

欠席理由	対象日	必要書類	担当窓口
病気・怪我等 (領収書が有る場合)	医療機関の領収書が発行された日付のみ ※自宅療養の期間は対象外です	医療機関の領収書	A棟2階 教学支援課
病気・怪我等 (診断書が有る場合)	診断書に記載された療養期間	診断書	
忌引き	会葬礼状に記載された日付のみ	日付が明記された会葬礼状 ※地方の場合は、旅客鉄道等領収書の提出により移動日も対象となります	
学生本人以外に介護する者がいない場合の 家族の介護	教学支援課窓口にて別途案内	診断書または事情が説明できる書類	
風水害地震 および火災など		被害が分かる根拠資料	
交通機関の遅延	発行不可。担当科目の教員に直接相談してください		
病気・怪我等 (証明資料が無い場合)	※就職活動については、A棟3階キャリア支援課にて就職活動参加証明書の用紙を配付しています。欠席する日が分かった段階で事前にキャリア支援課窓口にて確認してください(参加証明書を提示することで、必ずしも非欠席扱いとなるとは限りません。必ず事前に教員に相談してください)。		
法事・法要 (四十九日・～回忌など)			
就職活動			

②感染症に伴う出席停止

学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症(例：インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症など)に罹患した場合は、同第19条の定めに基づき出席停止となります。体調が回復してから、教学支援課にて①の手続きを行い、担当教員に説明を行ってください。

・出欠席について

(授業期間) 出席扱いとなりますが、評価の扱いは担当教員の判断によります。

(試験期間) 追試験扱いとしますが、実施の有無は担当教員の判断によります。

追試験については P26 (2) 追試験を必ず確認してください。

欠席理由	対象日	必要書類	担当窓口
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	医療機関の領収書とインフルエンザ罹患を確認できる処方薬がわかるもの(診断書も可)	A棟2階教学支援課およびG棟1階医務室
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで ※無症状の陽性者については、検査採取日を発症日(0日)として、5日間経過するまでの間	医療機関の領収書(診断書も可)、PCR検査の結果通知書・抗原検査キット陽性の画像等、新型コロナウイルス感染症罹患を確認できるもの	

※新型コロナウイルス感染症について、濃厚接触は出席停止の対象ではありません。感染防止に留意し、授業に出席してください。

③欠席を証明する日時	<p>「授業・試験欠席連絡票」では、「欠席事由を証明できる資料」に記載された日（例：医療機関の領収書等に記載された日）のみ欠席を証明します。例えば、通院した翌日も体調が回復せず外出しなかった場合も、授業・試験欠席連絡票では通院日のみ欠席を証明することとなります。証明された日以外の欠席については、この「授業・試験欠席連絡票」をもとに、学生本人より授業担当教員へ体調不良があった事実を説明するようにしてください。</p>
④出席・成績・評価の扱い	<p>「授業・試験欠席連絡票」を担当教員に提示することで、必ずしも当該日時の欠席が出席扱いとなるわけではありません。欠席の場合の評価の扱いや対応は、履修している科目の担当教員の判断によります。そのため、授業を欠席する場合、もしくは欠席した場合は、直接担当教員にその旨を理由と共に伝える必要があります。</p>
⑤欠席に関わる諸注意	<ol style="list-style-type: none"> 1) 公共交通機関の事故などに起因する欠席・遅刻等の場合は、当該機関の発行する証明をもって担当教員へ連絡してください。 2) 資格課程における実習等による欠席の場合は、事前に各担当教員に申し出るとともに、実習終了後、それぞれの参加証明書（教学支援課発行）をもって担当教員へ連絡してください。詳細は資格課程の手びきを参照してください。 3) 就職活動にかかわる授業の欠席の場合は、キャリア支援課に相談してください。
(2) 追試験	<p>学生本人の避けがたい事由により各期末試験を受験できなかった場合には、追試験の受験を許可することがあります。追試験の実施を希望するときは、直ちに担当教員に相談してください。担当教員から「欠席届」提出の指示があった場合は、欠席事由を証明できる資料を添付の上、当該試験実施前後1週間以内に教学支援課へ「欠席届」を提出してください。追試験が実施される科目や方法は、担当教員の指示に基づきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P25 15. 各種届出(1) ①「欠席届」と「授業・試験欠席連絡票」の項を参照。</div>
(3) 学生証の再発行	<p>再発行申請した日から3日後（日・祝は除く）の9時15分以降に交付となります。紛失、汚損の場合はすみやかに教学支援課に届け出て、再交付を受けてください。</p> <p>紛失（盗難等）した場合は、悪用の恐れがあるので、必ず最寄りの警察にも届け出てください。</p>
①手続の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学生証紛失届兼再発行願（再交付申請用紙）を教学支援課で受け取ってください。 2) 必要事項を記入し、再発行手数料1,000円分の証紙（証明書用）を貼って教学支援課に申請してください。 3) 教学支援課で、申請時にお渡しする「学生証紛失届兼再発行願 学生控え」と引き換えに、受け取ってください。 <p>*再交付後、紛失した学生証が見つかった場合は、紛失した方の学生証を教学支援課に返却してください。</p>

(4) 住所の変更

学生本人や入学手続き時に届け出ている保証人の住所を変更したときは、和光ポータル上で申請するか、または学籍変更届（教学支援課に用意してあります）に必要事項を記入の上、教学支援課に提出してください。併せて学生証裏面シールの再発行も申請してください。提出しないと、大学からの郵便等が届かず大事な情報を得ることができません。

※和光ポータル上で申請する場合は、ログイン後、[個人情報] から [学籍情報変更申請] の「住所・電話番号（学生・保証人）・変更届」に変更内容を直接入力してください。

※奨学金を受給している学生は別途学生支援課に連絡をしてください。

〈和光ポータル画面〉

The screenshot shows the top navigation bar of the Wako Portal. It includes tabs for '履修登録' (Class Registration), '時間割・シラバス' (Timetable/Syllabus), '掲示板・各種連絡' (Bulletin Board/Various Contacts), and '個人情報' (Personal Information). The '個人情報' tab is selected, and a dropdown menu is open, displaying the following options: '個人情報' (Personal Information), '成績照会' (Grade Confirmation), '健康診断情報照会' (Health Checkup Information Confirmation), '学籍情報照会' (Student Record Confirmation), and '学籍情報変更申請' (Student Record Change Application). The '学籍情報変更申請' option is highlighted.

(5) 改姓名

学生本人や入学手続き時に届け出ている保証人の、戸籍上の姓・名を変更したときは、学籍変更届（教学支援課に用意してあります）に必要事項を記入のうえ、住民票を添えて教学支援課に提出してください。学生本人の場合には、併せて学生証の再発行も申請してください。

※和光ポータル上では変更できません。

(6) 保証人の変更

入学手続き時に届け出ている保証人を変更するときは、学籍変更届（教学支援課に用意してあります）に必要事項を記入・捺印のうえ、教学支援課に提出してください。

※和光ポータル上では変更できません。

16. 取扱証明書

(1) 取扱証明書一覧

			所属	証明書の種類	交付期日	手数料	
証明書自動発行機 (A棟1階)	証明書発行申請書は不要です	郵便での申請は出来ません	学部生	在学証明書	その場ですぐに交付されます	200円	現金を証明書自動発行機に投入
				成績証明書 ※注1		200円	
				卒業見込証明書 ※注2		200円	
				卒業見込・成績証明書 ※注1.2		200円	
				健康診断証明書 ※注3		200円	
				学生旅客運賃割引証 (学割証)		無料	
				学業成績原簿 (単位修得簿) ※注4		200円	
				在学証明書		200円	
				成績証明書 ※注1		200円	
				修了見込証明書 ※注2		200円	
				健康診断証明書 ※注3		200円	
				学生旅客運賃割引証 (学割証)		無料	
				研究生 健康診断証明書 ※注3		200円	
				科目等履修生 健康診断証明書 ※注3		200円	
証明書発行申請書が必要 です (A棟2階)	証明書発行申請書が必要 です (A棟2階)	郵便での申請も可能です	学部生	特別聴講生 健康診断証明書 ※注3		200円	和光大学証紙 (A棟1階券売機にて販売)
				学位授与見込証明書 ※注5	翌日	200円	
				履修登録証明書	2週間程度	300円	
				在学証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				成績証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				G P A 証明書 ※注8	2週間程度	200円	
				G P A 証明書 (英文) ※注8	2週間程度	300円	
				卒業見込証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				学生証 (再発行)	3日後	1,000円	
			大学院生	学位授与見込証明書 ※注5	翌日	200円	
				在学証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				成績証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				修了見込証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				学生証 (再発行)	3日後	1,000円	
			資格課程	教職免許取得見込証明書	2日後	300円	
				基礎資格及び単位修得証明書	1週間程度	300円	
				教員採用試験用人物証明書	1週間程度	300円	
			保育士	諸資格取得見込証明書	2日後	300円	
				指定保育士養成施設卒業見込証明書	2日後	300円	
				保育士養成課程修了見込証明書	2日後	300円	
			研究生	研究生証明書	翌日	200円	
				研究生証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				研究生証 (再発行)	3日後	1,000円	
			科目等履修生	履修登録証明書 (科目等履修生)	翌日	200円	
				科目等履修生証 (再発行)	3日後	1,000円	
			その他	大学院受験調査書 ※注6	2日後	400円	
				本学様式以外の証明書	2週間程度	300円～	
			学部生 大学院生	卒業 (修了) 証明書 ※注10	当日	200円	和光大学証紙 (A棟1階券売機にて販売) 郵送申請の場合は手数料分の切手
				卒業 (修了) 証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				成績証明書	当日	200円	
				成績証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				G P A 証明書 ※注8	2週間程度	200円	
				G P A 証明書 (英文) ※注8	2週間程度	300円	
				学業成績原簿 (単位修得簿) ※注9	当日	200円	
				学位授与証明書	翌日	200円	
				退学証明書 ※注10	翌日	200円	
				退学証明書 (英文)	2週間程度	300円	
				除籍証明書 ※注10	翌日	200円	
				除籍証明書 (英文)	2週間程度	300円	
			資格課程	学力に関する証明書	1週間程度	300円	
				基礎資格及び単位修得証明書	1週間程度	300円	
				諸資格単位取得証明書 ※注7	1週間程度	300円	
			保育士等	指定保育士養成施設卒業証明書	2日後	300円	
				保育士養成課程修了証明書	2日後	300円	
				幼稚園教諭免許所有者 保育士試験免除科目専修証明書	2日後	300円	
			研究生	研究生証明書	翌日	200円	
				研究生証明書 (英文)	2週間程度	300円	
			科目等履修生	科目等履修生証明書	翌日	200円	
				成績証明書	当日	200円	
			専攻科生	修了証明書	翌日	200円	
				成績証明書	翌日	200円	
			聴講生	聴講生証明書	2日後	200円	
			その他	大学院受験調査書	2日後	400円	
				本学様式以外の証明書	2週間程度	300円～	

- ※注1 成績公開日以降は最新の成績まで反映された証明書が発行されます。
- ※注2 卒業見込証明書、卒業見込・成績証明書、修了見込証明書の発行には条件があります。
 ※算定単位として教職諸資格課程専用科目（授業コード8000番台）は含まれません。
 ※休学期間は在学期間に含まれません。

《学部生》

①卒業見込判定条件

下記条件を満たした場合、卒業見込証明書を発行できます。

- ・在学期間3年間以上であること。
- ・既に修得した単位に加え、履修登録状態にある授業の単位を全て修得したと仮定した場合に、卒業要件を満たすこと。

②卒業見込判定時期

以下の時期に卒業見込判定を実施し、判定結果によって卒業見込証明書の発行可否が決まります。そのため、5月上旬の判定では卒業見込証明書が発行可能でも、9月上旬の判定で発行不可になるケースがあります。

- ・前期履修登録確定後（5月中旬）
- ・前期成績確定後（9月上旬）
- ・後期履修訂正確定後（9月下旬）
- ・後期・通年成績確定後（3月上旬）

詳細な日程は掲示にてお知らせします。

《大学院生》

①修了見込判定条件

春・秋セメスター入学者共、下記条件を満たした場合、修了見込証明書を発行できます。

- ・在学期間2セメスター以上
 ※3年課程生は4セメスター以上、4年課程生は6セメスター以上
- ・修了要件上16単位以上修得済

②修了見込判定時期

以下の時期に修了見込判定を実施し、判定結果によって修了見込証明書の発行可否が決まります。

- ・春セメスター開始時（4月）
- ・春セメスター成績確定後（9月上旬）
- ・秋セメスター開始時（10月）
- ・秋セメスター成績確定後（3月上旬）

詳細な日程は掲示にてお知らせします。

- ※注3 問い合わせは医務室（G棟1階）まで。
- ※注4 学業成績原簿（単位修得簿）は、成績証明書として使用できません。
- ※注5 学位授与見込証明書の発行基準は、卒業見込証明書・修了見込証明書に準じます。
- ※注6 大学院受験調査書は、教員記入欄（推薦書・所見欄等）への記入が済んだ後に申請してください。
- ※注7 本学では相当する課程が無いため、「社会福祉主事任用資格」「児童福祉司任用資格」「社会福祉士」についての証明書発行はできず、資格の有無について確認することができません。必要に応じて「卒業証明書」および「成績証明書」を発行し、ご自身または提出先に要件を確認していただくこととなります。
- ※注8 発行対象は2016年度以降入学の学部学生（再入学生は旧学籍が2016年度以降入学）です。
- ※注9 発行対象は2010年度以降入学の学部学生です。
- ※注10 離籍者（卒業・退学・除籍）の方には「在学証明書」は発行していません。在学の事実または在籍期間の確認が必要な場合には「卒業（退学・除籍）証明書」にて在学した期間を証明することができます。

(2) 証明書発行 ・申請方法

① 証明書自動発行機

A棟1階エントランスの証明書自動発行機から発行ができます。

1. 発行可能日時（休日授業日を含む）
前期・後期授業期間 月～金 9：00～18：00 土 9：00～16：30
授業期間以外 月～土 9：00～16：30※
※休業期間や入学試験等学内行事日については、別途大学ホームページ等で案内します。
2. 交付
その場ですぐに交付されます。
3. 必要書類・手数料
学生証が必要です。手数料は現金を証明書自動発行機に投入してください。

② 代理人による申請

やむをえない事情により、本人以外の方が代わりに証明書を申請する場合は、本人および代理人による署名・捺印のある委任状並びに本人および代理人の方の本人確認書類（運転免許証・保険証・パスポートなど）を必ずお持ちのうえ、教学支援課窓口で「証明書発行申請書」を提出してください。

③ 資格課程に関わる 証明書

1. 発行対象者について
原則として、在学時に資格課程を受講申請し、履修している方のみ発行可能です。不明な点がある場合は、教学支援課窓口（資格係）にお問い合わせください。
2. 「学力に関する証明書」の申請にあたって
発行申請書裏面および大学ホームページ「卒業生の方」各種証明書・届出＞証明書発行申請書（和光大学各種証明書請求に当たっての注意事項）」をよく確認してから、申請を行ってください。

④ 保育士等に関わる 証明書

1. 保育士養成課程に関わる証明書の発行について
 - (1) 「指定保育士養成施設卒業見込証明書」発行条件
 - ① 現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程に在籍していること
 - ② 「卒業見込証明書」の発行条件を満たしていること
 - ③ 「保育実習1（保育所）」「保育実習1（施設）」の単位を修得済みで、「保育実習2（保育所）」または「保育実習3（施設）」の単位を修得済みまたは当該年度に取得予定の者
 - (2) 「保育士養成課程修了見込証明書」発行条件
 - ① 現代人間学部心理教育学科保育専修または子ども教育専修幼児教育課程を卒業し、科目等履修生として本学に在籍していること
 - ② 「保育実習1（保育所）」「保育実習1（施設）」の単位を修得済みで、「保育実習2（保育所）」または「保育実習3（施設）」の単位を修得済みまたは当該年度に取得予定の者
2. 「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書」発行について
発行申請には、以下のいずれか1点が必要となります。
 - ① 幼稚園教諭免許状の写し
 - ② 教育職員（幼稚園教諭）免許状授与証明書（発行日から6ヵ月以内のもの）
 ※不明な点がある場合は、教学支援課窓口（資格係）にお問い合わせください。

⑤ 注意事項

1. 夏期・冬期休業期間、ゴールデンウィーク期間の証明書発行
発行できる証明書の種類や証明書自動発行機の利用時間が授業期間と異なります。掲示・和光ポータルおよび大学ホームページを確認してください。
業務の都合により交付期日を過ぎることがありますので、余裕をもって申請してください。特に、お盆・年末年始期間などは、一覧表の期日より遅れることがあります。
2. 証明書に記載される「氏名」について
在学生は「証明書申請時」、離籍者（卒業・退学・除籍）は「離籍時」に大学に登録されている戸籍上の氏名にて発行されます。大学に登録している「通称名」や離籍後に変更した氏名での証明書発行はできませんので、予めご留意ください。ただし、やむを得ない事情により、これ以外の氏名による発行を希望する際は教学支援課までお問い合わせください。

17. 履修登録について

(1) 履修登録とは

卒業するには履修規程に定められた単位数を修得しなければなりません。「履修登録」とは、年度の初めに1年間の履修授業を登録する重要な手続きです。本学ではこの履修登録を和光ポータル上の申請によって行います。操作方法などは「履修登録マニュアル」(P12参照)も参考にしてください。

(2) 卒業要件を満たす計画を

卒業に必要な単位数(124単位)および卒業要件と4年間の在学期間を満たして卒業となります。

卒業要件は各学科で異なりますので、詳細は各学科の「卒業要件」で確認してください。

2年次生からは…?

「各学科の卒業要件」と前年度末までに修得した単位をつき合わせ、きちんと卒業できるように計画を立ててください。

(3) 履修する授業をきめよう

各自の履修計画や希望に基づいて、シラバス(和光ポータル上)を参考に履修する授業を検討してください。なお、履修できる授業かどうかを時間割・学修の手びきで必ず確認してください。また、後期開講の授業であっても、履修したい授業は必ず前期に履修登録を行ってください。

(4) 自己責任でちゃんと登録

履修登録は学生の「自己責任」において行われるものです。間違いのないように登録してください。

(5) 履修登録単位数の上限があります

共通教養科目・外国語科目・専門科目を合わせた1年間の履修登録単位数には、上限が設けられています。

上限を超えた場合は、超えた分だけではなく1年間の履修登録授業の全てが無効となりますので注意してください。なお、資格課程専用科目(授業コード8000番台)はこの上限に含まれません。ただし、資格取得に必要な共通教養科目・外国語科目・専門科目はこの上限に含まれます。

※注意※

当該年度に履修登録し、単位を修得できなかった前期授業も履修登録単位数に含まれます(後期履修訂正時)。また、入学年度により上限も異なります。

履修登録単位数の上限(共通教養/外国語/専門科目)

	1～3年次	4年次(卒業年次生)
2018年度以前入学生	49単位	60単位
2019年度以降入学生	49単位	

・心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生は、1年次および2年次に限り、単位上限を59単位とします。

・教育職員免許状幼稚園1種と小学校1種を両方あるいはどちらか一方を受講申請した学生(心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程を除く)は、2年次および3年次に限り、単位上限を59単位とします。

(6) 最低でも対面科目を64単位修得する必要があります

文部科学省令である大学設置基準において、遠隔授業(本学では「オンライン科目」と呼びます)により修得できる卒業要件単位数の上限を60単位と規定しています。

これは、卒業するためには、各学科で定めた卒業要件を満たすだけでなく、**64単位は対面科目を修得する必要がある**ということです。

対面科目の履修中・修得済単位数は和光ポータル[成績照会]または[学生時間割表]の「単位修得状況」に表示されますので、履修登録前に必ず確認してください。

卒業に必要な単位数の合計(=124単位)		
対面科目	オンライン科目	
最低でも64単位必要	60単位まで算入可能	※

※…60単位を超えて修得したオンライン科目は、卒業要件単位数に算入されません。

オンライン科目を60単位以上履修・修得することは可能ですが、各学科で定める

卒業要件を満たしても、対面科目が64単位未満だった場合は卒業できません。

なお、本学では、2020年度から2023年度までコロナ禍における特例措置を適用していたため、2023年度までに修得した単位は全て対面科目を修得したものとして算入します。

(7) 授業一覧表の見方

2024年度 ○○学部 △△学科 授業一覧表

△△学科専門科目															
卒業要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	科目 オンライン	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
選 択 専 門 科 目	9001	プロゼミ	4	クラス 指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	和光 太郎	○	○	⑦
	9002	○○基礎	2	①なし	—	前期	③	—	2	3	4	岡上 次郎	○	○	
	9003	○○応用	2	人数制限 (抽選)	有②	後期	時間 割外	—	2	3	4	鶴川 花子	×	○	
	9004	◆◆を 考える	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	大正橋 渡	×	○	

- ①「種別」欄
授業の「種別」により、履修登録を行う時期および方法が異なります。
- ②「人数制限（抽選）優先条件」欄
「有」の場合は、種別「人数制限（抽選）」授業のコンピュータによる抽選の際、指定された条件に合った学生が優先的に当選されます。条件の詳細はシラバスで確認できます。
- ③「オンライン科目」欄
全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は授業をオンライン（オンデマンド型：動画配信または資料配信）で実施します。原則として毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室の割当てがあります。全授業回の半数超をオンラインで授業を行います。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- ④「履修可能学年」欄
当該授業を履修可能な学年が記載されています。網掛け・太字になっている部分は「履修推奨学年」であることを示しています。
- ⑤「重複履修」欄
「○」の場合は、過去に同一科目の単位修得をした場合も履修可能です。「×」の場合は、単位修得をした科目の再履修はできません。
- ⑥「全学開講」欄
「○」の場合は、別の学科の学生も当該授業を履修可能です。「×」の場合は、当該学科の学生のみ履修可能です。
- ⑦「備考」欄
履修にあたっての条件や注意事項などが記載されています。

(8) 授業の「種別」

- 種別には以下の6種類があります。
- ①「クラス指定必修」
あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- ②「クラス指定」
あらかじめ指定された学生のみ履修可能な授業です。
- ③「人数制限（抽選）」
履修人数の制限があり、履修を希望する場合は抽選希望登録が必要な授業です。
- ④「許可」
教員の履修許可が必要な授業です。
- ⑤「条件付」
授業の備考欄などに履修条件が記載されています。条件を満たし、自分で履修登録することで受講が可能となる授業です。
- ⑥「なし」
①～⑤以外の授業です。自分で履修登録することで受講が可能となる授業です。

(9) 「種別」ごとの履修登録方法

- ①クラス指定必修
授業の「種別」ごとに履修登録の時期、および履修登録方法が異なります。
あらかじめ大学で履修登録を行うため、申請は必要ありません。また、履修登録を削除することはできません。

あらかじめ履修登録されていない学生は、当該授業を履修できません。

②クラス指定

あらかじめ大学で履修登録を行っています。履修を希望しない場合は、履修登録期間に和光ポータル「履修登録」画面から登録を削除することが可能です。

※注意※一度「削除」を押すと、「削除の取り消し」はできませんので、慎重に操作してください。

③人数制限(抽選)

下記の通り履修登録を行います。

[1] 抽選 4月8日(月) 9:00～4月15日(月) 23:59

第1回履修登録・抽選希望登録期間に、和光ポータル「抽選希望登録」画面にて、履修を希望する授業の申請を行います。期間終了後、コンピュータが抽選を行い、当選者は自動的に履修登録完了となります。優先条件「有」の授業は優先的に当選とする条件が指定されています。抽選結果は抽選希望登録締め切り日の翌日18:00に和光ポータルにて確認できます。なお、抽選は希望者が授業の定員より多かった場合に実施され、定員に収まった場合は全員当選となります。

※注意※

・抽選科目の単位数は、抽選結果発表後に履修中単位数欄に加算されます。
・履修を希望する曜日時に「クラス指定」授業が登録されていて申請できない場合は、先に「クラス指定」授業を「履修登録」画面で削除してから「抽選希望登録」画面で申請してください。

[2] 先着順 4月20日(土) 9:00～4月22日(月) 23:59(定員に達し次第終了)

4月27日(土) 9:00～4月29日(月) 23:59(定員に達し次第終了)

空席がある場合、和光ポータル「抽選希望登録」画面で先着順にて履修登録を受け付けています。抽選で履修が確定した人数に加え、先着による履修者が定員を満たしたときに当該授業の申請受付は終了します。

※注意※

・先着にて申請できた(当選となった)場合は履修登録完了となりますが、「学生時間割表」や「履修登録」画面には即時反映されません。
・先着順では優先条件は適用されません。
・抽選科目の単位数は、各期間終了後に履修中単位数欄に加算されます。加算後の履修中単位数が履修登録単位数の上限を超えないように気を付けてください。

[3] 先着順 9月9日(月) 10:00～9月12日(木) 23:59(定員に達し次第終了)

空席がある場合、後期履修訂正・抽選希望登録期間中に和光ポータル「抽選希望登録」画面で先着順にて履修登録を受け付けています。先着による履修者が定員を満たしたときに当該授業の申請受付は終了します。先着による申請ができれば当選となります。

※注意※

・先着にて申請できた(当選となった)場合は履修登録完了となりますが、「学生時間割表」や「履修登録」画面には即時反映されません。
・抽選科目の単位数は、後期履修確認期間に履修中単位数欄に加算されます。加算後の履修中単位数が前期履修登録した単位数と合わせても履修登録単位数の上限を超えないように気を付けてください。

④許可

授業オリエンテーション・許可手続き期間4月9日(火)～4月15日(月)に後期授業を含む、全ての「許可」授業で履修許可を得る手続きが必要です。必ず和光ポータル「授業関連のお知らせ」から、手続き方法を確認してください。後期授業・集中講義・時間割外オンライン授業も上記期間内に決定します。

※注意※

・担当教員より履修許可を得た場合は履修登録完了となり、いかなる理由であってもその後に履修キャンセルはできませんので、本当に履修を希望する場合のみ履修許可を求めてください。
・授業名にA・Bとついておりセットに見える授業でも、それぞれ許可を得る必要があります。
・後期の科目も4月の許可手続き期間の所定日時に許可を得る必要があります。

⑤条件付

基本的には⑥種別なしと同様の履修登録方法となりますが、授業一覧表の備考欄に履修条件が記載されていますのでよく確認してください。

履修条件に必要な科目の種別が「人数制限(抽選)」の場合は、その授業の当選情報が和光ポータル「学生時間割表」画面に反映されていないとエラーが生じますが、「学生時間割表」に反映されていなくても「抽選希望登録」画面で当選が確認できる場合は、エラーを残してください。当選した「人数制限(抽選)」授業が「学生時間割表」に反映されると、履修条件に関するエラーは解消されます。

⑥種別なし

履修登録期間・履修訂正期間に和光ポータル「履修登録」画面から登録が可能です。履修登録期間中は自由に登録・削除が可能です。

(10) 履修登録スケジュール(前期)

別途配付している『履修登録マニュアル』(P12参照)とあわせて確認してください!!
以下をよく読み、不明点がある場合は、教学支援課にお問い合わせください。

学科別説明会期間

在学生(新2年次生以上) 3月26日(火)、27日(水)、29日(金)
新入生 4月5日(金)、6日(土)、8日(月)

- ・『学修の手びき』『時間割表』と和光ポータルにて授業の[シラバス]を確認し、どの授業を履修するか検討してください。
- ・後期も含めた1年間の履修計画を立てましょう!
- ・履修したい授業の種別を必ず確認しましょう!

第1回履修登録・抽選希望登録期間 4月8日(月)9:00~4月15日(月)23:59

『履修登録マニュアル』を参照し、以下のとおり和光ポータルから①履修登録、②抽選希望登録をそれぞれ行ってください。

- ・この期間は、和光ポータルに表示される履修登録中単位数に、抽選希望登録した種別「人数制限(抽選)」授業の単位数や許可を得られた種別「許可」授業の単位数は含まれません。
- ・履修登録単位数の上限を超えないように気を付けてください(P31参照)。

①履修登録

[履修登録]画面から、以下種別授業の確認・登録をしてください。

種別「クラス指定必修」

事前に履修登録されています。追加・削除はできません。

種別「クラス指定」

事前にクラス分けされています。

削除のみ可能です。一度削除すると元に戻せませんので、慎重に操作してください。

種別「条件付」

選択ボタンから選択してください。

条件に必要な科目の種別が「人数制限(抽選)」の場合は、当選情報が和光ポータル[学生時間割表]画面に反映された第2回履修登録期間以降に履修登録してください。

種別なし

選択ボタンから選択してください。

②抽選希望登録

種別「人数制限(抽選)」

- ・[抽選希望登録]画面から、希望登録を行ってください([履修登録]画面ではありません)。
- ・後期分も忘れずに希望登録してください。
- ・抽選結果発表日まで、履修中単位数欄に集計されませんので、単位数は各自で計算をしてください。
- ・この期間は、ひとつの抽選グループから履修したい授業を第1希望~第3希望まで選択できます(必ず第3希望まで選ぶ必要はありません)。

《抽選結果発表日時 4月16日(火)18:00》

[抽選希望登録]画面から当落結果を確認できます。また、[学生時間割表]画面に当選授業が反映されます。

授業オリエンテーション・許可手続き期間 4月9日(火)~4月15日(月)

種別「許可」

- ・この期間に、全ての種別「許可」授業の許可者選抜を対面で実施します。各授業の許可手続き手順および日時は、和光ポータルでお知らせします。履修を希望する場合は必ず授業ごとに実施する許可者選抜に参加してください。
- ・既に種別「クラス指定必修」が履修登録されている曜日時限には、授業を追加できません。
- ・許可が得られた授業は、授業開始日までに[学生時間割表]画面に反映されます。即時に反映はされませんので、許可を得た授業の曜日時限をきちんと把握し、履修計画を立ててください。

前期授業開始日 4月9日(火)~

[学生時間割表]画面に反映されている授業に出席してください。

4月16日(火)は、授業はありません。

第2回履修登録・抽選希望登録期間 4月20日(土)9:00～4月22日(月)23:59

『履修登録マニュアル』を参照し、以下のとおり和光ポータルから①履修登録、②抽選希望登録をそれぞれ行ってください。

①履修登録

種別「許可」

教員から許可を得た科目が履修登録されていることを確認してください。追加・削除はできません。

種別「人数制限(抽選)」

第1回履修登録・抽選希望登録期間に当選した授業が反映されています。
削除のみ可能です。一度削除すると、元に戻せませんので慎重に操作してください。

種別「条件付」

選択ボタンから選択してください。条件を満たした授業のみ表示されます。
履修条件に必要な科目の種別が「人数制限(抽選)」の場合、履修条件に関するエラーが生じますが、[抽選希望登録]画面で当選が確認できる場合は、そのまま登録してください。

種別「クラス指定必修」

種別「クラス指定」

種別なし

第1回履修登録・抽選希望登録期間と同様です。

②抽選希望登録(先着順)

種別「人数制限(抽選)」授業

残席がある授業のみ、先着順で申込が可能です。定員になった時点で締め切られます。

[履修登録]画面で、エラーの無いように履修登録してください！

卒業年次生は卒業できる履修登録となっているか、『学修の手びき』に記載された卒業要件と照らし合わせて確認してください！

履修訂正・第3回抽選希望登録期間 4月27日(土)9:00～4月29日(月)23:59

[履修登録]画面を開き、1年間の履修登録の最終確認をしてください！
エラーがあると履修登録できません。
なお、残席がある授業のみ、[抽選希望登録]画面から先着順で申込みが可能です。

別途配付している『履修登録マニュアル』(P12参照)とあわせて確認してください!!
以下をよく読み、不明点がある場合は、教学支援課までお問い合わせください。

成績公開 9月2日(月)

前期授業の成績を確認しましょう！

履修訂正・抽選希望登録期間 9月9日(月)10:00～9月12日(木)23:59

『履修登録マニュアル』を参照し、以下のとおり和光ポータルから①履修登録、②抽選希望登録をそれぞれ行ってください。

- ・前期の成績を踏まえて、エラーとなっている授業がないか確認してください。
- ・訂正をする場合は、1年間の履修登録単位数の上限を超えないように気を付けてください。
- ・修得できなかった前期授業も履修登録単位数に含まれます(P31参照)。

①履修登録

種別「許可」

前期に許可を得た科目が履修登録されていることを確認してください。追加・削除はできません。

(11)履修登録スケジュール(後期)

種別「人数制限（抽選）」

前期履修登録・抽選希望登録期間に当選した授業が反映されています。
削除のみ可能です。一度削除すると、元に戻せませんので慎重に操作してください。

種別「条件付」

選択ボタンから選択してください。条件を満たした授業のみ表示されます。

種別「クラス指定必修」**種別「クラス指定」****種別なし**

第1回履修登録・抽選希望登録期間と同様です。

② 抽選希望登録（先着順）**種別「人数制限（抽選）」授業**

残席がある授業のみ、先着順で申込が可能です。定員になった時点で締め切られます。

「履修登録」画面で、エラーの無いように履修登録してください！

卒業年次生は卒業できる履修登録となっているか、『学修の手びき』に記載された卒業要件と照らし合わせて確認してください！

後期授業開始 9月17日(火)～

〔学生時間割表〕に反映されている授業に出席してください。

履修確認期間 9月19日(木)6:00～9月23日(月)23:59

〔履修登録〕画面を開き、1年間の履修登録の最終確認をしてください！
エラーがあると履修登録できません。

(12) 注意事項**① 授業時間の重複について**

同一開講期の同一曜時に2つ以上の授業を履修することはできません。

② 集中講義について

集中講義期間の授業は〔履修登録〕画面（時間割表示）の「前期」の「集中講義」の〔追加〕ボタンから履修登録できます。集中講義は年間で1授業のみ履修可能です。

③ 履修登録の確定について

〔履修登録〕画面で〔提出〕を押さないと履修登録は完了しません。履修登録期間中および履修訂正期間中は、再度履修登録画面を開きなおすと申請の変更が可能です。

④ 履修登録エラーについて

〔履修登録〕画面で「最終確認」後、エラーと表示される授業は全て削除され、履修できません。エラーが表示された場合は、そのままにせず、エラーを解消の上、〔提出〕を押して履修登録を完了してください。

(13) 授業コード一覧

授業コード	学科・課程	授業コード	学科・課程
1001～1999	共通教養	4601～4799	人間科学科（19・20） 身体環境共生学科
2001～2999	外国語	4801～4999	現代社会学科
3001～3099	現代人間学部共通	5001～5999	総合文化学科
3101～3999	心理教育学科	6001～6999	芸術学科
4001～4199	人間科学科（21～）	7001～7499	経済学科
4201～4299	人間科学科 身体環境共生学科	7501～7999	経営学科
4301～4399	人間科学科（21～） 現代社会学科	8001～8999	資格課程専用
4401～4499	人間科学科 現代社会学科 身体環境共生学科	9001～9999	協定大学

履修プログラム

地域・流域プログラム

プログラム

ジェンダー・スタディーズ・プログラム

言語研修プログラム

〔日本語教員養成プログラム・中国語研修プログラム〕
〔英語研修プログラム・小学校英語指導プログラム〕

それぞれの分野について、体系的に学ぶことができるプログラムです。
必要な科目を履修すると、「プログラム履修証明書」または認定資格が得られます。
どのプログラムも全学部・全学科の学生、大学院生、科目等履修生（一部制限あり）
が履修することができます。

〈全学部・学科生、大学院生、科目等履修生対象〉

プログラム

地域・流域プログラム

地域・流域プログラムは、和光大学の全学に開かれた特色ある環境教育プログラムです。
和光大学は、首都圏では貴重な自然環境となっている川崎市麻生区岡上地域に面しており、さらに目を広げると、岡上地域は鶴見川流域の生態系の中に位置しています。本プログラムの目的は、こうした地域や流域に広がる豊かな自然環境に触れながら、環境関連科目を体系的に学ぶことにより、自分たちの足もとの自然を見る目を培い、地域と協力して社会と自然の共生を実現する市民性を養うことにあります。

岡上地域や鶴見川流域における和光大学の学生による環境保全活動や地域貢献活動は、社会的に高く評価されており、その実績によって本プログラムは文部科学省によって2008年度「質の高い大学教育推進プログラム」（教育GP）に選定されました。

このプログラムでは地域社会や流域環境についての科目を系統的に履修してもらいます。社会的評価のある環境教育関連資格取得もこのプログラムに含まれています。申請手続きをした上で、所定の科目を履修し、レポートを提出した者に対して、翌年度5月頃（4年生は卒業時）に「プログラム履修証明書」を発行し、「流域環境士」の資格を大学が与えます。

環境関連の職場へ就職を希望する学生にとって意義があることはもちろん、市民の社会参加活動が重視されつつある現状にあっては、広く社会的な評価を得られる履修プログラムとなることでしょう。

このプログラムは地域連携研究センター地域・流域共生フォーラムが運営しています。

○プログラム申請手続きの流れ（※詳細は掲示板や和光ポータルで確認してください）

1～4年次4月ころ 「プログラム申請書」および「プログラム履修状況表」を提出

今年度内 フォーラムが認めた資格講習会、レポートのための環境調査の案内

1～4年次2月ころ 学生の環境調査レポート提出
※在学中に環境調査とレポート提出について、1回行えばその要件を満たします

問い合わせ／提出先 地域・流域共生フォーラム（G棟3階307室）centr@wako.ac.jp
企画課（A棟4階事務室）044-988-1433
※教学支援課では相談に応じられませんのでご注意ください。

このプログラムを修得するには、以下に示す資格講座や次ページの科目表に示された科目で、所定の単位を揃える必要があります。

フォーラムが認めた資格講習会一覧

資格講座名	取得資格	換算 単位数
チェーンソー・刈払機安全講習会	チェーンソー・刈払機安全講習会修了者	1
RACリーダー養成講座	RACリーダー	3
プロジェクトWETエデュケーター講習会	プロジェクトWETエデュケーター	1
プロジェクトWILDエデュケーター講習会	プロジェクトWILDエデュケーター	1
地域環境リーダー育成講座（基礎編）※	「基礎編」と「実践編」を修了することで「地域環境リーダー」となり修了証が発行されます。	2
地域環境リーダー育成講座（実践編）※		2

※川崎市が主催する学外の講習会です。修了証を企画課に提出することで単位として認定されます。

地域・流域 プログラム科目表

単位（修了要件 計20単位）	科目名	科目分類	単位
コア科目 1 基幹講義科目 （4 単位）	流域を知る	共通教養科目	2
	地域流域社会論	身体環境共生／人間科学科専門科目	2
	地域流域政策論	身体環境共生／人間科学科専門科目	2
コア科目 2 理論講義科目 （4 単位）	科学技術の営みと世界観	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ足もとの自然 ※ 4	共通教養科目	2
	里山保全の理論	共通教養科目	2
	生物の多様性 A	共通教養科目	2
	生物の多様性 B	共通教養科目	2
	環境教育論	心理教育学科専門科目	2
	環境社会学	現代社会学科／人間科学科専門科目	2
	環境とまちづくり	身体環境共生／人間科学科専門科目	2
	衛生学	身体環境共生／人間科学科専門科目	2
	生態学	現代人間学部共通科目	2
	環境思想論	現代人間学部共通科目	2
	■言語表現の現在 1 ※ 3	総合文化学科専門科目	2
コア科目 3 実践型講義科目 （6 単位）	■言語表現の現在 2 ※ 3	総合文化学科専門科目	2
	■環境ビジネス論	経営学科専門科目	2
	地域デザイン A	共通教養科目	2
	地域デザイン B	共通教養科目	2
	■フィールドで学ぶ山村社会 I	共通教養科目	2
	■フィールドで学ぶ山村社会 II	共通教養科目	3
	フィールドで学ぶ地域社会 I	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ地域社会 II	共通教養科目	3
	里山保全の実際	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ足もとの自然 ※ 4	共通教養科目	2
	フィールドワーク（地域環境 1）	身体環境共生／人間科学科専門科目	2
	フィールドワーク（地域環境 2）	身体環境共生／人間科学科専門科目	4
自由選択科目 （6 単位以上）	野菜づくり入門	人間科学科専門科目	4
	インターンシップ ※ 1	現代人間学部共通科目	4
レポート	地域・流域の保全ボランティア活動（※ 2）、あるいは本フォーラムが認めた資格講習会を受講するなど、一定の条件を満たせばコア科目 3 として 4 単位まで代替可能。代替単位数は活動・受講時間による。		

修了要件：20単位（コア科目 1 + 2 + 3 + 自由選択科目） + レポート

2024年度休講となっている科目もありますので、各課程の授業一覧表を確認してください。

■の科目は今年度開講されませんが、過年度既に単位を修得している場合は、修了要件に含めることができます。

○注意

※ 1 「インターンシップ」はNPO法人鶴見川流域ネットワーク、岡上こども文化センターなど、岡上地域と鶴見川流域に関わる研修先に限る。

※ 2 ボランティア活動は参加報告を地域・流域共生フォーラム会議が審査する。なお、本プログラム以外（卒業要件等）の単位としては認められない。代替認定条件等の詳細は企画課（A棟 4 階）または地域・流域共生フォーラム（G棟 3 階）に問い合わせること。

※ 3 小関和弘教授が担当していた年度の科目のみ対象とする。

※ 4 2023年度までの修得はコア科目 2、2024年度以降の修得はコア科目 3 に含める。

〈全学部・学科生、大学院生、科目
等履修生(一部制限あり)対象〉

ジェンダー・スタディーズ・プログラム

社会生活のさまざまな場において、ジェンダーをめぐる課題に対処できる力を獲得することをめざして、和光大学では「ジェンダー・スタディーズ・プログラム」を設置しています。

ジェンダーとは「女らしさ／男らしさ」「男の役割／女の役割」などと表現される、社会的・文化的な性別観のことです。ジェンダーについての固定的なとらえ方を見直し、ジェンダーに関して平等で公正な社会をめざす動きが、近年、世界的に活発になっています。ジェンダーは、女子学生のみならず男子学生や自分の性別に揺らぎを感じる学生にとっても、自分自身のアイデンティティと切実にかかわる問題です。また、卒業後の職業生活、社会生活においても、さまざまな分野で、ジェンダーに関する深い認識が求められます。

このプログラムは、ジェンダーに関する知見を深めることを目的として、「ジェンダー関連科目」の系統的履修を促すために設けられたものです。この制度は卒業要件とは関係ありませんが、申請手続きをした上で、所定の科目を履修し、レポートを提出した人に対して、「プログラム履修証明書」を発行します（卒業時）。

教員免許や司書資格等と違い、直接就職につながる国家資格ではありませんが、全国各地に設置されている男女共同参画センターや社会教育施設はもちろん、公務員やマスコミ関係、一般企業の関連部署等への就職の可能性が広がります。

関連科目の系統的な履修とレポートの提出のみで得られる証明書ですので、積極的に申請されることをお勧めします。

○プログラム申請手続きの流れ （※詳細は掲示板や和光ポータルで確認してください）

1～4年次4月頃 「プログラム履修表」の提出（何年次でも提出できます）
「プログラム履修状況表」の提出（申請後は毎年）
提出先⇒企画課（A棟4階）

4年次1月末頃 「プログラム履修状況表」＋レポートⅠ＋レポートⅡを提出
（前期卒業の場合は6月末頃） 提出先⇒企画課

問い合わせ：企画課（A棟4階事務室、044-988-1433）

○「ジェンダー・スタディーズ・プログラム」履修に必要な科目と単位数

	科目名	科目分類	単位
科目群Ⅰ (コア科目) 右の科目より 12単位以上	性とジェンダー A	共通教養科目	2
	性とジェンダー B	共通教養科目	2
	セクシュアル・マイノリティのこころと支え	共通教養科目	2
	■女と男 A	共通教養科目	2
	■女と男 B	共通教養科目	2
	共生社会とスポーツ A(スポーツとジェンダー)	共通教養科目	2
	女性学	現代人間学部・学部共通科目	2
	男性学	現代人間学部・学部共通科目	2
	ジェンダーと教育	心理教育学科・学科専門科目	2
	恋愛と結婚の心理学	心理教育学科・学科専門科目	2
	■セクシュアル・マイノリティの心理学	心理教育学科・学科専門科目	2
	ジェンダー労働論	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	現代の家族	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	性の人類学／世界の性文化	現代社会学科・総合文化学科 学科専門科目	2
	開発とジェンダー	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	言語と社会 B	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	現代社会とジェンダー A	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	現代社会とジェンダー B	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	セクシュアリティをめぐる諸問題 A	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	セクシュアリティをめぐる諸問題 B	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	ジェンダーとメディア	現代社会学科・人間科学科 学科専門科目	2
	映像と英文学批評 1	総合文化学科・学科専門科目	2
	映像と英文学批評 2	総合文化学科・学科専門科目	2
	セクシュアリティ・ジェンダー・テキスト	総合文化学科・学科専門科目	4
	女と男の表現空間／ジェンダー表象論	総合文化学科・学科専門科目	2
	■女性企業家論	経営学科・学科専門科目	2
科目群Ⅱ (関連科目) 8単位以上	全学開講科目から、プログラムに関連すると本人が判断する科目を 8 単位以上。 なお、科目群Ⅰの履修単位が12単位を超える場合には、その分を科目群Ⅱに加算することができる。		計 8
レポート	レポートⅠ： 公的施設、NGO／NPO等（本学ジェンダーフォーラムも可）でのジェンダー関連の学習・活動記録、またはジェンダーに関連する小論文（卒論でも可）（2000字程度）。 レポートⅡ： 「履修したジェンダー関連科目を振り返って」(2000字程度)。このレポートには、以下の2点（それぞれ1000字程度）を入れること。 ①科目群Ⅰ、科目群Ⅱで履修した各科目から学んだこと、考えたこと。 ②それらを通して全体として、学んだこと、考えたこと。 ※プログラムに関連すると本人が判断し、科目群Ⅱとして申請した科目については、その科目から学んだことなどを1科目ずつ明記してください。		

⇒ 修了要件：20単位（科目群Ⅰ＋科目群Ⅱ）＋レポートⅠ＋レポートⅡ

※2024年度休講となっている科目もありますので、各課程の授業一覧表を確認してください。

■の科目は今年度開講されませんが、過年度既に単位を修得している場合は、修了要件に含めることができます。

〈全学部・学科生、大学院生、科目等履修生（一部制限あり）対象〉

言語研修プログラム

総合文化学科では、言語習得や文化理解を教育の基礎として重視していますが、それらを積極的かつ効果的にみなさんに学修してもらうために「言語研修プログラム」が設置されています。このプログラムは卒業要件とは関係ありませんが、プログラム履修申請をすれば、認定に必要な科目を修得した学期の終了後に「プログラム履修認定委員会」の審査を経て、プログラム履修証明書を受け取ることができます。

言語研修プログラムは、【日本語教員養成プログラム】【中国語研修プログラム】【英語研修プログラム】【小学校英語指導プログラム】の4種類があり、それぞれ認定に必要な科目や要件が異なります。

- 1) 日本語教員養成プログラム 2) 中国語研修プログラム 3) 英語研修プログラム
4) 小学校英語指導プログラム（2016年度以前入学生のみ）

【プログラム履修の手続き】

・言語研修プログラム申請書を教学支援課で受け取り、前期履修登録・訂正期間あるいは後期履修訂正期間に提出してください。何年次でも提出できますが、プログラムの履修を決めた学生は速やかに申請書を提出してください。

・申請手続きをした上で、所定の科目を履修した者に対して、「プログラム履修証明書」を発行しています。

・プログラム履修証明書の受け取りは、認定に必要な科目を修得した学期の終了後です。全科目の修得終了が前期の場合は翌11月、後期の場合は翌5月（4年後期の場合は卒業時）に証明書を発行します。教学支援課でプログラム履修証明書を受け取ってください。

・なお、いずれの言語研修プログラムも、修得した単位は卒業要件の単位として数えられます。

・なお、再入学者で各プログラム履修を検討している学生は、科目群表には記載がないが、各プログラムの単位として認められる旧科目を修得している可能性があるため、確認のため、教学支援課まで来室すること。

1) 日本語教員養成プログラム

総合文化学科で日本語や日本文化、さらに他の言語や文化を学習した者が、将来外国人に対する日本語教育の仕事に携わる機会を得た場合に、世界的視野に立った教育が可能となるような基礎的学力を養います。このプログラムでは、日本語とそれととりまく日本の文化・歴史・社会についての理解とともに、他の言語と、その文化・歴史・社会を考察する力を重視しており、日本語教員のみならず、国際交流を深く理解することのできる人材を育成していくことになります。

〈認定に必要な科目〉

〈認定に必要な科目〉 日本語 は旧科目です

科目群Ⅰ：日本語の構造、日本人の言語生活に関する知識（必修3科目6単位 選択6単位）
必修：日本語学序論1・2 日本語の文法^{*1}
選択：日本語の歴史 日本語の意味 日本語の表現 日本語の諸相 日本語の分析 日本語を学ぶ1・2・3・4 他者としての日本語 日本語のしくみを考える

科目群Ⅱ：日本文化・歴史・社会など日本事情に関する科目（選択8単位）
選択：思想と表現1・2 日本の文化と文学1・2・3・4 ことばの歴史1・2
日本文化の諸相1・2・3・4 日本文化に分け入る1・2・3・4
言語表現の現在1・2 宗教思想論1・2 歴史資料を読む1・2 日本の芸能1・2
現代文化批評1・2
文化批評のリミックス 東北日本の詩人たち 現代文学のメディア・ミックス 日本近現代文学の多様性 古代の文化と言語表現 近世の文化と言語表現

科目群Ⅲ：言語学に関する科目（必修1科目2単位 選択6単位）
必修：言語学1または言語学2^{*2}
選択：ことばの理論 比較言語学 英語学序論1・2 英語の歴史1・2 日英語の比較
ことば・心・社会 音声学1・2 外国語習得理論 英語のしくみを考える 中国語のしくみ 中国語学序論1・2

2) 中国語研修プログラム

〈認定に必要な科目〉

科目群Ⅳ：日本語の教授に関する科目（必修2科目4単位 選択2単位または下記の①～④のうち1項目以上）

必修：日本語教授法1・2

選択：日本語教育の現在^{*3} または日本語教育の実習に関わる学修^{*4}（以下の①～④から1項目以上）

- ①国際交流センターなどにおける日本語教育ボランティアの体験とそれをふまえた小論文
- ②学内外で行われる外国人に対する「日本語」授業の見学とそれをふまえた小論文
- ③学内外で開催される日本語教育研修への参加とそれをふまえた小論文
- ④その他、プログラム履修認定委員会で認められた日本語教育実習に関わる学修

科目群Ⅴ：異文化理解に関する科目（選択4単位）

選択：異文化理解の方法 日英比較文化論1・2 日中比較文化論1・2 フランス語とその世界 トルコ語とその世界1・2 ペルシア語とその世界 アラビア語とその世界 チベット語とその世界 中国語とその世界 朝鮮半島の文化と歴史 太平洋の文化と歴史 英語圏の文化1・2 ドイツ語とその世界 アジアとヨーロッパのはざま

合計36単位以上＋日本語教育の現在^{*3}2単位または実習に関わる学修項目1つ以上

- * 1 2018年度以前入学生は「日本語の歴史」を必修科目とすることも可とする。
- * 2 2021年度までに「言語学」を履修した場合はそれを対象とする。
- * 3 2018年度までに「フィールドワークの実践3」を履修した場合はそれを対象とする。
また、2023年度までに「日本語教育実践研究」を履修した場合はそれを対象とする。
- * 4 「日本語教育の現在」が開講されている年度は「日本語教育の現在」を履修してください。

中国語の実践的な力を養いたいと望む学生が、効果的に学べるよう、このプログラムを設置します。言語文化への深い理解に基づいた中国語の力を持つ人材を育成したいと考えます。

〈認定に必要な科目〉 は旧科目です

科目群Ⅰ：中国語の運用能力を鍛える科目（12単位以上）

中国語中級 中国語留学 中国語のしくみ 中国語コミュニケーション1・2 中国語で楽しむ

中国の詩歌を読む 中国語を学ぶ1・2

中国語で語る1・2 中国語文章表現1・2 中国語Z1（短期語学留学）

中国語M 中国語H

科目群Ⅱ：中国の言語文化に関する科目（4単位以上）

中国語とその世界 中国古典のこぼれ1・2 中国のファンタジー

中国のユートピア文学 中国の映像文化 中国芸能の世界 中国文学との対話

中国の歴史と文化 中国語学序論1・2

中国文学序論1・2

科目群Ⅲ：中国語実習に関わる科目（1科目以上）

①中国語圏へのフィールドワークとその成果の報告

②中国語圏への研修旅行とそれをふまえた小論文

③中国語圏への短期・長期留学とその成果の報告

④通訳や翻訳での一定の業績

⑤一般の中国語能力試験での一定水準の達成（中国語検定試験、HSKで3級以上など）

⑥中国語に関する卒業論文

合計 科目群Ⅰと科目群Ⅱで20単位＋科目群Ⅲ1科目以上

（1）科目群Ⅲ提出資料

①②③報告書・小論文を2000字以上

④業績を証明するもの

⑤検定試験結果の通知書の写し（通知書が届いていない場合は受験番号が確認できる書類の写し）

⑥卒論提出時の受領書の写し（但し卒論不合格の場合にはプログラムの認定はされません）

3) 英語研修プログラム

〈認定に必要な科目〉

(2) 科目群Ⅲ提出先及び締め切り

教学支援課に、前期・後期各授業最終日までに提出すること

英語の実践的な力を養いたいと望む学生が、効果的に学べるよう、このプログラムを設置します。言語文化への深い理解に基づいた英語の力を持つ人材を育成したいと考えます。

〈認定に必要な科目〉 英語を学ぶ6 は旧科目です

科目群Ⅰ：英語の運用能力を鍛える科目（16単位以上）

英語を学ぶ1～4 英語を学ぶ6 英語で語る1～4 英語で楽しむ1・2
英語文章表現1・2 英語中級（外国語科目・中級） 英語上級（外国語科目・上級）
英語文学との対話1 英語詩精読*¹ 英語M 英語H

科目群Ⅱ：英語の言語文化に関連する科目（4単位以上）

英語学序論1・2 英語の歴史 英語の歴史1 音声学1・2 英米文学序論1・2
英語詩精読*²

科目群Ⅲ：英語実習に関わる科目（1科目以上）

- ①英語圏へのフィールドワーク
- ②英語圏への研修旅行とそれをふまえた小論文
- ③英語圏への短期・長期留学とその成果の報告
- ④通訳や翻訳での一定の業績
- ⑤英語に関する卒業論文
- ⑥一般の英語能力試験での一定水準の達成（TOEIC600点以上、英検で準1級以上等）

合計 20単位+科目群Ⅲ 1科目以上

以下の資料を前期・後期各授業最終日までに教学支援課に提出すること。

- ①②③報告書・小論文を2000字以上
- ④ 業績を証明するもの
- ⑤ 卒論提出時の受領表（但し卒論不合格の場合にはプログラムの認定はされません。）
- ⑥ 検定試験結果の通知書

* 1 2020年度以前入学生は「英語詩精読」を科目群Ⅰの科目とする。

* 2 2021年度以降入学生は「英語詩精読」を科目群Ⅱの科目とする。

4) 小学校英語指導プログラム

このプログラムでは、小学校で英語を使った活動ができる指導力を身につけることを目標とします。英語による歌やゲームだけでなく、英語を聞いたり話したりしながら異文化に触れる活動を組むノウハウなどを学んでいきます。

なお、このプログラムは2016年度以前入学生のみ対象となりますので、該当の学生は、個別に相談してください。

共通教養課程

共通教養科目について

一般教育の歴史

和光大学の 共通教養教育

日本の教育体系では、高等学校までの基礎的な教育に対して、大学の教育では、専門的知識を提供するとともに、自分や自分のまわりに眼を向け、広い視野と深い思考とを持つ人間を育てることが期待されている。和光大学では、このような立場に立って専門科目とともに共通教養科目を置いている。この両者は、ともに結びついて大学教育をつくり上げるというのが和光大学における基本的な考え方である。

この共通教養科目という呼び名は、1995年度の新入生から適用されるようになった。それまでは一般教育と呼ばれてきた。1991年7月に「大学設置基準」が改訂され、専門教育と一般教育との区分を立てるというそれまでの基準が撤廃された。しかし、和光大学では、従来の一般教育は大学教育の中で今後も重要な意味を持つという認識に立って、これを残すこととした。

そこで共通教養科目の説明に入るが、その前に一般教育の歴史、とくに和光大学における一般教育の歴史について説明することとする。

一般教育とは何か、を明らかにするには、その歴史を簡略にたどるのがよいだろう。日本では、第2次大戦後の学制改革で、初めて大学に一般教育がおかれた。

戦前の学校でこれに近いものといえば、旧制高校の教育である。そこでは学生たちが語学・哲学・スポーツなどを中心に学んで、大いに青春を謳歌した。しかしそれはごく少数のエリートを他の人びとと違う人間に育てあげるための、つまりはギリシア貴族の教養教育の流れをくむ、リベラルアーツというべき教育だった。第2次大戦後の新制大学に設けられた一般教育は、大学の学生を対象とする市民教育で、ジェネラルエデュケーションと呼ばれる。現代社会に積極的に参加してその前進に貢献しようとするよき市民を育てることを、第一の目標としていた。

その一方で、戦後日本の大学人の中には、旧制大学でのアカデミックな学問研究が、戦争を止め得なかったばかりかそれに加担しさえした事実を厳しく自省して、研究者は常に自分の研究の持つ社会的責任を自覚しなければならない、と考える人々がいた。また、戦後に制定された新憲法がめざす恒久平和と人権尊重の世界を実現するためには、一人でも多くの人がそうした事柄を学んで、考え行動し得るようになる必要がある。この二つの条件が、戦後日本の新しい大学に、一般教育を位置づける要因となった。これは、前に述べたリベラルアーツ、ジェネラルエデュケーションのどちらとも違う、第三の一般教育といっているものである。

しかし残念なことに、こうした一般教育の理念はあまり理解されず、多くの大学では、一般教育は厄介物扱いされた。高校までのやき直しやおどろきな入門・概論で新入生を一、二年足ぶみさせる結果を生んだ。戦後約20年たって、和光大学がスタートしたとき、当時の梅根悟学長以下当事者は、このように一般教育が空洞化した現実を克服することが、ぜひ必要と考えた。そこで、和光大学では、一般教育を望ましい大学の重要な一面として重視することを、はっきりと表明したのである。

初代の梅根悟学長は、大学史を研究する教育学者で、彼の一般教育重視には学問的根拠があった。12～13世紀ごろヨーロッパで始まった大学の原型は、物事を根本から見、考えようとする学者と学生が、新しい学問を求めて出会った小さな集団であった。だから、彼らは常に、時の権力者である教会や政府に迫害され続けながら、自由の小さな灯を守った。「世界の大学が大学としての存在を守るために苦闘し、たたかってきた歴史は、まさに一般教養を守るためのたたかいであった」「将来どんな専門分野に進もうとしている学生も、そこで高度の総合的な教養をうけるようになっていく……そのことが可能であるなら、専門学部としては一学部しか持っていなくてもユニヴァーシティでありうる」と、梅根は書いている。

「和光大学の教育方針」では、このような意味での一般教育を重視してゆくために、いくつかの「措置」が提案されている。(1)全専任教員が交代で担当すること、(2)4年間を通じて学ぶ方式、(3)概論風、入門風の知識の注入に走ったりすることを避け、むしろ具体的な問題に即しつつ、学問的アプローチによって現代の動向を解明し、それへの関心を喚起することに重点をおくこと、などである。これらはすべて、上に述べてきたような一般教育の基本理念に基づき、日本の大学の現状に対するアンチテーゼとして打ち出されたものである。そしてその後現在に至るまで、実現への努力が続けられてきた。例えば、梅根学長自身もそうであったが、老大家の教授も一般教育を受け持つことが慣例になり、一つのテーマや現代的な課題自体を一般教育の科目名とするという方法もとられた。

和光大学の共通教養科目は、以上のような一般教育の歴史を背景に成立した。

共通教養科目の カリキュラムと 学習の仕方、履 修基準

ここで特に強調しておきたいのは、共通教養教育の目的は、社会で生きていくうえで必要な基礎的人間力を育てる点にある、ということである。つまり、共通教養教育は人間教育という意味をもっているのである。皆さんは、「自分」から出発しながらも、人間として生きていくためには、いま人々がどのような状況におかれ、どんな方向に向かおうとしているのかを知っておかなければならない。それは、人間の生きている環境、人間の生き方を規定している生理学的システムや生態の認識にはじまり、人間が生きるために作り出すさまざまな技術やそれに伴って生み出される文化について、一定の理論でまとめあげられた科学の体系的な認識をもつことである。このことを通じて、自ら考え判断し行動する能力を養うこと、ひいてはどんな社会や世界をつくり出すのかを考えていくこと。この点に、共通教養教育(あるいは人間教育)の究極的な目的がある。かつての保健体育が「スポーツ文化」の科目名を得て、他の講義科目同様に共通教養カリキュラムで重要な位置を占めているのも、こうした考えに基づいている。

2018年度から、共通教養科目の授業一覧表(カリキュラムに準じる)は従来のものから大幅に変わった。それ以降に入学した皆さんは、以前の入学生向けのカリキュラムについて知らなくてもよいわけだが、和光大学の教養教育がそのときどのような「進化」を経たかを知ることには、皆さんが共通教養科目の履修計画を立てる上でも参考になるはずである。以下の記述に注意深く目を通してほしい。

2003年度以前に入学した皆さんの先輩たちは、共通教養科目に二つの科目群を持っていた。主として1、2年次に履修する「問題の認識」という科目群と、主として3、4年次に履修する「現代の課題」という科目群のことである。前者から16単位、後者から8単位を履修しなければならなかった。2004年度からは全ての共通教養科目を九つの領域に分類して、その中から自由に選んで履修し、単位を取ることができるようにした。和光大学の教学上の大きな特色である「学生の学習の自由」を最大限に尊重するためである。2018年度の改定では、本学の共通教養課程が目指すものを明確にするために三つの科目群に整理した。

和光大学では他学部他学科の科目を自由に履修して、卒業単位に当てることができ、所属学科の専門分野に限定されない、和光大学特有の総合的知性教育を支える基盤となっている。単に多分野の多様な科目を履修するということを教養教育と考える大学もあるかも知れない。しかし和光大学の共通教養課程は、こうした多様な分野を広く学ぶことに加えて、それに止まらない深い人間教育を目指している。

そこで、本学の共通教養課程では梅根悟初代学長が論じた一般教育の三つの目的をもとに、共通教養課程科目を「創造的知性の触発」「批判能力の醸成」「世界観の形成」の三つのグループに大別し、より学習目標を明確化した。もちろん、これらの分類名はひとつの目安であって、各授業がもたらす効果はそれだけに限定されるわけではない。例えば「創造的知性の触発」に分類された科目も、批判的能力や世界観形成ももたらすであろうし、履修する学生個々人の多様な捉え方によって違った学習成果をもたらすであろう。しかし、本学の共通教養課程の学習目的は単に「広く学ぶ」ことだけにとどまるのではないことを、これらの科目分類から深く理解して、学習計画を立ててほしい。

ここで重要なことが二つある。

第一は、すべての学生が、所属する学科・学年の卒業要件に基づき、卒業するまでに20単位(または24単位以上)の共通教養科目を修得しなければならないということである。通年履修で4単位の科目、前期・後期ごとの2単位の科目(一部は1単位または3単位の科目もある)など授業形態と単位数にはいくつかのパターンがある。いずれにせよ学生は、自らの選ぶ科目の組合せによって4年間で20単位以上(または24単位以上)を修得しなければならない。これは全学部、全学科の学生に共通する義務である。

第二は、上記の共通教養科目の修得は1年次から4年次まで分けて行うことが和光大学の伝統であり、誇りであるということだ。「教養科目だから(専門科目ではないから)1、2年次で20単位ないしは、24単位全部を取ってしまう」という態度は望ましくないという考え方を、本学は一貫して追求してきた。それは、専門科目の知見をさらに深め、視野を広く世界に向けるためにも、ぜひ必要なことである。逆に言うならば、1年次においては共通教養科目の修得を多くても計12単位程度に留めることが望ましいと考えてほしい。単位をむやみに多く集めても役には立たない。一つ一つの授業を大切にす精神こそ、大学生活を充実させるカギである。

2024年度共通教養課程授業一覧表の構成

共通教養課程授業一覧は、次の三つの領域に分かれています。詳しくは表を参照してください。
(前後期に分けて開講される同一名称科目は、A/B等の表示を省いています。以下の表では2024年度休講科目も含んでいます)

創造的知性の触発	地域デザイン／タウンマネジメント／教育の考古学／子どものための歴史／テーマ講義／現代の日本語 現代の編集と出版／20世紀文化論／サブカルチャーで学ぶ現代史／文学の創造性／西洋演劇の世界／数で読む世界／哲学史／心の不安と宗教／子ども理解と学校づくり／子どもとくらし／「子ども学」から見る教育・子ども・文化／人間形成の社会史／身体性認知科学／ソーシャルワークと生活／生活のなかのデザイン／くらしとデザイン／ユーラシアの歴史／情報基礎科学／コンピューターを学ぶ／短歌づくりを楽しむ／俳句づくりを楽しむ／連句づくりを楽しむ／江戸・東京を歩く／音と楽器のミソゾク学／身体表現論／手話の世界／点字の世界／身体表現とパフォーマンス／クリエイティブ・ダンス／スポーツ文化
批判能力の醸成	性とジェンダー／セクシュアル・マイノリティのこころと支え／国際社会とスポーツ／反発達論／現代社会と文学／現代社会を読み解く／メディアから読みとく社会／メディアと感情／現代思想の地平／精神分析の地平／映像表現の地平／視覚芸術表現の世界／青年心理学／沖縄の歴史／日本近代のもたらしたもの／海外留学の歴史／不登校問題を考える／環境と食糧／法と人権／法令の読み方入門／現代社会と憲法／法と社会の諸問題／現代世界が直面する諸課題と国際社会の対応／情報と現代／キャリアデザイン／キャリア発達論「親になること」とは／子どもの育ちと保育者／子どもの法と心理学／自殺学／発達障がいと大学／日常からの科学論／文化・芸術と経済／人づきあいのスキル／共生社会とスポーツ／地域文化と身体教育／健康づくりとトレーニング／健康づくりとボディワーク
世界観の形成	和光大学とフィールドワーク／大学マネジメント論／フィールドで学ぶ地域社会／里山保全の理論／里山保全の実際／アジアの文化とことば／自然環境を詠む／アジアとはなにか／歴史と遺跡／火と人間の文化史／動物と人間の関係史／ギリシア神話を読む／イメージの歴史／企業と人間／グローバル化する現代の世界と経済／天文学／科学技術の営みと世界観／フィールドで学ぶ足もとの自然／沖縄の自然／流域を知る／循環型社会［科学技術とイデオロギ－］／基礎から学ぶ原発・エネルギー論／生物の多様性／動物行動学／先端科学と私たちの社会／科学技術社会論／地球環境問題の科学／疫学とは何か／疫学に学ぶ／エスノグラフィーの世界／自然活動／理科を楽しむ／理科を苦手とする人のための理科／身体のはたらき／アジアの身体

共通教養科目履修についての原則

・所属している学科・学年の卒業要件に基づき、卒業するまでに20単位（または24単位）以上修得すること。
なお、1年次から4年次まで分けて履修することが望ましい。また、1年次においては、共通教養科目の履修単位を計12単位程度に留めることが望ましい。

・学修の手びきの「授業一覧表」で、「重複履修」、「種別」、「履修可能学年」など、自分が履修できる授業なのかを確認してから登録すること。

特に「重複履修」は、スポーツ科目などの一部授業を除き、原則「重複履修×」であるため、一度履修した授業の履修登録はできない。

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜時・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
								1 年	2 年	3 年	4 年			
↑ A 創 造 的 知 性 の 触 発 ↓ 共通教養	1001	地域デザインA	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	小林 猛久 岩本 陽児 山口 理沙	○	「地域デザインB」も履修することが望ましい、履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1002	地域デザインB	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	小林 猛久 岩本 陽児 山口 理沙	○	「地域デザインA」を履修していることが望ましい。履修希望者は和光 ポータル の指示に従うこと
	1003	タウンマネジメントA	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	小林 猛久 大橋 さつき	○	「タウンマネジメントB」も履修することが望ましい、履修希望者は和 光ポータル の指示に従うこと
	1004	タウンマネジメントB	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	小林 猛久 大橋 さつき	○	「タウンマネジメントA」を履修していることが望ましい。履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	-	教育の考古学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
	-	子どものための歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
	1005	テーマ講義1[食]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀 上野 俊哉 加藤 巖 馬場 淳 野中 浩一 パンパン ルディアント	○	テーマ「食」
	1006	テーマ講義2[身体]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	大橋 さつき 馬場 淳 野中 浩一 米田 幸弘 原田 尚幸 大西 公恵 菅野 恵 加藤 巖 長尾 洋子 君島 彩子	○	テーマ「身体」
	1007	テーマ講義3[和光出身の表現者たち]	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	田村 景子 角尾 宣信 西田 桐子	○	テーマ「和光出身の表現者たち」
	1008	テーマ講義4[装うということ]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	田村 景子 打越 正行 大橋 さつき 小林 猛久 阿部 明子 坂井 弘紀 上野 俊哉 半田 滋男 佐藤 勲 加藤 巖 山口 理沙	○	テーマ「装うということ」
	1009	テーマ講義5[外国語で話す日本事情・世界事情]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	上野 俊哉 パンパン ルディアント 大野 幸子	○	テーマ「外国語で話す日本事情・世界事情」

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「－」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
共通教養	↑ A 創造的知性の 開発 ↓	1010 現代の日本語	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	荻宿 紀子	×	隔年開講
		1011 現代の編集と出版	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	野々村 文宏	×	
		1012 20世紀文化論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	
		1013 サブカルチャーで学ぶ現代史	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	
		1014 文学の創造性	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	×	
		1015 西洋演劇の世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	中田 崇	×	
		1016 数で読む世界A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	正田 良	×	
		1017 数で読む世界B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	正田 良	×	
		1018 哲学史A	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	高村 夏輝	×	
		1019 哲学史B	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	高村 夏輝	×	
		1020 心の不安と宗教A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	金子 奈央	×	
		1021 心の不安と宗教B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	金子 奈央	×	
		1022 子ども理解と学校づくり	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	富樫 千紘	×	
		- 子どもとくらし	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1023 「子ども学」から見る教育・子ども・文化	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	2024年度新規科目
		- 人間形成の社会史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1024 身体性認知科学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	
		- ソーシャルワークと生活	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1025 生活のなかのデザイン	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	高橋 啓祐	×	「生活のなかのデザインA」より 科目名変更
		- くらしとデザイン	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、「生活のなかのデ ザインB」より科目名変更
		1026 ユーラシアの歴史	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀	×	
		1027 情報基礎科学A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	川本 弥希	×	
		1028 情報基礎科学B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	川本 弥希	×	
		※「コンピューターを学ぶ」は1年に1科目しか履修できません。												
		1029 コンピューターを学ぶ1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	立野 貴之	×	初級
		1030 コンピューターを学ぶ2	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	石橋 健一	×	初級
		1031 コンピューターを学ぶ3	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	佐藤 実	×	初級
		1032 コンピューターを学ぶ4	2	人数制限 (抽選)	—	前期	時間割外	1	2	3	4	橋本 正樹	×	中級
		1033 コンピューターを学ぶ5	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	川本 弥希	×	中級
		1034 コンピューターを学ぶ6	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	石橋 健一	×	上級
		- 短歌づくりを楽しむ	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、隔年開講

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「－」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
共通教養 A創造的知性の 触発	1035	俳句づくりを楽しむ	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	太谷 弘至	○	隔年開講
	1036	連句づくりを楽しむ	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	稲葉 有祐	×	隔年開講
	1037	江戸／東京を歩く	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	田村 景子 中田 崇 稲葉 有祐	×	2024年度新規科目
	1038	音と楽器のミソゾク学	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	関根 秀樹	×	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1039	身体表現論	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	大橋 さつき	×	
	1040	手話の世界	4	許可	—	通年	—	1	2	3	4	狩野 桂子	×	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1041	点字の世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	田辺 淳也	×	
	1042	身体表現とパフォーマンス1	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	大橋 さつき	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1043	身体表現とパフォーマンス2	4	許可	—	後期 (2コマ)	—	1	2	3	4	大橋 さつき	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	-	クリエイティブ・ダンス1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
	-	クリエイティブ・ダンス2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
	1044	スポーツ文化（テニス1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	星野 実	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1045	スポーツ文化（テニス2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	星野 実	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1046	スポーツ文化（卓球1）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1047	スポーツ文化（卓球2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	馬場 徳文	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1048	スポーツ文化（卓球3）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	松尾 誠	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1049	スポーツ文化（バレーボール1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1050	スポーツ文化（バレーボール2）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	制野 俊弘	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1051	スポーツ文化（バレーボール3）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	青山 慎一郎	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1052	スポーツ文化（バレーボール4）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	佐藤 国正	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1053	スポーツ文化（バスケットボール1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	原田 尚幸	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1054	スポーツ文化（バスケットボール2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	原田 尚幸	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1055	スポーツ文化（バドミントン1）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1056	スポーツ文化（バドミントン2）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	馬場 徳文	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1057	スポーツ文化（バドミントン3）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	馬場 徳文	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1058	スポーツ文化（サッカー1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	増山 舜	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1059	スポーツ文化（サッカー2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	増山 舜	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1060	スポーツ文化（フットサル1）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	増山 舜	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1061	スポーツ文化（フットサル2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	馬場 徳文	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「－」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
共通教養	↑ A 創造的知性の 触発	1062 スポーツ文化（ゴルフ1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	福田 徳康	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1063 スポーツ文化（ゴルフ2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	福田 徳康	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1064 スポーツ文化（フィットネス1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	三辻 浩子	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1065 スポーツ文化（フィットネス2）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	三辻 浩子	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1066 スポーツ文化（障がい者スポーツ1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	宮田 理	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1067 スポーツ文化（障がい者スポーツ2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	宮田 理	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1068 スポーツ文化（スポーツレクリエーション1）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	原田 尚幸	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1069 スポーツ文化（スポーツレクリエーション2）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	原田 尚幸	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		1070 スポーツ文化（ボルダリング）	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	中嶋 拓哉	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
	↓ B 批判能力の 醸成	1101 性とジェンダーA	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	上谷 香陽	×	
		- 性とジェンダーB	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		1102 セクシュアル・マイノリティの こころと支え	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小松 賢亮	×	
		- 国際社会とスポーツ	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		- 反発達論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		- 現代社会と文学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		1103 現代社会を読み解く	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	打越 正行	○	
		メディアから読みとく社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		- メディアと感情	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1104 現代思想の地平	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	上野 俊哉	○	
		- 精神分析の地平	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		- 映像表現の地平A	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、隔年開講「映像表現の地平」より科目名変更
		1105 映像表現の地平B	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	隔年開講、「映像表現の地平」より科目名変更
		1106 視覚芸術表現の世界	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	大坪 晶	×	2024年度新規科目
		1107 青年心理学(自己編)	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	高坂 康雅	×	隔年開講
		- 青年心理学(対人編)	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1108 沖縄の歴史	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	山下 靖子	×	
		- 日本近代のもたらしたもののA	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1109 日本近代のもたらしたもののB	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	森 元斎	×	
		- 海外留学の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1110 環境と食糧	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	清水 雅貴	×	
		1111 法と人権 (日本国憲法2単位を含む)	4	なし	—	通年	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「－」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
共通教養 批判能力の醸成	1112	法令の読み方入門	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 正典	×	
	1113	現代社会と憲法 (日本国憲法2単位を含む)	4	なし	—	通年	—	1	2	3	4	山崎 英壽	×	
	1114	法と社会の諸問題A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小出 幸祐	×	
	1115	法と社会の諸問題B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小出 幸祐	×	
	1116	不登校問題を考える	2	人数制限 (抽選)	—	前期	時間割外	1	2	3	4	山本 由美	×	
	1117	現代世界が直面する諸課題と 国際社会の対応A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	
	1118	現代世界が直面する諸課題と 国際社会の対応B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	
	1119	情報と現代	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	杉本 昌昭	×	
	1120	キャリアデザインA	2	許可	—	前期	—	—	—	3	4	宮内 正臣	×	
	1121	キャリアデザインB	2	許可	—	後期	—	1	2	—	—	宮内 正臣	×	
	1122	キャリア発達論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	心理教育学科目から課程変更
	1123	「親になること」とは	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	韓 仁愛	×	
	-	子どもの育ちと保育者	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	「保育実践と保育者の専門性」より科目名変更、2024年度休講
	-	子どもの法と心理学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
	1124	自殺学	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	末木 新	×	「自殺予防の心理学」より科目名変更
	1125	発達障がいと大学	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	常田 秀子	○	
	1126	日常からの科学論A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	藤木 文彦	×	「日常を科学するA」より科目名変更
	1127	日常からの科学論B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	吉田 真史	×	「日常を科学するB」より科目名変更
	1128	文化・芸術と経済A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	三浦 留美	×	
	1129	文化・芸術と経済B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	三浦 留美	×	
	1130	人づきあいのスキル	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	菅野 恵	×	「対人支援・援助の心理学」より科目名変更
	1131	共生社会とスポーツA (スポーツとジェンダー)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	野口 亜弥	×	
	1132	共生社会とスポーツB (スポーツと障がい者)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	宮田 理	×	
	1133	地域文化と身体教育A	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	制野 俊弘	○	
	-	地域文化と身体教育B	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
	1137	健康づくりとトレーニングA	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	丸山 伸也	○	
	1134	健康づくりとトレーニングB	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	丸山 伸也	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1135	健康づくりとボディーワークA	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	本永 直子	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと
	1136	健康づくりとボディーワークB	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	本永 直子	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜時・教室で、対面にて履修者を決定します。
注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年			
↑ C 世界観の形成 ↓ 共通教養	1201	和光大学とフィールドワーク	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	杉本 昌昭 打越 正行 坂井 弘紀 半田 滋男 加藤 巖 岩本 陽児	×	
	1202	大学マネジメント論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	杉本 昌昭	○	
	1203	フィールドで学ぶ地域社会Ⅰ	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	岩本 陽児 馬場 淳 加藤 巖 バンバン ルディアント 岩見 昌邦	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
	1204	フィールドで学ぶ地域社会Ⅱ	3	許可	—	FW+後期	—	1	2	3	4	岩本 陽児 馬場 淳 加藤 巖 バンバン ルディアント 岩見 昌邦	○	「フィールドで学ぶ地域社会Ⅰ」修得者のみ履修可
	1205	里山保全の理論	2	なし	—	前期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	
	1206	里山保全の実践	2	条件付	—	後期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	「里山保全の理論」修得者のみ履修可
	1207	アジアの文化とことば	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	バンバン ルディアント 鈴木 岩行 加藤 巖 坂井 弘紀 馬場 淳	×	「東南アジアの文化とことば」より科目名変更
	-	自然環境を詠む	2	—	—	—	—	1	2	3	4		×	2024年度休講
	-	アジアとはなにか	2	—	—	—	—	1	2	3	4		×	2024年度休講
	1208	歴史と遺跡	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	石倉 敏明	×	隔年開講
	1209	火と人間の文化史	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	関根 秀樹	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
	-	動物と人間の関係史	2	—	—	—	—	1	2	3	4		×	2024年度休講
	-	ギリシア神話を読む	2	—	—	—	—	1	2	3	—		×	2024年度休講
	1210	イメージの歴史	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	
	1211	企業と人間	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	平井 宏典	×	
	1212	グローバル化する現代の世界と経済	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	経済学科専任教員	×	
	1213	天文学A（太陽系の科学）	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	内田 俊郎	×	
	1214	天文学B（恒星の科学）	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	内田 俊郎	×	
	1215	科学技術の営みと世界観	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小山 俊士	×	
	1216	フィールドで学ぶ足もとの自然	2	許可	—	前期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	白井 剛	×	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
	1217	沖縄の自然	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	安部 真理子	×	
	1218	流域を知る	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 範和	×	

2024年度 共通教養課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン（動画配信または資料配信）で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注5) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
共通教養	↑ C 世界観の形成 ↓	1219 循環型社会[科学技術とイデオロギー]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	向井 宏一郎	×	「循環型社会」より科目授業名変更
		1220 基礎から学ぶ原発・エネルギー論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	向井 宏一郎	×	「ソフトバスエネルギー」から科目名変更
		- 生物の多様性A	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、身体環境共生学科科目より課程変更
		- 生物の多様性B	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、身体環境共生学科科目より課程変更
		1221 生物の多様性C	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	
		1222 動物行動学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	
		- 先端科学と私たちの社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		- 科学技術社会論A	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		- 科学技術社会論B	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講
		1223 地球環境問題の科学A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	
		1224 地球環境問題の科学B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	
		1225 疫学とは何か	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	野中 浩一	×	
		- 疫学に学ぶ	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	2024年度休講、隔年開講
		1226 エスノグラフィーの世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	
		- 自然活動A（キャンプ・トレッキング）	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		- 自然活動B（クライミング）	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		- 自然活動C（ダイビング1）	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		- 自然活動D（ダイビング2）	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	2024年度休講
		1227 理科を楽しむ（物理・化学）	4	許可	—	前期 (2コマ)	—	1	2	3	4	山村 紳一郎	×	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		- 理科を楽しむ（生物）	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	2024年度休講、隔年開講
		1228 理科を苦手とする人のための理科	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	五十嵐 敏文	×	2024年度新規科目
		1229 身体のはたらき	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	野中 浩一	×	身体環境共生学科科目から課程変更、隔年開講
		1230 アジアの身体（ネパールの民族芸能）	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	岡本 有子	×	
		1231 アジアの身体（日本文化と舞踊）	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	宅野 真理子	○	

外国語課程

外国語科目の カリキュラムと 学習のしかた

英語

【履修上の注意】

大学における外国語の授業は、実用的な技術の修得を目的とすると同時に、多様な言語を通してさまざまな思想、文化、生活に接する場でもある。目的意識を持って外国語の学修に真剣に取り組むことにより、自らの思想、文化、生活に反省を加え、新しい価値を見出すことができるはずである。本学では、9種類の言語の授業が開講されている。自分の問題意識や関心あるいは専門研究での必要性など、さまざまな観点から慎重に外国語を選択し、充実した時間をつくりだしてほしい。

1つの言語で4単位を修得することが卒業要件となる。4単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目」に充当される。卒業要件については、各学科のページを参照のこと。

1. 登録授業数の上限は、1年間に4科目4単位まで（ただし英語留学はここに含めない）。
2. 英語を第一言語とする学生は、英語を履修することができない。
3. 授業名の数字はクラス番号であり、習熟度と関係はない。

4. クラス編成

英語A、B （1年次生対象） 定員30～45名。

英語プレイスメントテストの結果に基づいて、指定された授業のみを履修することができる。授業名の数字が同じである前期授業Aと後期授業Bを必ず同時に履修すること。

英語初級A、B （2年次生対象） 定員45名。

抽選授業。抽選申請期間に必ず申請を行うこと。

授業名の数字が同じである前期授業Aと後期授業Bを必ず同時に履修すること。

英語中級A、B （2～4年次生対象） 定員45名。ただし、会話科目は定員35名。

抽選授業。抽選申請期間に必ず申請を行うこと。

英語上級A、B （2～4年次生対象） 定員30名。

抽選授業。抽選申請期間に必ず申請を行うこと。

【授業内容】

英語A、B

英語プレイスメントテストを受験した1年次生を対象に、少人数の指定クラス制で習熟度に応じた授業を行う。英語に対する苦手意識を取り除いて基礎力を充実させること、あるいは基礎力を発展させて確かな運用力を養成することを目的とする。

英語初級A、B

2年次生のみ履修可。英語の基礎力を定着させ、さらにその力を発展させることを目的とする。1年次に英語を履修できなかった学生、また1年次で卒業要件4単位を満たすことができなかった学生の履修を想定している。

英語中級A、B

基礎的な英語力がある学生を対象とする。基礎力を伸ばし、総合的な運用力を身につけることを目的とする。

英語上級A、B

中級以上の英語力がある学生を対象とする。会話型の授業で、総合的な運用力をさらに向上させることを目的とする。

英語留学

短期語学留学制度による英語圏の語学教育施設での夏期または春期の集中授業。内容についてはシラバスや説明会で確認すること。

※ P61「短期語学留学制度」参照。

中国語 朝鮮語 フランス語
ドイツ語 ロシア語
イタリア語 スペイン語

【履修上の注意】

1. 授業によって単位数が異なるので授業一覧表にて単位数を確認すること。
2. 初級以上の学力があると認められる学生は、中級または上級から履修を始めることができるので、教学支援課に問い合わせること。
3. 各外国語を第一言語とする学生は、その外国語を履修することができない。
4. 定員は45名。
5. 同じ年度に複数の外国語を履修することができる。

初級授業について

1. 初級は週2コマ授業となっている。1コマのみの履修はできないので注意。
2. それぞれの外国語の初級前期は抽選授業のため、抽選申請期間に必ず申請を行うこと。
3. それぞれの外国語の初級後期を履修するためには、その外国語の初級前期（2単位）を修得済でなければならない。初級後期は「条件付」授業のため、前期履修登録期間または後期履修訂正期間に自身で履修登録を行うこと。前期履修登録期間に初級後期を履修登録していても、初級前期を修得できていないと、初級後期は履修できない。
4. それぞれの外国語の初級は、前期2単位・後期2単位（ドイツ語初級A B 1は前期4単位）を超えて履修・修得することはできない。
※正しい例）中国語初級A 1と中国語初級B 1を履修・修得
※間違った例）中国語初級A 1と中国語初級A 2を履修・修得
5. 中級以上の単位を修得した者は、同じ外国語の初級を履修することはできない。

中級授業について

それぞれの外国語の中級を履修するためには、その外国語の初級4単位を修得済でなければならない。

上級授業について

それぞれの外国語の上級を履修するためには、その外国語の初級4単位を修得済でなければならない。なお、中級授業と上級授業は同時に履修することができる。

【授業内容】

中国語初級A、B

中国語を初めて学ぶ人を対象に、段階的にゆっくり発音と文法の基礎を学ぶ授業。

中国語中級A、B

初級で学んだ基礎的な文法の復習をしながら総合的な力をつけていく授業。

中国語留学

短期語学留学制度による、中国語圏の大学・語学教育施設での夏期または春期の集中授業。内容についてはシラバスや説明会で確認すること。

※ P61「短期語学留学制度」参照。

朝鮮語初級A、B

朝鮮語を初めて学ぶ人を対象に、文字と発音を習得し基礎文法を学ぶ授業。

朝鮮語中級A、B

初級で学んだ基礎を土台として、基礎的な文法知識を固め、多様な表現能力を身につけていく授業。

朝鮮語上級A、B

朝鮮語を自由に駆使できるようになることを目標に、朝鮮語の理解能力、朝鮮語による表現能力を高めていく授業。

フランス語初級A、B

「読み」「書き」「聞き」「話す」総合的な力を身につける授業。フランス、およびヨーロッパの文化にも関心を持ってもらいたい。

フランス語中級A、B

初級で学んだ文法を復習し読む力をつける授業。

日本語

【対象】

【履修上の注意】

【授業内容】

ドイツ語初級A・B、A、B

発音と「読み」「書き」の練習をしながら文法の基礎を学ぶ授業。

ドイツ語中級A、B

文法を復習し読む力をつける授業。

ドイツ語留学

短期語学留学制度による、ドイツ語圏の語学教育施設での夏期または春期の集中授業。内容についてはシラバスや説明会で確認すること。

※ P61「短期語学留学制度」参照。

ロシア語初級A、B

文法から学び、初級文法の基礎固めを目的とする授業。

ロシア語中級A、B

初級文法の完成と、特に「読む」「書く」力を訓練する授業。

イタリア語初級A、B

アルファベットから、発音、初級文法を習得しつつ、簡単な日常会話を身につけていく授業。

イタリア語中級A、B

初級文法を復習して、中級の文法と日常会話を習得していく授業。

スペイン語初級A、B

アルファベット、発音、初級文法、簡単な会話を教科書を基に学習し、先ずスペイン語に馴れることを主眼とする授業。

スペイン語中級A、B

初級文法で未習の項目を習得し、「読む・聞く・話す」力をバランスよくつける授業。

留学生対象

（留学生ではないが、日本語を第一言語としない学生は履修できる。）

1. あらかじめ指定された授業を履修することができる。
（1年次生） 日本語中級A 1・B 1とA 2・B 2
（2～4年次生）前年度までの日本語の単位修得状況に応じて指定された授業。
2. 指定された授業名の数字が同じである前期授業Aと後期授業Bを必ず同時に履修すること。
3. 日本語上級は、日本語能力試験N 1を取得済程度の者でなければ履修できない。
4. 日本語中級A 1・B 1とA 2・B 2、また、日本語上級A 1・B 1とA 2・B 2は同時に履修することが望ましい。

次の学生は、新年度に和光ポータルから配信される「外国語履修手続き方法について」をよく読んで手続きを行うこと。

- ・留学生ではないが日本語を第一言語としない学生で、日本語を履修したい場合
- ・指定された日本語の授業の履修を望まない場合
- ・日本語上級を履修したいが、日本語上級を指定されなかった場合

日本語中級A、B

「聞く」「話す」「読む」「書く」の各技能の連携を図り、総合的な日本語能力の基礎を身につける授業。

日本語上級A、B

「聞く」「話す」「読む」「書く」の各技能の連携を図り、総合的な日本語能力の向上を目指す授業。

短期語学留学制度

【短期語学留学制度とは】

【参加資格】

夏期または春期休業期間中の約1ヵ月間、現地施設で「英語」「中国語」「ドイツ語」を学ぶ。現地での学修を終えると、外国語の卒業要件の4単位として認定される。

和光大学学部生（1～4年次生）対象

注意

- ①英語留学は1年次より履修可。
- ②中国語留学は中国語の初級4単位を修得済みのこと。
- ③ドイツ語留学はドイツ語の初級4単位を修得済みのこと。
- ④4年次生は、3年次までに卒業要件の外国語単位を修得済みのこと。4年次生の参加は夏期のみ可能であり、春期の留学は選択できない。

【概要】

本学が適当と認めたプログラムを有する大学・施設において学ぶことによって、単位認定を行う。現地施設において、能力別クラスが編成され、本学以外の学生、日本以外の国からの参加者とともに学ぶ。参加を希望するものは、4月はじめに行われる短期語学留学説明会に出席の上、「英語留学」「中国語留学」「ドイツ語留学」の授業を履修すること（詳細は和光ポータルでお知らせします）。

2024年度は「英語留学」「ドイツ語留学」のみ開講します。（なお、社会情勢等の理由によって急遽休講となる場合もあります。）

「中国語留学」は休講となります。中国語圏への留学に興味ある学生は、教学支援室まで問い合わせてください。

「中国語留学」は2024年度も休講ですが、授業とは別に（単位にはなりません）、教員が丁寧にアドバイスなどをします。

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生の履修可能である授業です。
注2) 種別「条件付」とは……あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。
注3) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注5) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注6) 開講期(形態)について……「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。
注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
英語 ↓ プレイスメントテスト受験者対象 ↓	2001	英語A1	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	石川 太郎	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2002	英語B1	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	石川 太郎	×	
	2003	英語A2	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	文法・読解型授業
	2004	英語B2	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	前期・後期同時履修登録
	2005	英語A3	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	佐藤 真理子	×	コミュニケーション型授業
	2006	英語B3	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	佐藤 真理子	×	前期・後期同時履修登録
	2007	英語A4	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	阿部 明子	×	文法・読解型授業
	2008	英語B4	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	阿部 明子	×	前期・後期同時履修登録
	2009	英語A5	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	坂口 世良	×	文法・読解型授業
	2010	英語B5	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	坂口 世良	×	前期・後期同時履修登録
	2011	英語A6	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	名嘉山 リサ	×	文法・読解型授業
	2012	英語B6	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	名嘉山 リサ	×	前期・後期同時履修登録
	2013	英語A7	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	山本 麻里耶	×	文法・読解型授業
	2014	英語B7	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	山本 麻里耶	×	前期・後期同時履修登録
	2015	英語A8	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	コミュニケーション型授業
	2016	英語B8	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	前期・後期同時履修登録
	2017	英語A9	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	コミュニケーション型授業
	2018	英語B9	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	前期・後期同時履修登録
	2019	英語A10	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	浦 聡美	×	文法・読解型授業
	2020	英語B10	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	浦 聡美	×	前期・後期同時履修登録
	2021	英語A11	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	コミュニケーション型授業
	2022	英語B11	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	前期・後期同時履修登録
	2023	英語A12	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	コミュニケーション型授業
	2024	英語B12	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	前期・後期同時履修登録
	2025	英語A13	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	石川 太郎	×	コミュニケーション型授業
	2026	英語B13	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	石川 太郎	×	前期・後期同時履修登録
	2027	英語A14	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	文法・読解型授業
	2028	英語B14	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	前期・後期同時履修登録
	2029	英語A15	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	コミュニケーション型授業
	2030	英語B15	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	中田 崇	×	前期・後期同時履修登録
	2031	英語A16	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	滝沢 玄	×	文法・読解型授業
	2032	英語B16	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	滝沢 玄	×	前期・後期同時履修登録
	2033	英語A17	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	滝沢 玄	×	文法・読解型授業
	2034	英語B17	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	滝沢 玄	×	前期・後期同時履修登録
	2035	英語A18	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	マシュー・ヴァルギース	×	コミュニケーション型授業
	2036	英語B18	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	マシュー・ヴァルギース	×	前期・後期同時履修登録
	2037	英語A19	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	奥井 裕	×	文法・読解型授業
	2038	英語B19	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	奥井 裕	×	前期・後期同時履修登録
	2039	英語A20	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	宮崎 かすみ	×	文法・読解型授業
	2040	英語B20	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	宮崎 かすみ	×	前期・後期同時履修登録

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「条件付」とは……あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。

注3) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注5) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注6) 開講期(形態)について……「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。

注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
↑ 英語 ↓ ↑ 一年次生 プレイスメントテスト受験者対象 ↓	2041	英語A21	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	小林 猛久	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2042	英語B21	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	小林 猛久	×	
	2043	英語A22	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	山本 ミッシェル	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2044	英語B22	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	山本 ミッシェル	×	
	2045	英語A23	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	遠山 雅子	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2046	英語B23	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	遠山 雅子	×	
	2047	英語A24	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	瀬戸川 順子	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2048	英語B24	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	瀬戸川 順子	×	
	2049	英語A25	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	坂口 世良	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2050	英語B25	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	坂口 世良	×	
	2051	英語A26	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	瀬戸川 順子	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2052	英語B26	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	瀬戸川 順子	×	
	2053	英語A27	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	鈴木 泉子	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2054	英語B27	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	鈴木 泉子	×	
	2055	英語A28	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	岡村 盛雄	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2056	英語B28	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	岡村 盛雄	×	
	2057	英語A29	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	山本 ミッシェル	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2058	英語B29	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	山本 ミッシェル	×	
	2059	英語A30	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	渋谷 優介	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2060	英語B30	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	渋谷 優介	×	
	2061	英語A31	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	奥井 裕	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2062	英語B31	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	奥井 裕	×	
	2063	英語A32	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	沼田 香穂里	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2064	英語B32	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	沼田 香穂里	×	
	2065	英語A33	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2066	英語B33	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	
	2067	英語A34	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	山本 麻里耶	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
	2068	英語B34	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	山本 麻里耶	×	
	2069	英語A35	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2070	英語B35	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	
	2071	英語A36	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2072	英語B36	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	宮瀬 順子	×	
	2073	英語A37	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	マシュー・ヴァルギース	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2074	英語B37	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	マシュー・ヴァルギース	×	
	2075	英語A38	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2076	英語B38	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	
	2077	英語A39	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	渋谷 優介	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2078	英語B39	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	渋谷 優介	×	
	2079	英語A40	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
	2080	英語B40	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	—	フリードマン グレゴリ	×	

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「条件付」とは……あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。
注3) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注5) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注6) 開講期(形態)について……「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。
注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
↑ 英語 ↓	↑ 一年次生 ブレイズメントテスト受験者対象	2081	英語A41	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	フリードマン グレゴリ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
		2082	英語B41	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	フリードマン グレゴリ	×	
		2083	英語A42	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウーラ	×	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
		2084	英語B42	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウーラ	×	
		2085	英語A43	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	岡村 盛雄	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
		2086	英語B43	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	岡村 盛雄	×	
		2087	英語A44	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	撫原 華子	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
		2088	英語B44	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	撫原 華子	×	
		2089	英語A45	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	浦 聡美	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
		2090	英語B45	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	浦 聡美	×	
		2091	英語A46	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	沼田 香穂里	×	文法・読解型授業 前期・後期同時履修登録
		2092	英語B46	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	沼田 香穂里	×	
		2093	英語A47	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	石川 太郎	—	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
		2094	英語B47	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	石川 太郎	—	
		2095	英語A48	1	クラス指定	—	前期	—	1	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウーラ	—	コミュニケーション型授業 前期・後期同時履修登録
		2096	英語B48	1	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	レイナルド・バイサ・ベントウーラ	—	
		—	英語A49	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2024年度休講
		—	英語B49	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
		—	英語A50	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2024年度休講
		—	英語B50	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
	二年次生 初級	2101	英語初級A1	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	名嘉山 リサ	×	前期・後期同時履修登録
		2102	英語初級B1	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	名嘉山 リサ	×	
		2103	英語初級A2	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	小林 猛久	×	前期・後期同時履修登録
		2104	英語初級B2	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	小林 猛久	×	
		2105	英語初級A3	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	阿部 明子	×	前期・後期同時履修登録
		2106	英語初級B3	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	阿部 明子	×	
		2107	英語初級A4	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	宮崎 かすみ	×	前期・後期同時履修登録
		2108	英語初級B4	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	宮崎 かすみ	×	
		2109	英語初級A5	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	岡村 盛雄	×	前期・後期同時履修登録
		2110	英語初級B5	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	岡村 盛雄	×	
		2139	英語初級A6	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	2	—	—	鈴木 泉子	×	前期・後期同時履修登録
		2140	英語初級B6	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	2	—	—	鈴木 泉子	×	

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「条件付」とは……あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。

注3) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注5) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注6) 開講期(形態)について……「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。

注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
								1年	2年	3年	4年			
↑ 英語	二年次生以上	2111 英語中級A1	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	山本 ミツシエル	○	会話授業
		2112 英語中級B1	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	山本 ミツシエル	○	会話授業
		2113 英語中級A2	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	ギイ ティバール	○	会話授業
		2114 英語中級B2	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	ギイ ティバール	○	会話授業
		2115 英語中級A3	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	ギイ ティバール	○	会話授業
		2116 英語中級B3	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	ギイ ティバール	○	会話授業
		— 英語中級A4	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
		— 英語中級B4	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
		— 英語中級A5	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
		— 英語中級B5	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
		2121 英語中級A6	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	会話授業
		2122 英語中級B6	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	会話授業
		2123 英語中級A7	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	会話授業
		2124 英語中級B7	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	会話授業
		2125 英語中級A8	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	佐藤 真理子	○	
		2126 英語中級B8	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	佐藤 真理子	○	
		2127 英語中級A9	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	瀬戸川 順子	○	
		2128 英語中級B9	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	瀬戸川 順子	○	
		2129 英語中級A10	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	遠山 雅子	○	
		2130 英語中級B10	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	遠山 雅子	○	
		2131 英語中級A11	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	沼田 香穂里	○	
		2132 英語中級B11	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	沼田 香穂里	○	
		— 英語中級A12	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	—	○	2024年度休講
		— 英語中級B12	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	—	○	2024年度休講
		— 英語中級A13	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	—	○	2024年度休講
		— 英語中級B13	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	—	○	2024年度休講
	上級	2137 英語上級A1	1	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	フリードマン グレゴリ	○	会話授業
		2138 英語上級B1	1	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	フリードマン グレゴリ	○	会話授業
		— 英語上級A2	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
		— 英語上級B2	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	会話授業、2024年度休講
	留学	2141 英語留学	4	許可	—	通年	—	1	2	3	4	英語担当専任教員	○	英語圏への短期語学留学

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「条件付」とは……あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。
注3) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注5) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注6) 開講期(形態)について……「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。
注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考	
								1年	2年	3年	4年				
〈中国語〉：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
中国語	初級	2201	中国語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	×	週2回授業、時間割注意
		2202	中国語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	×	週2回授業、時間割注意 中国語初級A単位修得済
		2203	中国語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	齋藤 晴彦/崔 靖宜	×	週2回授業、時間割注意
		2204	中国語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	齋藤 晴彦/崔 靖宜	×	週2回授業、時間割注意 中国語初級A単位修得済
		2205	中国語初級A3	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	大戸 温子/孫 国震	×	週2回授業、時間割注意
		2206	中国語初級B3	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	大戸 温子/孫 国震	×	週2回授業、時間割注意 中国語初級A単位修得済
		2207	中国語初級A4	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	郭 偉/齋藤 晴彦	×	週2回授業、時間割注意
		2208	中国語初級B4	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	郭 偉/齋藤 晴彦	×	週2回授業、時間割注意 中国語初級A単位修得済
	中級	2251	中国語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	崔 靖宜	○	初級4単位修得済
		2252	中国語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	崔 靖宜	○	初級4単位修得済
		2253	中国語中級A2	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	孫 国震	○	初級4単位修得済
		2254	中国語中級B2	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	孫 国震	○	初級4単位修得済
	留学	—	中国語留学	4	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	初級4単位修得済 中国語圏への短期語学留学 2024年度休講(P61参照)
〈朝鮮語〉：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
朝鮮語	初級	2301	朝鮮語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	権 孝英	×	週2回授業、時間割注意
		2302	朝鮮語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	権 孝英	×	週2回授業、時間割注意 朝鮮語初級A単位修得済
		2303	朝鮮語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	権 泰 日	×	週2回授業、時間割注意
		2304	朝鮮語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	権 泰 日	×	週2回授業、時間割注意 朝鮮語初級A単位修得済
		2305	朝鮮語初級A3	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	陸 善	×	新規科目 週2回授業、時間割注意
		2306	朝鮮語初級B3	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	陸 善	×	新規科目 週2回授業、時間割注意 朝鮮語初級A単位修得済
	中級	2351	朝鮮語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	権 孝英	○	初級4単位修得済
		2352	朝鮮語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	権 孝英	○	初級4単位修得済
	上級	2361	朝鮮語上級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	権 孝英	○	初級4単位修得済 中級と同時履修可
		2362	朝鮮語上級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	権 孝英	○	初級4単位修得済 中級と同時履修可
〈フランス語〉：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
フランス語	初級	2401	フランス語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	湊 健志	×	週2回授業、時間割注意
		2402	フランス語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	湊 健志	×	週2回授業、時間割注意 フランス語初級A単位修得済
		2403	フランス語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	佐野 剛	×	週2回授業、時間割注意
		2404	フランス語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	佐野 剛	×	週2回授業、時間割注意 フランス語初級A単位修得済
	中級	2451	フランス語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	湊 健志	○	初級4単位修得済
		2452	フランス語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	湊 健志	○	初級4単位修得済

2024年度 外国語課程 授業一覧表

全学部生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「条件付」とは………あらかじめ初級授業の単位修得が必要などの条件がある授業です。履修上の注意や備考欄を参照のこと。
- 注3) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注4) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注5) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注6) 開講期(形態)について………「週2コマ」は週に2回(異なる曜時)授業があります。時間割に注意してください。
- 注7) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン	履修可能学年				担当者	重複履修	備考	
								1年	2年	3年	4年				
＜ドイツ語＞：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。(ドイツ語初級ABを除く)															
ドイツ語	初級	2501	ドイツ語初級AB1	4	人数制限 (抽選)	—	前期 (週4コマ)	—	1	2	3	4	酒寄 進一	×	週4コマ授業、時間割注意
		2502	ドイツ語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	長谷川 純	×	週2回授業、時間割注意
		2503	ドイツ語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	長谷川 純	×	週2回授業、時間割注意 ドイツ語初級A単位修得済
		2504	ドイツ語初級A3	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	相馬 大樹	×	週2回授業、時間割注意
		2505	ドイツ語初級B3	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	相馬 大樹	×	週2回授業、時間割注意 ドイツ語初級A単位修得済
	中級	2551	ドイツ語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	酒寄 進一	○	初級4単位修得済
		2552	ドイツ語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	酒寄 進一	○	初級4単位修得済
留学	2571	ドイツ語留学	4	条件付 許可	—	通年	—	1	2	3	4	ドイツ語担当 専任教員	○	初級4単位修得済 ドイツ語圏への短期語学留学	
＜ロシア語＞：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
ロシア語	初級	2601	ロシア語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	一柳 富美子	×	週2回授業、時間割注意
		2602	ロシア語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	一柳 富美子	×	週2回授業、時間割注意 ロシア語初級A単位修得済
	中級	2651	ロシア語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	一柳 富美子	○	初級4単位修得済
		2652	ロシア語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	一柳 富美子	○	初級4単位修得済
＜イタリア語＞：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
イタリア語	初級	2701	イタリア語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	久保寺 紀江/ ジョヴァンニ・シモーネ	×	週2回授業、時間割注意
		2702	イタリア語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	久保寺 紀江/ ジョヴァンニ・シモーネ	×	週2回授業、時間割注意 イタリア語初級A単位修得済
		2703	イタリア語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	アントニオ・カニエーリア/ 久保寺 紀江	×	週2回授業、時間割注意
		2704	イタリア語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	アントニオ・カニエーリア/ 久保寺 紀江	×	週2回授業、時間割注意 イタリア語初級A単位修得済
	中級	2751	イタリア語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	ジョヴァンニ・シモーネ	○	初級4単位修得済
		2752	イタリア語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	ジョヴァンニ・シモーネ	○	初級4単位修得済
＜スペイン語＞：全学部生対象 / 初級は、同じ数字の前期授業と後期授業を同時に履修することが望ましい。															
スペイン語	初級	2801	スペイン語初級A1	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	高際 裕哉/中尾 美喜江	×	週2回授業、時間割注意
		2802	スペイン語初級B1	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	高際 裕哉/中尾 美喜江	×	週2回授業、時間割注意 スペイン語初級A単位修得済
		2803	スペイン語初級A2	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	中尾 美喜江/高際 裕哉	×	週2回授業、時間割注意
		2804	スペイン語初級B2	2	条件付	—	後期 (週2コマ)	—	1	2	3	4	中尾 美喜江/高際 裕哉	×	週2回授業、時間割注意 スペイン語初級A単位修得済
	中級	2851	スペイン語中級A1	1	条件付	—	前期	—	1	2	3	4	水口 良樹	○	初級4単位修得済
		2852	スペイン語中級B1	1	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	水口 良樹	○	初級4単位修得済
＜日本語＞：留学生対象（留学生ではないが、日本語を母語としない学生は担当教員と相談してください）															
日本語	中級	2951	日本語中級A1	1	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	田中 康仁	○	前期・後期同時履修登録
		2952	日本語中級B1	1	クラス指定	—	後期	—	1	2	3	4	田中 康仁	○	
		2953	日本語中級A2	1	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	桶谷 潤	○	前期・後期同時履修登録
		2954	日本語中級B2	1	クラス指定	—	後期	—	1	2	3	4	桶谷 潤	○	
	上級	2961	日本語上級A1	1	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	田中 康仁	○	前期・後期 同時履修登録
		2962	日本語上級B1	1	クラス指定	—	後期	—	1	2	3	4	田中 康仁	○	
		2963	日本語上級A2	1	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	桶谷 潤	○	
2964	日本語上級B2	1	クラス指定	—	後期	—	1	2	3	4	桶谷 潤	○			

日本語
能力試験
N1取得済
程度

日本語能力試験
N1取得済
程度

現代人間学部

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

学部共通科目 選択専門科目

1. 諸学への入門

2. インターン シップ

現代人間学部では、全ての学科の学生に共通に履修してもらいたい科目を「学部共通科目」として設けています。「学部共通科目」には、以下の3種類がありますので、積極的に履修してください。

「心理学」、「教育学」、「社会学」、「国際関係学」、「文化人類学」など、現代人間学部で学ぶための基盤となる科目を学部共通科目として開講しています。原則として、1～2年次に履修することを期待しています。

インターンシップは、さまざまな現場に出かけていって学ぶ、体験学習の科目です。

NPO（非営利組織）やNGO（非政府組織）、地方公共団体の活動に実際に参加することによって得られる貴重な経験を、みなさんの進路選択に大いに役立ててください。

【スケジュール】

- | | |
|---------|--|
| 4月末 | 「申請書」および「実習先希望票」提出 |
| ～5月初旬 | 各団体の窓口教員と面接の上、実習希望先学内決定 |
| 6月 | 実習希望先を訪問（履歴書、自己紹介書等を持参）し、実習先を決定 |
| 7月 | 誓約書提出および保険加入手続き
大学と実習先との間で覚書交換 |
| 4月～7月 | 月1～2回程度の学部内集中事前学習および外部講師による事前研修 |
| 7月～9月 | 現場実習（原則2週間、70時間以上）
※実習先団体の活動形態によっては、週1回、10～15週、継続的に実習する場合もあります。 |
| 10月 | 実習日誌、報告書等提出 |
| 10月～11月 | 実習経験の学部内報告会および報告集原稿作成 |
| 12月 | インターンシップ報告会 |

専門課程
現代人間学部

3. 学生自主企画 ゼミナール

一般のゼミナールでは、教員が設定したテーマについて、参加者間で討論を行い、理解を深めていくことになりますが、「学生自主企画ゼミナール」では、学生自らが扱うテーマを設定し、問題を掘り下げていくことになります。学生の自主性が重んじられるこのゼミナールでは、各自の企画力、そして探究心の向上が期待されています。



「学生自主企画ゼミナール」の単位は、在学期間中を通して計8単位までしか卒業に必要な単位として認められませんので、注意してください。

【スケジュール】

前年度10月 企画書を提出
前年度11月 開講の可否を決定

【参考】

過去の「企画ゼミナール」

- 和光大学再生プロジェクト
- フェアトレードの可能性—和光大学での推進—
- グローバル化におけるフェアトレードのありようと可能性
- EYEコミュニケーション・ゼミ
- 和光キャンパス内ランドデザイン
- バリアフリー・コミュニケーションの理論と実践
- 和光大学論
- 目ゼミ
- 「自由」とは何か

2017～2024年度入学生

心理教育学科 心理学専修

1. 心理教育学科の特徴

..... P 72

2. 卒業要件・履修要領

..... P 74

3. 専門科目の説明

..... P 75

4. 授業一覧表

..... P 78

5. 取得できる資格

..... P 83

6. 公認心理師取得プログラム

..... P 84

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 心理教育学科 の特徴

(1) 心理教育学科で 学べること

心理教育学科では、私たちが主体的に生きていく上で必要な土台となる、「こころ（心理）」と「まなび（教育）」について広く、そして深く学んでいきます。私たちは、自分たちを取り巻く環境や社会から影響を受けたり、それらに働きかけたりしながら生活しています。

学科では、みなさんが心とまなびの課題に迫っていきける存在になることを目指して、様々なカリキュラムを用意しています。具体的には次の3つの能力の習得を目指しています。

- ①心理学や教育学の考え方を日々の生活の中で活かせるようになること
- ②学んだことを活かした物事の捉え方ができるようになること
- ③私たちが慣れ親しんでいる枠組みを越えて新しい課題に挑戦できるようになること

そして2015年度から心理教育学科は、学科が大切にしている「こころ」「まなび」と現実の世界との結びつきをより深く考えるために、「心理学専修」と「子ども教育専修」の2つの専修からなる学科へと発展しました。「心理学専修」では、これまで以上にしっかりと心理学的視点を身につけ、同時にそれを実際の生活の中で活かせるようになることを目指します。「子ども教育専修」では、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などの資格取得を目指しますが、そこにおいても、心理教育学科の学びを活かして、現実の子どもや教育・子育て環境の中にある課題に挑戦できる能力を身につけてほしいと期待しています。

(2) カリキュラムの 特徴

心理学専修のカリキュラムは、「人間発達の基礎」「研究法」「心理学の基礎」「心理学の応用」「教育学の基礎・応用」「インターンシップ・フィールドワーク」という科目群に分けられています。

人間発達の基礎：心理学・教育学という学問分野を問わず、幅広く「発達する人間」について知ることを目的としています。興味関心の幅を広げるためにも、色々な科目を履修してください。また「オムニバス『心理と教育』」は、心理教育学科の専任教員がリレー形式で講義する科目です。是非履修してください。

研究法：心理学や教育学に関わる実験・調査・観察・フィールドワークの実施に必要な能力をつけるために、基礎から応用まで無理なく学べるよう、様々な科目が開講されています。卒業論文を作成する過程で調査や観察をしたり、フィールドワークに行ったりする際に必要となる力を身につけることができます。

心理学の基礎：心理学の基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。「心理学の応用」を学ぶための土台を作る意味でも、特定の領域に偏らず幅広く学習するようにしてください。

心理学の応用：心理学の基礎的な知識を身につけたうえで、より実践的な課題について考えたり、議論したりすることを目的とした科目が開講されています。

教育学の基礎・応用：教育学の基礎的な知識を学ぶことができる科目と、より実践的な課題について考えたり、議論することを目的とした科目が開講されています。

インターンシップ・フィールドワーク：心理学、教育学、保育に関わるNPOや小学校・特別支援学校・幼稚園・保育所などでの研修やフィールドワークなどを行う科目です。

2. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2018～2024年度入学生 心理教育学科 心理学専修》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、対 面科目が 最低64単 位含まれ ているこ と)*
外国語科目	同一外国語で	●	4 単位	
専門科目	プロゼミ		4 単位	
	演習	●	4 単位	
	学科専門科目 (所定の研究法科目 8 単位を含む)	●	12単位	
	卒業論文		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目(全学開講欄が○のもの) 注)資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		70単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

《2017年度入学生 心理教育学科 心理学専修》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	24単位	124単位 (うち、対 面科目が 最低64単 位含まれ ているこ と)*
外国語科目	同一外国語で	●	4 単位	
専門科目	プロゼミ		4 単位	
	演習	●	4 単位	
	学科専門科目 (所定の研究法科目 8 単位を含む)	●	12単位	
	卒業論文		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目 (全学開講欄が○のもの) 注)資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		66単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程(共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目)それぞれについて必要単位数を満たしてください。

①プロゼミ 4 単位、演習 4 単位、学科専門科目から12単位、卒業論文10単位

②学科専門科目12単位には、所定の研究法科目より 8 単位を含みます。

また、心理学専修の学生は子ども教育専修の開講科目を学科専門科目に充当することができます。

③自由履修科目

共通教養科目、外国語科目、演習科目、心理教育学科専門科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

（1）学部共通科目

学部共通科目はいずれの学科所属であっても、現代人間学部 of 学生のみなさんが共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

（2）プロゼミ

（1科目選択で必修4単位）

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年次生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が交替で、テーマを掲げて担当しますが、内容については、学科説明会時に説明を行いますので、そこで確認してください。

（3）学科専門科目

「オムニバス『心理と教育』」以下、約100科目が並んでいます。

●オムニバス「心理と教育」

心理教育学科の1年次生に最初に履修してほしい科目です。心理教育学科の教員が、毎回交代で、心理教育に関わるさまざまな話題について講義を行います。心理教育学科の教員を知り、学びの概要を知るのに有効です。

●研究法

心理学統計法や心理学実験などの研究法科目は、統計や実験・観察、調査の方法などを学ぶことで専門科目の理解を深め、卒業論文などに活かしてゆくための科目です。心理学専修の学生は、所定の心理学関連の研究法科目を8単位以上修得する必要があります。みなさんが次第に専門を絞っていく中で、計画的に履修することが望まれます。

統計法は2年次生までに

「心理学統計法A」と「心理学統計法B」は、なるべく2年次までに履修してください。なお「心理学統計法B」は「記述統計学」あるいは「心理学統計法A」を修得した人しか履修できません。

「心理学実験」
「心理学研究法A～F」の履修条件

「心理学実験」の履修可能学年は2年次生以上とし、「推測統計学」または「心理学統計法B」をすでに修得していることが履修の条件です。「心理学研究法A～F」の履修可能学年は2年次生以上とし、「心理学実験」など特定の授業をすでに修得していることが履修の許可を出す条件です。

「心理学研究法A～F」は用具等の関係で定員を設ける許可授業です。その多くは、後期開講授業ですが、履修希望者は、和光ポータルからお知らせを確認してください。

卒業論文で心理学の調査、観察、実験、面接などの実証研究を行う場合には、「心理学実験」+「心理学研究法A～F」から実証研究に必要な授業を履修していることが望ましいので、1年次から計画的に履修するようにしてください。

「心理学研究法A～F」は取り組む課題の作業量が多く、難度も比較的高い科目ですので、同一学期に複数の心理学研究法科目を履修することは避け、半期に一種類ずつ履修することを推奨します。

●インターンシップ・フィールドワーク

インターンシップ・フィールドワークでは、指導教員と相談して、主に大学の外で、NPOなどの研修、学校や幼稚園・保育所での研修、フィールドワーク、アクションリサーチ、プロジェクト研究などを行います。その過程と成果をレポートとして指導教員に提出することにより単位修得ができます。実践内容は、指導教員が決める場合、学生が提案する場合、そして両者が相談して決める場合があります。指導教員の許可が必要な許可科目もあります。

●演習（ゼミ）科目 （必修4単位）

演習科目は、原則として3・4年次生のために開講され、専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。通年科目として1年ごとに履修登録しますが、3年次・4年次と連続して履修することを勧めます。

2年次後期に、3年次のゼミ履修に関する説明会を実施しますので、必ず参加してください。最低必修単位数（4単位）より多く修得した単位は、自由履修科目として数えます。

(4) 卒業論文

(必修10単位)

①卒業論文提出までの手続き

● 3 年次生になったら

● 3 年次生12月 仮題目届提出

主査について

副査について

卒業論文は、自分で選んだ専任教員を指導教員（主査）として、4 年次の 4 月中旬までに「卒業論文調査票」を提出し、12月中旬に論文を提出します。

大学での学修の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら 1 年間かけてまとめあげるのが卒業論文です。心理教育学科を卒業するためには、卒業論文を書くことが必修となっています。学生のみなさんは、どの教員に自分の卒業論文を指導し、審査してもらいたいかを考え（主査）、その教員と相談しながら、テーマを決定し、論文を書きあげていくことになります。

そのための具体的な手続きは 3 年次の12月に行う仮題目届の提出から開始されますが、卒業論文の執筆を念頭におきつつ、早い時期から自分の研究テーマを考え、学修計画を立ててください。

3 年次生になったら、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めていってください。すでにプロゼミの単位は大部分の人が修得しているはずですが、未修得の場合は 3 年次で必ず修得しましょう。

仮題目提出期限 **2024年12月 6 日(金) 16 : 30**

提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。

仮題目提出に先立って、主指導教員（主査）と仮題目・内容についてよく相談の上、承認を得てから、仮題目届の提出を行ってください。

卒業論文仮題目届の主指導教員（主査）は所属する学科専任教員のみとします。
（心理教育学科の演習担当者）

副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつけたい場合、原則としては心理教育学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員でも構いません。その場合主指導教員（主査）と相談してください。

● 4 年次生 4 月 調査票提出・履修登 録	<p>「卒業論文調査票」提出期限 2024年 4 月15日（月） 16：30まで</p> <p>提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。</p> <p>(1) 4 年次生の 4 月に「卒業論文調査票」を提出します。これにより卒業論文の履修登録が完了します。</p> <p>調査票提出に先立って、主指導教育（主査）と題目・内容等についてよく相談の上、承認を得てから、調査票の提出を行ってください。</p> <p>(2) 履修登録では主査別の授業コードが実習欄に登録されている事を確認してください。</p>
● 論文題目を変更する とき	<p>調査票提出以降に論文題目を変更する場合には、主指導教員（主査）とよく相談の上、承認を得てから、11月末日までに申請を行ってください。詳細は和光ポータルでお知らせします。</p>
● 4 年次生12月提出	<p>卒業論文提出期限 2024年12月20日（金） 14：00まで</p> <p>教学支援課に卒業論文（受領票も一緒に）を提出</p> <p>なお、提出の際には学生証を持参し、必ず本人が提出すること。</p>
②卒論の清書について	<p>卒業論文は出来るだけパソコンのワープロソフトを用いて執筆してください。</p> <p>手書きの場合はインクまたはボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。用紙は、A 4 版の紙を使用すること。ワープロソフト使用の場合は横40字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします。</p> <p>論文の 1 ページ目は、指導教員名、題目、学籍番号、氏名、論文のキーワード 5 個程度を記載してください。</p> <p>詳しくは主指導教員（主査）に相談してください。</p>
背表紙をつける	<p>論文は既製のファイルなどにとじて提出してください。</p> <p>右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。なお、サブタイトルがある場合は、題目のあとに「：」等の記号をつけて記載するようにしてください。</p>
受領票について	<p>教学支援課で11月から配布します。</p> <p>必要事項を記入し卒業論文の表に必ず受領票を貼ってから提出してください。</p>
③卒論発表会	<p>2024年 1 月下旬または 2 月上旬に開催します（日時は掲示で発表）。</p> <p>心理教育学科主催で卒業論文発表会を開催します。この会の運営は、3 年次生の運営委員を中心に行われます。参加は義務ではありませんが、卒業論文の発表を行う卒業年次生だけでなく、全学年からの参加を強く勧めます。この機会に自分の成果を発表し、他者の発表からおおいに学び合いましょう。</p>

背表紙

24

主
査
名題
目
…
サ
ブ
タ
イ
ト
ル学
籍
番
号氏
名

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 心理学専修 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

心理教育学科心理学専修専門科目 (2017～2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。															
プロゼミ	プロゼミ	3101 プロゼミ[阿部]	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	×	
		3102 プロゼミ[熊上]					—	1	2	3	4	熊上 崇			
		3103 プロゼミ[高坂]					—	1	2	3	4	高坂 康雅			
		3104 プロゼミ[末木]					—	1	2	3	4	末木 新			
		3105 プロゼミ[大西]					—	1	2	3	4	大西 公恵			
		3106 プロゼミ[富樫]					—	1	2	3	4	富樫 千紘			
		3107 プロゼミ[稲葉]					—	1	2	3	4	稲葉 浩一			
		3108 プロゼミ[五十嵐]					—	1	2	3	4	五十嵐 敏文			
		3109 プロゼミ[韓]					—	1	2	3	4	韓 仁愛			
		3110 プロゼミ[粕谷]					—	1	2	3	4	粕谷 亘正			
＜心理教育学科専門科目＞															
学科専門科目	（人間発達の基礎）	3111 オムニバス「心理と教育」	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	末木、粕谷 他 学科教員	×	○	
		3112 発達心理学A	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	常田 秀子	×	○	子ども教育専修学生は「発達心理学」を受講すること
		3113 発達心理学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	高坂 康雅	×	○	「アイデンティティの心理学」より科目名変更
		3114 教育の考え方	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	富樫 千紘	×	○	
		4018 生涯学習論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	
		— 教育と社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3117 教育の思想	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	辻 直人	×	○	
		3118 ジェンダーと教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	堀川 修平	×	○	
		— 子どもと教育の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 子どもと家族の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		3121 保育学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○	
	※「心理学統計法A」、「心理学統計法A[心理2年次以上]」のうち、卒業までに、いずれか1つを単位修得することができます。 ※「心理学統計法B」、「心理学統計法B[心理2年次以上]」のうち、卒業までに、いずれか1つを単位修得することができます。 ※「心理学データ処理基礎」および「心理統計学」は、[1]、[2]のうち、卒業までに、いずれか1つを単位修得することができます。また、[1]と[2]を同時に履修登録することはできません。														
（研究法） ↓ 8単位・選択必修 ↓	3122 心理学統計法A	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○	「記述統計学」から名称変更、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
	3123 心理学統計法A[心理2年次以上]	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	大貫 祐太郎	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定「記述統計学」から名称変更	
	3124 心理学統計法B	2	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○	「推測統計学」から名称変更、「記述統計学」あるいは「心理学統計法」修得者のみ履修可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
	3125 心理学統計法B[心理2年次以上]	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	大貫 祐太郎	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定、「推測統計学」から名称変更、「記述統計学」あるいは「心理学統計法」修得者のみ履修可	
	3126 心理学データ処理基礎[1]	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	平井 花	×	×	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
	3127 心理学データ処理基礎[2]	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	平井 花	×	×	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
	3128 心理統計学 [1]	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	名城 開斗	×	○	「推測統計学」あるいは「心理学統計法」修得者のみ履修可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
	3129 心理統計学 [2]	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	名城 開斗	×	○	「推測統計学」あるいは「心理学統計法」修得者のみ履修可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 心理学専修 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

心理教育学科心理学専修専門科目(2017～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科専門科目	↑ 〔研究法〕 8単位・選択必修	3130 質的研究入門	2	条件付	—	前期	時間割外	—	2	3	4	五十嵐 靖博	×	○	「心理学統計法A」修得者のみ履修可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		3131 心理学実験	4	許可	—	前期(2コマ)	—	—	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定、「推測統計学」あるいは「心理学統計法B」修得者のみ履修可
		3132 心理学研究法A1 [質問紙法]	2	許可	—	前期	—	—	—	3	4	坂井 敬子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、「心理学基礎実験」あるいは「心理学実験」修得者のみ履修可
		3133 心理学研究法A2 [質問紙法]	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	坂井 敬子	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定、「心理学基礎実験」あるいは「心理学実験」履修者のみ履修可
		3134 心理学研究法B [観察法]	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	菅野 恵	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定、「記述統計学」あるいは「心理学統計法A」修得者のみ履修可
		3135 心理学研究法C [面接法]	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	末木 新	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定、「記述統計学」あるいは「心理学統計法A」修得者のみ履修可
		— 心理学研究法D [投影法]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	「記述統計学」あるいは「心理学統計法A」修得者のみ履修可、2024年度休講
		— 心理学研究法E [テキストマイニング]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
	↑ 〔研究法〕	— 心理学研究法F [文献研究法]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		— 心理学特殊実習	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2024年度休講
		— 教育学研究法基礎	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		— 文献・史料研究A	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— 文献・史料研究B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— ライフヒストリー研究	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		— 文献の検索・講読・発表	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講
		— エスノグラフィーA	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講
	〔心理学の基礎〕	— エスノグラフィーB	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講
		3147 授業研究の方法	2	クラス指定	—	後期	—	—	2	3	4	五十嵐・加川	×	○	小学校課程受講者のみ
		3148 保育記録の研究	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	常田・稲谷・韓・山口	×	○	
		— 実験心理学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3150 神経・生理心理学	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	阿部 晶子	×	○	
		3151 知覚・認知心理学	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	P学科およびP学科以外の公認心理師プログラム受講者、志願者のみ履修可
		3152 学習・言語心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	鈴木 敦子	×	○	
		3153 教育心理学の理論	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	1	2	3	4	加藤 慧	×	○	
		3154 社会・集団・家族心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○	
		3155 臨床心理学概論	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	末木 新	×	○	
		3156 児童心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	菅野 恵	×	○	
		3157 発達臨床心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	常田 秀子	×	○	
		— 人間の心と共同体	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		3159 老年期の心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	稲垣 宏樹	×	○	
		3160 発達障がい基礎	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	×	○	
		3161 感情・人格心理学	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	三枝 高大	×	○	
		3162 障害者・障害児心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	熊上 崇	×	○	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 心理学専修 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

心理教育学科心理学専修専門科目 (2017～2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
学科専門科目	〔心理学の応用〕	—	発達とコミュニケーション	2	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		—	障がい者の学習支援	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3165	心理学的支援法	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	末木 新	×	○	「臨床心理学概論」履修推奨
		—	認知・行動療法論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		3167	心理演習	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	末木 新	×	○	
		3168	心理実習	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	高坂・熊上・菅野・小松・末木	×	×	心理演習の単位取得者のみ履修可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		3169	メンタルヘルスの諸問題	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	松坂 利之	×	○	
		3170	いじめ・不登校の心理学	2	人数制限(抽選)	有	集中講義	—	1	2	3	4	中村 扶実子	×	○	
		3171	教育・学校心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	菅野 恵	×	○	
		3172	創造性の心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	
		3173	児童への特別支援教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	熊上 崇	×	○	小学校課程受講者のみ
		3174	心理的アセスメント	2	許可	—	前期	—	—	—	3	4	熊上 崇	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		3175	恋愛と結婚の心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	高坂 康雅	×	○	
		3176	虐待防止の心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	菅野 恵	×	○	
		—	療育福祉論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3178	福祉心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	菅野 恵	×	○	
		3179	産業・組織心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	坂井 敬子	×	○	
		3180	人と関わる仕事のキャリア	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	坂井 敬子	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定
		3181	司法・犯罪心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	熊上 崇	×	○	
		3182	災害復興の心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	熊上 崇	×	○	
		3183	健康・医療心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	小松 賢亮	×	○	
		3184	人体の構造と機能及び疾病	2	人数制限(抽選)	有	前期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	塚田 訓久	×	○	
		3185	精神疾患とその治療	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	小松 賢亮	×	○	
		3186	公認心理師の職責	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	—	3	4	高坂 康雅	×	○	
		3187	関係行政論	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	高坂・菅野・坂井・熊上・小松・末木	×	○	
		3188	心理学特殊講義	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	1	2	3	4	岩野 卓	○	○	
	〔教育学の基礎・応用〕	—	子どもの発達と地域社会	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		3190	児童福祉	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	加藤 洋子	×	○	
		—	世界の教育と子育て	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	子どもと大人の関係史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		3193	いじめ・不登校の教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 浩一	×	○	
		3194	青年の自立と社会	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	桐島 次郎	×	○	隔年開講
		—	青年の生活文化と教育	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 心理学専修 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

心理教育学科心理学専修専門科目（2017～2024年度入学生用）																	
卒業要件		授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
									1年	2年	3年	4年					
学科専門科目	（インターンシップ・フィールドワーク）	3196	学校インターンシップA	2	クラス指定	—	通年 (隔週)コマ	—	1	2	3	4	富樫・加川	×	○	「学校インターンシップB」から名称変更	
		3197	学校インターンシップB	4	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	大西・辻・山本・加川	×	○	「学校インターンシップC」から名称変更	
		3198	学校インターンシップC	2	クラス指定	—	通年 (隔週)コマ	—	—	2	3	4	辻・大西・加川	×	○	「学校インターンシップA」から名称変更	
		3199	学校インターンシップD	2	クラス指定	—	通年 (隔週)コマ	—	1	2	3	4	粕谷 亘正	○	○	「学校インターンシップB」から名称変更、時間割外実習科目	
		3200	学校特別支援インターンシップ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 時間割外実習科目	
		—	フィールドワークA	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	フィールドワークB	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		—	フィールドワークC	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		—	フィールドワークD	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		—	フィールドワークE	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
—	フィールドワークF	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講			
演習	演習	3801	発達心理学演習	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	常田 秀子	○	○	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと	
		3802	臨床心理学演習					—	—	—	3	4	末木 新				
		3803	教育方法学演習					—	—	—	3	4	大西 公恵				
		3804	教育文化論演習					—	—	—	3	4	辻 直人				
		3805	保育文化論演習					—	—	—	3	4	粕谷 亘正				
		3806	青年心理学演習					—	—	—	3	4	高坂 康雅				
		3807	教育社会学演習					—	—	—	3	4	稲葉 浩一				
		3808	現代学校論演習					—	—	—	3	4	山本 由美				
		3809	児童心理学演習					—	—	—	3	4	菅野 恵				
		3810	学校教育学演習					—	—	—	3	4	五十嵐 敏文				
		3811	幼児教育学演習					—	—	—	3	4	山口 理沙				
		3812	社会心理学演習					—	—	—	3	4	坂井 敬子				
		3813	保育表現演習					—	—	—	3	4	根来 章子				
		—	児童福祉論演習					—	—	—	3	4	—				2024年度休講
		3815	学校経営論演習					—	—	—	3	4	富樫 千紘				
		3816	保育実践論演習					—	—	—	3	4	韓 仁愛				
		3817	障がい児心理学演習					—	—	—	3	4	熊上 崇				
		3818	認知心理学演習					—	—	—	3	4	阿部 慶賀				
		3819	初等教育学演習					—	—	—	3	4	薄田 太一				
		3820	健康・医療心理学演習					—	—	—	3	4	小松 賢亮				

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 心理学専修 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

心理教育学科心理学専修専門科目（2017～2024年度入学生用）																
卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
卒業論文	卒業論文	3901 卒業論文[常田]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	常田 秀子	×		履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと	
		3902 卒業論文[末木]					—	—	—	—	4	末木 新				
		3903 卒業論文[大西]					—	—	—	—	4	大西 公恵				
		3904 卒業論文[辻]					—	—	—	—	4	辻 直人				
		3905 卒業論文[粕谷]					—	—	—	—	4	粕谷 亘正				
		3906 卒業論文[高坂]					—	—	—	—	4	高坂 康雅				
		3907 卒業論文[富樫]					—	—	—	—	4	富樫 千紘				
		3908 卒業論文[山本]					—	—	—	—	4	山本 由美				
		3909 卒業論文[菅野]					—	—	—	—	4	菅野 恵				
		3910 卒業論文[五十嵐]					—	—	—	—	4	五十嵐 敏文				
		3911 卒業論文[山口]					—	—	—	—	4	山口 理沙				
		3912 卒業論文[坂井]					—	—	—	—	4	坂井 敬子				
		3913 卒業論文[根来]					—	—	—	—	4	根来 章子				
		— 卒業論文[一瀬]					—	—	—	—	4	—				2024年度休講
		3915 卒業論文[韓]					—	—	—	—	4	韓 仁愛				
		3916 卒業論文[熊上]					—	—	—	—	4	熊上 崇				
		3917 卒業論文[阿部]					—	—	—	—	4	阿部 慶賀				
		3918 卒業論文[稲葉]					—	—	—	—	4	稲葉 浩一				
		3919 卒業論文[薄田]					—	—	—	—	4	薄田 太一				
		3920 卒業論文[小松]					—	—	—	—	4	小松 賢亮				
<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。																
自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001 社会学A	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割内	1	2	3	4	周 筱	×	○		
		3002 社会学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○		
		3003 心理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○		
		3004 教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○		
		— 国際関係学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		3006 女性学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	西山 千恵子	×	○		
		3007 男性学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 敦也	×	○		
		3008 社会福祉	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	牧野 賢一	×	○		
		3009 文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	矢野原 佑史	×	○		
		3010 生態学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 健	×	○		
		— 環境思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	
		— 学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	
		— インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	

5. 取得できる資格

（１）「公認心理師」資格の取得について

和光大学心理教育学科の所定の科目を履修した上で卒業し、大学院で必要な科目を修める（あるいは、特定施設で一定期間の業務に従事）することで、公認心理師試験の受験資格を得ることができます。公認心理師とは、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術を用いて、支援を必要とする者やその関係者の評価や相談・助言を行う人のことです。心理職初の実務経験が必須であり、今後、カウンセラー等の仕事に就くために必要となってくると考えられます。

資格要件や申請方法については、厚生労働省や日本心理研修センターのホームページに最新の情報が出ています。

この資格について具体的に知りたい場合は、心理教育学科の心理学担当教員に相談してください。

公認心理師の取得については、6. 公認心理師取得プログラムを参照してください。

（２）「認定心理士」資格の取得について

和光大学心理教育学科の授業科目を中心に履修した上で、自分で資格認定委員会に申請し、認められれば認定心理士の資格を取得することができます。認定心理士とは、日本心理学会によって、最低限の基礎学力と技能を修得したことを認定された人のことです。その取得のメリットは、大学で心理学を修めたことが、広く社会的に証明されることです。また、この資格のための単位修得基準は、心理学を中心とした自分の学習計画をたてる目安にもなります。

ただし、これは心理学の専門職としては、あくまで基礎資格であり、大学院や実践現場などでさらに研鑽を積む必要があります。また、公認心理師や臨床心理士その他心理学の専門資格の前提条件ではないことにも注意してください。

資格要件や申請方法については、主催団体である日本心理学会の「認定心理士」のホームページに最新の情報が出ています。

この資格について具体的に知りたい場合は、心理教育学科の心理学担当教員に相談してください。

（３）取得できる資格・免許状の種類

卒業に必要な単位を修得すると、みなさんは「学位（学士）」を取得できます。学位（学士）の取得を基礎要件とするさまざまな資格がありますが、必要な単位を修得することによって、そのうちのいくつかの資格を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

図書館司書
社会教育主事
博物館学芸員

児童指導員（任用資格）※
社会福祉主事（任用資格）※

※児童指導員とは養護や療育を必要とする子どもが入所する児童福祉施設（児童発達支援センター、児童養護施設など）において、子どもたちの健全な育成を支援する者に必要とされる資格です。

※社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所等において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

心理教育学科心理学専修生が取得できる免許状・資格は上のとおりです。

他学科・他専修が認定を受けた免許状取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談してください。

6. 公認心理師 取得プログラム

公認心理師取得プログラム

公認心理師取得プログラムは、公認心理師の受験資格取得のために「大学における必要な科目」の単位等を修得するためのプログラムです。

本プログラムの受講のみでは公認心理師の受験資格を満たすことはできません。

現代人間学部心理教育学科心理学専修に在籍し、希望する学生の中から、1学年10名を上限として本プログラムの受講者を選抜します。なお、他学科・他専修の学生で公認心理師取得プログラムの受講を希望する学生は、事前に行われる説明会に必ず参加してください。

本プログラムの受講を許可されたものは、以下の科目を履修することができます。

- 公認心理師の職責
- 関係行政論
- 心理演習
- 心理実習

(1) 受講申請手続き までの流れ

受講を希望する2年次以上の学生は11月頃に実施される説明会に参加してください。翌年の4月までに選抜を実施します。選抜され、受講を許可された学生は以下の受講申請手続きを行ってください。

(2) 受講申請の時期

3年次以上の4月

(3) 手続き方法

下記期間のみ受け付けを行い、申請が完了していない場合はプログラムの受講許可が取り消されます。

申請期間 2024年4月3日（水）～15日（月）

申請方法 選抜された学生に和光ポータルを通じて案内します。

公認心理師取得プログラム実習費 50,000円

※一度納入した実習費は一切返還しません。

2023～2024年度入学生

心理教育学科 子ども教育専修

1. 心理教育学科の特徴

..... P 86

2. 卒業要件・履修要領

..... P 88

3. 専門科目の説明

..... P 89

4. 授業一覧表

..... P 91

5. 取得できる資格

..... P 99

6. 保育士資格

..... P 100

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 心理教育学科の特徴

(1) 心理教育学科で学べること

心理教育学科では、私たちが主体的に生きていく上で必要な土台となる、「こころ（心理）」と「まなび（教育）」について広く、そして深く学んでいきます。私たちは、自分たちを取り巻く環境や社会から影響を受けたり、それらに働きかけたりしながら生活しています。

学科では、みなさんが心とまなびの課題に迫っていきける存在になることを目指して、様々なカリキュラムを用意しています。具体的には次の3つの能力の習得を目指しています。

- ①心理学や教育学の考え方を日々の生活の中で活かせるようになること
- ②学んだことを活かした物事の捉え方ができるようになること
- ③私たちが慣れ親しんでいる枠組みを越えて新しい課題に挑戦できるようになること

そして2015年度から心理教育学科は、学科が大切にしている「こころ」「まなび」と現実の世界との結びつきをより深く考えるために、「心理学専修」と「子ども教育専修」の2つの専修からなる学科へと発展しました。「心理学専修」では、これまで以上にしっかりと心理学的視点を身につけ、同時にそれを実際の生活の中で活かせるようになることを目指します。

「子ども教育専修」では、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などの教員免許や資格の取得を目指しますが、心理教育学科の学びを活かして、現実の子どもや教育・子育て環境の中にある課題に挑戦できる能力を身につけてほしいと期待しています。

特に子ども教育専修では、

- ①心理学を学び、カウンセリングマインドを持った教員・保育士
 - ②和光学園の幼稚園、小学校の「生活学習」を基軸にして学ぶ教員・保育士
 - ③和光の伝統である「共生」の理念を活かし、異文化や障がいに対する理解を持った教員・保育士
- を目標にしてほしいと願っています。

なお、初等教育課程では、小学校教員免許・幼稚園教員免許取得を目指します。幼児教育課程では、幼稚園教員免許・保育士資格取得を目指します。

(2) カリキュラムの特徴

子ども教育専修のカリキュラムは、「人間発達の基礎」「研究法」「心理学の基礎・応用」「教育学の基礎」「教育学の応用」「初等教育・保育教育研究の基礎」「初等教育・保育教育研究の応用」「実習及び実習指導」「インターンシップ・フィールドワーク」という9つの科目群に分けられています。

人間発達の基礎：心理学・教育学という学問分野を問わず、幅広く「発達する人間」について知ることを目的としています。興味関心の幅を広げるためにも、色々な科目を履修してください。また、「オムニバス『心理と教育』」は、心理教育学科の専任教員がリレー形式で講義する科目です。是非履修してください。

研究法：心理学や教育学に関わる実験・調査・観察・フィールドワークの実施に必要な能力をつけるために、基礎から応用まで無理なく学べるよう、様々な科目が開講されています。卒業論文を作成する過程で調査や観察をしたり、フィールドワークに行ったりする際に必要となる力を身につけることができます。

心理学の基礎・応用：心理学の基礎的な知識を学んだり、より実践的な課題について考え議論することを目的とした科目です。教育学関係の科目と合わせて学習することで、人についての理解を深めてください。

教育学の基礎：教育学の基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。「教育学の応用」を学ぶための土台を作る意味でも、特定の領域に偏らず幅広く学習するようにしてください。

教育学の応用：教育学の基礎的な知識を身につけたうえで、より実践的な課題について考えたり、議論したりすることを目的とした科目が開講されています。

初等教育・保育研究の基礎：教育学・保育学など、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士になるための基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。

初等教育・保育研究の応用：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士として身につけておくことが求められる応用的な知識や技術を学ぶことができる科目が開講されています。

実習及び実習指導：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格取得に必要な教育・保育実習と、その準備や振り返りのための科目が開講されています。

インターンシップ・フィールドワーク：心理学、教育学、保育に関わるNPOや小学校・特別支援学校・幼稚園・保育所などでの研修やフィールドワークなどを行う科目です。

2. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2023～2024年度入学生 心理教育学科 子ども教育専修》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

				小計	合計
共通教養科目			●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で		●	4単位	
専門科目	プロゼミ			4単位	
	演習		●	4単位	
	学科専門科目	子ども教育専修必修		18単位	
		子ども教育専修選択必修	●	47単位	
	卒業論文			10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・心理教育学科専門科目 心理学専修 子ども教育専修（必修・選択必修以外のもの） ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注)資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。			17単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

- ①プロゼミ 4 単位、演習 4 単位、学科専門科目から65単位、卒業論文10単位
- ②学科専門科目のうち、子ども教育専修必修科目（18単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで異なる科目が指定されています。
- ③学科専門科目のうち、子ども教育専修選択必修科目（47単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで指定された科目の範囲から選択します。
- ④自由履修科目

共通教養科目、外国語科目、演習科目、子ども教育専修選択必修科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、心理教育学科専門科目（心理学専修、必修・選択必修以外の子ども教育専修）ならびに他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

（1）学部共通科目

学部共通科目はいずれの学科所属であっても、現代人間学部 of 学生のみなさんが共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

（2）プロゼミ

（1科目選択で必修4単位）

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年次生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が交替で、テーマを掲げて担当しますが、内容については、学科説明会時に説明を行いますので、そこで確認してください。

（3）学科専門科目

「オムニバス『心理と教育』」以下、約100科目が並んでいます。

●子ども教育専修必修科目

「幼小教育課程論」「初等教育心理学」など、初等教育、幼児教育・保育研究関係の基本となる科目です。子ども教育専修の学生は必修ですが、初等教育課程と幼児教育課程で、科目が異なるので注意してください。

具体的な科目は、授業一覧表の右端の列にある、「必修」の表記を参考にしてください。

●子ども教育専修選択必修科目

「世界の教育と子育て」など、初等教育課程、幼児教育課程で履修しておくとい科目がなっています。それぞれの課程で科目が異なるので、注意してください。授業一覧表の右端の列にある、それぞれの課程ごとの「選択必修」（プロゼミ、演習はのぞく）の中から47単位を履修してください。

●オムニバス「心理と教育」

心理教育学科の1年次生に最初に履修してほしい科目です。心理教育学科の教員が、毎回交代で、心理教育に関わるさまざまな話題について講義を行います。心理教育学科の教員を知り、学びの概要を知るのに有効です。

●研究法

教育学研究法基礎、文献・資料研究や、エスノグラフィー、授業研究などの方法科目は、みなさんが自分の研究テーマを深めるためのスキルを身につけることのできる科目群となっています。みなさんが専門を絞っていく中で、計画的に履修をしてください。

●インターンシップ・フィールドワーク

インターンシップ・フィールドワークでは、指導教員と相談して、主に大学の外で、NPOなどの研修、学校や幼稚園、保育所などでの研修、フィールドワーク、アクションリサーチ、プロジェクト研究などを行います。その過程と成果をレポートとして指導教員に提出することにより単位修得ができます。実践内容は、指導教員が決める場合、学生が提案する場合、そして両者が相談して決める場合があります。指導教員の許可が必要な許可科目もあります。

●演習（ゼミ）科目 （必修4単位）

演習科目は、原則として3・4年次生のために開講され、専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。通年科目として1年ごとに履修登録しますが、3年次・4年次と連続して履修することを勧めます。

2年次後期に、3年次のゼミ履修に関する説明会を実施しますので、必ず参加してください。

最低必修単位数（4単位）より多く修得した単位は、自由履修科目として数えます。

（4）卒業論文

（必修10単位）

卒業論文は、自分で選んだ専任教員を指導教員（主査）として、4年次の4月中旬までに「卒業論文調査票」を提出し、12月中旬に論文を提出します。

大学での学修の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら1年間かけてまとめあげるのが卒業論文です。心理教育学科を卒業するためには、卒業論文を書くことが必修となっています。学生のみなさんは、どの教員に自分の卒業論文を指導し、審査してもらいたいかを考え（主査）、その教員と相談しながら、テーマを決定し、論文を書きあげていくことになります。

そのための具体的な手続きは3年次の12月に行う仮題目届の提出から開始されますが、卒業論文の執筆を念頭におきつつ、早い時期から自分の研究テーマを考え、学修計画を立ててください。

①卒業論文提出までの手 続き	3 年次生になったら、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めていってください。すでにプロゼミの単位は大部分の人が修得しているはずですが、未修得の場合は 3 年次で必ず修得しましょう。
● 3 年次生になったら	
● 3 年次生12月 仮題目届提出	仮題目届提出期限 2024年12月 6 日(金) 16 : 30 提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。 仮題目提出に先立って、主指導教員（主査）と仮題目・内容についてよく相談の上、承認を得てから、仮題目届の提出を行ってください。
主査について	卒業論文仮題目届の主指導教員（主査）は所属する学科専任教員のみとします。 （心理教育学科の演習担当者）
副査について	副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつけたい場合、原則としては心理教育学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員でも構いません。その場合主指導教員（主査）と相談してください。
● 4 年次生 4 月 調査票提出・履修登 録	「卒業論文調査票」提出期限 2024年 4 月15日（月）16 : 30まで 提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。 (1)4 年次生の 4 月に「卒業論文調査票」を提出します。これにより、履修登録が完了します。 調査票提出に先立って、主指導教員（主査）と題目・内容等についてよく相談の上、承認を得てから、調査票の提出を行ってください。 (2)履修登録では主査別の授業コードが実習欄に登録されていることを確認してください。
●論文題目を変更する とき	調査票提出以降に論文題目を変更する場合には、主指導教員（主査）とよく相談の上、承認を得てから、11月末日までに申請を行ってください。詳細は和光ポータルでお知らせします。
● 4 年次生12月提出	卒業論文提出日 2024年12月20日（金）14 : 00まで 教学支援課に卒業論文（受領票も一緒に）を提出 なお、提出の際には学生証を持参し、必ず本人が提出すること。
②卒論の清書について	卒業論文は出来るだけパソコンのワープロソフトを用いて執筆してください。 手書きの場合はインクまたはボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。用紙は、A 4 版の紙を使用すること。ワープロソフト使用の場合は横40字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします。 論文の 1 ページ目は、指導教員名、題目、学籍番号、氏名、論文のキーワード 5 個程度を記載してください。 詳しくは主指導教員（主査）に相談してください。
背表紙をつける	論文は既製のファイルなどにとじて提出してください。 右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。なお、サブタイトルがある場合は、題目のあとに「：」等の記号をつけて記載するようにしてください。
受領票について	教学支援課で11月から配布します。 必要事項を記入し卒業論文の表に必ず受領票を貼ってから提出してください。
③卒論発表会	2024年 1 月下旬または 2 月上旬に開催します（日時は掲示で発表）。心理教育学科主催で卒業論文発表会を開催します。この会の運営は、3 年次生の運営委員会を中心に行われます。参加は義務ではありませんが、卒業論文の発表を行う卒業年次生だけでなく、全学年からの参加を強く勧めます。この機会に自分の成果を発表し、他者の発表からおおいに学び合いましょう。

背表紙

24

主
査
名

題
目
…
サ
ブ
タ
イ
ト
ル

学
籍
番
号

氏
名

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1日までに資料や動画が配信され、土曜日5日までに課題提出する授業です。
 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																			
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修		
								1年	2年	3年	4年								
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。																			
プロゼミ	プロゼミ	3101 プロゼミ[阿部]	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	× ×			—	(いずれも必修 4単位)		
		3102 プロゼミ[熊上]					—	1	2	3	4	熊上 崇			—				
		3103 プロゼミ[高坂]					—	1	2	3	4	高坂 康雅			—				
		3104 プロゼミ[末木]					—	1	2	3	4	末木 新			—				
		3105 プロゼミ[大西]					—	1	2	3	4	大西 公恵			—				
		3106 プロゼミ[富樫]					—	1	2	3	4	富樫 千紘			—				
		3107 プロゼミ[稲葉]					—	1	2	3	4	稲葉 浩一			—				
		3108 プロゼミ[五十嵐]					—	1	2	3	4	五十嵐 敏文			—				
		3109 プロゼミ[韓]					—	1	2	3	4	韓 仁愛			—				
		3110 プロゼミ[粕谷]					—	1	2	3	4	粕谷 亘正			—				
＜心理教育学科専門科目＞																			
学科専門科目	人間発達 の基礎	3111 オムニバス「心理と教育」	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	末木、粕谷 他 学科教員	× ○			—			
		3401 発達心理学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	常田 秀子	× ○			保幼小のみ	必修		
		3113 発達心理学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	高坂 康雅	× ○			—			
		3114 教育の考え方	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	富樫 千紘	× ○			—	選択必修		
		4018 生涯学習論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○ ○			—			
		— 教育と社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	× ○	2024年度休講		—	選択必修		
		3117 教育の思想	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	辻 直人	× ○			—	選択必修		
		3118 ジェンダーと教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	堀川 修平	× ○			—			
		— 子どもと教育の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	× ○	2024年度休講		—	選択必修		
		— 子どもと家族の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	2024年度休講		—	選択必修		
		3121 保育学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	× ○			—	選択必修		
		— 運動と身体科学	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	× ○	2025年度より開講		—			
	研究法	— 教育学研究法基礎	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		—		
		— 文献・史料研究A	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○ ○	2024年度休講		—		
		— 文献・史料研究B	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○ ○	2024年度休講		—		
		— ライフヒストリー研究	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		—	
		— 文献の検索・講読・発表	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講		—	
		— エスノグラフィーA	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講		—	
		— エスノグラフィーB	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講		—	
		3147 授業研究の方法	2	クラス指定	—	後期	—	—	—	2	3	4	五十嵐・加川	× ○			小のみ		
	礎・心理 応用学 の基	3148 保育記録の研究	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	常田・粕谷・韓・山口	× ○			—	—	選択必修	
		3157 発達臨床心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	常田 秀子	× ○			—			
		3160 発達障がい基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	× ○			—	—	選択必修	
	—	発達とコミュニケーション	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		—	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要で、手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学学科子ども教育専修専門科目 (2023～2024年度入学生用)																			
卒業要件		授業コード	科目[授業]名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重 複 履 修	全 学 開 講	備 考	履修制限	必修 選択必修	
									1 年	2 年	3 年	4 年							
学科専門科目	↑ (心理学の基礎・応用)	3173	児童への特別支援教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	熊上 崇	×	○		小のみ		
		—	障がい者の学習支援	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修
		3170	いじめ・不登校の心理学	2	人数制限 (抽選)	有	集中講義	—	—	1	2	3	4	中村 扶実子	×	○		—	
		3152	学習・言語心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	1	2	3	4	鈴木 敦子	×	○		—	
		3153	教育心理学の理論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	1	2	3	4	加藤 慧	×	○		—	
		3154	社会・集団・家族心理学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○		—	
	〔教育学の基礎〕	3404	近代日本の社会と教育	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		—	選択必修
		3405	現代日本の社会と教育	2	なし	—	前期	時間割外	—	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	選択必修
		3406	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]	2	なし	—	後期	—	—	1	2	3	4	大西・稲葉	×	○		—	必修 *幼児学生
		3407	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	薄田・稲葉	×	○		—	必修 *初等学生
		—	子どもの発達と地域社会	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、 隔年開講	—	
		3408	教育社会学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	選択必修
		3190	児童福祉	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	1	2	3	4	加藤 洋子	×	○		—	選択必修
		3409	生活指導論	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	関口 武	×	○		—	
		4028	社会教育論	2	条件付	—	後期	—	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「生涯学習論」修得者のみ履修可	—	
		—	学校文化論	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—	
		3411	環境教育論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	1	2	3	4	角田 季美枝	○	○		—	
		3412	こどもの発達と文化一育む仕事一	2	なし	—	後期	—	—	1	2	3	4	松岡 裕	×	○		—	
	〔教育学の応用〕	3413	演劇と教育	2	許可	—	前期	—	—	—	2	3	4	柏木 陽	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	
		—	世界の教育と子育て	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修
		—	子どもと大人の関係史	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		—	幼小教育課程論	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講	—	必修
		—	保育内容の歴史と国際比較	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		—	福祉のまちづくりと教育	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		3417	グローバリゼーションと教育	2	なし	—	後期	時間割外	—	—	2	3	4	谷川 由佳	×	○		—	選択必修
		—	小学校英語の研究	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		3419	学校体系論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	1	2	3	4	山本 由美	×	○		—	選択必修
		—	教育と芸術A	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		—	教育と芸術B	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		—	教育法学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		3193	いじめ・不登校の教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	
		3194	青年の自立と社会	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	3	4	桐島 次郎	×	○	隔年開講	—	
		—	青年の生活文化と教育	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		4031	フィールドワーク（生涯学習1）	2	許可	—	前期	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	
		4032	フィールドワーク（生涯学習2）	2	許可	—	後期	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要でです。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																
卒業要件	授業 コード	科目[授業]名	単位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 全学 履修 開講	備考	履修制限	必修 選択必修
								1 年	2 年	3 年	4 年					
学科専門科目 ↓ 〔初等教育・保育教育研究の基礎〕	3603	教職概論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	辻 直人	×○		小のみ	選択必修
	3424	初等教育心理学[1]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×○		幼小のみ	必修
	—	初等教育心理学[2]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	2024年度休講	幼小のみ	
	—	教育課程論	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	幼小のみ	必修
	—	保育カリキュラム論	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	* いずれか 1科目
	3428	授業づくりの基礎	2	クラス指定	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×○		小のみ	必修 *初等学生
	—	国語の内容・構成[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	
	3432	社会科の内容・構成 1	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 直人	×○		小のみ	選択必修
	3433	社会科の内容・構成 2	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	富樫 千紘	×○		小のみ	選択必修
	3434	算数の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加川 博道	×○		小のみ	必修 *初等学生
	3437	理科の内容・構成	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×○		小のみ	選択必修
	3604	生活科の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	薄田 太一	×○		小のみ	選択必修
	3605	音楽（楽器演奏1）[1-2]	2	クラス指定	—	前期	—	—	2	3	4	根来 章子	×○		小のみ	選択必修
	3443	子どもの造形[1]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×○		小のみ	選択必修
	3444	子どもの造形[2]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×○		小のみ	選択必修
	—	家庭科の内容・構成[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
	—	家庭科の内容・構成[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
	3448	子どもの体育[1]	2	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×○		保幼のみ	選択必修
	3449	子どもの体育[2]	2	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×○		保幼のみ	
	3450	子どもの体育[3]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	浅川 俊彦	×○		小のみ	
	3451	子どもの遊び	1	クラス指定	—	通年	—	1	2	3	4	中村 仁美	×○	時間割外実習科目	保幼のみ	
	—	遊びの研究	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×○	2026年度より開講	保幼小のみ	
	3606	子どもとことば[1]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×○		保幼のみ	
	3636	子どもとことば[2]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×○		保幼のみ	
	3607	子どもと人間関係[1]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	薄田 太一	×○		保幼のみ	
	3637	子どもと人間関係[2]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	薄田 太一	×○		保幼のみ	
	3608	子どもと環境[1]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	粕谷・辻	×○		保幼のみ	
	3638	子どもと環境[2]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	粕谷・辻	×○		保幼のみ	
	3609	子どもと健康[1]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	韓 仁愛	×○		保幼のみ	
	3639	子どもと健康[2]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	韓 仁愛	×○		保幼のみ	
	3455	スポーツ実技[1]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×○		保幼のみ	選択必修
	3456	スポーツ実技[2]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×○		保幼のみ	
	3457	スポーツ実技[3][幼児教育課程以外の学生]	1	許可	—		—	—	2	3	4			4月許可手続き期間に履修者 決定	幼小のみ	
	3610	教育原理	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	大西 公恵	×○		保幼小のみ	選択必修
	3459	初等教育の制度と社会	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	山本・富樫	×○		保幼小のみ	必修

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要でです。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目 (2023～2024年度入学生用)																		
卒業要件	授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考	履修制限	必修 選択必修	
								1 年	2 年	3 年	4 年							
学科専門科目 〔初等教育・保育教育研究の基礎〕 ↓		3611 初等道德教育論[2]	2	クラス 指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	山本 由美	×	○		小のみ	選択必修	
		3461 初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	薄田・加川	×	○		小のみ	選択必修	
		3462 初等生徒指導論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加川・富樫	×	○		小のみ	選択必修	
		3612 教職キャリア研究A[1]	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	—	2	3	4	五十嵐・薄田・富樫	○	○		小のみ		
		— 教職キャリア研究B	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	○	○	2025年度より開講	小のみ		
		3465 保育原理	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		保幼のみ	必修 *幼児学生
		3614 子どもと造形表現[1]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	選択必修
		3615 子どもと造形表現[2]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	
		3616 子どもと造形表現[3]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	
		3617 子どもと音楽表現[1]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	選択必修
		3618 子どもと音楽表現[2]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	
		3619 子どもと音楽表現[3]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ	
		3620 子どもと音楽表現[4]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ	選択必修
		— 子どもと音楽表現[5]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	幼のみ		
		3622 音楽表現1[1]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		幼のみ	
		3623 音楽表現1[2]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		幼のみ	選択必修
		3624 音楽表現1[3]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	後藤 紀子	×	○		幼のみ	
		3625 音楽表現1[4]	1	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	後藤 紀子	×	○		幼のみ	
		— 音楽表現1[5]	1	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	幼のみ	選択必修	
		3627 音楽表現2[1]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○			幼のみ
		3628 音楽表現2[2]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○			幼のみ
		3629 音楽表現2[3]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	後藤 紀子	×	○		幼のみ	選択必修
		3630 音楽表現2[4]	1	クラス 指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	後藤 紀子	×	○		幼のみ	
		— 音楽表現2[5]	1	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講、「音楽(楽器演奏2)」から名称変更	幼のみ		
		3485 子どもとの生活と英語[1]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ	選択必修
		3486 子どもとの生活と英語[2]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ	
		3487 保育者論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ	必修 *幼児学生
		3488 相談援助[1]	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	打越 雅祥	×	○		保幼のみ	
		— 相談援助[2]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ	
		3490 社会的養護[1]	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ	
		— 社会的養護[2]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	—	選択必修	
		— 家族援助論	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講		—
		3493 子どもと家庭支援の心理学[1]	2	なし	—	後期	時間割外	—	—	2	3	4	土永 葉子	×	○			—
		— 子どもと家庭支援の心理学[2]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	—	選択必修	
		— 子どもの理解と援助	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	保のみ		
		— 精神保健	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講、隔年開講		保幼小のみ

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要でです。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1日までに資料や動画が配信され、土曜日5日までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																	
卒業要件		授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 全学 履修 開講	備考	履修制限	必修 選択必修
									1 年	2 年	3 年	4 年					
学科専門科目	↑ （初等教育・保育教育研究の基礎）	3497	保育内容総論[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×○		保幼のみ	選択必修
		—	保育内容総論[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		—	保育内容総論[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3500	乳児保育[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×○		保幼のみ	選択必修
		3501	乳児保育[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×○		幼のみ	
		—	乳児保育[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3503	乳児保育の理論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×○		保幼のみ	選択必修
		—	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		—	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
	↓ （初等教育・保育教育研究の応用）	—	初等教育相談	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼小のみ	必修
		—	初等教科教育法（国語）	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		—	初等教科教育法（社会）	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		3509	初等教科教育法（算数）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加川 博道	×○		小のみ	選択必修
		—	初等教科教育法（理科）	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		3635	初等教科教育法（生活）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	薄田 太一	×○		小のみ	選択必修
		3512	初等教科教育法（音楽）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×○		小のみ	選択必修
		3513	初等教科教育法（音楽）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×○		小のみ	選択必修
		3514	初等教科教育法（図画工作）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×○		小のみ	選択必修
		3515	初等教科教育法（図画工作）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×○		小のみ	
		—	初等教科教育法（家庭）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		—	初等教科教育法（家庭）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		3518	初等教科教育法（体育）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	浅川 俊彦	×○		小のみ	選択必修
		—	初等教科教育法（英語）	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	小のみ	選択必修
		—	子ども理解と保育・教育相談[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		—	子ども理解と保育・教育相談[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		3522	小児保健1[1]	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	桜井 ますみ	×○		保幼のみ	選択必修
		3523	小児保健2[1]	1	なし	—	後期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	山下 麻実	×○		保幼のみ	
		—	小児保健2[2]	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3525	小児栄養[1]	2	クラス指定	—	前期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×○		保幼のみ	選択必修
		3526	小児栄養[2]	2	クラス指定	—	後期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×○		保幼のみ	選択必修
		—	保育内容（ことば）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		—	保育内容（ことば）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		—	保育内容（ことば）[3]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	2025年度より開講	幼のみ	選択必修
		3530	保育内容（表現）[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	根来 章子	×○		保幼のみ	選択必修
		3531	保育内容（表現）[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×○		保幼のみ	
		—	保育内容（表現）[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	2024年度休講	幼のみ	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																		
卒業要件		授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考	履修制限	必修 選択必修
									1 年	2 年	3 年	4 年						
学科専門科目	↑ (初等教育・ 保育教育研究の 応用)	3533	保育内容（生活と環境）[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ	選択必修
		—	保育内容（生活と環境）[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		—	保育内容（生活と環境）[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3536	保育内容（人間関係）[1]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ	選択必修
		3537	保育内容（人間関係）[2]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ	
		—	保育内容（人間関係）[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		—	保育内容（健康）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		—	保育内容（健康）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2025年度より開講	保幼のみ	選択必修
		3541	養護内容[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ	選択必修
		—	養護内容[2]	2	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2025年度より開講	保幼のみ		
		—	療育福祉論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修
	〔実習及び 実習指導〕	—	教育実習事前・事後指導（初等）[1]	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	小のみ	選択必修
		—	教育実習事前・事後指導（初等）[2]	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	幼のみ	
		—	教育実習事前・事後指導（初等）[3]	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2026年度より開講	小幼のみ	
		—	教育実習（初等）[1]	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	小のみ	選択必修
		—	教育実習（初等）[2]	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	幼のみ	
		—	教育実習（初等）[3]	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2026年度より開講	幼のみ	
		—	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	小のみ	選択必修
		—	教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2026年度より開講	幼小のみ	
		—	教職・保育実践演習(小・幼・保)[3]	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2026年度より開講	保幼のみ	
		—	保育実習指導1（保育所）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	×	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習指導1（保育所）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習指導1（施設）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	×	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習指導1（施設）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習1（保育所）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	×	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習1（保育所）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習1（施設）[1]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	×	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習1（施設）[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2025年度より開講	保のみ	
		—	保育実習指導2	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2026年度より開講	保のみ	
		—	保育実習指導3	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2026年度より開講	保のみ	
		—	保育実習2（保育所）	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2026年度より開講	保のみ	
		—	保育実習3（施設）	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2026年度より開講	保のみ	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																			
卒業要件		授業コード	科目[授業]名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修	
									1年	2年	3年	4年							
学科専門科目	(インターンシップ・フィールドワーク)	3196	学校インターンシップA	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	1	2	3	4	富樫・加川	×	○	「学校インターンシップB」から名称変更	—	選択必修	
		3197	学校インターンシップB	4	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	大西・辻・山本・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—	選択必修	
		3198	学校インターンシップC	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	—	2	3	4	辻・大西・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更、2024年度より開講	—	選択必修	
		3199	学校インターンシップD	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	1	2	3	4	粕谷 亘正	○	○	「学校インターンシップ」から名称変更、時間割外実習科目	—	選択必修	
		3200	学校特別支援インターンシップ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 時間割外実習科目	—	選択必修	
		3562	保育インターンシップ[1]	2	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	山口・中村	○	○	時間割外実習科目	—	選択必修	
		—	保育インターンシップ[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—	選択必修	
		—	フィールドワークA	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークB	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークC	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークD	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークE	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークF	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
演 習	演 習	3801	発達心理学演習	4	—	—	—	—	—	—	3	4	常田 秀子	○	○	2025年度より開講	履修希望者は和光ポータル の指示に従うこと	—	(い ず れ か 4 単 位 以 上) 必修
		3802	臨床心理学演習					—	—	—	3	4	末木 新						
		3803	教育方法学演習					—	—	—	3	4	大西 公恵						
		3804	教育文化論演習					—	—	—	3	4	辻 直人						
		3805	保育文化論演習					—	—	—	3	4	粕谷 亘正						
		3806	青年心理学演習					—	—	—	3	4	高坂 康雅						
		3807	教育社会学演習					—	—	—	3	4	稲葉 浩一						
		3808	現代学校論演習					—	—	—	3	4	山本 由美						
		3809	児童心理学演習					—	—	—	3	4	菅野 恵						
		3810	学校教育学演習					—	—	—	3	4	五十嵐 敏文						
		3811	幼児教育学演習					—	—	—	3	4	山口 理沙						
		3812	社会心理学演習					—	—	—	3	4	坂井 敬子						
		3813	保育表現演習					—	—	—	3	4	根来 章子						
		—	児童福祉論演習					—	—	—	3	4	—						
		3815	学校経営論演習					—	—	—	3	4	富樫 千紘						
		3816	保育実践論演習					—	—	—	3	4	韓 仁愛						
		3817	障がい児心理学演習					—	—	—	3	4	熊上 崇						
		3818	認知心理学演習					—	—	—	3	4	阿部 慶賀						
		3819	初等教育学演習					—	—	—	3	4	薄田 太一						
		3820	健康・医療心理学演習					—	—	—	3	4	小松 賢亮						

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2023～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について……「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について……子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2023～2024年度入学生用）																		
卒業要件		授業コード	科目[授業]名	単位数	種 別	人数制限 （抽選） 優先条件	開講期 （形態）	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修
									1 年	2 年	3 年	4 年						
卒業論文	卒業論文	3901	卒業論文[常田]	10	—	—	—	—	—	—	—	4	常田 秀子	×	2026年度 より開講	和光ポータル の指示に従うこと	—	（い ず れ か 1 0 単 位） 必 修
		3902	卒業論文[末木]					—	—	—	—	4	末木 新					
		3903	卒業論文[大西]					—	—	—	—	4	大西 公恵					
		3904	卒業論文[辻]					—	—	—	—	4	辻 直人					
		3905	卒業論文[粕谷]					—	—	—	—	4	粕谷 亘正					
		3906	卒業論文[高坂]					—	—	—	—	4	高坂 康雅					
		3907	卒業論文[富樫]					—	—	—	—	4	富樫 千紘					
		3908	卒業論文[山本]					—	—	—	—	4	山本 由美					
		3909	卒業論文[菅野]					—	—	—	—	4	菅野 恵					
		3910	卒業論文[五十嵐]					—	—	—	—	4	五十嵐 敏文					
		3911	卒業論文[山口]					—	—	—	—	4	山口 理沙					
		3912	卒業論文[坂井]					—	—	—	—	4	坂井 敬子					
		3913	卒業論文[根来]					—	—	—	—	4	根来 章子					
		—	卒業論文[一瀬]					—	—	—	—	4	—					
		3915	卒業論文[韓]					—	—	—	—	4	韓 仁愛					
		3916	卒業論文[熊上]					—	—	—	—	4	熊上 崇					
		3917	卒業論文[阿部]					—	—	—	—	4	阿部 慶賀					
		3918	卒業論文[稲葉]					—	—	—	—	4	稲葉 浩一					
		3919	卒業論文[薄田]					—	—	—	—	4	薄田 太一					
		3920	卒業論文[小松]					—	—	—	—	4	小松 賢亮					
<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。																		
自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001	社会学A	2	人数制限 （抽選）	—	後期	時間割内	1	2	3	4	周 篠	×	○		—	
		3002	社会学B	2	人数制限 （抽選）	有	後期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○		—	
		3003	心理学概論	2	人数制限 （抽選）	有	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○		—	
		3004	教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○		—	
		—	国際関係学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		3006	女性学	2	人数制限 （抽選）	—	前期	—	1	2	3	4	西山 千恵子	×	○		—	
		3007	男性学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 敦也	×	○		—	
		3008	社会福祉	2	人数制限 （抽選）	有	前期	—	1	2	3	4	牧野 賢一	×	○		—	
		3009	文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	矢野原 佑史	×	○		—	
		3010	生態学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 健	×	○		—	
		—	環境思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		—	学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—	
		—	学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—	
		—	インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	

5. 取得できる資格

（１）子ども教育専修 において取得で きる教員免許

子ども教育専修の学生は、小学校教諭一種免許状や幼稚園教諭一種免許状を取得するのに必要な単位を取ることで、卒業に必要な多くの単位を修得することができます。初等教育課程の学生は、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状の両方（またはどちらか）の取得を目指し、２年次に教学支援課に受講申請を行います。幼児教育課程の学生は、１年次から幼稚園教諭一種免許状と保育士資格取得を目指します。取得予定の教員免許に応じて、免許状取得のために履修しなくてはならない科目が異なりますので、免許状取得を見据えて、１年次から必要な科目を履修していくとよいでしょう。

詳しくは、資格課程の手びきを参照してください。

（２）取得できる資格 ・免許状の種類

卒業に必要な単位数を修得すると、みなさんは「学位（学士）」を取得できます。学位（学士）の取得を基礎要件とするさまざまな資格がありますが、必要な単位を修得することによってそのうちのいくつかの資格を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

小学校教諭一種免許状
幼稚園教諭一種免許状

図書館司書
学校図書館司書教諭
社会教育主事
博物館学芸員

児童指導員（任用資格）※
社会福祉主事（任用資格）※

※児童指導員とは養護や療育を必要とする子どもが入所する児童福祉施設（児童発達支援センター、児童養護施設など）において、子どもたちの健全な育成を支援する者に必要とされる資格です。

※社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所等において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

保育士資格（幼児教育課程のみ対象、詳しくは、P100～を参照すること）

心理教育学科子ども教育専修生が取得できる免許状・資格は上のとおりです。

他学科・他専修で認定を受けている免許状取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談してください。

6. 保育士資格

(1) 保育士資格について

心理教育学科は、「出生から死に至るまでの人の一生涯にわたる人間発達」を考える学科ですが、発達の土台をつくる乳幼児期の発達について学ぶことを重視しています。近年、子どもの生活環境の急激な変化や、子どもの保育を必要とする家庭の急増など、子どもを巡る大きな変化が起こっています。

心理教育学科では、保育に携わる者に必要とされる現代的な資質として、以下の3点があると考えています。

(1) 知性と批判精神、人間愛ゆたかな生活者：子どもとその保護者、保育や保育者のおかれた状況と課題を広い視野からとらえ、能動的に状況と関わる社会人になることを目指します。

(2) 専門的探究に裏付けられた子どもの理解者：人間に対する豊かな愛情が、専門的知識をともなう深い子ども理解に裏付けられたとき、ほんとうに子どもの味方になれると考えています。

(3) 豊かな感性と表現力、コミュニケーション力を持つ教育者：乳幼児の保育担当者としての、実践的専門性・職能を身につけることも大切です。楽しんで学びながら、豊かな感性や創造力をもつ保育者としての資質・技術が育ってほしいと考えています。

心理教育学科では、これらの資質を持った保育士を養成する専修を2010年度に立ち上げました。さらに、2015年度には、子ども教育専修の中に発展的に位置づけられました。

(2) カリキュラムの特徴

心理学・教育学のカリキュラムが整った心理教育学科で、保育士資格を目指すことができます。保育士資格を目指すみなさんには、資格取得だけではなく、心理学や教育学を深く関心を持って学んでもらいたいと考えています。

また、和光大学全体のカリキュラムでは、現実の問題と学問の関連性を大切にしています。保育士資格のカリキュラムでも、実際に子どもと接することから、研究の課題を見つけ、さらに深く学ぶ、というプロセスを大切にしています。

なお、保育士資格を取得するためには、幼児教育課程の卒業要件となる必修科目とは別に、1年次から修得しなくてはならない単位が数多くあります。詳しくは、「保育士養成課程授業一覧表」(P102~103)を参照してください。

各学年の特徴

各学年のおおまかな目標は次のとおりです。

1年次：基礎：保育の考え方や基礎概念を理解する。

子どもと関わり学修課題を発見する。

2年次：総合演習・方法演習：研究方法を身につける。各論を学ぶ。

保育技術の基礎を学ぶ。

3年次：演習：関心領域を深める。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

4年次：卒論作成：研究をまとめ、伝える。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

(3) 保育士資格取得のための科目履修の手続きについて

保育士資格は、心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみが取得することができる資格です。

保育士資格を取得するには、保育士資格に必要な単位を修得し、同時に和光大学心理教育学科を卒業するために必要な単位を修得しなくてはなりません。保育士資格取得のための単位は、心理教育学科を卒業するために必要な単位の一部とみなす事ができます。

〈2023年度以降入学生〉

保育士資格取得のための単位は、「児童福祉法施行規則」に基づき、以下のような科目群が含まれます。

教科目の種別	保育士資格取得における法規上必要単位数	保育士資格取得における本学必要修得単位数			備 考
		必修	選択	計	
教養科目	8単位以上	5単位	6単位以上	11単位以上	「子どもの生活と英語」「運動と身体科学」各2単位必修、「スポーツ実技」「スポーツ文化（スポーツレクリエーション2）」のいずれか1科目1単位選択必修。それ以外に6単位以上。
告示別表第1による教科目	51単位以上	69単位		69単位	
告示別表第2による教科目	9単位以上	3単位	6単位以上	9単位以上	「保育実習2（保育所）」と「保育実習指導2」計3単位、または「保育実習3（施設）」と「保育実習指導3」計3単位のいずれか必修。それ以外に6単位以上。
合計	68単位以上	77単位	12単位以上	89単位以上	これ以外に、心理教育学科の卒業要件として履修必要な単位もあるため、卒業要件を確認すること。

保育士資格取得のためのそれぞれの科目は、子ども教育専修の卒業要件にかかわる科目群のいずれかに当てはめることができます。心理教育学科の卒業要件についてはP88を、それぞれの科目がどの科目群にあてはまるかについては、P102からの「保育士養成課程授業一覧表」を見てください。

保育士資格取得に関する注意

- ・指定された履修学年に、それぞれの科目をできるだけ履修してください。
- ・ある科目を「保育士資格取得のための科目」として履修する場合と、一般の「共通教養科目」「心理教育学科専門科目」等として履修する場合とでは、履修のための基準（出席しなくてはならない授業回数など）が異なる場合があります。年度初めの説明会やオリエンテーションでの説明および授業担当者の指示をよく聞いてください。

幼稚園教諭免許と保育士資格の関係

- ・厚生労働省、文部科学省による、保育園・幼稚園の一体的運営の流れの中で、幼児教育課程の学生には幼稚園教諭一種免許と保育士資格を共に取得することを強く推奨しています。
- ・保育士資格取得のために必要な科目と、幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目は、かなり重複しています。幼稚園教諭免許については資格課程の手びきを参照してください。

保育実習の実習先開拓および実習参加条件

①保育実習1、2、3の開拓条件

開拓実施前年度終了時に、1年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が4科目以下であること。

②保育実習1参加条件

保育実習実施前年度終了時に、1、2年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が4科目以下であり、実習実施年度に3年次前期開講科目の「保育実習指導1（保育所）」および後期開講科目の「保育実習指導1（施設）」を単位修得見込みであること。

③保育実習2、3の参加条件

「保育実習1」の単位を修得見込みであること。

※参加条件を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には、保育実習には参加できません。

※科目等履修について

幼児教育課程の学生で、卒業までに保育士資格に必要な単位を修得できなかった場合、「科目等履修生」として、卒業後に必要科目を履修申請することができます。

詳しくは、「資格課程の手びき」の科目等履修生のページをご覧ください。

保育士資格取得に関する授業一覧表
《2023年度以降
入学生用》

現代人間学部 心理教育学科 保育士養成課程授業一覧表

対象＝2023年度以降子ども教育専修幼児教育課程入学生

児童福祉法施行規則告示に定める教科目				本学授業科目							備 考
系列	教科目	授業形態	単位数	コード番号	左に対応して開設されている教科目	授業形態	オンライン科目	単位数			
								必修	選択	計	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6単位以上	3114	教育の考え方	講義			2	2	
				—	子どもと教育の歴史	講義			2	2	2024年度休講
				—	子どもと家族の歴史	講義			2	2	2024年度休講
				1205	里山保全の理論 ※2	講義			2	2	
				3118	ジェンダーと教育	講義			2	2	
				3412	こどもの発達と文化 一育む仕事一	講義			2	2	
				3117	教育の思想	講義			2	2	
				—	教育と社会	講義			2	2	2024年度休講
				1022	子ども理解と学校づくり ※2	講義			2	2	
				—	人間形成の社会史 ※2	講義			2	2	2024年度休講
				1024	身体性認知科学 ※2	講義			2	2	この中から6単位以上必ず修得
				1101	性とジェンダー A ※2	講義	時間割外		2	2	
				1122	キャリア発達論 ※2	講義			2	2	
				1123	「親になること」とは ※2	講義			2	2	
				1124	自殺学 ※2	講義	時間割外		2	2	
				1133	地域文化と身体教育 A ※2	講義			2	2	
				—	地域文化と身体教育 B ※2	講義			2	2	2024年度休講
				—	動物と人間の関係史 ※2	講義			2	2	2024年度休講
				—	生物の多様性 A ※2	講義			2	2	2024年度休講
				—	生物の多様性 B ※2	講義			2	2	2024年度休講
				—	先端科学と私たちの社会 ※2	講義			2	2	2024年度休講
				1025	生活のなかのデザイン ※2	講義			2	2	
				—	ギリシア神話を読む ※2	講義			2	2	2024年度休講
				1119	情報と現代 ※2	講義			2	2	
				1202	大学マネジメント論 ※2	講義			2	2	
				1120	キャリアデザイン A ※2	講義			2	2	
				1121	キャリアデザイン B ※2	講義			2	2	
				—	反発達論 ※2	講義			2	2	2024年度休講
				—	教育の考古学 ※2	講義			2	2	2024年度休講
	外国語	演習	2	3485/3486	子どもの生活と英語 ※1	演習		2		2	
	体育	講義	1	未開講	運動と身体の科学	講義		2		2	
		実技	1	3455/3456	スポーツ実技	実技		1		1	選択必修
		実技	1	1069	スポーツ文化(スポーツレクリエーション2) ※2	実技		1		1	
設置単位数		10単位以上		本学必要修得単位数				5	6	11	
履修単位数		8単位以上									

※1 外国語の卒業必修4単位には含まれません。

※2 共通教養科目として卒業要件の20単位に含まれます。

＜別表１＞

児童福祉法施行規則 告示別表第1による教科目				本学授業科目							備 考
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード番号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン лайн 科目	単位数			
								必修	選択	計	
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理	講義	2	3465	保育原理	講義		2	2	保育実習に関わる単位修得条件があります。 101ページ「保育実習の志望先開拓および実習参加条件」を参照。	
	教育原理	講義	2	3610	教育原理	講義		2	2		
	子ども家庭福祉	講義	2	3190	児童福祉	講義		2	2		
	社会福祉	講義	2	3008	社会福祉	講義		2	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	未開講	家族援助論	講義		2	2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	3490	社会的養護	講義		2	2		
解に関する科目	保育者論	講義	2	3487	保育者論	講義		2	2		
	保育の心理学	講義	2	3401	発達心理学	講義	時間割外	2	2		
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	3493	子ども家庭支援の心理学	講義	時間割外	2	2		
	子どもの理解と援助	演習	1	未開講	子ども理解と保育・教育相談	演習		2	2		
	子どもの保健	講義	2	3522	小児保健Ⅰ	講義	時間割外	2	2		
	子どもの食と栄養	演習	2	3525/3526	小児栄養	演習		2	2		
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	未開講	保育カリキュラム論	講義		2	2		
	保育内容総論	演習	1	3497	保育内容総論	演習		2	2		
	保育内容演習	演習	5	3533	保育内容（生活と環境）	演習		2	2		
				未開講	保育内容（ことば）			2	2		
				3536/3537	保育内容（人間関係）			2	2		
				3530/3531	保育内容（表現）			2	2		
				未開講	保育内容（健康）			2	2		
	保育内容の理解と方法	演習	4	3617/3618/ 3619/3620	子どもと音楽表現	演習		2	2		
				3614/3615/3616	子どもと造形表現			2	2		
				3448/3449	子どもの体育			2	2		
				3607/3637	子どもと人間関係		1	1			
				3608/3638	子どもと環境		1	1			
				3609/3639	子どもと健康		1	1			
				3606/3636	子どもとことば		1	1			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	3503	乳児保育の理論	講義		2	2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	3500	乳児保育	演習		2	2		
子どもの健康と安全	演習	1	3523	小児保健Ⅱ	演習		1	1			
障害児保育	演習	2	未開講	特別ニーズのある乳幼児への保育と教育	演習		2	2			
社会的養護Ⅱ	演習	1	3541	養護内容	演習		2	2			
子育て支援	演習	1	3488	相談援助	演習		2	2			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	未開講	保育実習Ⅰ（保育所）	実習		2	2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	未開講	保育実習Ⅰ（施設）			2	2		
				未開講	保育実習指導Ⅰ（保育所）			2	2		
演習総合	保育実践演習	演習	2	未開講	教職・保育実践演習（小・幼・保）	演習		2	2		
	設置単位数	51単位以上		本学必要修得単位数 69						69	
履修単位数		51単位以上									

＜別表２＞

児童福祉法施行規則 告示別表第2による教科目				本学授業科目							備 考		
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード番号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン ライ ン 科目	単位数					
								必 修	選 択	計			
保育の本質・目 的に関する科目 解に関する科目 法に関する科目	各指定保育士養 成施設において 設定	不問	15単位 以上	3121	保育学	講義			2	2	※		
				—	発達とコミュニケー ション	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				3160	発達障がい基礎	講義			2	2	※		
				未開講	精神保健	講義			2	2	※		
				—	子どもの発達と地域社会	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				未開講	幼小教育課程論	講義			2	2	※		
				3406/3407	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）	講義			2	2	※		
				3199	学校インターンシップD	演習			2	2	※		
				3562	保育インターンシップ	演習			2	2	※		
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	未開講	保育実習2（保育所）	実習		2		2	選択必修		
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	未開講	保育実習指導2	演習		1		1			
	保育実習Ⅲ	実習	2	未開講	保育実習3（施設）	実習		2		2			
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	未開講	保育実習指導3	演習		1		1			
設置単位数		18単位以上		本学必要修得単位数							3	6	9
履修単位数		9単位以上											

※印科目から6単位以上必ず修得

保育士資格取得に関する規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、和光大学学則（以下「学則」という。）第31条第2項の規定による保育士の資格取得に関する必要な事項を定めるものとする。

(指定保育士養成施設の位置と名称)

第 2 条 和光大学（以下「本学」という。）で保育士養成を行う位置は、次のとおりとする。

東京都町田市金井ヶ丘五丁目1番1号 和光大学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修

(資格取得要件)

第 3 条 保育士資格を取得するには、本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の卒業に必要な単位を修得するとともに、下記の単位数を別表1、別表2及び別表3に定める教科目の単位として修得しなければならない。

学部・学科		科目	共通教養 科 目	外国語 科 目	体育 科 目	専門科目			合計
						必修科目	選択必修 科 目	自由選択 科 目	
現代人間 学 部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程		6単位以上	2単位以上	3単位以上	69単位	9単位以上	0単位以上	89単位

(修業年限・定員)

第 4 条 本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修の修業年限及び定員については、次のとおりとする。

修業年限 4年

入学定員 45名

編入学定員 0名

学生定員 180名

(単位の計算)

第 5 条 授業科目の単位計算方法は、学則及び履修規程に定めるところによる。ただし、保育実習については、45時間の授業をもって1単位とする。また、別表3に定める教科目「外国語」については、15時間の授業をもって1単位とする。

(単位の認定)

第 6 条 授業を履修し、全授業時間数の3分の2以上出席した者は、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

ただし、実習に関する教科目については、全授業時間数の5分の4以上出席した者にたいし、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

(他大学での修得単位の認定)

第 7 条 転・編入学者の以前の大学における取得単位とその科目の認定は、和光大学編入学・転部転科者の単位認定規程による。

(他大学での修得単位の認定制限)

第 8 条 第7条の定めにかかわらず、他の指定保育士養成施設において学生が履修した教科目又は入学前に指定保育士養成施設において履修した教科目の修得単位について、本学で認定する単位の上限は、別表1、別表2及び別表3に定める教科目として30単位を超えない範囲とする。また、指定保育士養成施設以外の他大学で履修した教科目の修得単位については、別表3に定める教養科目に相当する教科目として30単位を超えない範囲とする。

(休業期間の例外)

第 9 条 休業期間中であっても別表1及び別表2で定める保育実習を実施することがある。

(授業クラスの定員)

第 10 条 別表1、別表2及び別表3に定める教科目のうち演習及び実習・実技

科目については、原則として50名を超えて履修することはできない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成22年度に入学した現代人間学部心理教育学科保育専修の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	81単位

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2023年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、2018年度から2022年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	67単位	9単位以上	0単位以上	87単位

2019～2022年度入学生

心理教育学科 子ども教育専修

1. 心理教育学科の特徴

..... P 108

2. 卒業要件・履修要領

..... P 110

3. 専門科目の説明

..... P 111

4. 授業一覧表

..... P 113

5. 取得できる資格

..... P 121

6. 保育士資格

..... P 122

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 心理教育学科 の特徴

(1) 心理教育学科で 学べること

心理教育学科では、私たちが主体的に生きていく上で必要な土台となる、「こころ（心理）」と「まなび（教育）」について広く、そして深く学んでいきます。私たちは、自分たちを取り巻く環境や社会から影響を受けたり、それらに働きかけたりしながら生活しています。

学科では、みなさんが心とまなびの課題に迫っていきける存在になることを目指して、様々なカリキュラムを用意しています。具体的には次の3つの能力の習得を目指しています。

- ①心理学や教育学の考え方を日々の生活の中で活かせるようになること
- ②学んだことを活かした物事の捉え方ができるようになること
- ③私たちが慣れ親しんでいる枠組みを越えて新しい課題に挑戦できるようになること

そして2015年度から心理教育学科は、学科が大切にしている「こころ」「まなび」と現実の世界との結びつきをより深く考えるために、「心理学専修」と「子ども教育専修」の2つの専修からなる学科へと発展しました。「心理学専修」では、これまで以上にしっかりと心理学的視点を身につけ、同時にそれを実際の生活の中で活かせるようになることを目指します。

「子ども教育専修」では、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などの教員免許や資格の取得を目指しますが、心理教育学科の学びを活かして、現実の子どもや教育・子育て環境の中にある課題に挑戦できる能力を身につけてほしいと期待しています。

特に子ども教育専修では、

- ①心理学を学び、カウンセリングマインドを持った教員・保育士
 - ②和光学園の幼稚園、小学校の「生活学習」を基軸にして学ぶ教員・保育士
 - ③和光の伝統である「共生」の理念を活かし、異文化や障がいに対する理解を持った教員・保育士
- を目標にしてほしいと願っています。

なお、初等教育課程では、小学校教員免許・幼稚園教員免許取得を目指します。幼児教育課程では、幼稚園教員免許・保育士資格取得を目指します。

(2) カリキュラムの 特徴

子ども教育専修のカリキュラムは、「人間発達の基礎」「研究法」「心理学の基礎・応用」「教育学の基礎」「教育学の応用」「初等教育・保育教育研究の基礎」「初等教育・保育教育研究の応用」「実習及び実習指導」「インターンシップ・フィールドワーク」という9つの科目群に分けられています。

人間発達の基礎：心理学・教育学という学問分野を問わず、幅広く「発達する人間」について知ることを目的としています。興味関心の幅を広げるためにも、色々な科目を履修してください。また、「オムニバス『心理と教育』」は、心理教育学科の専任教員がリレー形式で講義する科目です。是非履修してください。

研究法：心理学や教育学に関わる実験・調査・観察・フィールドワークの実施に必要な能力をつけるために、基礎から応用まで無理なく学べるよう、様々な科目が開講されています。卒業論文を作成する過程で調査や観察をしたり、フィールドワークに行ったりする際に必要となる力を身につけることができます。

心理学の基礎・応用：心理学の基礎的な知識を学んだり、より実践的な課題について考え議論することを目的とした科目です。教育学関係の科目と合わせて学習することで、人についての理解を深めてください。

教育学の基礎：教育学の基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。「教育学の応用」を学ぶための土台を作る意味でも、特定の領域に偏らず幅広く学習するようにしてください。

教育学の応用：教育学の基礎的な知識を身につけたうえで、より実践的な課題について考えたり、議論したりすることを目的とした科目が開講されています。

初等教育・保育研究の基礎：教育学・保育学など、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士になるための基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。

初等教育・保育研究の応用：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士として身につけておくことが求められる応用的な知識や技術を学ぶことができる科目が開講されています。

実習及び実習指導：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格取得に必要な教育・保育実習と、その準備や振り返りのための科目が開講されています。

インターンシップ・フィールドワーク：心理学、教育学、保育に関わるNPOや小学校・特別支援学校・幼稚園・保育所などでの研修やフィールドワークなどを行う科目です。

2. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2019～2022年度入学生 心理教育学科 子ども教育専修》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

				小計	合計
共通教養科目			●	20単位	124単位 (うち、対 面科目が 最低64単 位含まれ ているこ と)*
外国語科目	同一外国語で		●	4単位	
専門科目	プロゼミ			4単位	
	演習		●	4単位	
	学科専門科目	子ども教育専修必修		18単位	
		子ども教育専修選択必修	●	47単位	
	卒業論文			10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・心理教育学科専門科目 心理学専修 子ども教育専修（必修・選択必修以外のもの） ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注）資格課程専用（8000番台）科目は含めることができません。			17単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

①プロゼミ 4単位、演習 4単位、学科専門科目から65単位、卒業論文10単位

②学科専門科目のうち、子ども教育専修必修科目（18単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで異なる科目が指定されています。

③学科専門科目のうち、子ども教育専修選択必修科目（47単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで指定された科目の範囲から選択します。

④自由履修科目

共通教養科目、外国語科目、演習科目、子ども教育専修選択必修科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、心理教育学科専門科目（心理学専修、必修・選択必修以外の子ども教育専修）ならびに他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

（1）学部共通科目

学部共通科目はいずれの学科所属であっても、現代人間学部 of 学生のみなさんが共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

（2）プロゼミ

（1科目選択で必修4単位）

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年次生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が交替で、テーマを掲げて担当しますが、内容については、学科説明会時に説明を行いますので、そこで確認してください。

（3）学科専門科目

「オムニバス『心理と教育』」以下、約100科目が並んでいます。

●子ども教育専修必修科目

「幼小教育課程論」「初等教育心理学」など、初等教育、幼児教育・保育研究関係の基本となる科目です。子ども教育専修の学生は必修ですが、初等教育課程と幼児教育課程で、科目が異なるので注意してください。

具体的な科目は、授業一覧表の右端の列にある、「必修」の表記を参考にしてください。

●子ども教育専修選択必修科目

「世界の教育と子育て」など、初等教育課程、幼児教育課程で履修しておくとい科目がなっています。それぞれの課程で科目が異なるので、注意してください。授業一覧表の右端の列にある、それぞれの課程ごとの「選択必修」（プロゼミ、演習はのぞく）の中から47単位を履修してください。

●オムニバス「心理と教育」

心理教育学科の1年次生に最初に履修してほしい科目です。心理教育学科の教員が、毎回交代で、心理教育に関わるさまざまな話題について講義を行います。心理教育学科の教員を知り、学びの概要を知るのに有効です。

●研究法

教育学研究法基礎、文献・資料研究や、エスノグラフィー、授業研究などの方法科目は、みなさんが自分の研究テーマを深めるためのスキルを身につけることのできる科目群となっています。みなさんが専門を絞っていく中で、計画的に履修をしてください。

●インターンシップ・フィールドワーク

インターンシップ・フィールドワークでは、指導教員と相談して、主に大学の外で、NPOなどの研修、学校や幼稚園、保育所などでの研修、フィールドワーク、アクションリサーチ、プロジェクト研究などを行います。その過程と成果をレポートとして指導教員に提出することにより単位修得ができます。実践内容は、指導教員が決める場合、学生が提案する場合、そして両者が相談して決める場合があります。指導教員の許可が必要な許可科目もあります。

●演習（ゼミ）科目 （必修4単位）

演習科目は、原則として3・4年次生のために開講され、専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。通年科目として1年ごとに履修登録しますが、3年次・4年次と連続して履修することを勧めます。

2年次後期に、3年次のゼミ履修に関する説明会を実施しますので、必ず参加してください。最低必修単位数（4単位）より多く修得した単位は、自由履修科目として数えます。

（4）卒業論文

（必修10単位）

卒業論文は、自分で選んだ専任教員を指導教員（主査）として、4年次の4月中旬までに「卒業論文調査票」を提出し、12月中旬に論文を提出します。

大学での学修の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら1年間かけてまとめあげるのが卒業論文です。心理教育学科を卒業するためには、卒業論文を書くことが必修となっています。学生のみなさんは、どの教員に自分の卒業論文を指導し、審査してもらいたいかを考え（主査）、その教員と相談しながら、テーマを決定し、論文を書きあげていくことになります。

そのための具体的な手続きは3年次の12月に行う仮題目届の提出から開始されますが、卒業論文の執筆を念頭におきつつ、早い時期から自分の研究テーマを考え、学修計画を立ててください。

①卒業論文提出までの手
続き

●3年次生になったら

3年次生になったら、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めていってください。すでにプロゼミの単位は大部分の人が修得しているはずですが、未修得の場合は3年次で必ず修得しましょう。

●3年次生12月
仮題目届提出

仮題目届提出期限 **2024年12月6日(金) 16:30**

提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。

仮題目提出に先立って、主指導教員（主査）と仮題目・内容についてよく相談の上、承認を得てから、仮題目届の提出を行ってください。

主査について

卒業論文仮題目届の主指導教員（主査）は所属する学科専任教員のみとします。
（心理教育学科の演習担当者）

副査について

副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつけたい場合、原則としては心理教育学専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員でも構いません。その場合主指導教員（主査）と相談してください。

●4年次生4月
調査票提出・履修登
録

「卒業論文調査票」提出期限 **2024年4月15日(月) 16:30まで**

提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。

(1)4年次生の4月に「卒業論文調査票」を提出します。これにより、履修登録が完了します。

調査票提出に先立って、主指導教員（主査）と題目・内容等についてよく相談の上、承認を得てから、調査票の提出を行ってください。

(2)履修登録では主査別の授業コードが実習欄に登録されていることを確認してください。

●論文題目を変更する
とき

調査票提出以降に論文題目を変更する場合には、主指導教員（主査）とよく相談の上、承認を得てから、11月末日までに申請を行ってください。詳細は和光ポータルでお知らせします。

●4年次生12月提出

卒業論文提出日 **2024年12月20日(金) 14:00まで**

教学支援課に卒業論文（受領票も一緒に）を提出

なお、提出の際には学生証を持参し、必ず本人が提出すること。

②卒論の清書について

卒業論文は出来るだけパソコンのワープロソフトを用いて執筆してください。

手書きの場合はインクまたはボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。用紙は、A4版の紙を使用すること。ワープロソフト使用の場合は横40字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします。

論文の1ページ目は、指導教員名、題目、学籍番号、氏名、論文のキーワード5個程度を記載してください。

詳しくは主指導教員（主査）に相談してください。

背表紙をつける

論文は既製のファイルなどにとじて提出してください。

右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。なお、サブタイトルがある場合は、題目のあとに「：」等の記号をつけて記載するようにしてください。

受領票について

教学支援課で11月から配布します。

必要事項を記入し卒業論文の表に必ず受領票を貼ってから提出してください。

③卒論発表会

2024年1月下旬または2月上旬に開催します（日時は掲示で発表）。心理教育学専主催で卒業論文発表会を開催します。この会の運営は、3年次生の運営委員会を中心に行われます。参加は義務ではありませんが、卒業論文の発表を行う卒業年次生だけでなく、全学年からの参加を強く勧めます。この機会に自分の成果を発表し、他者の発表からおおいに学び合ひましょう。

背表紙

24

主
査
名

題
目
…
サ
ブ
タ
イ
ト
ル

学
籍
番
号

氏
名

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2019～2022年度入学生用）																		
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修	
								1 年	2 年	3 年	4 年							
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。																		
プロゼミ	プロゼミ	3101 プロゼミ[阿部]	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	×		—	(いずれか4単位)必修	
		3102 プロゼミ[熊上]					—	1	2	3	4	熊上 崇				—		
		3103 プロゼミ[高坂]					—	1	2	3	4	高坂 康雅				—		
		3104 プロゼミ[末木]					—	1	2	3	4	末木 新				—		
		3105 プロゼミ[大西]					—	1	2	3	4	大西 公恵				—		
		3106 プロゼミ[富樫]					—	1	2	3	4	富樫 千紘				—		
		3107 プロゼミ[稲葉]					—	1	2	3	4	稲葉 浩一				—		
		3108 プロゼミ[五十嵐]					—	1	2	3	4	五十嵐 敏文				—		
		3109 プロゼミ[韓]					—	1	2	3	4	韓 仁愛				—		
		3110 プロゼミ[粕谷]					—	1	2	3	4	粕谷 亘正				—		
＜心理教育学科専門科目＞																		
学科専門科目	〔人間発達の基礎〕	3111 オムニバス「心理と教育」	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	末木、粕谷 他 学科教員	×	○		—		
		3401 発達心理学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	常田 秀子	×	○		保幼小のみ	必修	
		3113 発達心理学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	高坂 康雅	×	○		—		
		3114 教育の考え方	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	富樫 千紘	×	○		—		
		4018 生涯学習論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○		—		
		— 教育と社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		
		3117 教育の思想	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	辻 直人	×	○		—		
		3118 ジェンダーと教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	堀川 修平	×	○		—		
		— 子どもと教育の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		
		— 子どもと家族の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3121 保育学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		—	選択必修	
		3402 運動と身体科学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	畑島 一翔	×	○		—		
	〔研究法〕	— 教育学研究法基礎	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		— 文献・史料研究A	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		— 文献・史料研究B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		— ライフヒストリー研究	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		— 文献の検索・講読・発表	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		— エスノグラフィーA	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		— エスノグラフィーB	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3147 授業研究の方法	2	クラス指定	—	後期	—	—	2	3	4	五十嵐・加川	×	○		小のみ		
		3148 保育記録の研究	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	常田・粕谷・韓・山口	×	○		—	選択必修	
		〔総合心理学〕 ↓基礎	3157 発達臨床心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	常田 秀子	×	○		—	
			3160 発達障がい基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	×	○		—	選択必修
			— 発達とコミュニケーション	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2019～2022年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修選択必修
								1	2	3	4						
学科専門科目	↑(心理学の基礎・応用)	3403 児童への特別支援教育	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	熊上 崇	×	○		小のみ	
		— 障がい者の学習支援	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修
		3170 いじめ・不登校の心理学	2	人数制限(抽選)	有	集中講義	—	1	2	3	4	中村 扶実子	×	○		—	
		3152 学習・言語心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	鈴木 敦子	×	○		—	
		3153 教育心理学の理論	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	1	2	3	4	加藤 慧	×	○		—	
	(教育学の基礎)	3154 社会・集団・家族心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○		—	
		3404 近代日本の社会と教育	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		—	
		3405 現代日本の社会と教育	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	
		3406 初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	大西・稲葉	×	○	「初等教育方法」から科目名変更	—	必修 *幼児学生
		3407 初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	薄田・稲葉	×	○	「初等教育方法」から科目名変更	—	必修 *初等学生
		— 子どもの発達と地域社会	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	—	
		3408 教育社会学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	
		3190 児童福祉	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	加藤 洋子	×	○		—	選択必修
		3409 生活指導論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	関口 武	×	○		—	
		4028 社会教育論	2	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「生涯学習論」修得者のみ履修可	—	
		— 学校文化論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—	
		3411 環境教育論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	角田 季美枝	○	○		—	
		3412 こどもの発達と文化―育む仕事―	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	松岡 裕	×	○		—	
		3413 演劇と教育	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	柏木 陽	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	
		— 世界の教育と子育て	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修
		— 子どもと大人の関係史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		3414 幼小教育課程論	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	富樫 千紘	×	○		—	必修
		— 保育内容の歴史と国際比較	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		— 福祉のまちづくりと教育	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
	(教育学の応用)	3417 グローバリゼーションと教育	2	なし	—	後期	時間割外	—	2	3	4	谷川 由佳	×	○		—	選択必修
		3418 小学校英語の研究	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	高野 のぞみ	×	○		小のみ	選択必修
		3419 学校体系論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	山本 由美	×	○		—	選択必修
		— 教育と芸術A	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		— 教育と芸術B	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
		— 教育法学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		3193 いじめ・不登校の教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—	
		3194 青年の自立と社会	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	桐島 次郎	×	○	隔年開講	—	
		— 青年の生活文化と教育	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
		4031 フィールドワーク(生涯学習1)	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	
		4032 フィールドワーク(生涯学習2)	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2019～2022年度入学生用）																	
卒業 要件	授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	オンライ ン 科 目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修
								1 年	2 年	3 年	4 年						
学 科 専 門 科 目 ↓ (初等教育・保育教育研究の基礎)	3423	教職概論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修
	3424	初等教育心理学[1]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○		幼小のみ	必修
	—	初等教育心理学[2]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼小のみ	
	3426	教育課程論	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	五十嵐 敏文	×	○		幼小のみ	必修 *初等学生
	3427	保育カリキュラム論	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ	必修 *幼児学生
	3428	授業づくりの基礎	2	クラス指定	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ	必修
	3429	国語の内容・構成[1]	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		小のみ	
	3430	国語の内容・構成[2]	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ	
	—	国語の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3432	社会科の内容・構成1	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修
	3433	社会科の内容・構成2	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	富樫 千紘	×	○		小のみ	選択必修
	3434	算数の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加川 博道	×	○		小のみ	必修
	3435	算数の内容・構成[2]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加川 博道	×	○		保幼のみ	
	—	算数の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3437	理科の内容・構成	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ	選択必修
	3438	生活科の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	薄田 太一	×	○		小のみ	選択必修
	3439	生活科の内容・構成[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		保幼のみ	
	—	生活科の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3441	音楽（楽器演奏1）[1-1]	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	根来 章子	×	○		小のみ	選択必修
	3442	子どもの音楽[1]	2	クラス指定	—	後期	—	—	—	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修
	3443	子どもの造形[1]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修
	3444	子どもの造形[2]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修
	3446	家庭科の内容・構成[1]	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修
	3447	家庭科の内容・構成[2]	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修
	3448	子どもの体育[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ	選択必修
	3449	子どもの体育[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ	
	3450	子どもの体育[3]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	浅川 俊彦	×	○		小のみ	
	3451	子どもの遊び	1	クラス指定	—	通年	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○	時間割外実習科目	保幼のみ	
	—	遊びの研究	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講	保幼小のみ	
	3453	子どもの言葉と文化[1]	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	○		保幼のみ	
	—	子どもの言葉と文化[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3455	スポーツ実技[1]	1	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ	選択必修
	3456	スポーツ実技[2]	1	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ	
	3457	スポーツ実技[3][幼児教育課程以外の学生]	1	許可	—		—	2	3	4					4月許可手続き期間に履修者決定	幼小のみ	
	3458	教育原理	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ	選択必修
	3459	初等教育の制度と社会	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	山本・富樫	×	○		保幼小のみ	必修

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2019～2022年度入学生用)

卒業要件		授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修	
									1 年	2 年	3 年	4 年							
学科専門科目 〔初等教育・保育教育研究の基礎〕	↑	3460	初等道徳教育論[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	—	3	4	山本 由美	×	○		小のみ	選択必修	
		3461	初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	薄田・加川	×	○		小のみ	選択必修
		3462	初等生徒指導論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	加川・富樫	×	○		小のみ	選択必修
		3463	教職キャリア研究A[2]	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	—	—	3	4	五十嵐・薄田・富樫	○	○		小のみ		
		3464	教職キャリア研究B	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	—	4	稲葉 浩一	○	○		小のみ		
		3465	保育原理	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		保幼のみ	選択必修
		3466	子どもの造形[4]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	選択必修
		3467	子どもの造形[5]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	
		3468	子どもの音楽[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	選択必修	
		3469	子どもの音楽[3]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
		3470	子どもの音楽[4]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ		
		3471	子どもの音楽[5]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ		
		—	子どもの音楽[6]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	幼のみ		
		3473	音楽（楽器演奏1）[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	選択必修
		3474	音楽（楽器演奏1）[3]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	
		—	音楽（楽器演奏1）[4]	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		—	音楽（楽器演奏1）[5]	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		—	音楽（楽器演奏1）[6]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ	
	3478	音楽（楽器演奏2）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	選択必修	
	3479	音楽（楽器演奏2）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	—	音楽（楽器演奏2）[3]	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	—	音楽（楽器演奏2）[4]	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	—	音楽（楽器演奏2）[5]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		
	—	音楽（楽器演奏3）[1]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	保幼のみ	選択必修	
	—	音楽（楽器演奏3）[2]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	保幼のみ		
	3485	子どもの生活と英語[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ	選択必修
	3486	子どもの生活と英語[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ	
	3487	保育者論	2	なし	—	前期	—	—	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ	選択必修
	3488	相談援助[1]	2	なし	—	後期	—	—	—	—	2	3	4	打越 雅祥	×	○		保幼のみ	
	—	相談援助[2]	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ	
	3490	社会的養護[1]	2	なし	—	前期	—	—	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ	
	—	社会的養護[2]	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	
	3492	家族援助論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	1	2	3	4	打越 雅祥	×	○		—	選択必修
	3493	子どもと家庭支援の心理学[1]	2	なし	—	後期	時間割外	—	—	2	3	4	土永 葉子	×	○		—	選択必修	
	—	子どもと家庭支援の心理学[2]	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
	—	子どもの理解と援助	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		保のみ
	—	精神保健	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講		保幼小のみ

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2019～2022年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修選択必修
								1年	2年	3年	4年						
心理教育学科 子ども教育専修 専門科目 (初等教育・保育教育研究の基礎)	↑	3497 保育内容総論[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ	選択必修
	—	保育内容総論[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	—	保育内容総論[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3500	乳児保育[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×	○		保幼のみ	選択必修
	3501	乳児保育[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×	○		幼のみ	
	—	乳児保育[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3503	乳児保育の理論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×	○		保幼のみ	選択必修
	3504	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	×	○		保幼のみ	
	—	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ	
	3506	初等教育相談	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	菅野 恵	×	○		保幼小のみ	必修
	3507	初等教科教育法(国語)	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	泉 宜宏	×	○		小のみ	選択必修
	3508	初等教科教育法(社会)	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修
	3509	初等教科教育法(算数)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加川 博道	×	○		小のみ	選択必修
	3510	初等教科教育法(理科)	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ	選択必修
	3511	初等教科教育法(生活)	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	薄田 太一	×	○		小のみ	選択必修
	3512	初等教科教育法(音楽)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修
	3513	初等教科教育法(音楽)[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修
	3514	初等教科教育法(図画工作)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修
	3515	初等教科教育法(図画工作)[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	
	3516	初等教科教育法(家庭)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	
	3517	初等教科教育法(家庭)[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修
	3518	初等教科教育法(体育)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	浅川 俊彦	×	○		小のみ	選択必修
	3519	初等教科教育法(英語)	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	高野 のぞみ	×	○		小のみ	選択必修
	3520	子ども理解と保育・教育相談[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	×	○		保幼のみ	選択必修
	—	子ども理解と保育・教育相談[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3522	小児保健1[1]	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	桜井 ますみ	×	○		保幼のみ	
	3523	小児保健2[1]	1	なし	—	後期(隔週2コマ)	—	—	2	3	4	山下 麻実	×	○		保幼のみ	選択必修
	—	小児保健2[2]	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
	3525	小児栄養[1]	2	クラス指定	—	前期(隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×	○		保幼のみ	
	3526	小児栄養[2]	2	クラス指定	—	後期(隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×	○		保幼のみ	選択必修
	3527	保育内容(ことば)[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		保幼のみ	選択必修
	—	保育内容(ことば)[2]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ	
	—	保育内容(ことば)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ	
	3530	保育内容(表現)[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ	選択必修
	3531	保育内容(表現)[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ	
	—	保育内容(表現)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。

注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。

履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。

注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2019～2022年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修選択必修
								1年	2年	3年	4年						
学科専門科目	〔初等教育・保育教育研究の応用〕	3533 保育内容(生活と環境)[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ	選択必修
		— 保育内容(生活と環境)[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		— 保育内容(生活と環境)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3536 保育内容(人間関係)[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ	選択必修
		3537 保育内容(人間関係)[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ	
		— 保育内容(人間関係)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		3539 保育内容(健康)[1]	2	なし	—	集中講義	—	—	—	3	4	茗井 香保里	×	○		保幼のみ	選択必修
		— 保育内容(健康)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ	選択必修
		3541 養護内容[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ	選択必修
		— 養護内容[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ	
		— 療育福祉論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	
	〔実習及び実習指導〕	3544 教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	薄田・大西	×	○		小のみ	選択必修
		3545 教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	大西・山口	×	○		幼のみ	
		3546 教育実習(初等)[1]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	薄田・大西	×	○		小のみ	選択必修
		3547 教育実習(初等)[2]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	大西・山口	×	○		幼のみ	
		3548 教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	薄田・大西	×	○		小のみ	選択必修
		3549 教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	大西・山口	×	○		保幼のみ	
		3550 保育実習指導1(保育所)[1]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	×		保のみ	
		— 保育実習指導1(保育所)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ	
		3552 保育実習指導1(施設)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	常田 秀子	×	×		保のみ	
		— 保育実習指導1(施設)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ	
		3554 保育実習1(保育所)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	×		保のみ	
		— 保育実習1(保育所)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ	
		3556 保育実習1(施設)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	常田 秀子	×	×		保のみ	
		— 保育実習1(施設)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ	
		3558 保育実習指導2	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	粕谷 亘正	×	×		保のみ	
		3559 保育実習指導3	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	常田 秀子	×	×		保のみ	
		3560 保育実習2(保育所)	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	粕谷 亘正	×	×		保のみ	
		3561 保育実習3(施設)	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	常田 秀子	×	×		保のみ	
		3196 学校インターンシップA	2	クラス指定	—	通年(隔週1コマ)	—	1	2	3	4	富樫・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—	選択必修
		3197 学校インターンシップB	4	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	大西・辻・山本・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—	選択必修
		3198 学校インターンシップC	2	クラス指定	—	通年(隔週1コマ)	—	—	2	3	4	辻・大西・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—	選択必修

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2019～2022年度入学生用）																							
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修						
								1 年	2 年	3 年	4 年												
学科専門科目	〔インターンシップ・フィールドワーク〕	3199	学校インターンシップD	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	1	2	3	4	粕谷 亘正	○	○	「学校インターンシップD」から名称変更、時間割外実習科目	—	選択必修					
		3200	学校特別支援インターンシップ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 時間割外実習科目	—	選択必修					
		3562	保育インターンシップ[1]	2	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	山口・中村	○	○	時間割外実習科目	—	選択必修					
		—	保育インターンシップ[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—	選択必修					
		—	フィールドワークA	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—						
		—	フィールドワークB	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—						
		—	フィールドワークC	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—						
		—	フィールドワークD	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—						
		—	フィールドワークE	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—						
—	フィールドワークF	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—								
演習		3801	発達心理学演習	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	常田 秀子	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	—	(いずれか4単位以上) 必修					
		3802	臨床心理学演習					—	—	—	3	4	末木 新										
		3803	教育方法学演習					—	—	—	3	4	大西 公恵										
		3804	教育文化論演習					—	—	—	3	4	辻 直人										
		3805	保育文化論演習					—	—	—	3	4	粕谷 亘正										
		3806	青年心理学演習					—	—	—	3	4	高坂 康雅										
		3807	教育社会学演習					—	—	—	3	4	稲葉 浩一										
		3808	現代学校論演習					—	—	—	3	4	山本 由美										
		3809	児童心理学演習					—	—	—	3	4	菅野 恵										
		3810	学校教育学演習					—	—	—	3	4	五十嵐 敏文										
		3811	幼児教育学演習					—	—	—	3	4	山口 理沙										
		3812	社会心理学演習					—	—	—	3	4	坂井 敬子										
		3813	保育表現演習					—	—	—	3	4	根来 章子										
		—	児童福祉論演習					—	—	—	3	4	—								2024年度休講		
		3815	学校経営論演習					—	—	—	3	4	富樫 千紘										
		3816	保育実践論演習					—	—	—	3	4	韓 仁愛										
		3817	障がい児心理学演習					—	—	—	3	4	熊上 崇										
		3818	認知心理学演習					—	—	—	3	4	阿部 慶賀										
		3819	初等教育学演習					—	—	—	3	4	薄田 太一										
		3820	健康・医療心理学演習					—	—	—	3	4	小松 賢亮										

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2019～2022年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修・選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2019～2022年度入学生用）																		
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修 選択必修	
								1 年	2 年	3 年	4 年							
卒業論文	3901	卒業論文[常田]	10	クラス 指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	常田 秀子	—	×	和光ポータルの指示に従うこと	—	(い ず れ か 1 0 単 位)	
	3902	卒業論文[末木]					—	—	—	—	4	末木 新						
	3903	卒業論文[大西]					—	—	—	—	4	大西 公恵						
	3904	卒業論文[辻]					—	—	—	—	4	辻 直人						
	3905	卒業論文[粕谷]					—	—	—	—	4	粕谷 亘正						
	3906	卒業論文[高坂]					—	—	—	—	4	高坂 康雅						
	3907	卒業論文[富樫]					—	—	—	—	4	富樫 千紘						
	3908	卒業論文[山本]					—	—	—	—	4	山本 由美						
	3909	卒業論文[菅野]					—	—	—	—	4	菅野 恵						
	3910	卒業論文[五十嵐]					—	—	—	—	4	五十嵐 敏文						
	3911	卒業論文[山口]					—	—	—	—	4	山口 理沙						
	3912	卒業論文[坂井]					—	—	—	—	4	坂井 敬子						
	3913	卒業論文[根来]					—	—	—	—	4	根来 章子						
	—	卒業論文[一瀬]					—	—	—	—	4	—						2024年度休講
	3915	卒業論文[韓]					—	—	—	—	4	韓 仁愛						
	3916	卒業論文[熊上]					—	—	—	—	4	熊上 崇						
	3917	卒業論文[阿部]					—	—	—	—	4	阿部 慶賀						
	3918	卒業論文[稲葉]					—	—	—	—	4	稲葉 浩一						
	3919	卒業論文[薄田]					—	—	—	—	4	薄田 太一						
	3920	卒業論文[小松]					—	—	—	—	4	小松 賢亮						
<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。																		
自由履修科目	3001	社会学A	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割内	1	2	3	4	周 筱	×	○		—		
	3002	社会学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○		—		
	3003	心理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○		—		
	3004	教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○		—		
	—	国際関係学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		
	3006	女性学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	西山 千恵子	×	○		—		
	3007	男性学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 敦也	×	○		—		
	3008	社会福祉	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	牧野 賢一	×	○		—		
	3009	文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	矢野原 佑史	×	○		—		
	3010	生態学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 健	×	○		—		
	—	環境思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		
	—	学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—		
	—	学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—		
—	インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—			

5. 取得できる資格

（1）子ども教育専修 において取得で きる教員免許

子ども教育専修の学生は、小学校教諭一種免許状や幼稚園教諭一種免許状を取得するのに必要な単位を取ることで、卒業に必要な多くの単位を修得することができます。初等教育課程の学生は、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状の両方（またはどちらか）の取得を目指し、2年次に教学支援課に受講申請を行います。幼児教育課程の学生は、1年次から幼稚園教諭一種免許状と保育士資格取得を目指します。取得予定の教員免許に応じて、免許状取得のために履修しなくてはならない科目が異なりますので、免許状取得を見据えて、1年次から必要な科目を履修していくとよいでしょう。

詳しくは、資格課程の手びきを参照してください。

（2）取得できる資格 ・免許状の種類

卒業に必要な単位数を修得すると、みなさんは「学位（学士）」を取得できます。学位（学士）の取得を基礎要件とするさまざまな資格がありますが、必要な単位を修得することによってそのうちのいくつかの資格を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

小学校教諭一種免許状
幼稚園教諭一種免許状

図書館司書
学校図書館司書教諭
社会教育主事
博物館学芸員

児童指導員（任用資格）※
社会福祉主事（任用資格）※

※児童指導員とは養護や療育を必要とする子どもが入所する児童福祉施設（児童発達支援センター、児童養護施設など）において、子どもたちの健全な育成を支援する者に必要とされる資格です。

※社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所等において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

保育士資格（幼児教育課程のみ対象、詳しくは、P122～を参照すること）

心理教育学科子ども教育専修生が取得できる免許状・資格は上のとおりです。

他学科・他専修で認定を受けている免許状取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談してください。

6. 保育士資格

(1) 保育士資格について

心理教育学科は、「出生から死に至るまでの人の一生涯にわたる人間発達」を考える学科ですが、発達の土台をつくる乳幼児期の発達について学ぶことを重視しています。近年、子どもの生活環境の急激な変化や、子どもの保育を必要とする家庭の急増など、子どもを巡る大きな変化が起こっています。

心理教育学科では、保育に携わる者に必要とされる現代的な資質として、以下の3点があると考えています。

(1) 知性と批判精神、人間愛ゆたかな生活者：子どもとその保護者、保育や保育者のおかれた状況と課題を広い視野からとらえ、能動的に状況と関わる社会人になることを目指します。

(2) 専門的探究に裏付けられた子どもの理解者：人間に対する豊かな愛情が、専門的知識をともなう深い子ども理解に裏付けられたとき、ほんとうに子どもの味方になれると考えています。

(3) 豊かな感性と表現力、コミュニケーション力を持つ教育者：乳幼児の保育担当者としての、実践的専門性・職能を身につけることも大切です。楽しんで学びながら、豊かな感性や創造力をもつ保育者としての資質・技術が育ってほしいと考えています。

心理教育学科では、これらの資質を持った保育士を養成する専修を2010年度に立ち上げました。さらに、2015年度には、子ども教育専修の中に発展的に位置づけられました。

(2) カリキュラムの特徴

心理学・教育学のカリキュラムが整った心理教育学科で、保育士資格を目指すことができます。保育士資格を目指すみなさんには、資格取得だけではなく、心理学や教育学を深く関心を持って学んでももらいたいと考えています。

また、和光大学全体のカリキュラムでは、現実の問題と学問の関連性を大切にしています。保育士資格のカリキュラムでも、実際に子どもと接することから、研究の課題を見つけ、さらに深く学ぶ、というプロセスを大切にしています。

なお、保育士資格を取得するためには、幼児教育課程の卒業要件となる必修科目とは別に、1年次から修得しなくてはならない単位が数多くあります。詳しくは、「保育士養成課程授業一覧表」(P124~125)を参照してください。

各学年の特徴

各学年のおおまかな目標は次のとおりです。

1年次：基礎：保育の考え方や基礎概念を理解する。

子どもと関わり学修課題を発見する。

2年次：総合演習・方法演習：研究方法を身につける。各論を学ぶ。

保育技術の基礎を学ぶ。

3年次：演習：関心領域を深める。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

4年次：卒論作成：研究をまとめ、伝える。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

(3) 保育士資格取得のための科目履修の手続きについて

保育士資格は、心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみが取得することができる資格です。

保育士資格を取得するには、保育士資格に必要な単位を修得し、同時に和光大学心理教育学科を卒業するために必要な単位を修得しなくてはなりません。保育士資格取得のための単位は、心理教育学科を卒業するために必要な単位の一部とみなす事ができます。

〈2019～2022年度入学生〉

保育士資格取得のための単位は、「児童福祉法施行規則」に基づき、以下のような科目群が含まれます。

教科目の種別	保育士資格取得における法規上必要単位数	保育士資格取得における本学必要修得単位数			備 考
		必修	選択	計	
教養科目	8単位以上	5単位	6単位以上	11単位以上	「子どもの生活と英語」「運動と身体科学」各2単位、「スポーツ実技」1単位必修。それ以外に6単位以上。
告示別表第1による教科目	51単位以上	67単位		67単位	
告示別表第2による教科目	9単位以上	3単位	6単位以上	9単位以上	「保育実習2（保育所）」と「保育実習指導2」計3単位、または「保育実習3（施設）」と「保育実習指導3」計3単位のいずれかが必修。それ以外に6単位以上。
合計	68単位以上	75単位	12単位以上	87単位以上	これ以外に、心理教育学科の卒業要件として履修必要な単位もあるため、卒業要件を確認すること。

保育士資格取得のためのそれぞれの科目は、子ども教育専修の卒業要件にかかわる科目群のいずれかに当てはめることができます。心理教育学科の卒業要件についてはP110を、それぞれの科目がどの科目群にあてはまるかについては、P124からの「保育士養成課程授業一覧表」をご覧ください。

保育士資格取得に関する注意

- ・指定された履修学年に、それぞれの科目をできるだけ履修してください。
- ・ある科目を「保育士資格取得のための科目」として履修する場合と、一般の「共通教養科目」「心理教育学科専門科目」等として履修する場合とでは、履修のための基準（出席しなくてはならない授業回数など）が異なる事があります。年度初めの説明会やオリエンテーションでの説明および授業担当者の指示をよく聞いてください。

幼稚園教諭免許と保育士資格の関係

- ・厚生労働省、文部科学省による、保育園・幼稚園の一体的運営の流れの中で、幼児教育課程の学生には幼稚園教諭一種免許と保育士資格を共に取得することを強く推奨しています。
- ・保育士資格取得のために必要な科目と、幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目は、かなり重複しています。幼稚園教諭免許については資格課程の手びきを参照してください。

保育実習の実習先開拓および実習参加条件

①保育実習1、2、3の開拓条件

開拓実施前年度終了時に、1年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が2科目4単位以下であること。

②保育実習1参加条件

保育実習実施前年度終了時に、1、2年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が2科目4単位以下であり、実習実施年度に3年次前期開講科目の「保育実習指導1（保育所）」および後期開講科目の「保育実習指導1（施設）」を単位修得見込みであること。

③保育実習2、3の参加条件

「保育実習1」の単位を修得見込みであること。

※参加条件を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には、保育実習には参加できません。

※科目等履修について

幼児教育課程の学生で、卒業までに保育士資格に必要な単位を修得できなかった場合、「科目等履修生」として、卒業後に必要科目を履修申請することができます。

詳しくは、「資格課程の手びき」の科目等履修生のページをご覧ください。

保育士資格取得に関する授業一覧表
《2019～2022年度入学生》

現代人間学部 心理教育学科 保育士養成課程授業一覧表

対象＝2019～2022年度以降子ども教育専修幼児教育課程入学生

児童福祉法施行規則告示に定める教科目				本学授業科目							備 考	
系列	教科目	授業形態	単位数	コード番号	左に対応して開設されている教科目	授業形態	オンライン科目	単位数				
								必修	選択	計		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6単位以上	3114	教育の考え方	講義			2	2	この中から6単位以上必ず修得 2024年度休講 2024年度休講	
				—	子どもと教育の歴史	講義			2	2		
				—	子どもと家族の歴史	講義			2	2		
				1205	里山保全の理論 ※ 2	講義			2	2		
				3118	ジェンダーと教育	講義			2	2		
				3412	こどもの発達と文化 一育む仕事一	講義			2	2		
				3117	教育の思想	講義			2	2		
	—	教育と社会	講義			2	2	2024年度休講				
	外国語	演習	2	3485/3486	子どもの生活と英語 ※ 1	演習			2	2		
	体育	講義	1	3402	運動と身体科学	講義			2	2		
実技		1	3455/3456	スポーツ実技	実技		1	1				
設置単位数		10単位以上		本学必要修得単位数					5	6	11	
履修単位数		8単位以上										

＜別表1＞

児童福祉法施行規則 告示別表第1による教科目				本学授業科目							備 考		
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード番号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン ライ ン 科 目	単位数					
								必 修	選 択	計			
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理	講義	2	3465	保育原理	講義		2		2	保育実習に関わる 単位修得条件があり ます。		
	教育原理	講義	2	3458	教育原理	講義		2		2			
	子ども家庭福祉	講義	2	3190	児童福祉	講義		2		2			
	社会福祉	講義	2	3008	社会福祉	講義		2		2			
	子ども家庭支援論	講義	2	3492	家族援助論	講義		2		2			
	社会的養護Ⅰ	講義	2	3490	社会的養護	講義		2		2			
保育の対象の理解 に関する科目	保育者論	講義	2	3487	保育者論	講義		2		2	単位修得条件があり ます。		
	保育の心理学	講義	2	3401	発達心理学	講義	時間割外	2		2			
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	3493	子どもと家庭支援の心理学	講義	時間割外	2		2			
	子どもの理解と援助	演習	1	3520	子ども理解と保育・教 育相談	演習		2		2			
	子どもの保健	講義	2	3522	小児保健1	講義	時間割外	2		2			
	子どもの食と栄養	演習	2	3525/3526	小児栄養	演習		2		2			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	3427	保育カリキュラム論	講義		2		2	123 ページ「保育実習の 実習先開拓および実 習参加条件」を参照。		
	保育内容総論	演習	1	3497	保育内容総論	演習		2		2			
	保育内容演習	演習	5	3533	保育内容(生活と環境)	演習		2		2			
				3527	保育内容(ことば)			2		2			
				3536/3537	保育内容(人間関係)			2		2			
				3530/3531	保育内容(表現)			2		2			
				3539	保育内容(健康)			2		2			
	保育内容の理解と 方法	演習	4	3468/3469/ 3470/3471	子どもの音楽	演習		2		2			
				3466/3467	子どもの造形			2		2			
				3448/3449	子どもの体育			2		2			
				3453	子どもの言葉と文化			2		2			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	3503	乳児保育の理論	講義		2		2			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	3500	乳児保育	演習		2		2			
	子どもの健康と安全	演習	1	3523	小児保健2	演習		1		1			
	障害児保育	演習	2	3504	特別なニーズのある乳 幼児への保育と教育	演習		2		2			
	社会的養護Ⅱ	演習	1	3541	養護内容	演習		2		2			
	子育て支援	演習	1	3488	相談援助	演習		2		2			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	3554	保育実習1(保育所)	実習		2		2			
				3556	保育実習1(施設)			2		2			
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	3550	保育実習指導1(保育所)	演習		2		2			
				3552	保育実習指導1(施設)			2		2			
演習 総合	保育実践演習	演習	2	3549	教職・保育実践演習 (小・幼・保)	演習		2		2			
設置単位数		51単位以上		本学必要修得単位数							67		67
履修単位数		51単位以上											

※1 外国語の卒業必修4単位には含まれません。

※2 共通教養科目として卒業要件の20単位に含まれます。

＜別表 2＞

児童福祉法施行規則 告示別表第2による教科目				本学授業科目							備 考		
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード番号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン ライ ン 科目	単位数					
								必修	選択	計			
保育の本質・目 的に関する科目 保育の対象の理 解に関する科目 保育の内容・方法に 関する科目	各指定保育 士養成施設 において設 定	不問	15 単位以上	3121	保育学	講義			2	2	※		
				—	発達とコミュニケーション	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				3160	発達障がい の基礎	講義			2	2	※		
				—	精神保健	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				—	子どもの発達と地域社会	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				3414	幼小教育課程論	講義			2	2	※		
				3406/3407	初等教育方法（情報通信 技術の活用含む） ※3	講義			2	2	※		
				3199	学校インターンシップD	演習			2	2	※		
保育実習	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	実習 演習 実習 演習	〔2〕 〔1〕 〔2〕 〔1〕	3560	保育実習2（保育所）	実習			2	2	選択必修		
				3558	保育実習指導2	演習			1	1			
				3561	保育実習3（施設）	実習			2	2			
				3559	保育実習指導3	演習			1	1			
設置単位数		18単位以上		本学必要修得単位数							3	6	9
履修単位数		9単位以上											

※印科目から6単位以上必ず修得

※3「初等教育方法」を履修済みの場合は「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」を履修する必要はありません。

保育士資格取得に関する規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、和光大学学則（以下「学則」という。）第31条第2項の規定による保育士の資格取得に関する必要な事項を定めるものとする。

(指定保育士養成施設の位置と名称)

第 2 条 和光大学（以下「本学」という。）で保育士養成を行う位置は、次のとおりとする。

東京都町田市金井ヶ丘五丁目1番1号 和光大学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修

(資格取得要件)

第 3 条 保育士資格を取得するには、本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の卒業に必要な単位を修得するとともに、下記の単位数を別表1、別表2及び別表3に定める教科目の単位として修得しなければならない。

学部・学科		科目	共通教養 科 目	外国語 科 目	体育 科 目	専門科目			合計
						必修科目	選択必修 科 目	自由選択 科 目	
現代人間 学 部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程		6単位以上	2単位以上	3単位以上	69単位	9単位以上	0単位以上	89単位

(修業年限・定員)

第 4 条 本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修の修業年限及び定員については、次のとおりとする。

修業年限 4年

入学定員 45名

編入学定員 0名

学生定員 180名

(単位の計算)

第 5 条 授業科目の単位計算方法は、学則及び履修規程に定めるところによる。ただし、保育実習については、45時間の授業をもって1単位とする。また、別表3に定める教科目「外国語」については、15時間の授業をもって1単位とする。

(単位の認定)

第 6 条 授業を履修し、全授業時間数の3分の2以上出席した者は、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

ただし、実習に関する教科目については、全授業時間数の5分の4以上出席した者にたいし、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

(他大学での修得単位の認定)

第 7 条 転・編入学者の以前の大学における取得単位とその科目の認定は、和光大学編入学・転部転科者の単位認定規程による。

(他大学での修得単位の認定制限)

第 8 条 第7条の定めにかかわらず、他の指定保育士養成施設において学生が履修した教科目又は入学前に指定保育士養成施設において履修した教科目の修得単位について、本学で認定する単位の上限は、別表1、別表2及び別表3に定める教科目として30単位を超えない範囲とする。また、指定保育士養成施設以外の他大学で履修した教科目の修得単位については、別表3に定める教養科目に相当する教科目として30単位を超えない範囲とする。

(休業期間の例外)

第 9 条 休業期間中であっても別表1及び別表2で定める保育実習を実施することがある。

(授業クラスの定員)

第 10 条 別表1、別表2及び別表3に定める教科目のうち演習及び実習・実技

科目については、原則として50名を超えて履修することはできない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成22年度に入学した現代人間学部

心理教育学科保育専修の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	81単位

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2023年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、2018年度から2022年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	67単位	9単位以上	0単位以上	87単位

2018年度入学生

心理教育学科 子ども教育専修

1. 心理教育学科の特徴 P 130

2. 卒業要件・履修要領 P 132

3. 専門科目の説明 P 133

4. 授業一覧表 P 135

5. 取得できる資格 P 143

6. 保育士資格 P 144

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 心理教育学科 の特徴

(1) 心理教育学科で 学べること

心理教育学科では、私たちが主体的に生きていく上で必要な土台となる、「こころ（心理）」と「まなび（教育）」について広く、そして深く学んでいきます。私たちは、自分たちを取り巻く環境や社会から影響を受けたり、それらに働きかけたりしながら生活しています。

学科では、みなさんが心とまなびの課題に迫っていきける存在になることを目指して、様々なカリキュラムを用意しています。具体的には次の3つの能力の習得を目指しています。

- ①心理学や教育学の考え方を日々の生活の中で活かせるようになること
- ②学んだことを活かした物事の捉え方ができるようになること
- ③私たちが慣れ親しんでいる枠組みを越えて新しい課題に挑戦できるようになること

そして2015年度から心理教育学科は、学科が大切にしている「こころ」「まなび」と現実の世界との結びつきをより深く考えるために、「心理学専修」と「子ども教育専修」の2つの専修からなる学科へと発展しました。「心理学専修」では、これまで以上にしっかりと心理学的視点を身につけ、同時にそれを実際の生活の中で活かせるようになることを目指します。

「子ども教育専修」では、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などの教員免許や資格の取得を目指しますが、心理教育学科の学びを活かして、現実の子どもや教育・子育て環境の中にある課題に挑戦できる能力を身につけてほしいと期待しています。

特に子ども教育専修では、

- ①心理学を学び、カウンセリングマインドを持った教員・保育士
 - ②和光学園の幼稚園、小学校の「生活学習」を基軸にして学ぶ教員・保育士
 - ③和光の伝統である「共生」の理念を活かし、異文化や障がいに対する理解を持った教員・保育士
- を目標にしてほしいと願っています。

なお、初等教育課程では、小学校教員免許・幼稚園教員免許取得を目指します。幼児教育課程では、幼稚園教員免許・保育士資格取得を目指します。

(2) カリキュラムの 特徴

子ども教育専修のカリキュラムは、「人間発達の基礎」「研究法」「心理学の基礎・応用」「教育学の基礎」「教育学の応用」「初等教育・保育教育研究の基礎」「初等教育・保育教育研究の応用」「実習及び実習指導」「インターンシップ・フィールドワーク」という9つの科目群に分けられています。

人間発達の基礎：心理学・教育学という学問分野を問わず、幅広く「発達する人間」について知ることを目的としています。興味関心の幅を広げるためにも、色々な科目を履修してください。また、「オムニバス『心理と教育』」は、心理教育学科の専任教員がリレー形式で講義する科目です。是非履修してください。

研究法：心理学や教育学に関わる実験・調査・観察・フィールドワークの実施に必要な能力をつけるために、基礎から応用まで無理なく学べるよう、様々な科目が開講されています。卒業論文を作成する過程で調査や観察をしたり、フィールドワークに行ったりする際に必要となる力を身につけることができます。

心理学の基礎・応用：心理学の基礎的な知識を学んだり、より実践的な課題について考え議論することを目的とした科目です。教育学関係の科目と合わせて学習することで、人についての理解を深めてください。

教育学の基礎：教育学の基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。「教育学の応用」を学ぶための土台を作る意味でも、特定の領域に偏らず幅広く学習するようにしてください。

教育学の応用：教育学の基礎的な知識を身につけたうえで、より実践的な課題について考えたり、議論したりすることを目的とした科目が開講されています。

初等教育・保育研究の基礎：教育学・保育学など、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士になるための基礎的な知識を学ぶことができる科目が開講されています。

初等教育・保育研究の応用：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士として身につけておくことが求められる応用的な知識や技術を学ぶことができる科目が開講されています。

実習及び実習指導：小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格取得に必要な教育・保育実習と、その準備や振り返りのための科目が開講されています。

インターンシップ・フィールドワーク：心理学、教育学、保育に関わるNPOや小学校・特別支援学校・幼稚園・保育所などでの研修やフィールドワークなどを行う科目です。

2. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2018年度入学生 心理教育学科 子ども教育専修》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

				小計	合計
共通教養科目			●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で		●	4単位	
専門科目	プロゼミ			4単位	
	演習		●	4単位	
	学科専門科目	子ども教育専修必修		18単位	
		子ども教育専修選択必修	●	47単位	
	卒業論文			10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・心理教育学科専門科目 心理学専修 子ども教育専修（必修・選択必修以外のもの） ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注)資格課程専用（8000番台）科目は含めることができません。			17単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

- ①プロゼミ 4単位、演習 4単位、学科専門科目から65単位、卒業論文10単位
- ②学科専門科目のうち、子ども教育専修必修科目（18単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで異なる科目が指定されています。
- ③学科専門科目のうち、子ども教育専修選択必修科目（47単位）は、初等教育課程・幼児教育課程それぞれで指定された科目の範囲から選択します。指定された科目の範囲は、それぞれの課程で異なります。
- ④自由履修科目

共通教養科目、外国語科目、演習科目、子ども教育専修選択必修科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、心理教育学科専門科目（心理学専修、必修・選択必修以外の子ども教育専修）ならびに他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

（1）学部共通科目

学部共通科目はいずれの学科所属であっても、現代人間学部 of 学生のみなさんが共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

（2）プロゼミ

（1科目選択で必修4単位）

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年次生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が交替で、テーマを掲げて担当しますが、内容については、学科説明会時に説明を行いますので、そこで確認してください。

（3）学科専門科目

「オムニバス『心理と教育』」以下、約100科目が並んでいます。

●子ども教育専修必修科目

「幼小教育課程論」「初等教育心理学」など、初等教育、幼児教育・保育研究関係の基本となる科目です。子ども教育専修の学生は必修ですが、初等教育課程と幼児教育課程で、科目が異なるので注意してください。

具体的な科目は、授業一覧表の右端の列にある、「必修」の表記を参考にしてください。

●子ども教育専修選択必修科目

「世界の教育と子育て」「発達心理学」など、初等教育課程、幼児教育課程で履修しておくことよい科目がなっています。それぞれの課程で科目が異なるので、注意してください。授業一覧表の右端の列にある、それぞれの課程ごとの「選択必修」（プロゼミ、演習はのぞく）の中から47単位を履修してください。

●オムニバス「心理と教育」

心理教育学科の1年次生に最初に履修してほしい科目です。心理教育学科の教員が、毎回交代で、心理教育に関わるさまざまな話題について講義を行います。心理教育学科の教員を知り、学びの概要を知るのに有効です。

●研究法

「教育学研究法基礎」「文献・資料研究」や、「エスノグラフィー」「授業研究の方法」などの方法科目は、みなさんが自分の研究テーマを深めるためのスキルを身につけることのできる科目群となっています。みなさんが専門を絞っていく中で、計画的に履修をしてください。

●インターンシップ・フィールドワーク

インターンシップ・フィールドワークでは、指導教員と相談して、主に大学の外で、NPOなどの研修、学校や幼稚園、保育所などでの研修、フィールドワーク、アクションリサーチ、プロジェクト研究などを行います。その過程と成果をレポートとして指導教員に提出することにより単位修得ができます。実践内容は、指導教員が決める場合、学生が提案する場合、そして両者が相談して決める場合があります。指導教員の許可が必要な許可科目もあります。

●演習（ゼミ）科目 （必修4単位）

演習科目は、原則として3・4年次生のために開講され、専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。通年科目として1年ごとに履修登録しますが、3年次・4年次と連続して履修することを勧めます。

2年次後期に、3年次のゼミ履修に関する説明会を実施しますので、必ず参加してください。最低必修単位数（4単位）より多く修得した単位は、自由履修科目として数えます。

（4）卒業論文

（必修10単位）

卒業論文は、自分で選んだ専任教員を指導教員（主査）として、4年次の4月中旬までに「卒業論文調査票」を提出し、12月中旬に論文を提出します。

大学での学修の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら1年間かけてまとめあげるのが卒業論文です。心理教育学科を卒業するためには、卒業論文を書くことが必修となっています。学生のみなさんは、どの教員に自分の卒業論文を指導し、審査してもらいたいかを考え（主査）、その教員と相談しながら、テーマを決定し、論文を書きあげていくことになります。

そのための具体的な手続きは3年次の12月に行う仮題目届の提出から開始されますが、卒業論文の執筆を念頭におきつつ、早い時期から自分の研究テーマを考え、学修計画を立ててください。

①卒業論文提出までの手
続き

●3年次生になったら

3年次生になったら、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めていってください。すでにプロゼミの単位は大部分の人が修得しているはずですが、未修得の場合は3年次で必ず修得しましょう。

●3年次生12月
仮題目届提出

仮題目届提出期限 2024年12月6日(金) 16:30

提出先: 詳細は和光ポータルでお知らせします。

仮題目提出に先立って、主指導教員(主査)と仮題目・内容についてよく相談の上、承認を得てから、仮題目届の提出を行ってください。

主査について

卒業論文仮題目届の主指導教員(主査)は所属する学科専任教員のみとします。
(心理教育学科の演習担当者)

副査について

副指導教員(副査)は特に指定しなくても構いません。副査をつけたい場合、原則としては心理教育学専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員でも構いません。その場合主指導教員(主査)と相談してください。

●4年次生4月
調査票提出・履修登
録

「卒業論文調査票」提出期限 2024年4月15日(月) 16:30まで

提出先: 詳細は和光ポータルでお知らせします。

(1)4年次生の4月に「卒業論文調査票」を提出します。これにより、履修登録が完了します。

調査票提出に先立って、主指導教員(主査)と題目・内容等についてよく相談の上、承認を得てから、調査票の提出を行ってください。

(2)履修登録では主査別の授業コードが実習欄に登録されていることを確認してください。

●論文題目を変更する
とき

調査票提出以降に論文題目を変更する場合には、主指導教員(主査)とよく相談の上、承認を得てから、11月末日までに申請を行ってください。詳細は和光ポータルでお知らせします。

●4年次生12月提出

卒業論文提出期限 2024年12月20日(金) 14:00まで

教学支援課に卒業論文(受領票も一緒に)を提出

なお、提出の際には学生証を持参し、必ず本人が提出すること。

②卒論の清書について

卒業論文は出来るだけパソコンのワープロソフトを用いて執筆してください。

手書きの場合はインクまたはボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。用紙は、A4版の紙を使用すること。ワープロソフト使用の場合は横40字 × 縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします。

論文の1ページ目は、指導教員名、題目、学籍番号、氏名、論文のキーワード5個程度を記載してください。

詳しくは主指導教員(主査)に相談してください。

背表紙をつける

論文は既製のファイルなどにとじて提出してください。

右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。なお、サブタイトルがある場合は、題目のあとに「:」等の記号をつけて記載するようにしてください。

受領票について

教学支援課で11月から配布します。

必要事項を記入し卒業論文の表に必ず受領票を貼ってから提出してください。

③卒論発表会

2024年1月下旬または2月上旬に開催します(日時は掲示で発表)。心理教育学専科主催で卒業論文発表会を開催します。この会の運営は、3年次生の運営委員会を中心に行われます。参加は義務ではありませんが、卒業論文の発表を行う卒業年次生だけでなく、全学年からの参加を強く勧めます。この機会に自分の成果を発表し、他者の発表からおおいに学び合いましょう。

24

主
査
名

題
目
:
サ
ブ
タ
イ
ト
ル

学
籍
番
号

氏
名

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について……「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について……子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2018年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修			
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児		
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。																				
プロゼミ	プロゼミ	3101	プロゼミ[阿部]	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	×		—	(いずれか4単位)必修	(いずれか4単位)必修	
		3102	プロゼミ[熊上]					—	1	2	3	4	熊上 崇				—			
		3103	プロゼミ[高坂]					—	1	2	3	4	高坂 康雅				—			
		3104	プロゼミ[末木]					—	1	2	3	4	末木 新				—			
		3105	プロゼミ[大西]					—	1	2	3	4	大西 公恵				—			
		3106	プロゼミ[富樫]					—	1	2	3	4	富樫 千紘				—			
		3107	プロゼミ[稲葉]					—	1	2	3	4	稲葉 浩一				—			
		3108	プロゼミ[五十嵐]					—	1	2	3	4	五十嵐 敏文				—			
		3109	プロゼミ[韓]					—	1	2	3	4	韓 仁愛				—			
		3110	プロゼミ[粕谷]					—	1	2	3	4	粕谷 亘正				—			
＜心理教育学科専門科目＞																				
学科専門科目	〔人間発達の基礎〕	3111	オムニバス「心理と教育」	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	末木、粕谷 他 学科教員	×	○		—			
		3401	発達心理学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	常田 秀子	×	○		保幼小のみ	選択必修	選択必修	
		3113	発達心理学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	高坂 康雅	×	○		—			
		3114	教育の考え方	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	富樫 千紘	×	○		—			
		4018	生涯学習論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○		—			
		—	教育と社会	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—			
		3117	教育の思想	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	辻 直人	×	○		—			
		3118	ジェンダーと教育	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	堀川 修平	×	○		—			
		—	子どもと教育の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—			
		—	子どもと家族の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—			
		3121	保育学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		—		選択必修	
		3402	運動と身体科学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	畑島 一翔	×	○		—			
	〔研究法〕	—	教育学研究法基礎	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—			
		—	文献・史料研究A	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		—	文献・史料研究B	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		—	ライフヒストリー研究	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	文献の検索・講読・発表	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	エスノグラフィーA	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	エスノグラフィーB	2	—	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3147	授業研究の方法	2	クラス指定	—	後期	—	—	—	2	3	4	五十嵐・加川	×	○		小のみ		
	3148	保育記録の研究	2	なし	—	前期	時間割外	—	—	2	3	4	常田・粕谷・韓・山口	×	○		—		選択必修	

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を制当です。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2018年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児
学科専門科目	〔心理学の基礎・応用〕	3157 発達臨床心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	常田 秀子	×	○		—		
		3160 発達障がい基礎	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	×	○		—	選択必修	選択必修
		— 発達とコミュニケーション	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3403 児童への特別支援教育	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	熊上 崇	×	○		小のみ		
		— 障がい者の学習支援	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修	
		3170 いじめ・不登校の心理学	2	人数制限(抽選)	有	集中講義	—	1	2	3	4	中村 扶実子	×	○		—		
		3152 学習・言語心理学	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	鈴木 敦子	×	○		—		
		3153 教育心理学の理論	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	1	2	3	4	加藤 慧	×	○		—		
		3154 社会・集団・家族心理学	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	坂井 敬子	×	○		—		
	〔教育学の基礎〕	3404 近代日本の社会と教育	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		—		
		3405 現代日本の社会と教育	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—		
		3406 初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	大西・稲葉	×	○	「初等教育方法」から科目名変更	—		必修
		3407 初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	薄田・稲葉	×	○	「初等教育方法」から科目名変更	—	必修	
		— 子どもの発達と地域社会	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	—		
		3408 教育社会学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—		
		3190 児童福祉	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	加藤 洋子	×	○		—		選択必修
		3409 生活指導論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	関口 武	×	○		—		
		4028 社会教育論	2	条件付	—	後期	—	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「生涯学習論」修得者のみ履修可	—		
		— 学校文化論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		3411 環境教育論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	角田 季美枝	○	○		—		
		3412 こどもの発達と文化一育む仕事一	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	松岡 裕	×	○		—		
	〔教育学の応用〕	3413 演劇と教育	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	柏木 陽	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—		
		— 世界の教育と子育て	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	選択必修	選択必修
		— 子どもと大人の関係史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3701 幼小教育課程論A	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	加川 博道	×	○		—	必修	必修
		3702 幼小教育課程論B	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	富樫 千紘	×	○		—	必修	必修
		— 保育内容の歴史と国際比較	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		— 福祉のまちづくりと教育	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3417 グローバリゼーションと教育	2	なし	—	後期	時間割外	—	2	3	4	谷川 由佳	×	○		—	選択必修	選択必修
		3418 小学校英語の研究	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	高野 のぞみ	×	○		小のみ	選択必修	
		3419 学校体系論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	山本 由美	×	○		—	選択必修	選択必修
		— 教育と芸術A	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		
		— 教育と芸術B	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2018年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児
学科専門科目	↑	— 教育法学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
	3193	いじめ・不登校の教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		—		
	3194	青年の自立と社会	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	桐島 次郎	×	○	隔年開講	—		
	—	青年の生活文化と教育	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
	4031	フィールドワーク(生涯学習1)	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—		
	4032	フィールドワーク(生涯学習2)	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	—		
	3423	教職概論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修	
	3424	初等教育心理学[1]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○		幼小のみ	必修	必修
	—	初等教育心理学[2]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼小のみ		
	3426	教育課程論	2	なし	—	前期	—	—	3	4	五十嵐 敏文	×	○		幼小のみ	必修		
	3703	幼児教育課程論	2	なし	—	後期	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ			必修
	3428	授業づくりの基礎	2	クラス指定	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ		
	3429	国語の内容・構成[1]	2	なし	—	前期	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		小のみ	必修		
	3430	国語の内容・構成[2]	2	なし	—	後期	—	—	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ			必修
	—	国語の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	3432	社会科の内容・構成1	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修	
	3433	社会科の内容・構成2	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	富樫 千紘	×	○		小のみ	選択必修	
	3434	算数の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加川 博道	×	○		小のみ	必修	
	3435	算数の内容・構成[2]	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加川 博道	×	○		保幼のみ		必修
	—	算数の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	3437	理科の内容・構成	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ	選択必修	
	3438	生活科の内容・構成[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	薄田 太一	×	○		小のみ	選択必修	
	3439	生活科の内容・構成[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	五十嵐 敏文	×	○		保幼のみ		選択必修
	—	生活科の内容・構成[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	3441	音楽(楽器演奏1)[1-1]	2	クラス指定	—	前期	—	—	3	4	根来 章子	×	○		小のみ	選択必修		
	3442	子どもの音楽[1]	2	クラス指定	—	後期	—	—	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修		
	3443	子どもの造形[1]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修	
	3444	子どもの造形[2]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修	
	3446	家庭科の内容・構成[1]	2	クラス指定	—	前期	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修		
	3447	家庭科の内容・構成[2]	2	クラス指定	—	前期	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修		
	3448	子どもの体育[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ		選択必修
	3449	子どもの体育[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ		選択必修
	3450	子どもの体育[3]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	浅川 俊彦	×	○		小のみ	選択必修	
	3451	子どもの遊び	1	クラス指定	—	通年	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○	時間割外実習科目	保幼のみ		
	—	遊びの研究	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講	保幼小のみ		

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2018年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児
学科専門科目	3453	子どもの言葉と文化[1]	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	○		保幼のみ		
	—	子どもの言葉と文化[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	3455	スポーツ実技[1]	1	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○		保幼のみ		選択必修
	3456	スポーツ実技[2]	1	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	北原 澄高	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定	保幼のみ		選択必修
	3457	スポーツ実技[3][幼児教育課程以外の学生]	1	許可	—		—	—	2	3	4					幼小のみ	選択必修	選択必修
	3704	初等教育原理	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		保幼のみ	選択必修	
	3459	初等教育の制度と社会	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	山本・富樫	×	○		保幼小のみ	必修	必修
	3460	初等道徳教育論[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	—	3	4	山本 由美	×	○		小のみ	選択必修	
	3461	初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	薄田・加川	×	○		小のみ	選択必修	
	3462	初等生徒指導論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加川・富樫	×	○		小のみ	選択必修	
	3612	教職キャリア研究A[1]	2	クラス指定	—	通年(隔週1コマ)	—	—	2	3	4	五十嵐・薄田・富樫	○	○		小のみ		
	3464	教職キャリア研究B	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	—	4	稲葉 浩一	○	○		小のみ		
	3465	保育原理	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		保幼のみ		選択必修
	3466	子どもの造形[4]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ		選択必修
	3467	子どもの造形[5]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ		
	3468	子どもの音楽[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		選択必修
	3469	子どもの音楽[3]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	3470	子どもの音楽[4]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ		選択必修
	3471	子どもの音楽[5]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	後藤 紀子	×	○		保幼のみ		
	—	子どもの音楽[6]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	幼のみ		
	3473	音楽(楽器演奏1)[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	3474	音楽(楽器演奏1)[3]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	—	音楽(楽器演奏1)[4]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	—	音楽(楽器演奏1)[5]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	—	音楽(楽器演奏1)[6]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		
	3478	音楽(楽器演奏2)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	3479	音楽(楽器演奏2)[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
	—	音楽(楽器演奏2)[3]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	—	音楽(楽器演奏2)[4]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		
	—	音楽(楽器演奏2)[5]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		
	—	音楽(楽器演奏3)[1]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	—	音楽(楽器演奏3)[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	保幼のみ		選択必修

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を制当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について……「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について……子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目（2018年度入学生用）

卒業要件		授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
									1年	2年	3年	4年						初等	幼児
学科専門科目	↑ 〔初等教育・保育教育研究の基礎〕	3485	子どもの生活と英語[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ		選択必修
		3486	子どもの生活と英語[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	レイナルド・バイサ・ベントウラ	×	○		保幼のみ		選択必修
		3487	保育者論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ		選択必修
		3488	相談援助[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	打越 雅祥	×	○		保幼のみ		
		—	相談援助[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ		
		3490	社会的養護[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ		
		—	社会的養護[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		3492	家族援助論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	打越 雅祥	×	○		—		選択必修
		—	精神保健	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	保幼小のみ		
		3497	保育内容総論[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ		選択必修
		—	保育内容総論[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		—	保育内容総論[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		3500	乳児保育[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×	○		保幼のみ		選択必修
		3501	乳児保育[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	韓 仁愛	×	○		幼のみ		選択必修
		—	乳児保育[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		3705	障がい児保育[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	辻 あゆみ	×	○		保幼のみ		選択必修
		—	障がい児保育[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	↓ 〔初等教育・保育教育研究の応用〕	3506	初等教育相談	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	菅野 恵	×	○		保幼小のみ	必修	必修
		3507	初等教科教育法（国語）	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	泉 宜宏	×	○		小のみ	選択必修	
		3508	初等教科教育法（社会）	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	辻 直人	×	○		小のみ	選択必修	
		3509	初等教科教育法（算数）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加川 博道	×	○		小のみ	選択必修	
		3510	初等教科教育法（理科）	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	五十嵐 敏文	×	○		小のみ	選択必修	
		3511	初等教科教育法（生活）	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	薄田 太一	×	○		小のみ	選択必修	
		3512	初等教科教育法（音楽）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修	
		3513	初等教科教育法（音楽）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	仲条 幸一	×	○		小のみ	選択必修	
		3514	初等教科教育法（図画工作）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修	
		3515	初等教科教育法（図画工作）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		小のみ	選択必修	
		3516	初等教科教育法（家庭）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修	
		3517	初等教科教育法（家庭）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	伏島 礼子	×	○		小のみ	選択必修	
		3518	初等教科教育法（体育）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	浅川 俊彦	×	○		小のみ	選択必修	
		3707	保育相談論[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	×	○		保幼のみ		選択必修
		—	保育相談論[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		3709	小児保健A	2	クラス指定	—	前期	時間割外	—	2	3	4	桜井 ますみ	×	○		保幼のみ		選択必修
		—	小児保健B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ		
		3711	小児保健C[1]	1	クラス指定	—	後期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	山下 麻実	×	○		保幼のみ		
		—	小児保健C[2]	1	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2018年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児
学科専門科目	↑ 〔初等教育・保育教育研究の応用〕	3525 小児栄養[1]	2	クラス指定	—	前期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×	○		保幼のみ		選択必修
		3526 小児栄養[2]	2	クラス指定	—	後期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	鈴木 恵子	×	○		保幼のみ		選択必修
		3527 保育内容(ことば)[1]	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山口 理沙	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(ことば)[2]	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(ことば)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		選択必修
		3530 保育内容(表現)[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	根来 章子	×	○		保幼のみ		
		3531 保育内容(表現)[2]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	中村 仁美	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(表現)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		
		3533 保育内容(生活と環境)[1]	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	粕谷 亘正	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(生活と環境)[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(生活と環境)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		3536 保育内容(人間関係)[1]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ		選択必修
		3537 保育内容(人間関係)[2]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	天野 美和子	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(人間関係)[3]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		3539 保育内容(健康)[1]	2	なし	—	集中講義	—	—	—	3	4	茗井 香保里	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 保育内容(健康)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
	↓ 〔実習及び実習指導〕	3541 養護内容[1]	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	櫻井 奈津子	×	○		保幼のみ		選択必修
		— 養護内容[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	保幼のみ		選択必修
		— 療育福祉論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—		選択必修
		3713 教育実習事前・事後指導(小学校)	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	薄田 太一	×	○		小のみ		選択必修
		3714 教育実習(小学校)	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	薄田 太一	×	○		小のみ		選択必修
		3715 教職実践演習(初等教育)	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	薄田 太一	×	○		小のみ		選択必修
		3716 保育実習指導1	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	×		保のみ		
		3550 保育実習指導1(保育所)[1]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	×		保のみ		
		— 保育実習指導1(保育所)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ		
		3552 保育実習指導1(施設)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	常田 秀子	×	×		保のみ		
		— 保育実習指導1(施設)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ		
		3554 保育実習1(保育所)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	韓 仁愛	×	×		保のみ		
		— 保育実習1(保育所)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ		
		3556 保育実習1(施設)[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	3	4	常田 秀子	×	×		保のみ		
		— 保育実習1(施設)[2]	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2024年度休講	保のみ		
		3717 教育実習事前・事後指導(幼稚園)[1]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	大西・山口	×	○		幼のみ		選択必修
		— 教育実習事前・事後指導(幼稚園)[2]	1	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		選択必修
		3719 教育実習(幼稚園)[1]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	大西・山口	×	○		幼のみ		選択必修
		— 教育実習(幼稚園)[2]	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2024年度休講	幼のみ		選択必修

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日(日曜)に資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………○(丸)の授業は心理教育学科以外も履修可能です。「×」は心理教育学科専攻です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専攻説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) み修、選択必修について………子ども教育専攻の卒業要件を示します。

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修			
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児		
学科専門科目	↑ 実習指導 (実習及び実習指導)	3558	保育実習指導2	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	粕谷 亘正	×	×		保のみ		選択必修		
		3559	保育実習指導3	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	常田 秀子	×	×		保のみ		選択必修		
		3560	保育実習2（保育所）	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	4	粕谷 亘正	×	×		保のみ		選択必修		
		3561	保育実習3（施設）	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	4	常田 秀子	×	×		保のみ		選択必修		
		3721	教職実践演習（幼児教育）[1]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	4	大西・山口	×	○		保幼のみ		選択必修		
		3722	教職実践演習（幼児教育）[2]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	4	大西・山口	×	○		幼のみ		選択必修		
	（インターンシップ・フィールドワーク）	3196	学校インターンシップA	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	1	2	3	4	富樫・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—		選択必修	
		3197	学校インターンシップB	4	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	大西・辻・山本・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—		選択必修	
		3198	学校インターンシップC	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	—	2	3	4	辻・大西・加川	×	○	「学校インターンシップ」から名称変更	—		選択必修	
		3199	学校インターンシップD	2	クラス指定	—	通年 (隔週1コマ)	—	1	2	3	4	粕谷 亘正	○	○	「学校インターンシップ」から名称変更、時間割外実習科目	—		選択必修	
		3200	学校特別支援インターンシップ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	常田 秀子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、時間割外実習科目	—		選択必修	
		3562	保育インターンシップ[1]	2	クラス指定	—	通年	—	—	2	3	4	山口・中村	○	○	時間割外実習科目	—		選択必修	
		—	保育インターンシップ[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		選択必修	
		—	フィールドワークA	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークB	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークC	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークD	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークE	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		—	フィールドワークF	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—		
		演習	↓ 演習	3801	発達心理学演習	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	常田 秀子	○	○		履修希望者は和光ポータルサイトの指示に従うこと	—
3802	臨床心理学演習			—	—					—	3	4	末木 新							
3803	教育方法学演習			—	—					—	3	4	大西 公恵							
3804	教育文化論演習			—	—					—	3	4	辻 直人							
3805	保育文化論演習			—	—					—	3	4	粕谷 亘正							
3806	青年心理学演習			—	—					—	3	4	高坂 康雅							
3807	教育社会学演習			—	—					—	3	4	稲葉 浩一							
3808	現代学校論演習			—	—					—	3	4	山本 由美							
3809	児童心理学演習			—	—					—	3	4	菅野 恵							
3810	学校教育学演習			—	—					—	3	4	五十嵐 敏文							
3811	幼児教育学演習			—	—					—	3	4	山口 理沙							
3812	社会心理学演習			—	—					—	3	4	坂井 敬子							
3813	保育表現演習			—	—					—	3	4	根来 章子							
—	児童福祉論演習			—	—					—	3	4	—	2024年度休講						
3815	学校経営論演習			—	—					—	3	4	富樫 千紘							
3816	保育実践論演習			—	—					—	3	4	韓 仁愛							

2024年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は心理教育学科生以外も履修可能です。「×」は心理教育学科生専用です。
- 注10) 履修制限について………「保」とは保育士課程申請者、「幼」とは幼稚園課程申請者、「小」とは小学校課程申請者を示しています。
- 履修制限のある科目については、子ども教育専修説明会に出席し、履修方法について確認してください。
- 注11) 必修、選択必修について………子ども教育専修の卒業要件を示します。

心理教育学科子ども教育専修専門科目(2018年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	履修制限	必修・選択必修	
								1年	2年	3年	4年						初等	幼児
演習	↑演習	3817 障がい児心理学演習	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	熊上 崇	○	—	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	—	必修4単位以上	必修4単位以上
		3818 認知心理学演習					—	—	—	3	4	阿部 慶賀						
		3819 初等教育学演習					—	—	—	3	4	薄田 太一						
		3820 健康・医療心理学演習					—	—	—	3	4	小松 賢亮						
卒業論文	卒業論文	3901 卒業論文[常田]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	常田 秀子	—	×	和光ポータルの指示に従うこと	—	(いずれか10単位以上)必修	(いずれか10単位以上)必修
		3902 卒業論文[末木]					—	—	—	—	4	末木 新						
		3903 卒業論文[大西]					—	—	—	—	4	大西 公恵						
		3904 卒業論文[辻]					—	—	—	—	4	辻 直人						
		3905 卒業論文[粕谷]					—	—	—	—	4	粕谷 亘正						
		3906 卒業論文[高坂]					—	—	—	—	4	高坂 康雅						
		3907 卒業論文[富樫]					—	—	—	—	4	富樫 千紘						
		3908 卒業論文[山本]					—	—	—	—	4	山本 由美						
		3909 卒業論文[菅野]					—	—	—	—	4	菅野 恵						
		3910 卒業論文[五十嵐]					—	—	—	—	4	五十嵐 敏文						
		3911 卒業論文[山口]					—	—	—	—	4	山口 理沙						
		3912 卒業論文[坂井]					—	—	—	—	4	坂井 敬子						
		3913 卒業論文[根来]					—	—	—	—	4	根来 章子						
		— 卒業論文[一瀬]					—	—	—	—	4	—						
		3915 卒業論文[韓]					—	—	—	—	4	韓 仁愛						
		3916 卒業論文[熊上]					—	—	—	—	4	熊上 崇						
		3917 卒業論文[阿部]					—	—	—	—	4	阿部 慶賀						
		3918 卒業論文[稲葉]					—	—	—	—	4	稲葉 浩一						
		3919 卒業論文[薄田]					—	—	—	—	4	薄田 太一						
		3920 卒業論文[小松]					—	—	—	—	4	小松 賢亮						

<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。

自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001 社会学A	2	人数制限(抽選)	—	後期	時間割内	1	2	3	4	周 筱	×	○	—	—	—	—
		3002 社会学B	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○	—	—	—	—
		3003 心理学概論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	—	—	—	—
		3004 教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○	—	—	—	—
		— 国際関係学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	—	—
		3006 女性学	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	西山 千恵子	×	○	—	—	—	—
		3007 男性学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 敦也	×	○	—	—	—	—
		3008 社会福祉	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	牧野 賢一	×	○	—	—	—	—
		3009 文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	矢野原 佑史	×	○	—	—	—	—
		3010 生態学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 健	×	○	—	—	—	—
		— 環境思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	—	—	—
		— 学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—	—	—
		— 学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講	—	—	—
		— インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	—	—	—

5. 取得できる資格

（１）子ども教育専修 において取得で きる教員免許

子ども教育専修の学生は、小学校教諭一種免許状や幼稚園教諭一種免許状を取得するのに必要な単位を取ることで、卒業に必要な多くの単位を修得することができます。初等教育課程の学生は、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状の両方（またはどちらか）の取得を目指し、２年次に教学支援課に受講申請を行います。幼児教育課程の学生は、１年次から幼稚園教諭一種免許状と保育士資格取得を目指します。取得予定の教員免許に応じて、免許状取得のために履修しなくてはならない科目が異なりますので、免許状取得を見据えて、１年次から必要な科目を履修していくとよいでしょう。

詳しくは、資格課程の手びきを参照してください。

（２）取得できる資格 ・免許状の種類

卒業に必要な単位数を修得すると、みなさんは「学位（学士）」を取得できます。学位（学士）の取得を基礎要件とするさまざまな資格がありますが、必要な単位を修得することによって、そのうちのいくつかの資格を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

小学校教諭一種免許状
幼稚園教諭一種免許状

図書館司書
学校図書館司書教諭
社会教育主事
博物館学芸員

児童指導員（任用資格）※
社会福祉主事（任用資格）※

※児童指導員とは養護や療育を必要とする子どもが入所する児童福祉施設（児童発達支援センター、児童養護施設など）において、子どもたちの健全な育成を支援する者に必要とされる資格です。

※社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所等において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

保育士資格（幼児教育課程のみ対象、詳しくは、P144～を参照すること）

心理教育学科子ども教育専修生が取得できる免許状・資格は上のとおりです。

他学科・他専修で認定を受けている免許状取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談してください。

6. 保育士資格

(1) 保育士資格について

心理教育学科は、「出生から死に至るまでの人の一生涯にわたる人間発達」を考える学科ですが、発達の土台をつくる乳幼児期の発達について学ぶことを重視しています。近年、子どもの生活環境の急激な変化や、子どもの保育を必要とする家庭の急増など、子どもを巡る大きな変化が起こっています。

心理教育学科では、保育に携わる者に必要とされる現代的な資質として、以下の3点があると考えています。

(1) 知性と批判精神、人間愛ゆたかな生活者：子どもとその保護者、保育や保育者のおかれた状況と課題を広い視野からとらえ、能動的に状況と関わる社会人になることを目指します。

(2) 専門的探究に裏付けられた子どもの理解者：人間に対する豊かな愛情が、専門的知識をともなう深い子ども理解に裏付けられたとき、ほんとうに子どもの味方になれると考えています。

(3) 豊かな感性と表現力、コミュニケーション力を持つ教育者：乳幼児の保育担当者としての、実践的専門性・職能を身につけることも大切です。楽しんで学びながら、豊かな感性や創造力をもつ保育者としての資質・技術が育ってほしいと考えています。

心理教育学科では、これらの資質を持った保育士を養成する専修を2010年度に立ち上げました。さらに、2015年度には、子ども教育専修の中に発展的に位置づけられました。

(2) カリキュラムの特徴

心理学・教育学のカリキュラムが整った心理教育学科で、保育士資格を目指すことができます。保育士資格を目指すみなさんには、資格取得だけではなく、心理学や教育学を深く関心を持って学んでもらいたいと考えています。

また、和光大学全体のカリキュラムでは、現実の問題と学問の関連性を大切にしています。保育士資格のカリキュラムでも、実際に子どもと接することから、研究の課題を見つけ、さらに深く学ぶ、というプロセスを大切にしています。

なお、保育士資格を取得するためには、幼児教育課程の卒業要件となる必修科目とは別に、1年次から修得しなくてはならない単位が数多くあります。詳しくは、「保育士養成課程授業一覧表」(P146～147)を参照してください。

各学年の特徴

各学年のおおまかな目標は次のとおりです。

1年次：基礎：保育の考え方や基礎概念を理解する。

子どもと関わり学修課題を発見する。

2年次：総合演習・方法演習：研究方法を身につける。各論を学ぶ。

保育技術の基礎を学ぶ。

3年次：演習：関心領域を深める。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

4年次：卒論作成：研究をまとめ、伝える。

実習：子どもとの関わりを通して、学修の成果を試す。

(3) 保育士資格取得のための科目履修の手続きについて

保育士資格は、心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみが取得することができる資格です。

保育士資格を取得するには、保育士資格に必要な単位を修得し、同時に和光大学心理教育学科を卒業するために必要な単位を修得しなくてはなりません。保育士資格取得のための単位は、心理教育学科を卒業するために必要な単位の一部とみなす事ができます。

〈2018年度入学生〉

保育士資格取得のための単位は、「児童福祉法施行規則」に基づき、以下のような科目群が含まれます。

教科目の種別	保育士資格取得における法規上必要単位数	保育士資格取得における本学必要修得単位数			備 考
		必修	選択	計	
教養科目	8単位以上	5単位	6単位以上	11単位以上	「子どもの生活と英語」「運動と身体科学」各2単位、「スポーツ実技」1単位必修。それ以外に6単位以上。
告示別表第1による教科目	51単位以上	67単位		67単位	
告示別表第2による教科目	9単位以上	7単位	2単位以上	9単位以上	「音楽（楽器演奏1）」「音楽（楽器演奏2）」各2単位、「保育実習2（保育所）」と「保育実習指導2」計3単位、または「保育実習3（施設）」と「保育実習指導3」計3単位のいずれか必修。それ以外に2単位以上。
合計	68単位以上	79単位	8単位以上	87単位以上	これ以外に、心理教育学科の卒業要件として履修必要な単位もあるため、卒業要件を確認すること。

保育士資格取得のためのそれぞれの科目は、子ども教育専修の卒業要件にかかわる科目群のいずれかに当てはめることができます。心理教育学科の卒業要件についてはP132を、それぞれの科目がどの科目群にあてはまるかについては、P146からの「保育士養成課程授業一覧表」をご覧ください。

保育士資格取得に関する注意

・指定された履修学年に、それぞれの科目をできるだけ履修してください。
 ・ある科目を「保育士資格取得のための科目」として履修する場合と、一般の「共通教養科目」「心理教育学科専門科目」等として履修する場合とでは、履修のための基準（出席しなくてはならない授業回数など）が異なる事があります。年度初めの説明会やオリエンテーションでの説明および授業担当者の指示をよく聞いてください。

幼稚園教諭免許と保育士資格の関係

・厚生労働省、文部科学省による、保育園・幼稚園の一体的運営の流れの中で、幼児教育課程の学生には幼稚園教諭一種免許と保育士資格を共に取得することを強く推奨しています。
 ・保育士資格取得のために必要な科目と、幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目は、かなり重複しています。幼稚園教諭免許については資格課程の手びきを参照してください。

保育実習の実習先開拓および実習参加条件

①保育実習1、2、3の開拓条件

開拓実施前年度終了時に、1年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が2科目4単位以下であること。

②保育実習1参加条件

保育実習実施前年度終了時に、1、2年次開講の別表1科目のうち単位未修得科目が2科目4単位以下であり、実習実施年度に3年次開講科目の「保育実習指導1（保育所）」および後期開講科目の「保育実習指導1（施設）」を単位修得見込みであること。

③保育実習2、3の参加条件

「保育実習1」の単位を修得見込みであること。

※参加条件を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には、保育実習には参加できません。

※科目等履修について

幼児教育課程の学生で、卒業までに保育士資格に必要な単位を修得できなかった場合、「科目等履修生」として、卒業後に必要科目を履修申請することができます。

詳しくは、「資格課程の手びき」の科目等履修生のページをご覧ください。

保育士資格取得に関する授業一覧表

《2018年度入学生》

現代人間学部 心理教育学科 保育士養成課程授業一覧表

対象＝2018年度子ども教育専修幼児教育課程入学生

児童福祉法施行規則告示に定める教科目				本学授業科目							備 考	
系列	教科目	授業形態	単位数	コード番号	左に対応して開設されている教科目	授業形態	オンライン科目	単位数				
								必修	選択	計		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6単位以上	3114	教育の考え方	講義			2	2	この中から6単位以上必ず修得 2024年度休講 2024年度休講 2024年度休講 2024年度休講 2024年度休講 2024年度休講	
				—	子どもと教育の歴史	講義			2	2		
				—	子どもと家族の歴史	講義			2	2		
				1205	里山保全の理論 ※2	講義			2	2		
				3118	ジェンダーと教育	講義			2	2		
				3412	こどもの発達と文化 一育む仕事一	講義			2	2		
				3117	教育の思想	講義			2	2		
	—	教育と社会	講義			2	2					
	外国語	演習	2	3485/3486	子どもの生活と英語 ※1	演習		2		2		
	体育	講義	1	3402	運動と身体科学	講義		2		2		
実技		1	3455/3456	スポーツ実技	実技		1		1			
設置単位数		10単位以上		本学必要修得単位数				5	6	11		
履修単位数		8単位以上										

<別表1>

児童福祉法施行規則 告示別表第1による教科目				本学授業科目							備 考			
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード番号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン ライ ン 科 目	単位数						
								必修	選択	計				
関する科目 保育の本質・目的に	保育原理	講義	2	3465	保育原理	講義		2		2	保育実習に関わる単位修得条件があります。 2024年度休講			
	教育原理	講義	2	3704	初等教育原理	講義		2		2				
	児童家庭福祉	講義	2	3190	児童福祉	講義		2		2				
	社会福祉	講義	2	3008	社会福祉	講義		2		2				
	相談援助	演習	1	3488	相談援助	演習		2		2				
	社会的養護	講義	2	3490	社会的養護	講義		2		2				
	保育者論	講義	2	3487	保育者論	講義		2		2				
関する科目 保育の対象の理解に	保育の心理学Ⅰ	講義	2	3401	発達心理学	講義	時間割外	2		2	145ページ 保育実習の実習先開拓および実習参加条件を参照。			
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	未開講	初等教育心理学	演習		2		2				
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	3709	小児保健A	講義	時間割外	2		2				
				—	小児保健B			2		2				
	子どもの保健Ⅱ	演習	1	3711	小児保健C	演習		1		1				
	子どもの食と栄養	演習	2	3525/3526	小児栄養	演習		2		2				
	家庭支援論	講義	2	3492	家族援助論	講義		2		2				
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2	3703	幼児教育課程論	講義		2		2	保育実習の実習先開拓および実習参加条件を参照。			
	保育内容総論	演習	1	3497	保育内容総論	演習		2		2				
	保育内容演習	演習	5	3533	保育内容(生活と環境)	演習		2		2				
				3527	保育内容(ことば)			2		2				
				3536/3537	保育内容(人間関係)			2		2				
				3530/3531	保育内容(表現)			2		2				
				3539	保育内容(健康)			2		2				
	乳児保育	演習	2	3500	乳児保育	演習		2		2				
	障害児保育	演習	2	3705	障がい児保育	演習		2		2				
	社会的養護内容	演習	1	3541	養護内容	演習		2		2				
	保育相談支援	演習	1	3707	保育相談論	演習		2		2				
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	3468/3469/3470/3471	子どもの音楽	演習		2		2				
				3466/3467	子どもの造形			2		2				
				3448/3449	子どもの体育			2		2				
				3453	子どもの言葉と文化			2		2				
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	3554	保育実習Ⅰ(保育所)	実習		2		2				
				3556	保育実習Ⅰ(施設)			2		2				
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	3550	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習		2		2				
				3552	保育実習指導Ⅰ(施設)			2		2				
演習 総合	保育実践演習	演習	2	3721	教職実践演習(幼児教育)	演習		2		2				
設置単位数		51単位以上		本学必要修得単位数							67		67	
履修単位数		51単位以上												

※1 外国語の卒業必修4単位には含まれません。

※2 共通教養科目として卒業要件の20単位に含まれます。

＜別表 2＞

児童福祉法施行規則 告示別表第2による教科目				本学授業科目							備 考		
系列	教科目	授業 形態	単位数	コード 番 号	左に対応して開設 されている教科目	授業 形態	オン ライ ン 科 目	単位数					
								必修	選択	計			
的 保 育 の 本 質 ・ 目 的 に 関 する 科 目	各指定保育 士養成 施設におい て設定	不問	1 5 単 位 以 上	3121	保育学	講義			2	2	※		
解 保 育 の 対 象 の 理 解 に 関 する 科 目				—	発達とコミュニケーション	講義			2	2	※ 2024年度休講		
保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目				3160	発達障がい の基礎	講義			2	2	※		
				—	精神保健	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				—	子どもの発達と 地域社会	講義			2	2	※ 2024年度休講		
				3701	幼小教育課程論A	講義			2	2	※		
				3702	幼小教育課程論B	講義			2	2	※		
				3406/3407	初等教育方法（情報 通信技術の活用含む）	講義			2	2	※		
				3199	学校インターンシップD	演習			2	2	※		
保 育 の 表 現 技 術				3562	保育インターンシップ	演習			2	2	※		
				3473/3474	音楽（楽器演奏1）	演習		2		2			
				3478/3479	音楽（楽器演奏2）	演習		2		2			
				—	音楽（楽器演奏3）	演習			2	2	※ 2024年度休講		
保 育 実 習	保育実習Ⅱ	実習	〔2〕	3560	保育実習2（保育所）	実習		2		2	} 選択必修		
	保育実習指導Ⅱ	演習	〔1〕	3558	保育実習指導2	演習		1		1			
	保育実習Ⅲ	実習	〔2〕	3561	保育実習3（施設）	実習		2		2			
	保育実習指導Ⅲ	演習	〔1〕	3559	保育実習指導3	演習		1		1			
設置単位数		18単位以上		本学必要修得単位数							7	2	9
履修単位数		9単位以上											

※印科目から2単位以上必ず修得

保育士資格取得に関する規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、和光大学学則（以下「学則」という。）第31条第2項の規定による保育士の資格取得に関する必要な事項を定めるものとする。

(指定保育士養成施設の位置と名称)

第 2 条 和光大学（以下「本学」という。）で保育士養成を行う位置は、次のとおりとする。

東京都町田市金井ヶ丘五丁目1番1号 和光大学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修

(資格取得要件)

第 3 条 保育士資格を取得するには、本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の卒業に必要な単位を修得するとともに、下記の単位数を別表1、別表2及び別表3に定める教科目の単位として修得しなければならない。

学部・学科		科目	共通教養 科 目	外国語 科 目	体育 科 目	専門科目			合計
						必修科目	選択必修 科 目	自由選択 科 目	
現代人間 学 部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程		6単位以上	2単位以上	3単位以上	69単位	9単位以上	0単位以上	89単位

(修業年限・定員)

第 4 条 本学現代人間学部心理教育学科子ども教育専修の修業年限及び定員については、次のとおりとする。

修業年限 4年

入学定員 45名

編入学定員 0名

学生定員 180名

(単位の計算)

第 5 条 授業科目の単位計算方法は、学則及び履修規程に定めるところによる。ただし、保育実習については、45時間の授業をもって1単位とする。また、別表3に定める教科目「外国語」については、15時間の授業をもって1単位とする。

(単位の認定)

第 6 条 授業を履修し、全授業時間数の3分の2以上出席した者は、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

ただし、実習に関する教科目については、全授業時間数の5分の4以上出席した者にたいし、試験又は研究報告（レポート等）の学習成果により合格と評価された場合、所定の単位を与える。

(他大学での修得単位の認定)

第 7 条 転・編入学者の以前の大学における取得単位とその科目の認定は、和光大学編入学・転部転科者の単位認定規程による。

(他大学での修得単位の認定制限)

第 8 条 第7条の定めにかかわらず、他の指定保育士養成施設において学生が履修した教科目又は入学前に指定保育士養成施設において履修した教科目の修得単位について、本学で認定する単位の上限は、別表1、別表2及び別表3に定める教科目として30単位を超えない範囲とする。また、指定保育士養成施設以外の他大学で履修した教科目の修得単位については、別表3に定める教養科目に相当する教科目として30単位を超えない範囲とする。

(休業期間の例外)

第 9 条 休業期間中であっても別表1及び別表2で定める保育実習を実施することがある。

(授業クラスの定員)

第 10 条 別表1、別表2及び別表3に定める教科目のうち演習及び実習・実技

科目については、原則として50名を超えて履修することはできない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成22年度に入学した現代人間学部

心理教育学科保育専修の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 保育専修	6単位以上	2単位以上	2単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	80単位

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	61単位	9単位以上	0単位以上	81単位

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2023年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、2018年度から2022年度に入学した現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生が在籍する間の資格取得要件は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養 科目	外国語 科目	体育 科目	専門科目			合計
					必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程	6単位以上	2単位以上	3単位以上	67単位	9単位以上	0単位以上	87単位

現代社会学科

2015～2020年度入学生

1. 現代社会学科の特徴

..... P 152

2. カリキュラムの仕組み

..... P 152

3. 卒業要件・履修要領

..... P 156

4. 授業一覧表

..... P 157

5. 取得できる免許状・資格

..... P 162

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度に発足しました。

心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、分野を横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

カリキュラムの特徴

現代人間学部は、心理教育学科、現代社会学科、人間科学科（2019年度名称変更）／身体環境共生学科の3学科に分かれています。学科間の壁が低いと、他学科の科目を履修することも可能です。さらに、和光大学では学部間の壁も低いという特色がありますので、他学部の科目を履修することもできます。各学科の専門性を追求するのに加え、自分の問題意識と学習意欲に基づいて、他学部・他学科の科目も積極的に履修してみましょう。

1. 現代社会学科の特徴

—「社会的知性をもつ実践者」を目指して

現代社会学科は、グローバル化、少子高齢化、情報化等、めまぐるしく変動する現代社会のなかで生じている格差の拡大、戦争、文化摩擦、差別、暴力、人権侵害、働き方の歪みなど、さまざまなレベルでの社会的問題に対処できる、「社会的知性をもつ実践者」の養成を目指しています。

そのために、「社会学」を基礎としつつ、「民族関係」、「アジア社会」、「ジェンダー関係」、「社会福祉」、「文化研究」など、さまざまな視点から現代社会の諸問題についてアプローチしていきます。

社会的問題の発見、分析方法の習得、現場体験学習を通じて、以下の能力の修得を目指しましょう。

- ① 敏感（sensitive）な感受性をもって、社会的問題の所在に気づく。
- ② 社会の現状を批判的（critical）に読み解き、分析する。
- ③ 上記の成果を実践につなげる積極的（active）な行動力をもつ。

2. カリキュラムの仕組み

現代社会学科では、「学科基礎科目」、「学科選択専門科目」、「演習」、「卒業論文」という4つの科目群を設定しています。詳しくは以下の説明を参照してください。

現代人間学部に所属する学生に共通して履修してほしい科目は「学部共通科目」として設けられています。自由履修科目として、積極的に履修してください。

☆学科基礎科目 （9科目18単位）

1年次生・2年次生必修

現代社会学科に所属する学生は、以下の学科基礎科目（9科目18単位）を必ず履修しなければなりません。それぞれの科目を履修する学年も決まっていますので、カリキュラムを組む際には、まず下記の授業を履修計画に組み込みましょう。

○1年次生必修（6科目12単位）

- 「プロゼミ1」（2単位）⇒ 大学で学ぶための基礎的な読む能力を身につける
- 「プロゼミ2」（2単位）⇒ 大学で学ぶための基礎的な書く能力を身につける
- 「社会学入門A」（2単位）⇒ 「社会学」の入門科目
- 「社会学入門B」（2単位）⇒ 「社会学」の入門科目
- 「現代世界入門A」（2単位）⇒ 近現代の歴史を学ぶ
- 「社会調査入門」（2単位）⇒ 調査方法の基礎を身につける



問題解決能力の基盤として、社会学や社会科学の基礎知識、調査方法を身につけよう！

○ 2 年次必修 (3 科目 6 単位)

- 「社会学演習」 (2 単位) ⇒ 社会学の基礎を演習形式で学ぶ
 「現代世界入門 B」 (2 単位) ⇒ 地理の観点から現代世界の現状と課題を考える
 「統計の読み方入門」 (2 単位) ⇒ 統計データの分析方法を学ぶ



専門科目を効果的に学べるように、確実な基礎力を身につけよう！

☆ 学科選択専門科目

○ 「学科選択専門科目」は内容別に、6 つの科目群に分かれています。

- A. 社会学の理論と研究方法
 B. 個人と社会

⇒ 社会を読み解く力、批判的な分析力を身につけることを目指します。

- C. 共生・福祉
 D. アジア・地球社会
 E. 文化とアイデンティティ・情報とメディア

⇒ 社会の変化にともなう生じる社会問題の解明とその解決を、ジェンダー、階層、民族などの観点から複眼的に検討していきます。

- F. フィールドワーク

⇒ さまざまな「現場」で経験を積むことにより、積極的な行動力を身につけることを目指します。

- ☐ A～E の専門科目は基本的に 2 年次から履修できます (1 年次から履修できる科目もあります)。
☐ フィールドワーク関連の科目は、1 年次から履修できます。
 日本国内や国外の調査地にをかけて、積極的に問題解決にあたる行動力を育成してください。

☆ 演習 (ゼミナール)

3 年次・4 年次選択必修

卒業論文に向けた専門的な学習を行う場として、演習 (ゼミナール) という科目が設けられています。テキストの講読や各自の研究テーマに関する報告、討論を通して、自分の問題関心を深めていきましょう。

現代社会学科の学生は、「現代社会学演習」のうちから少なくともひとつの演習 (ゼミナール) を選び、3 年次、または 4 年次に必ず履修しなければいけません。必修は 4 単位ですが、3 年次、4 年次と 2 年間つづけて (できるだけ同じ演習を) 履修することが望まれます。

☆ 卒業論文 (10 単位)

4 年次必修

「卒業論文」は、大学での学習の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定してまとめあげるものです。現代社会学科を卒業するためには、全員が必ずこの「卒業論文」を書かなければなりません。



卒業論文の指導は、原則として演習 (ゼミナール) の担当教員がすることになります。3 年次から、卒業論文の執筆も視野に入れて、自分の扱いたいテーマを指導してもらえる教員の演習を選び、4 年次にもつづけて履修することを強く勧めます。

	<p>○卒業論文提出までの流れ</p> <div><div>3 年次12月上旬</div><div>「仮題目届」を提出</div></div> <div>↓</div> <div><div>4 年次 4 月中旬</div><div>「卒業論文調査票」を提出</div></div> <div>↓</div> <div><div>4 年次12月中旬</div><div>「卒業論文」を提出</div></div>
<p>○卒業論文提出までの 手続き</p>	<p>3 年次生の12月に卒業論文の仮題目届を提出します。この時期に研究テーマや研究方法について教員と話し合うことによって、卒業論文への問題意識を高め、教員から研究を進めるための具体的なアドバイスを受けることができます。仮題目届にも、主旨導教員（多くはゼミ指導教員）の許可が必要ですので、テーマにふさわしい教員を選んで指導を受けたのち、提出してください。</p>
<div><div>3 年次生12月</div><div>仮題目届提出</div></div>	<p>仮題目届の提出（詳細は掲示板や和光ポータルでお知らせします）</p> <div><div>①和光ポータルにて仮題目届の入力フォーム（オンラインのもの）が届きます。</div><div>②希望する主旨導教員と面談し、仮題目届の入力フォームに必要事項を記入します。</div><div>③入力フォームの送信ボタンを押して提出します。</div></div> <p>提出期限 2024年12月 6 日（金） 16：30</p>
<p>主旨導教員(主査)について</p>	<p>主旨導教員（主査）は現代社会学科専任教員（演習担当者）のみとします。</p>
<p>副指導教員(副査)について</p>	<p>副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつける場合、原則として現代社会学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員（通年で講義を担当している方）にお願いすることもできます。その場合、主旨導教員と相談してください。</p>
	<p>〈注意〉</p> <div><div>(1) 卒論題目及び主旨導教員（副指導教員）は、正式には4年次の4月に卒業論文調査票を提出することで決定します。その際、仮題目届からの変更は可能です。</div><div>(2) 次のような場合には、必ず演習（ゼミナール）の教員またはコアクラス・ティーチャーに相談してください。</div><div><div>◎テーマ（仮）を追求するにあたり、適切な指導教員がわからない場合</div><div>◎テーマ（仮）を追求するにあたり、適切な指導教員が学科専任教員以外であると思われる場合</div></div></div>
<div><div>4 年次生 4 月</div><div>調査票提出・履修登録</div></div>	<p>卒業論文調査票提出期限 2024年 4 月15 日（月） 16：30</p> <p>提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。</p> <div><div>(1)「卒業論文調査票」を提出します。これにより、卒業論文の履修登録が完了します。</div><div>届け出た題目は変更しないことが望ましいです。やむをえず、届出以降に卒論題目を変更する場合には、主旨導教員の許可を得てください（題目変更の届出をする必要はありません）。</div></div>
<p>主旨導教員(主査)について</p>	<p>主旨導教員（主査）は現代社会学科専任教員（演習担当者）のみとします。</p>
<p>副指導教員(副査)について</p>	<p>副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつける場合、原則として現代社会学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には他学科、他学部の専任教員もしくは非常勤教員（通年で講義を担当している方）にお願いすることもできます。その場合、主旨導教員とよく相談してください。</p> <div><div>(2)履修登録では主旨導教員別授業コードが実習欄に入力されていることを確認してください。</div><div>主旨導教員別授業コードは授業一覧表を参照してください。</div></div>

4 年次生12月提出

最終受付日 2024年12月20日（金）14：00まで

背表紙

背表紙をつける

教学支援課に卒業論文を（受領票も一緒に）提出してください。

背のない表紙を使用する人は、背表紙をつけてください。

既製のファイル等を利用する場合、背表紙に直接記入してもかまいません。

右の例を参考にして、背表紙に提出年度（今年度は24）、主査名、題目、学籍番号、氏名の順にはっきり記入してください。手書きの場合は、マジック・ボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。

24

主
査
名題
目学
籍
番
号氏
名

受領票を表紙に貼る

教学支援課で11月から配布します。

必要事項を記入し卒業論文の表紙に必ず貼ってから提出してください。

3. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2018～2020年度入学生 現代社会学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	学科基礎科目	プロゼミ	4単位	
		入門科目	12単位	
		社会学演習	2単位	
	演習	●	4単位	
	学科選択専門科目	●	12単位	
	卒業論文		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注) 資格課程専用（8000番台）科目は含めることができません。		56単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

《2015～2017年度入学生 現代社会学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	24単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	学科基礎科目	プロゼミ	4単位	
		入門科目	12単位	
		社会学演習	2単位	
	演習	●	4単位	
	学科選択専門科目	●	12単位	
	卒業論文		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注) 資格課程専用（8000番台）科目は含めることができません。		52単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

① 学科基礎科目18単位（プロゼミ 4単位＋入門科目12単位＋社会学演習 2単位）

授業一覧表の科目群を参照してください。

② 演習 4単位、学科選択専門科目から12単位、卒業論文10単位

③ 自由履修科目

共通教養科目、外国語科目、演習科目、現代社会学科選択専門科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

2024年度 現代人間学部 現代社会学科 授業一覧表

2015～2020年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は現代社会学科生以外も履修可能です。「×」は現代社会学科生専用です。

現代社会学科専門科目（2015～2020年度入学生用）																
卒業要件	授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重 複 履 修	全 学 開 講	備考	
								1 年	2 年	3 年	4 年					
＜現代社会学科基礎科目＞																
学 科 基 礎 科 目	プロ ゼ ミ	—	プロゼミ1[打越]	2	—	—	前期	—	—	2	3	4	—	×	—	いずれか1つ必修 現代社会学科生のみ履修可 2024年度休講
		—	プロゼミ1[小野]				前期	—	—	2	3	4	—			
		—	プロゼミ1[米田]				前期	—	—	2	3	4	—			
		4804	プロゼミ2[中力]	2	クラス 指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	中力 えり	×	—	いずれか1つ必修 現代社会学科生のみ履修可
		4805	プロゼミ2[挽地]				後期	—	—	2	3	4	挽地 康彦			
	入 門 科 目	4807	社会学入門A	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	×	必修 現代社会学科生のみ履修可
		—	社会学入門B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	×	必修、2024年度休講
		—	社会調査入門	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	×	必修、2024年度休講
		4810	統計の読み方入門[1]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	×	×	必修
		—	統計の読み方入門[2]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	×	必修、2024年度休講
		4812	現代世界入門A	2	クラス 指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	打越 正行	×	×	必修 現代社会学科生のみ履修可
		4813	現代世界入門B	2	クラス 指定必修	—	後期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	×	必修 現代社会学科生のみ履修可
	社 会 学 演 習	—	社会学演習(ワークショップ)[A]	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	—	A～Dから選択必修 現代社会学科生のみ履修可 初回授業に必ず参加すること 2024年度休講
		—	社会学演習(ワークショップ)[B]				—	—	—	2	3	4	—			
		—	社会学演習(ワークショップ)[C]				—	—	—	2	3	4	—			
		—	社会学演習(ワークショップ)[D]				—	—	—	2	3	4	—			
＜現代社会学科選択専門科目＞																
学 科 選 択 専 門 科 目	A（社会 学 の 理 論 と 研 究 方 法）	—	社会学の歴史	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		4305	フィールド・ライティング	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		4307	社会学理論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	○	○	「現代社会学理論」より科目名 変更
		5105	異文化理解の方法	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	
		4310	質的調査法の基礎	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	打越 正行	○	○	「インタビューの技法」より科 目名変更
		4308	社会調査の方法	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	×	○	「社会調査法応用」単位修得者 は履修不可
		3122	心理学統計法A	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	坂井 敬子	×	○	「記述統計学」から名称変更、履修希望者は和 光ポータルの指示に従うこと
		3124	心理学統計法B	2	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	坂井 敬子	×	○	「推測統計学」から名称変更、「記述統計学」ある いは「心理学統計法」修得者のみ履修可、履修希望 者は和光ポータルの指示に従うこと
		—	統計データの活用	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		—	量的分析法	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	社会調査実習	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講

2024年度 現代人間学部 現代社会学科 授業一覧表

2015～2020年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は現代社会学科生以外も履修可能です。「×」は現代社会学科生専用です。

現代社会学科専門科目 (2015～2020年度入学生用)																		
卒業要件		授業 コード	科目[授業]名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重 複 履 修	全 学 開 講	備 考		
									1 年	2 年	3 年	4 年						
学科選択 専門科目	B 〔個人と 社会〕	—	暴力論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		
		4326	不平等論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	「現代社会と階層分化A」より 科目名変更	
		4327	経済と人間社会	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	「現代社会と階層分化B」より 科目名変更	
		4328	現代社会と労働	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	打越 正行	○	○	「現代社会と労働B」より科目 名変更	
		4314	ジェンダー労働論	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	杉浦 郁子	×	○		
		—	歴史社会学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		4319	現代の家族	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	2	3	4	石黒 史郎	×	○		
		4320	逸脱とは何か	2	人数制限 (抽選)	—	前期	時間割外	—	2	3	4	赤羽 由起夫	×	○	「現代逸脱論」単位修得者は履 修不可		
		5225	世界の性文化	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	「性の人類学」単位修得者は履 修不可		
		—	負債の社会学・人類学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	コミュニケーション・共同体論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	都市の社会史	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	教育と社会	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		3408	教育社会学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○		
		3404	近代日本の社会と教育	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	大西 公恵	×	○		
		3405	現代日本の社会と教育	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉 浩一	×	○			
		3118	ジェンダーと教育	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	堀川 修平	×	○		
	C 〔共生・ 福祉〕 ↓	—	動物論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	福祉社会学A	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4823	福祉社会学B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	○	隔年開講	
		—	貧困の社会学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	「貧困の社会学B」より科目名 変更、2024年度休講	
		4405	環境社会学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○			
		4330	社会運動の社会学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○			
		4331	ソーシャルデザイン論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○			
		4311	合意形成と対話のデザイン	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○			
		4322	政治社会学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○		
		4324	差別論	2	なし	—	集中講義	時間割内	—	2	3	4	吉村 さやか	×	○			
		—	民族と社会	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4825	日本における民族関係A(在日外国人)	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	○		
		—	日本における民族関係B(在日外国人)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4827	日本における民族関係C(アイヌ)	2	許可	—	前期	—	—	—	2	3	4	上野 昌之	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定隔年開講	

2024年度 現代人間学部 現代社会学科 授業一覧表

2015～2020年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は現代社会学科生以外も履修可能です。「×」は現代社会学科生専用です。

現代社会学科専門科目（2015～2020年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科選択専門科目	↑C(共生・福祉)	4337 マイノリティと言語	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		4401 現代社会と心身問題A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講
		— 現代社会と心身問題B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4403 障害・健常を考えるA	2	人数制限(抽選)	有	集中講義	—	—	2	3	4	渡辺 一史	×	○	隔年開講
		— 障害・健常を考えるB	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4406 災害社会学	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	浅野 幸子	○	○	「現代社会特論(災害社会学)」より科目名変更
		4303 地域を知る	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	杉山 弘	○	○	「現代社会特論(町田を知る)」より科目名変更
	D(アジア・地球社会)	5223 太平洋の文化と歴史	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	「太平洋の社会と文化」単位修得者は履修不可
		5224 アフリカの文化と歴史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	「アフリカの社会と文化」単位修得者は履修不可、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4334 ラテンアメリカの社会と文化	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
		— アジアにおける民族関係	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— 東西文化の交流史	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		4335 現代ヨーロッパ社会論A	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		4336 現代ヨーロッパ社会論B	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		— グローバル社会学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4407 現代社会とNGO・NPO	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
		3416 グローバリゼーションと教育	2	なし	—	後期	時間割外	—	2	3	4	谷川 由佳	×	○	
		4316 開発とジェンダー	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	新倉 久乃	×	○	
		4301 人権とは何か	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	藤本 俊明	×	○	「現代社会特論(人権とは何か)」単位修得者は履修不可
	E(文化とアイデンティティ・情報とメディア)	4302 メディア論入門	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		4342 大衆音楽の社会史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	中田 崇	○	○	
		4338 言語と社会A	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		4339 言語と社会B	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		— 世界の家族	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	「比較家族論」より科目名変更、2024年度休講
		4340 比較社会学	2	なし	—	前期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		— 文化の社会学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		4323 社会意識論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	
		4408 スポーツ社会学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4312 現代社会とジェンダーA	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		4313 現代社会とジェンダーB	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	石黒 史郎	×	○	
		4317 セクシュアリティをめぐる諸問題A	2	なし	—	集中講義	—	—	2	3	4	宮田 りりい	×	○	
		— セクシュアリティをめぐる諸問題B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 現代社会とメディア	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		4315 ジェンダーとメディア	2	人数制限(抽選)	—	後期	時間割外	—	2	3	4	関根 里奈子	×	○	

2024年度 現代人間学部 現代社会学科 授業一覧表

2015～2020年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は現代社会学科生以外も履修可能です。「×」は現代社会学科生専用です。

現代社会学科専門科目 (2015～2020年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科選択専門科目	F (フィールドワーク)	― フィールドワークを学ぶ[国内1]	2	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワークを学ぶ[国内2]				―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		― フィールドワークを学ぶ[国内3]				―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		― フィールドワークを学ぶ[国外]				―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		― フィールドで学ぶ[国内1]	4	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドで学ぶ[国内2]				―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		― フィールドで学ぶ[国内3]				―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		― フィールドで学ぶ[国外]	6	―	―	―	―	―	2	3	4	―	―	―	2024年度休講
		4343 フィールドワーク (ハワイ1)	2	許可	―	前期	―	―	2	3	4	挽地 康彦	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4344 フィールドワーク (ハワイ2)	4	許可	―	後期+フィールドワーク	―	―	2	3	4	挽地 康彦	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、履修希望者は「フィールドワーク (ハワイ1)」許可手続きに出席すること
		― フィールドワーク (ヨーロッパ1)	2	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク (ヨーロッパ2)	4	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク (市民運動と自治1)	2	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク (市民運動と自治2)	4	―	―	―	―	―	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		4345 フィールドワーク (人々のくらしと社会1)	2	許可	―	前期	―	―	2	3	4	打越 正行	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4346 フィールドワーク (人々のくらしと社会2)	4	許可	―	後期+フィールドワーク	―	―	2	3	4	打越 正行	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、履修希望者は「フィールドワーク (人々のくらしと社会1)」許可手続きに出席すること
演習	演習	4841 現代社会学演習1[米田]	4	クラス指定必修	―	通年	―	―	―	3	4	米田 幸弘	○	○	
		4842 現代社会学演習2[打越]					―	―	―	3	4	打越 正行			
		4843 現代社会学演習3[杉浦]					―	―	―	3	4	杉浦 郁子			
		4844 現代社会学演習4[中力]					―	―	―	3	4	中力 えり			
		4845 現代社会学演習5[挽地]					―	―	―	3	4	挽地 康彦			
		4846 現代社会学演習6[小野]					―	―	―	3	4	小野 奈々			
卒業論文	卒業論文	4847 卒業論文[米田]	10	クラス指定必修	―	通年	―	―	―	―	4	米田 幸弘	―	×	和光ポータルの指示に従うこと
		4848 卒業論文[打越]					―	―	―	―	4	打越 正行			
		4850 卒業論文[中力]					―	―	―	―	4	中力 えり			
		4851 卒業論文[挽地]					―	―	―	―	4	挽地 康彦			
		4852 卒業論文[小野]					―	―	―	―	4	小野 奈々			

2024年度 現代人間学部 現代社会学科 授業一覧表

2015～2020年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は現代社会学科生以外も履修可能です。「×」は現代社会学科生専用です。

現代社会学科専門科目（2015～2020年度入学生用）															
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。															
自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001 社会学A	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割内	—	2	3	4	周 筱	×	○	
		3002 社会学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		3003 心理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	
		3004 教育学	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○	
		— 国際関係学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3006 女性学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	西山 千恵子	×	○	
		3007 男性学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		3008 社会福祉	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	牧野 賢一	×	○	
		3009 文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	—	2	3	4	矢野原 佑史	×	○	
		3010 生態学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 健	×	○	
		— 環境思想論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講

5. 取得できる 免許状・資格

現代社会学科で取得できる資格は、以下の通りです。

- ◆ 中学校教諭一種免許状（社会）
- ◆ 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
- ◆ 高等学校教諭一種免許状（公民）
- ◆ 図書館司書
- ◆ 学校図書館司書教諭
- ◆ 博物館学芸員
- ◆ 社会教育主事

2年次より履修可能
※詳しくは、資格課程の手びきを参照してください。

- ◇ 社会調査士資格
- ◇ 社会福祉主事
- ▲ 「ジェンダー・スタディーズ・プログラム」履修証明書
- ▲ 「地域・流域プログラム」履修証明書

1年次より履修可能

◆ = 公的資格 ◇ = 民間資格 ▲ = 大学認定資格（詳しくは、P37～を参照）

☆社会調査士資格

「社会調査士資格」は、社会調査協会（一般社団法人）により認定される資格です。「社会調査士資格」は国家資格ではありませんが、マスコミやNPO・NGO、民間企業、官公庁、学校では、世論調査、マーケティング調査、意識調査など、さまざまな社会調査を正確に実施できる人材へのニーズが高まっているため、就職に際して有利にはたらく可能性のある資格です。所定の授業を履修し、単位を修得することで得られる資格ですので、ぜひ挑戦してみてください。

「社会調査士資格」取得のためには、**6科目14単位**を修得する必要があります。以下に示した科目が必修となっています。

- | | | | |
|-------------------|-------|-----------|-------|
| ■ 社会調査入門 | (2単位) | □ 社会調査法応用 | (2単位) |
| ■ 統計の読み方入門 | (2単位) | □ 量的分析法 | (2単位) |
| □ 推測統計学または心理学統計法B | (2単位) | □ 社会調査実習 | (4単位) |

■で示した科目は、現代社会学科の必修科目になっています。

※「社会調査士資格」についての詳細は、下記のホームページをみてください。

<http://jasr.or.jp/>



「社会調査士資格」は、所属学部学科を問わず取得することができます。

「社会調査士資格」取得希望者は、現代社会学科専任教員に相談してください。

☆社会福祉主事

社会福祉主事（任用資格）の取得も可能です。社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2021～2024年度入学生 人間科学科

1. 人間科学科の特徴

..... P 164

2. 卒業要件・履修要領

..... P 165

3. 専門科目の説明

..... P 166

4. 授業一覧表

..... P 170

5. 取得できる資格・免許状の種類

..... P 178

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度から新しく発足しました。心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 人間科学科の特徴

(1) 人間科学科で学ぶ

人間科学科では、「いのち：生命系」「からだ：身体文化系」「まわり：社会学系」といった3つの専門領域を、遊戯要素を含むゆとりのある連携という意味での「あそび」概念でつなぎ、複数の教員による領域横断的な学びを通して現代社会を読み解き、好奇心と探究心を刺激しながら「人間とは何か？」を追究します。

3つの専門領域を複数の教員から横断的に学ぶ仕組みとして、1年次から「プロゼミ（前期と後期で異なる専門領域の教員が担当）」「人間科学研究論（3つの異なる専門領域の教員が共同で担当）」、2年次から「人間科学論演習（ゼミ：少人数で専門領域別に学ぶ。複数ゼミの同時履修や毎年違うゼミを履修することも可能）」を設置しているところに、人間科学科の特徴があります。

2. 卒業要件・履修要領

（1）卒業に必要な単位数

《2021～2024年度入学生 人間科学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	科学 目 科 基 礎	プロゼミ	4単位	
		導入科目	● 4単位	
		入門科目	● 4単位	
	演習		● 8単位	
	学科選択専門科目		● 12単位	
	卒業研究		4単位	
自由履修科目	以下のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・卒業論文 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注）資格課程専用（8000番台）科目は含めることができません。		64単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

（2）履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

①共通教養 20単位

②外国語 4単位

③専門科目 プロゼミ 4単位 導入科目 4単位 入門科目 4単位 演習 8単位 学科選択専門科目 12単位 卒業研究 4単位

④自由履修科目 64単位

共通教養科目、外国語科目、導入科目、入門科目、演習科目、人間科学科選択専門科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、卒業論文、現代人間学部共通科目、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

(1) 学部共通科目

学部共通科目は、いずれの学科所属であっても、現代人間学部の学生のみさんにとって共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

(2) 学科基礎科目

人間科学科に所属する学生は、プロゼミ、導入科目、入門科目からなる学科基礎科目（12単位）を必ず履修しなければなりません。履修する学年が決まっている科目もありますので、カリキュラムを組む際には、まず以下の授業を履修計画に組み込みましょう。

①プロゼミ

(必修4単位)

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません（前期2単位、後期2単位）。学科の専任教員がそれぞれのテーマを掲げて担当しますが、具体的な内容と進め方については、4月の学科説明会時の履修説明会で説明します。1年生は、この説明会に必ず出席して希望するプロゼミについて届を提出してください。希望届を考慮して決定した「プロゼミ」のクラス分けは、4月の新入生説明会時に発表されます。どのクラスも授業は水曜日の第3時限です。前期も後期もクラスの構成メンバーは同じですが、担当教員は前期と後期で異なります。

②導入科目

(選択必修4単位)

人間科学科の学びでは、「生命系」「身体文化系」「社会学系」の3つの専門領域が用意されています。そして総合的知性を重んじる人間科学科では、それらを単にバラバラの知識の寄せ集めとして受け止めるのではなく、自分なりに領域横断的に貫いて考える力を養っていくことを目指しています。その指針とするために、異なる3つの専門領域の教員がテーマを決めて共同で担当する「人間科学研究論A」～「人間科学研究論D」を設置しています。また「人間科学キャリア論」は、3つの分野と関連したさまざまなジャンルの職業や生き方について理解を深めながら、本学科で学ぶ内容が自分の人生とどのように繋がるかについて、皆さんが具体的なイメージを持つように働きかける科目です。人間科学科では、こうした様々な領域の知性を関連させて考察するように働きかける授業群を「導入科目」として、これら5科目の中から2科目4単位を選択必修としています。1年生の履修を推奨しています。

③入門科目

(選択必修4単位)

人間科学科では、「生命系」「身体文化系」「社会学系」の3つの専門領域の中の諸分野において、好奇心と探究心を刺激するために、12の入門科目を設けています。その多様さに戸惑うことがあるかもしれませんが、こうした入門科目を通じて、様々な学問分野の入口に立つだけでなく、知的に考えること、活動することについて多様な入口があることを見出したり、自分なりの知的探求のスタイルを見出すきっかけとしてください。入門科目の中から4単位を選択してください。1年生の履修を推奨していますが、科目によっては2年生以後の履修も歓迎します。

(3) 学科選択専門科目

(選択必修12単位)

学科選択専門科目は、「生命系」「身体文化系」「社会学系」の3つの科目群から構成されており、「いのち（生命）」「からだ（身体）」「まわり（環境・社会）」をめぐる学びをより専門的に深めていきます。人間科学科では、人間および人間以外の存在との共生を、学問における大きな課題として捉えて考えていきます。そのために、学科選択専門科目の1つ1つの科目群が学際的なプログラムとして用意されていますが、これら3つの領域（科目群）がそれぞれコースになっているわけではありません。したがって、履修にあたっては、1つの領域の科目ばかりを受講していくのではなく、3つの領域を横断しながら多様に学んでいくことが大切です。

また、「フィールドワーク」（現場体験、現地調査）の各科目では、「いのち（生命）」「からだ（身体）」「まわり（環境・社会）」に関連した研究テーマを設定して、国内外のフィールドへ担当教員と共に出かけます。3つの科目群を領域横断的に履修しながら、現場にも足を運んで、別の角度からの学びを展開することができれば、有意義で、かつ人間科学の課題により迫ることができるでしょう。

(4) 演習(ゼミ)

(必修8単位)

演習科目は、原則として2・3・4年生のために専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。1年間ごとに履修登録しますが、2年次・3年次・4年次と連続して履修することも可能です。複数のゼミを同時履修したり、毎年異なるゼミを履修することができ、必修単位数は8単位ですが、より多くとった単位は、自由履

（５）卒業研究

（必修４単位）

卒業研究提出までの手
続き

3年生12月
仮題目届提出

指導教員について

4年生4月
題目調査票提出
・履修登録

卒業研究の題目を変更す
るとき

4年生12月提出

●卒業研究の清書について

修科目として数えます。

人間科学科では、4年次に、卒業研究を必修（４単位）としています。卒業研究は、大学での学修の最後の締めくくりとして、４年間で身につけた知識や思考力を活用して、各自が研究テーマを設定し、それに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら１年間かけてまとめあげるものです。

卒業研究では、自分で選んだ専任教員を指導教員（主査）とし、4年次の4月に「卒業研究題目調査票」を届け出て、12月中旬に研究成果を提出します。

3年生の12月に卒業研究の仮題目届を提出します。この時期に研究テーマや研究方法について教員と話し合うことによって、卒業研究への問題意識を高め、教員から研究を進めるための具体的なアドバイスを受けることができます。仮題目届にも、指導教員（多くはゼミの教員）の許可が必要です。テーマにふさわしい教員を選んで指導を受けたのち、提出してください。

仮題目届の提出（詳細は掲示板や和光ポータルでお知らせします）

- ①和光ポータルにて仮題目届の入力フォーム（オンラインのもの）が届きます。
- ②希望する主指導教員と面談し、仮題目届の入力フォームに必要事項を記入します。
- ③入力フォームの送信ボタンを押して提出します。

提出期限 2024年12月6日（金）16：30

仮題目届に記入できる主指導教員（主査）は、人間科学科専任教員（演習授業担当者）のみとします。

「卒業研究題目調査票」提出期限 2024年4月15日（月）16：30まで

提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。

- ①4年次の4月に「卒業研究題目調査票」を提出します。これにより、卒業研究の履修登録が完了します。

題目調査票の提出に先立ち、題目・内容について指導を希望する教員とよく相談してください。3年次に提出した仮題目届と同じ内容でも、必ず指導教員の許可を得て提出してください。

- ②履修登録では指導教員（主査）別の授業コードが実習欄に入力されていることを確認してください。

届け出た題目は変更しないことが望ましいです。やむをえず卒業研究題目を変更する場合には、指導教員の許可を得てください（題目変更の届出は必要ありません）。

提出期限 2024年12月20日（金）14：00まで

締め切り日時までに教学支援課に卒業研究を（受領票も一緒に）提出してください。なお、以下の（６）卒業論文として提出する場合は、卒業研究を提出する必要はありません。

いわゆる論文の形式にしたがった卒業研究の場合、また、卒業研究の内容が活動や制作を主体とするものであっても、複数人で取り組んだ形式のものであっても、個人ごとに、論文の形式に準じた形にまとめたものを作成して提出してください。清書にあたっては、A４版の用紙を使用し、出来るだけワープロで浄書してください（横40文字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします）。手書きの場合には、必ずインクまたはボールペン書きとし、鉛筆・消せるボールペンは不可です。活動記録や電子媒体の資料を添付する場合には、すべて一つに綴じて散逸しないようにしてください。詳しくは指導教員に相談してください。

●背表紙をつける	一つにまとめた卒業研究は綴じて背表紙をつけてください。 右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。手書きの場合は、マジック・ボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。	背表紙
●受領票について	教学支援課で11月から配布します。 必要事項を記入した受領票を、必ず卒業研究の表（おもて）に貼ってから提出してください。	24 主査名 題目 学籍番号 氏名
(6)卒業論文 (自由履修6単位)	大学4年間の学びを、しっかりとした長文の研究成果としてまとめあげたいと希望する人は、卒業研究に加えて、同じ指導教員の下で卒業論文を履修することができます。卒業論文のテーマは卒業研究と同じにしてください。卒業論文として作成した論文は、卒業研究の研究成果提出を兼ねることができますが、一般の卒業研究よりも高度な水準を要求されます。指導教員とよく相談の上、履修してください。一本のきちんとした学術論文を執筆した経験は、皆さんの人生において大きな力となることでしょう。 卒業論文に要求されている水準を満たしていない場合は、不合格になります。卒業論文の審査は、主査を含む複数の専任教員によって厳格に行われます。	
卒業論文提出までの手続き	3年生の12月に「卒業研究」の仮題目届を提出するさいに、「卒業論文」の履修希望を合わせて聴取します。	
4年生4月履修登録	卒業論文は許可科目です。許可手続き期間に手続きが必要です。所定の手続きにしたがい、指導教員（主査）の許可を得て履修登録をしてください。 卒業論文の6単位がなくても卒業が見込めるように、余裕をもって履修登録をしてください。	
副指導教員について	副指導教員（副査）は卒業論文申請者のみ指定することができます。特に指定しなくても構いません。副査をつける場合、原則として人間科学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員（通年で講義を担当している方）をお願いすることもできます。その場合、指導教員と相談してください。	
卒業論文の題目を変更するとき	届け出た題目は変更しないことが望ましいです。やむをえず、届出以降に卒業論文題目を変更する場合には、指導教員の許可を得てください（題目変更の届出は必要ありません）。	
4年生12月提出	締め切り日時（卒業研究と同一）までに教学支援課に卒業論文2部を（受領票2部貼付のうえ）提出してください。	
●卒業論文の清書について	卒業研究に準じます。	

●背表紙をつける

一つにまとめた卒業論文は綴じてそれぞれ背表紙をつけてください。
 右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。手書きの場合は、マジック・ボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。

●受領票について

教学支援課で11月から配布します。
 必要事項を記入した受領票を、必ず卒業論文2部の表（おもて）にそれぞれ貼ってから提出してください。

背表紙

24

主
査
名題
目学
籍
番
号氏
名

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目 (2021～2024年度入学生用)																
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考	
								1 年	2 年	3 年	4 年					
＜人間科学科基礎科目＞																
学 科 基 礎 科 目	ブ ロ ゼ ミ	4001	プロゼミ1a[打越]	2	クラス 指定必修	—	前期	—	1	—	—	打越 正行	×	×	前期後期 セット履修	
		4002	プロゼミ2a[大橋]	2		—	後期	—	1	—	—	大橋 さつき	×	×		
		4003	プロゼミ1b[制野]	2		—	前期	—	1	—	—	制野 俊弘	×	×	前期後期 セット履修	
		4004	プロゼミ2b[中力]	2		—	後期	—	1	—	—	中力 えり	×	×		
		4005	プロゼミ1c[原田]	2		—	前期	—	1	—	—	原田 尚幸	×	×	前期後期 セット履修	
		4006	プロゼミ2c[上野]	2		—	後期	—	1	—	—	上野 俊哉	×	×		
		4007	プロゼミ1d[小野]	2		—	前期	—	1	—	—	小野 奈々	×	×	前期後期 セット履修	
		4008	プロゼミ2d[挽地]	2		—	後期	—	1	—	—	挽地 康彦	×	×		
		4009	プロゼミ1e[米田]	2		—	前期	—	1	—	—	米田 幸弘	×	×	前期後期 セット履修	
		4010	プロゼミ2e[矢田]	2		—	後期	—	1	—	—	矢田 秀昭	×	×		
		4011	プロゼミ1f[野中]	2		—	前期	—	—	2	3 4	野中 浩一	○	×		
		4012	プロゼミ2f[岩本]	2		—	後期	—	—	2	3 4	岩本 陽児	○	×		
	導 入 科 目	4013	人間科学研究論A	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3 4	大橋・岩本・挽地	○	×		
		4014	人間科学研究論B	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3 4	米田・原田・打越	○	×		
		4015	人間科学研究論C	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3 4	制野・矢田・上野	○	×		
		—	人間科学研究論D	2	—	—	—	—	1	2	3 4	—	○	×	2024年度休講	
		4017	人間科学キャリア論	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3 4	人間科学科教員	×	×		
	入 門 科 目	—	遊戯論	2	—	—	—	—	1	2	3 4	—	×	○	2024年度休講	
		4202	いのち・身体論入門	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3 4	制野 俊弘	×	○		
		4301	人権とは何か	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3 4	藤本 俊明	×	○		
		4018	生涯学習論	2	なし	—	前期	—	1	2	3 4	岩本 陽児	○	○		
		—	人類学入門	2	—	—	—	—	1	2	3 4	—	—	—	2024年度休講	
		4019	野菜づくり入門	4	人数制限 (抽選)	—	通年	—	1	2	3 4	岩本 陽児	○	○		
		—	スポーツ文化論入門	2	—	—	—	—	1	2	3 4	—	×	○	2024年度休講	
		4020	社会学入門	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3 4	挽地 康彦	×	×		
		—	社会調査入門	2	—	—	—	—	1	2	3 4	—	×	○	2024年度休講	
		4022	現代世界入門	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3 4	小野 奈々	×	○		
		4302	メディア論入門	2	なし	—	後期	—	1	2	3 4	上野 俊哉	○	○		
		4303	地域を知る	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3 4	杉山 弘	○	○		

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目(2021～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考			
								1年	2年	3年	4年							
＜人間科学科 選択専門科目＞																		
学科選択専門科目	生命系	—	生命倫理学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講		
		—	生命論	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4023	生命の政治学	2	なし	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	挽地 康彦	×	○	隔年開講
		4207	医療人類学	2	なし	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	鈴木 勝己	×	○	
		4208	公衆衛生学	2	なし	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		4209	衛生学	2	なし	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		—	動物論	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4210	エコロジーと人新世 (アントロポシン)	2	なし	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		4401	現代社会と心身問題A	2	なし	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講
		—	現代社会と心身問題B	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4403	障害・健常を考えるA	2	人数制限 (抽選)	有	集中講義	—	—	—	1	2	3	4	渡辺 一史	×	○	隔年開講
		—	障害・健常を考えるB	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4211	福祉共生と身体運動	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	袴田 優子	×	○	隔年開講
		4212	生涯保健学基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	1	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		—	健康体操学	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		4214	学校保健学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	1	2	3	4	齋藤 初恵	×	○	
		4215	健康管理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	1	2	3	4	齋藤 初恵	×	○	
		4216	障害児運動支援学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	1	2	3	4	大橋 さつき	×	○	
		4217	ムーブメント教育・療法1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	1	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと、 隔年開講
		—	ムーブメント教育・療法2	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講、隔年開講
		4219	ムーブメント教育・療法3	4	人数制限 (抽選)	—	通年	—	—	—	1	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4220	発育発達論	2	なし	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講
		—	健康教育学	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講
		4222	運動生理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	×	○	
		4223	スポーツ医学と救急処置	2	なし	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	丸山 伸也	×	○	
		4224	スポーツ栄養学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	1	2	3	4	齋藤 初恵	×	○	

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目 (2021～2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科選択専門科目	身体文化系 ↓	— 身体論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 文化と演技	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 表現運動学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4227 野外教育論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	針ヶ谷 雅子	×	○	
		4228 キャンプマネジメント論	2	許可	—	集中講義	—	1	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4025 イベントパーティの作り方	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		4305 フィールド・ライティング	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		— アスリートの自伝・伝記を読む	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— シャーマニズム・アニミズム論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— 映像人類学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4232 現代の宗教	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	江川 純一	×	○	
		— 食の社会学・文化研究	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— スポーツ人類学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— フットボール論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
		4236 地域スポーツ推進の理論と実践	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4237 スポーツトレーニング論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	×	○	
		4238 運動処方論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	矢田 秀昭	×	○	
		4239 体育測定・評価	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	青山 慎一郎	×	○	
		4240 運動学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	畑島 一翔	×	○	
		4241 コーチング論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	畑島 一翔	×	○	
		4242 スポーツ心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	本多 麻子	×	○	
		4243 スポーツ方法学実習 (ストレッチング&ダンス1)	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4244 スポーツ方法学実習 (ストレッチング&ダンス2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	本永 直子	○	○	
		4245 スポーツ方法学実習 (水泳1)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、保体教職課程登録者のみ
		4246 スポーツ方法学実習 (水泳2)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4247 スポーツ方法学実習 (バレー1)	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4248 スポーツ方法学実習 (バレー2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	佐藤 国正	○	○	
		4249 スポーツ方法学実習 (バドミントン)	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4250 スポーツ方法学実習 (サッカー)	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	増山 舜	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4251 スポーツ方法学実習 (卓球)	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4252 スポーツ方法学実習 (テニス)	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	星野 実	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2021～2024年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目〔授業〕名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科選択専門科目	↑ 身体文 科系	4253 スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4254 スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	丸山 伸也	○	○	
		4255 スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4256 スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	松尾 誠	○	○	
		4257 スポーツ方法学実習（柔道1）	1	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	中川原 知波	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4258 スポーツ方法学実習（柔道2）	1	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	中川原 知波	○	○	
		4259 スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4260 スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	青山 慎一郎	○	○	
		4261 スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4262 スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	松尾 誠	○	○	
		4263 スポーツ方法学実習（フットサル）	1	許可	—	後期	—	1	2	3	4	星野 実	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4264 スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	畑島 一翔	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4265 スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	畑島 一翔	○	○	
	↓ 社会学系	— グローバル社会学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4307 社会学理論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	○	○	
		4308 社会調査の方法	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	×	○	
		— 統計データの活用	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		4310 質的調査法の基礎	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	打越 正行	○	○	
		4311 合意形成と対話のデザイン	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	小野 奈々	×	○	
		4312 現代社会とジェンダーA	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		4313 現代社会とジェンダーB	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	石黒 史郎	×	○	
		4314 ジェンダー労働論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	杉浦 郁子	×	○	
		4315 ジェンダーとメディア	2	人数制限(抽選)	—	後期	時間割外	—	2	3	4	関根 里奈子	×	○	
		4316 開発とジェンダー	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	新倉 久乃	×	○	
		4317 セクシュアリティをめぐる諸問題A	2	なし	—	集中講義	—	—	2	3	4	宮田 りりい	×	○	
		— セクシュアリティをめぐる諸問題B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4319 現代の家族	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	石黒 史郎	×	○	
		4320 逸脱とは何か	2	人数制限(抽選)	—	前期	時間割外	—	2	3	4	赤羽 由起夫	×	○	
		— 貧困の社会学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— 福祉社会学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2021～2024年度入学生用）															
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 （抽選） 優先条件	開講期 （形態）	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
↑ 学科選択専門科目 ↓	4322	政治社会学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	
	4323	社会意識論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	
	4324	差別論	2	なし	—	集中講義	時間割内	1	2	3	4	吉村 さやか	×	○	
	—	暴力論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	4326	不平等論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	
	4327	経済と人間社会	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	米田 幸弘	○	○	
	4328	現代社会と労働	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	打越 正行	○	○	
	—	情報メディアと資本主義	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	負債の社会学・人類学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	4330	社会運動の社会学	2	人数制限 （抽選）	有	前期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
	4331	ソーシャルデザイン論	2	人数制限 （抽選）	有	後期	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
	—	コミュニン・共同体論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	都市論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	都市の社会史	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	4268	群島論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
	4269	地域流域社会論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	角田 季美枝	○	○	
	4270	地域流域政策論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	角田 季美枝	○	○	
	4405	環境社会学	2	人数制限 （抽選）	有	前期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
	4271	環境とまちづくり	2	人数制限 （抽選）	—	前期	—	1	2	3	4	角田 季美枝	×	○	
	4406	災害社会学	2	人数制限 （抽選）	—	後期	—	—	2	3	4	浅野 幸子	○	○	
	4407	現代社会とNGO・NPO	2	人数制限 （抽選）	有	後期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
	4272	移住論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	○	
	4273	アイヌ民族論	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	上野 昌之	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	—	沖縄の社会と文化	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	アジアの社会と文化	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
	4334	ラテンアメリカの社会と文化	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
	4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	人数制限 （抽選）	有	前期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○	
	4336	現代ヨーロッパ社会論B	2	人数制限 （抽選）	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
	4337	マイノリティと言語	2	人数制限 （抽選）	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2021～2024年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
学科選択専門科目	↑ 社会学系	4338 言語と社会A	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	―	2	3	4	中力 えり	×	○	
		4339 言語と社会B	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	―	2	3	4	中力 えり	×	○	
		4340 比較社会学	2	なし	―	前期 (隔週2コマ)	―	―	2	3	4	中力 えり	×	○	
		― 文化の社会学	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― クレオール論	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	×	○	2024年度休講
		― 音楽の社会学・人類学	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	×	○	2024年度休講
		4342 大衆音楽の社会史	2	なし	―	後期	―	1	2	3	4	中田 崇	○	○	
		4277 楽器の文化学	2	人数制限(抽選)	―	前期	―	1	2	3	4	中田 崇	×	○	
		4028 社会教育論	2	条件付	―	後期	―	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「生涯学習論」修得者のみ履修可
		4278 スポーツマネジメント論	2	人数制限(抽選)	有	後期	―	―	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4279 スポーツマーケティング論	2	人数制限(抽選)	―	後期	―	―	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4408 スポーツ社会学	2	なし	―	前期	―	1	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
	フィールドワーク	― フィールドワーク(地域環境1)	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(地域環境2)	4	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		4343 フィールドワーク(ハワイ1)	2	許可	―	前期	―	―	2	3	4	挽地 康彦	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4344 フィールドワーク(ハワイ2)	4	許可	―	後期+フィールドワーク	―	―	2	3	4	挽地 康彦	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、履修希望者は「フィールドワーク(ハワイ1)」許可手続きに出席すること
		4345 フィールドワーク(人々のくらしと社会1)	2	許可	―	前期	―	1	2	3	4	打越 正行	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4346 フィールドワーク(人々のくらしと社会2)	4	許可	―	後期+フィールドワーク	―	1	2	3	4	打越 正行	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、履修希望者は「フィールドワーク(人々のくらしと社会)」許可手続きに出席すること
		― フィールドワーク(ヨーロッパ1)	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(ヨーロッパ2)	4	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(市民運動と自治1)	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(市民運動と自治2)	4	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(身体表現1)	2	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		― フィールドワーク(身体表現2)	4	―	―	―	―	1	2	3	4	―	○	○	2024年度休講
		4031 フィールドワーク(生涯学習1)	2	許可	―	前期	―	―	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4032 フィールドワーク(生涯学習2)	2	許可	―	後期	―	―	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4284 フィールドワーク(森と汀1)	2	許可	―	前期	―	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4285 フィールドワーク(森と汀2)	4	条件付	―	後期+フィールドワーク	―	1	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「フィールドワーク(森と汀1)」修得者のみ履修可

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通してお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2021～2024年度入学生用）																
卒業要件		授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 （抽選） 優先条件	開講期 （形態）	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
									1 年	2 年	3 年	4 年				
演習	演習	4033	人間科学論演習1	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4034	人間科学論演習2			—		—	2	3	4	矢田 秀昭				
		4035	人間科学論演習3			—		—	2	3	4	野中 浩一				
		4036	人間科学論演習4			—		—	2	3	4	制野 俊弘				
		—	人間科学論演習5			—		—	2	3	4	—				
		4038	人間科学論演習6			—		—	2	3	4	岩本 陽児				
		4039	人間科学論演習7			—		—	2	3	4	大橋 さつき				
		4040	人間科学論演習8			—		—	2	3	4	原田 尚幸				
		4041	人間科学論演習9			—		—	2	3	4	中力 えり				
		4042	人間科学論演習10			—		—	2	3	4	杉浦 郁子				
		4043	人間科学論演習11			—		—	2	3	4	挽地 康彦				
		4044	人間科学論演習12			—		—	2	3	4	米田 幸弘				
		4045	人間科学論演習13			—		—	2	3	4	小野 奈々				
		—	人間科学論演習14			—		—	2	3	4	—				
		4047	人間科学論演習15			—		—	2	3	4	打越 正行				
卒業研究	卒業研究	4048	卒業研究[上野]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	上野 俊哉	—	×	和光ポータルの指示に従うこと	
		4049	卒業研究[矢田]			—		—	—	4	矢田 秀昭					
		4050	卒業研究[野中]			—		—	—	4	野中 浩一					
		4051	卒業研究[制野]			—		—	—	4	制野 俊弘					
		—	卒業研究[堂前]			—		—	—	4	—					
		4053	卒業研究[大橋]			—		—	—	4	大橋 さつき					
		4054	卒業研究[原田]			—		—	—	4	原田 尚幸					
		4055	卒業研究[岩本]			—		—	—	4	岩本 陽児					
		4056	卒業研究[中力]			—		—	—	4	中力 えり					
		4058	卒業研究[挽地]			—		—	—	4	挽地 康彦					
		4059	卒業研究[米田]			—		—	—	4	米田 幸弘					
		4060	卒業研究[小野]			—		—	—	4	小野 奈々					
		4061	卒業研究[打越]			—		—	—	4	打越 正行					

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2021～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目(2021～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
自由履修科目	卒業論文	4062 卒業論文[上野]	6	許可	—	通年	—	—	—	—	4	上野 俊哉	—	×	
		4063 卒業論文[矢田]						—	—	—	4	矢田 秀昭			
		4064 卒業論文[野中]						—	—	—	4	野中 浩一			
		4065 卒業論文[制野]						—	—	—	4	制野 俊弘			
		— 卒業論文[堂前]						—	—	—	4	—			
		4067 卒業論文[大橋]						—	—	—	4	大橋 さつき			
		4068 卒業論文[原田]						—	—	—	4	原田 尚幸			
		4069 卒業論文[岩本]						—	—	—	4	岩本 陽児			
		4070 卒業論文[中力]						—	—	—	4	中力 えり			
		4072 卒業論文[挽地]						—	—	—	4	挽地 康彦			
		4073 卒業論文[米田]						—	—	—	4	米田 幸弘			
		4074 卒業論文[小野]						—	—	—	4	小野 奈々			
		4075 卒業論文[打越]						—	—	—	4	打越 正行			

<学部共通科目> ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。

自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001 社会学A	2	人数制限(抽選)	—	後期	時間割内	1	2	3	4	周 筱	×	○	
		3002 社会学B	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	中力 えり	×	○	
		3003 心理学概論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	
		3004 教育学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○	
		— 国際関係学	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3006 女性学	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	西山 千恵子	×	○	
		3007 男性学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		3008 社会福祉	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	牧野 賢一	×	○	
		3009 文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	1	2	3	4	矢野原 佑史	×	○	
		3010 生態学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上野 健	×	○	
		— 環境思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講

5. 取得できる資格・免許状の種類

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得すれば、学士の学位が得られることになっています。このようにして学士の学位を得た者が、各々の課程に定められた必要単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位修得証明書を取得することができます。

中学校教諭一種免許状（保健体育）
高等学校教諭一種免許状（保健体育）
社会教育主事（社会教育士）
図書館司書
学校図書館司書教諭
博物館学芸員

2年次より履修可能です。
詳しくは『資格課程の手びき』を
参照してください。

ジェンダー・スタディーズ・プログラム履修証明書
地域・流域プログラム履修証明書

大学の認定資格です。
1年次より履修可能です。
詳しくは、P37～を参照してくだ
さい

人間科学科では、コーチングアシスタント、キャンプインストラクター、認定ムーブメント教育・療法指導者を目標資格として取得を推奨しています。これらの資格の内容、資格要件、受験案内、資格取得申請方法等については、履修説明会で配布する資料をご覧ください。相談等は人間科学科の専任教員にしてください。

また、社会福祉主事（任用資格）の取得も可能です。社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2019～2020年度入学生 人間科学科

1. 人間科学科の特徴

..... P 180

2. 卒業要件・履修要領

..... P 181

3. 専門科目の説明

..... P 182

4. 授業一覧表

..... P 185

5. 取得できる資格

..... P 190

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度から新しく発足しました。心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 人間科学科の特徴

(1) 人間科学科で学ぶ

身体／環境／生活文化を足もとから見つめ、共に生きることを考えよう

多様な人々と異なる生活文化が融合し、環境と共生する社会が求められる今日、身体への関わりや他者との協同を重視した経験を通じ、「身体への気づき」を重ねながら質の高い生活を創造する力の涵養が求められています。また、社会生活の中で独力で環境問題を感じ取る能力を育むために、新たな生活文化を統合的に考察する視点も必要です。人間科学科は、このような観点に立って、来るべき共生社会を創造しうる能力を生み出すために、身体、環境、生活について新たな視点に基づく生き方を実践できる人の育成をねらいとしています。人々が共に暮らす社会生活で遭遇する健康や環境の諸問題を題材とし、身体、環境、生活の3分野を有機的に関連させた教育課程を編成し、「身体や生命を見つめ、環境に関わり、身体表現を大切にしながら共に暮らす人間」に着目し、身体を使って現代的課題を発見し、理解する知的冒険の場を標榜するところに、人間科学科の特徴があります。

2. 卒業要件・履修要領

(1) 卒業に必要な単位数

《2019～2020年度入学生 人間科学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	プロゼミ		4単位	
	演習	●	4単位	
	学科専門科目	●	12単位	
	卒業研究		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目 (全学開講欄が○のもの) 注) 資格課程専用 (8000番台) 科目は含めることができません。		70単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程 (共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目) それぞれについて必要単位数を満たしてください。

①共通教養 20単位

②外国語 4単位

③専門科目 プロゼミ 4単位 演習 4単位 学科専門科目 12単位 卒業研究 10単位

④自由履修科目 70単位

共通教養科目、外国語科目、演習科目、人間科学科専門科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

(1) 学部共通科目

学部共通科目は、いずれの学科所属であっても、現代人間学部の学生のみさんにとって共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

(2) プロゼミ

(1科目選択で必修4単位)

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が担当しますが、具体的な内容と進め方については、4月の学科説明会時の履修説明で説明します。履修希望者は、この説明会に必ず出席してください。

(3) 学科専門科目

(選択必修12単位)

学科専門科目は、「身体や生命を見つめ、環境に関わり、身体表現を大切にしながら共に暮らす人間」に着目し、学科基礎科目、a)生活アプローチ、b)環境アプローチ、c)身体アプローチの4つの科目群に分かれています。各科目では、主として日常の社会生活の中で出会う問題を題材とする授業が行われます。

a)生活アプローチの科目群では、社会、身体、環境が出会う場として、我々の生活に注目し、とりわけ観光という題材を通じて健康や環境の問題に注目し、あわせて健康や環境のあり方を異文化社会の中で学ぶカリキュラムを構成しています。また、「フィールドワーク(地球を知る)」を始めとして、実習科目は、国内外の身体文化や環境文化についての体験学習を実践するものです。この他、卒業後の進路として観光分野を志す者のために、旅行業務取扱管理者試験に関連する科目を配しています。

b)環境アプローチの科目群では、持続可能な発展の観点から環境と人間の関わりを多面的に学習し、生活の中で自然と共生する感性を育むカリキュラムを構成しています。また、実習科目は、現代人が生活の中で出会う環境問題をレクリエーションなどと組み合わせながら、身近な自然の保護を動機づけることをねらいとします。この他、卒業後の進路として環境分野を志す者のために、ビオトープ計画管理士試験に関連する科目を配しています。

c)身体アプローチの科目群では、身体を持って生活している人間存在について学習し、身体活動を基に、生きる力、表現する力、共感する力を身に付けるためのカリキュラムを構成しています。また、身体表現、運動学、生理学に関する実習科目も設置する他、卒業後の進路としてムーブメント教育・療法指導者の資格に関連する科目も多く配しています。

なお、「プロゼミ」を補完する学科基礎科目として、「身体環境共生キャリア論」をはじめとする複数の科目が設けられています。多様な人々と異なる生活文化が融合し、環境と共生できる社会が求められる今日、身体への関わり、他者との協同を重視した経験を通して「身体への気づき」を考えてほしいからです。身体、環境、生活というアプローチから日常の社会生活の中で出会う問題を題材とし、身体を使って発見し、理解するための入門的な知識を身に付けるためでもあります。「身体環境共生キャリア論」は、生活・環境・身体関連のさまざまなジャンルの職業について理解を深めながら、本学科で学ぶ内容が将来の仕事や暮らしにどのように繋がっていくのかについて、学生が具体的なイメージを持つように働きかける科目です。人々が共に暮らす社会の中で出会う健康や環境の諸問題に関わるジャンルを有機的に関連させ、身体、環境、生活についての新たな視点に基づく生き方を実践できる人を育成するために、多様な現場で活躍している方々を外部講師としてお招きするとともに、学科教員が、オムニバス形式で講義をします。

(4) 演習(ゼミ)

(必修4単位)

演習科目は、原則として2・3・4年生のために専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。1年間ごとに履修登録しますが、2年次・3年次・4年次と連続して履修することも可能です。

必修単位数(4単位)より多くとった単位は、自由履修科目として数えます。

(5) 卒業研究

(必修10単位)

卒業研究では、自分で選んだ専任教員を指導教員(主査)とし、4年次の4月中旬に「卒業研究題目調査票」を届け出て、12月中旬に研究成果を提出します。

大学での学習の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら1年間かけてまとめあげるのが卒業研究です。

	<p>人間科学科を卒業するためには、卒業研究をまとめることが必修となっています。学生のみなさんは、どの教員（主査）に自分の卒業研究を指導し、審査してもらいたいかを考え、その教員と相談しながら、テーマを決定し、研究成果をまとめていくことになります。</p> <p>そのための具体的な手続きは、3年次の12月に行う仮題目届から開始されますが、卒業研究をまとめることを念頭におきつつ、早いうちから自分の研究テーマを考えて学習計画を立ててください。</p>
①卒業研究は2年生からはじまっている！	<p>2年生以上になると、学科の趣旨をふまえた上で、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めてもらいます。</p> <p>2年生以上では、すでにプロゼミの単位を修得している人が大部分ですが、未修得の人は、早めに履修する必要があります。</p>
②卒業研究提出までの手続き	<p>仮題目届の提出は 3年次の12月（2024年12月6日（金）16：30） です（詳細は掲示板や和光ポータルでお知らせします）。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 3年生12月 仮題目届提出 </div>	<p>①和光ポータルにて仮題目届の入力フォーム（オンラインのもの）が届きます。</p> <p>②主査を希望する教員と面談し、仮題目届の入力フォームに必要事項を記入します。</p> <p>③入力フォームの送信ボタンを押して提出します。</p>
主査について	<p>仮題目届の<u>主指導教員（主査）は所属する学科専任教員のみとします</u>（人間科学科の演習担当者）。</p>
副査について	<p>副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつける場合、原則として人間科学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員（通年で講義を担当している方）にお願いすることもできます。その場合、主査と相談してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ● 4年生4月 ● 題目調査票提出・履修登録 </div>	<p>「卒業研究題目調査票」提出期限 2024年4月15日（月）16：30まで 提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。</p> <p>(1)4年次の4月に「卒業研究題目調査票」を提出します。これにより、卒業研究の履修登録が完了します。</p> <p>題目調査票の提出に先立って、題目・内容については、指導教員（主査）を希望する教員と、よく相談して決定してください。題目・内容が決まったら調査票に指導教員（主査）となる教員の許可を得てください。<u>3年次に提出した仮題目届と同じ内容の場合でも必ず提出してください。</u></p> <p>(2)履修登録では指導教員（主査）別の授業コードが実習欄に入力されていることを確認してください。</p>
●卒業研究の題目を変更するとき	<p>題目調査票を提出した以降に題目および研究形態（共同研究等）を変更する場合は、指導教員（主査）の了解を得て、11月末日までに題目変更届の入力フォームに記入して送信してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ● 4年生12月提出 </div>	<p>提出期限 2024年12月20日（金）14：00まで 教学支援課に卒業研究を（受領票も一緒に）提出してください。 12月1日から受付を開始します。</p> <p>※提出に必要な要領を教学支援課で配布しています。11月以降にこの要領を受け取った上で、それに沿って提出してください。</p>
●卒業研究の清書について	<p>いわゆる論文の形式にしたがった卒業研究の場合、また、卒業研究の内容が活動や制作を主体とするものであっても、複数人で取り組んだ形式のものであっても、個人ごとに、論文の形式に準じた形にまとめたものを作成して提出してください。清書にあたっては、A4版の用紙を使用し、出来るだけワープロで浄書してください（横40文字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします）。手書きの場合には、必ずインクまたはボールペン書きとし、鉛筆・消せる</p>

ボールペンは不可です。活動記録や電子媒体の資料を添付する場合には、すべて一つに綴じて散逸しないようにしてください。詳しくは指導教員に相談してください。

●背表紙をつける

一つにまとめた卒業研究は綴じて背表紙をつけてください。
右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。手書きの場合は、マジック・ボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。

背表紙

24
主査名
題目
学籍番号
氏名

●受領票について

教学支援課で11月から配布します。
必要事項を記入した受領票を、必ず卒業研究の表（おもて）に貼ってから提出してください。

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2019～2020年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2019～2020年度入学生用）																
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1 年	2 年	3 年	4 年					
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。																
プロゼミ	プロゼミ	4601 プロゼミ[野中]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	×		
＜人間科学科専門科目＞																
学科専門科目	学科基礎科目	4602 身体環境共生キャリア論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	専任教員全員	×	○	R学科専任教員全員で担当、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
		4603 論文作成法基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
		4604 論文作成法応用	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
		— 地域環境共生論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○		2024年度休講
		— 生命倫理学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○		2024年度休講
		4211 福祉共生と身体運動	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	袴田 優子	×	○		隔年開講
		4212 生涯保健学基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
	a（生活アプローチ） ↓	4403 障害・健常を考えるA	2	人数制限 (抽選)	有	集中講義	—	—	2	3	4	渡辺 一史	×	○	隔年開講	
		— 障害・健常を考えるB	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	
		4401 現代社会と心身問題A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講	
		— 現代社会と心身問題B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	
		— 健康体操学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4207 医療人類学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	鈴木 勝己	×	○		
		4232 現代の宗教	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	江川 純一	×	○		
		4214 学校保健学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		4215 健康管理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		— 遊戯論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4202 いのち・身体論入門	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○		
		— 人類学入門	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		— 生命論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		— シャーマニズム・アニミズム論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		— 映像人類学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4277 楽器の文化学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	中田 崇	×	○		
		— 食の社会学・文化研究	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 情報メディアと資本主義	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4407 現代社会とNGO・NPO	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○		
		4272 移住論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	○		

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2019～2020年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目 (2019～2020年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
学科専門科目	↑ 〔生活アプローチ〕	4273 アイヌ民族論	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	上野 昌之	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
		— 沖縄の社会と文化	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— 音楽の社会学・人類学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— クレオール論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	b 〔環境アプローチ〕	4269 地域流域社会論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	○	○	
		4270 地域流域政策論	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	○	○	
		4271 環境とまちづくり	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	×	○	
		— 自然保護活動	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		4208 公衆衛生学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		4209 衛生学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		4227 野外教育論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	2	3	4	針ヶ谷 雅子	×	○	
		4228 キャンプマネジメント論	2	許可	—	集中講義	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4210 エコロジーと人新世 (アントロポシン)	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		— 都市論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		4268 群島論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○	
		4405 環境社会学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○	
		4406 災害社会学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	2	3	4	浅野 幸子	○	○	
		— フィールドワーク (地域環境1)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		— フィールドワーク (地域環境2)	4	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		4284 フィールドワーク (森と汀1)	2	許可	—	前期	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4285 フィールドワーク (森と汀2)	4	条件付	—	後期+フィールドワーク	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「フィールドワーク (森と汀1)」修得者のみ履修可
	c 〔身体アプローチ〕 ↓	4278 スポーツマネジメント論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4279 スポーツマーケティング論	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4408 スポーツ社会学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	
		4216 障害児運動支援学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	×	○	
		4217 ムーブメント教育・療法1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと、隔年開講
— ムーブメント教育・療法2		2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講、隔年開講	
4219 ムーブメント教育・療法3		4	人数制限 (抽選)	—	通年	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
— ムーブメント教育・療法4		4	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
4220 発育発達論	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講		

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2019～2020年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目 (2019～2020年度入学生用)																	
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考		
								1 年	2 年	3 年	4 年						
学 科 専 門 科 目	C (身体 ア プ ロ ー チ)	—	健康教育学	2	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講		
		4237	スポーツトレーニング論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		4238	運動処方論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		—	表現運動学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4239	体育測定・評価	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	青山 慎一郎	×	○		
		4222	運動生理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		4240	運動学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	畑島 一翔	×	○		
		4223	スポーツ医学と救急処置	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	×	○		
		4224	スポーツ栄養学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		4241	コーチング論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	畑島 一翔	×	○		
		4242	スポーツ心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	本多 麻子	×	○		
		4236	地域スポーツ推進の理論と実践	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの 指示に従うこと	
		—	身体論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	アスリートの自伝・伝記を読む	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	スポーツ文化論入門	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	スポーツ人類学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	フットボール論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		↓	4243	スポーツ方法学実習 (ストレッチング&ダンス1)	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和 光ポータルの指示に従うこと
			4244	スポーツ方法学実習 (ストレッチング&ダンス2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	本永 直子	○	○	
			4245	スポーツ方法学実習 (水泳1)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、 保体教職課程登録者のみ
			4246	スポーツ方法学実習 (水泳2)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4247	スポーツ方法学実習 (バレー1)	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和 光ポータルの指示に従うこと
			4248	スポーツ方法学実習 (バレー2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	佐藤 国正	○	○	
			4249	スポーツ方法学実習 (バドミントン)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4250	スポーツ方法学実習 (サッカー)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	増山 舜	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4251	スポーツ方法学実習 (卓球)	1	許可	—	後期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4252	スポーツ方法学実習 (テニス)	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4253	スポーツ方法学実習 (体づくり運動1)	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和 光ポータルの指示に従うこと
			4254	スポーツ方法学実習 (体づくり運動2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	○	○	
			4255	スポーツ方法学実習 (器械体操1)	1	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和 光ポータルの指示に従うこと

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2019～2020年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目 (2019～2020年度入学生用)																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考		
								1 年	2 年	3 年	4 年						
学科専門科目	↑C (身体アプローチ)	4256	スポーツ方法学実習 (器械体操2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○		
		4257	スポーツ方法学実習 (柔道1)	1	条件付	—	後期	—	—	—	2	3	4	中川原 知波	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4258	スポーツ方法学実習 (柔道2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	2	3	4	中川原 知波	○	○	
		4259	スポーツ方法学実習 (陸上競技1)	1	条件付	—	前期	—	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4260	スポーツ方法学実習 (陸上競技2)	1	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	2	3	4	青山 慎一郎	○	○	
		4261	スポーツ方法学実習 (バスケットボール1)	1	条件付	—	後期	—	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4262	スポーツ方法学実習 (バスケットボール2)	1	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	
		4263	スポーツ方法学実習 (フットサル)	1	許可	—	後期	—	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		4264	スポーツ方法学実習 (ソフトボール1)	1	条件付	—	前期	—	—	—	2	3	4	畑島 一翔	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		4265	スポーツ方法学実習 (ソフトボール2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	2	3	4	畑島 一翔	○	○	
		—	フィールドワーク (身体表現1)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		—	フィールドワーク (身体表現2)	4	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
演習	演習	4608	身体環境共生論演習1[矢田]	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
		4609	身体環境共生論演習2[野中]			—		—	2	3	4	野中 浩一					
		4610	身体環境共生論演習3[制野]			—		—	2	3	4	制野 俊弘					
		—	身体環境共生論演習4[堂前]			—		—	2	3	4	—					
		4612	身体環境共生論演習5[上野]			—		—	2	3	4	上野 俊哉					
		4613	身体環境共生論演習6[大橋]			—		—	2	3	4	大橋 さつき					
		4614	身体環境共生論演習7[原田]			—		—	2	3	4	原田 尚幸					
		4615	身体環境共生論演習8[岩本]			—		—	2	3	4	岩本 陽児					
卒業研究	卒業研究	4616	卒業研究[矢田]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	矢田 秀昭	—	×	和光ポータルの指示に従うこと	
		4617	卒業研究[野中]			—		—	—	—	4	野中 浩一					
		4618	卒業研究[制野]			—		—	—	—	4	制野 俊弘					
		—	卒業研究[堂前]			—		—	—	—	4	—					
		4620	卒業研究[上野]			—		—	—	—	4	上野 俊哉					
		4621	卒業研究[大橋]			—		—	—	—	4	大橋 さつき					
		4622	卒業研究[原田]			—		—	—	—	4	原田 尚幸					
		4623	卒業研究[岩本]			—		—	—	—	4	岩本 陽児					

2024年度 現代人間学部 人間科学科 授業一覧表

2019～2020年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は人間科学科生以外も履修可能です。「×」は人間科学科生専用です。

人間科学科専門科目（2019～2020年度入学生用）															
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年			担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年					
＜学部共通科目＞ ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。															
自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001 社会学A	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割内	—	2	3	4	周 筱	×	○	
		3002 社会学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		3003 心理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	
		3004 教育学	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○	
		— 国際関係学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3006 女性学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	西山 千恵子	×	○	
		3007 男性学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		3008 社会福祉	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	牧野 賢一	×	○	
		3009 文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	—	2	3	4	矢野原 佑史	×	○	
		3010 生態学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 健	×	○	
		— 環境思想論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— 学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		— インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講

5. 取得できる資格

(1) 目標資格の取得について

人間科学科では、コーチングアシスタント、アシスタントマネージャー、キャンペインストラクター、認定ムーブメント教育・療法指導者を目標資格として取得を推奨しています。これらの資格の内容、資格要件、受験案内、資格取得申請方法等については、4月の履修説明会で配布する資料をご覧ください。また、相談等は、人間科学科の専任教員にしてください。

(2) 取得できる資格・免許状の種類

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得すれば、学士の学位が得られることになっています。このようにして学士の学位を得た者が、各々の課程に定められた必要な授業科目のいくつかを学科のなかで学修し、必要な単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位修得証明書を取得することができます。詳しくは『資格課程の手びき』を参照してください。

中学校教諭1種免許状（保健体育）

高校教諭1種免許状（保健体育）

図書館司書

学校図書館司書教諭

博物館学芸員

社会教育主事

また、社会福祉主事（任用資格）の取得も可能です。社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2018年度入学生 身体環境共生学科

1. 身体環境共生学科の特徴 P 192

2. 卒業要件・履修要領 P 193

3. 専門科目の説明 P 194

4. 授業一覧表 P 197

5. 取得できる資格 P 202

現代人間学部

「こころ」も「社会」も「からだ」もみんなつながっている

現代人間学部は、これまでの人間関係学部を改組して、2007年度から新しく発足しました。心理学、教育学、社会学、身体科学、環境科学などの各学問分野の科目とともに、これらを横断して探究する人間発達、ジェンダー、民族、共生、地域などの視点からの諸科目を配置しています。これらを学ぶことによって、現代に生きる人間に必要な教養と研究方法を多様な角度から学び、現代を主体的に生きて行く能力を身につけることをめざした学部です。

カリキュラムは、学部共通科目（心理学、教育学、社会学、文化人類学などの諸科学、インターンシップ、学生自主企画ゼミナール）を充実させ、プロゼミから始まる各学科の専門科目を配置し、演習からやがて卒業論文・卒業研究に至る学びの道を提供していきます。

みなさん一人ひとりの個性的なカリキュラムをつくり、おいに学んでください。

1. 身体環境共生 学科の特徴

(1) 身体環境共生学 科で学ぶ

身体／環境／生活文化を足もとから見つめ、共に生きることを考えよう

多様な人々と異なる生活文化が融合し、環境と共生する社会が求められる今日、身体への関わりや他者との協同を重視した経験を通じ、「身体への気づき」を重ねながら質の高い生活を創造する力の涵養が求められています。また、社会生活の中で独力で環境問題を感じ取る能力を育むために、新たな生活文化を統合的に考察する視点も必要です。身体環境共生学科は、このような観点に立って、来るべき共生社会を創造しうる能力を生み出すために、身体、環境、生活について新たな視点に基づく生き方を実践できる人の育成をねらいとしています。人々が共に暮らす社会生活で遭遇する健康や環境の諸問題を題材とし、身体、環境、生活の3分野を有機的に関連させた教育課程を編成し、「身体や生命を見つめ、環境に関わり、身体表現を大切にしながら共に暮らす人間」に着目し、身体を使って現代的課題を発見し、理解する知的冒険の場を標榜するところに、身体環境共生学科の特徴があります。

2. 卒業要件・履修要領

（1）卒業に必要な単位数

《2018年度入学生 身体環境共生学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	プロゼミ		4単位	
	演習	●	4単位	
	学科専門科目	●	12単位	
	卒業研究		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・現代人間学部共通科目 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注）資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		70単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

（2）履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たしてください。

①共通教養 20単位

②外国語 4単位

③専門科目 プロゼミ 4単位 演習 4単位 学科専門科目 12単位 卒業研究 10単位

④自由履修科目 70単位

共通教養科目、外国語科目、演習科目、身体環境共生学科専門科目を卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、現代人間学部共通科目、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

(1) 学部共通科目

学部共通科目は、いずれの学科所属であっても、現代人間学部の学生のみさんにとって共通に履修してほしい、入門ないし基礎としての科目です。

(2) プロゼミ

(1科目選択で必修4単位)

プロゼミは、大学生活の出発点となる科目として1年生のために開講されるもので、1年次に必ず履修しなければなりません。学科の専任教員が担当しますが、具体的な内容と進め方については、4月の学科説明会時の履修説明で説明します。履修希望者は、この説明会に必ず出席してください。

(3) 学科専門科目

(選択必修12単位)

学科専門科目は、「身体や生命を見つめ、環境に関わり、身体表現を大切にしながら共に暮らす人間」に着目し、学科基礎科目、a)生活アプローチ、b)環境アプローチ、c)身体アプローチの4つの科目群に分かれています。各科目では、主として日常の社会生活の中で出会う問題を題材とする授業が行われます。

a)生活アプローチの科目群では、社会、身体、環境が出会う場として、我々の生活に注目し、とりわけ観光という題材を通じて健康や環境の問題に注目し、あわせて健康や環境のあり方を異文化社会の中で学ぶカリキュラムを構成しています。また、「フィールドワーク(地球を知る)」を始めとして、実習科目は、国内外の身体文化や環境文化についての体験学習を実践するものです。この他、卒業後の進路として観光分野を志す者のために、旅行業務取扱管理者試験に関連する科目を配しています。

b)環境アプローチの科目群では、持続可能な発展の観点から環境と人間の関わりを多面的に学習し、生活の中で自然と共生する感性を育むカリキュラムを構成しています。また、実習科目は、現代人が生活の中で出会う環境問題をレクリエーションなどと組み合わせながら、身近な自然の保護を動機づけることをねらいとします。この他、卒業後の進路として環境分野を志す者のために、ビオトープ計画管理士試験に関連する科目を配しています。

c)身体アプローチの科目群では、身体を持って生活している人間存在について学習し、身体活動を基に、生きる力、表現する力、共感する力を身に付けるためのカリキュラムを構成しています。また、身体表現、運動学、生理学に関する実習科目も設置する他、卒業後の進路としてムーブメント教育・療法指導者の資格に関連する科目も多く配しています。

なお、「プロゼミ」を補完する学科基礎科目として、「身体環境共生キャリア論」をはじめとする複数の科目が設けられています。多様な人々と異なる生活文化が融合し、環境と共生できる社会が求められる今日、身体への関わり、他者との協力を重視した経験を通して「身体への気づき」を考えてほしいからです。身体、環境、生活というアプローチから日常の社会生活の中で出会う問題を題材とし、身体を使って発見し、理解するための入門的な知識を身に付けるためでもあります。「身体環境共生キャリア論」は、生活・環境・身体関連のさまざまなジャンルの職業について理解を深めながら、本学科で学ぶ内容が将来の仕事や暮らしにどのように繋がっていくのかについて、学生が具体的なイメージを持つように働きかける科目です。人々が共に暮らす社会の中で出会う健康や環境の諸問題に関わるジャンルを有機的に関連させ、身体、環境、生活についての新たな視点に基づく生き方を実践できる人を育成するために、多様な現場で活躍している方々を外部講師としてお招きするとともに、学科教員が、オムニバス形式で講義をします。

(4) 演習(ゼミ)

(必修4単位)

演習科目は、原則として2・3・4年生のために専任教員が担当します。テキスト講読や調査研究にもとづいた学生の発表や討論が行われます。1年間ごとに履修登録しますが、2年次・3年次・4年次と連続して履修することも可能です。

必修単位数(4単位)より多くとった単位は、自由履修科目として数えます。

(5) 卒業研究

(必修10単位)

卒業研究では、自分で選んだ専任教員を指導教員(主査)とし、4年次の4月に「卒業研究題目調査票」を届け出て、12月中旬に研究成果を提出します。

大学での学習の最後の締めくくりとして、各自が研究テーマを設定し、その研究テーマに基づいて調査をしたり、文献を読んだりしながら1年間かけてまとめあげるのが卒業研究です。身体環境共生学科を卒業するためには、卒業研究をまとめることが必修となっています。学生

①卒業研究は2年生から
始まっている！

のみなさんは、どの教員（主査）に自分の卒業研究を指導し、審査してもらいたいかを考え、その教員と相談しながら、テーマを決定し、研究成果をまとめていくことになります。

そのための具体的な手続きは、3年次の12月に行う「仮題目届」から開始されますが、卒業研究をまとめることを念頭におきつつ、早いうちから自分の研究テーマを考えて学習計画を立ててください。

2年生になると、学科の趣旨をふまえた上で、卒業までの計画を再度しっかりと立てて各自の学習を進めてもらいます。

2年生では、すでにプロゼミの単位を修得している人が大部分ですが、未修得の人は、早めに履修する必要があります。

②卒業研究提出までの
手続き

仮題目届の提出は **3年次の12月（2024年12月6日（金）16：30）** です
（詳細は掲示板や和光ポータルでお知らせします）。

3年生12月
仮題目届提出

- ①和光ポータルにて仮題目届の入力フォーム（オンラインのもの）が届きます。
- ②主査を希望する教員と面談し、仮題目届の入力フォームに必要事項を記入します。
- ③入力フォームの送信ボタンを押して提出します。

主査について

仮題目届の主指導教員（主査）は所属する学科専任教員のみとします
（身体環境共生学科の演習担当者）。

副査について

副指導教員（副査）は特に指定しなくても構いません。副査をつける場合、原則として身体環境共生学科専任教員とします。課題の性質上必要である場合には、他学科、他学部の専任教員もしくは本学非常勤教員（通年で講義を担当している方）にお願いすることもできます。その場合、主査と相談してください。

●4年生4月
●題目調査票提出
・履修登録

「卒業研究題目調査票」提出期限 **2024年4月15日（月）16：30まで**

提出先：詳細は和光ポータルでお知らせします。

(1)4年次の4月に「卒業研究題目調査票」を提出します。これにより、卒業研究の履修登録が完了します。

題目調査票の提出に先立って、題目・内容については、主査を希望する教員と、よく相談して決定してください。題目・内容が決まったら調査票に主査となる教員の許可を得てください。
3年次に提出した仮題目届と同じ内容の場合でも必ず提出してください。

(2)履修登録では主査別の授業コードが実習欄に入力されていることを確認してください。

●卒業研究の題目を変更する
とき

題目調査票を提出した以降に題目および研究形態（共同研究等）を変更する場合は、主査の了解を得て、11月末日までに題目変更届の入力フォームに記入して送信してください。

●4年生12月提出

提出期限 **2024年12月20日（金）14：00まで**

教学支援課に卒業研究を（受領票も一緒に）提出してください。

12月1日から受付を開始します。

※提出に必要な要領を教学支援課で配布しています。11月以降にこの要領を受け取った上で、それに沿って提出してください。

●卒業研究の清書について

いわゆる論文の形式にしたがった卒業研究の場合、また、卒業研究の内容が活動や制作を主体とするものであっても、複数人で取り組んだ形式のものであっても、個人ごとに、論文の形式に準じた形にまとめたものを作成して提出してください。清書にあたっては、A4版の用紙を使用し、出来るだけワープロで浄書してください（横40文字×縦37行、サイズ10.5ポイントを標準とします）。手書きの場合には、必ずインクまたはボールペン書きとし、鉛筆・消せるボールペンは不可です。活動記録や電子媒体の資料を添付する場合には、すべて一つに綴じて散逸しないようにしてください。詳しくは主査に相談してください。

●背表紙をつける

一つにまとめた卒業研究は綴じて背表紙をつけてください。
右の例を参考にして、背表紙に提出年度、主査名、題目、学籍番号、氏名をはっきり記入してください。手書きの場合は、マジック・ボールペン書きとすること。鉛筆書き・消せるボールペンは不可。

●受領票について

教学支援課で11月から配布します。
必要事項を記入した受領票を、必ず卒業研究の表（おもて）に貼ってから提出してください。

背表紙

24
主査名
題目
学籍番号
氏名

2024年度 現代人間学部 身体環境共生学科 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は身体環境共生学科生以外も履修可能です。「×」は身体環境共生学科生専用です。

身体環境共生学科専門科目（2018年度入学生用）																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考		
								1 年	2 年	3 年	4 年						
＜プロゼミ＞ 学科説明会で決定したクラスを履修してください。																	
プロゼミ	プロゼミ	4601	プロゼミ[野中]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	×		
＜身体環境共生学科専門科目＞																	
学科専門科目	学科基礎科目	4602	身体環境共生キャリア論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	専任教員全員	×	○	R学科専任教員全員で担当、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
		4603	論文作成法基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
		4604	論文作成法応用	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
		—	地域環境共生論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○		2024年度休講
		—	生命倫理学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○		2024年度休講
		4211	福祉共生と身体運動	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	袴田 優子	×	○		隔年開講
		4212	生涯保健学基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
	a（生活アプローチ） ↓	4403	障害・健常を考えるA	2	人数制限 (抽選)	有	集中講義	—	—	2	3	4	渡辺 一史	×	○	隔年開講	
		—	障害・健常を考えるB	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	
		4401	現代社会と心身問題A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講	
		—	現代社会と心身問題B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講	
		—	健康体操学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4207	医療人類学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	鈴木 勝己	×	○		
		4232	現代の宗教	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	江川 純一	×	○		
		4214	学校保健学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		4215	健康管理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		—	遊戯論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4202	いのち・身体論入門	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○		
		—	人類学入門	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		—	生命論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	シャーマニズム・アニミズム論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	映像人類学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4277	楽器の文化学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	中田 崇	×	○		
		—	食の社会学・文化研究	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	情報メディアと資本主義	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4407	現代社会とNGO・NPO	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	小野 奈々	×	○		
		4272	移住論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	挽地 康彦	×	○		

2024年度 現代人間学部 身体環境共生学科 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は身体環境共生学科生以外も履修可能です。「×」は身体環境共生学科生専用です。

身体環境共生学科専門科目（2018年度入学生用）																			
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考				
								1年	2年	3年	4年								
学科専門科目	↑ a (生活アプローチ)	4273 アイヌ民族論	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	上野 昌之	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定				
		— 沖縄の社会と文化	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講			
		— 音楽の社会学・人類学	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	×	○	2024年度休講			
		— クレオール論	2	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	×	○	2024年度休講			
	b (環境アプローチ)	4269 地域流域社会論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	○	○				
		4270 地域流域政策論	2	なし	—	後期	—	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	○	○			
		4271 環境とまちづくり	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	—	2	3	4	角田 季美枝	×	○			
		— 自然保護活動	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4208 公衆衛生学	2	なし	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○		
		4209 衛生学	2	なし	—	後期	—	—	—	—	—	—	2	3	4	野中 浩一	×	○	
		4227 野外教育論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	針ヶ谷 雅子	×	○		
		4228 キャンプマネジメント論	2	許可	—	集中講義	—	—	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
		4210 エコロジーと人新世（アントロポシン）	2	なし	—	後期	—	—	—	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○		
		— 都市論	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4268 群島論	2	なし	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	上野 俊哉	○	○		
		4405 環境社会学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	—	—	—	2	3	4	小野 奈々	×	○		
		4406 災害社会学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	—	—	2	3	4	浅野 幸子	○	○		
		— フィールドワーク（地域環境1）	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		— フィールドワーク（地域環境2）	4	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		4284 フィールドワーク（森と汀1）	2	許可	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
		4285 フィールドワーク（森と汀2）	4	条件付	—	後期＋フィールドワーク	—	—	—	—	—	2	3	4	岩本 陽児	○	○	「フィールドワーク（森と汀1）」修得者のみ履修可	
	c (身体アプローチ) ↓	4278 スポーツマネジメント論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○		
		4279 スポーツマーケティング論	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○		
		4408 スポーツ社会学	2	なし	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○		
		4216 障害児運動支援学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	×	○		
		4217 ムーブメント教育・療法1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと、隔年開講	
		— ムーブメント教育・療法2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講、隔年開講	
4219 ムーブメント教育・療法3		4	人数制限 (抽選)	—	通年	—	—	—	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと		
— ムーブメント教育・療法4		4	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講		
4220 発育発達論	2	なし	—	後期	—	—	—	—	—	2	3	4	制野 俊弘	×	○	隔年開講			

2024年度 現代人間学部 身体環境共生学科 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は身体環境共生学科生以外も履修可能です。「×」は身体環境共生学科生専用です。

身体環境共生学科専門科目（2018年度入学生用）																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
身体環境共生学科専門科目	c (身体アプローチ)	—	健康教育学	2	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講、隔年開講		
		4237	スポーツトレーニング論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		4238	運動処方論	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		—	表現運動学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		4239	体育測定・評価	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	青山 慎一郎	×	○		
		4222	運動生理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	×	○		
		4240	運動学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	畑島 一翔	×	○		
		4223	スポーツ医学と救急処置	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	×	○		
		4224	スポーツ栄養学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	齋藤 初恵	×	○		
		4241	コーチング論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	畑島 一翔	×	○		
		4242	スポーツ心理学	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	本多 麻子	×	○		
		4236	地域スポーツ推進の理論と実践	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	原田 尚幸	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
		—	身体論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	アスリートの自伝・伝記を読む	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
		—	スポーツ文化論入門	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	スポーツ人類学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		—	フットボール論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講	
		↓	4243	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	大橋 さつき	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
			4244	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	本永 直子	○	○	
			4245	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定、保体教職課程登録者のみ
			4246	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	兒玉 望	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4247	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
			4248	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	佐藤 国正	○	○	
			4249	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4250	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	増山 舜	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4251	スポーツ方法学実習（卓球）	1	許可	—	後期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4252	スポーツ方法学実習（テニス）	1	許可	—	前期	—	—	2	3	4	星野 実	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
			4253	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	条件付	—	前期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
			4254	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	丸山 伸也	○	○	
			4255	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	条件付	—	後期	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと

2024年度 現代人間学部 身体環境共生学科 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は身体環境共生学科生以外も履修可能です。「×」は身体環境共生学科生専用です。

身体環境共生学科専門科目 (2018年度入学生用)																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考		
								1 年	2 年	3 年	4 年						
学科専門科目	↑c (身体アプローチ)	4256	スポーツ方法学実習 (器械体操2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	松尾 誠	○	○	保体教職課程登録者のみ、履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと	
		4257	スポーツ方法学実習 (柔道1)	1	条件付	—	後期	—	—	—	2	3	4	中川原 知波	○		○
		4258	スポーツ方法学実習 (柔道2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	2	3	4	中川原 知波	○		○
		4259	スポーツ方法学実習 (陸上競技1)	1	条件付	—	前期	—	—	—	2	3	4	制野 俊弘	○		○
		4260	スポーツ方法学実習 (陸上競技2)	1	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	2	3	4	青山 慎一郎	○		○
		4261	スポーツ方法学実習 (バスケットボール1)	1	条件付	—	後期	—	—	—	2	3	4	星野 実	○		○
		4262	スポーツ方法学実習 (バスケットボール2)	1	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	—	2	3	4	松尾 誠	○		○
		4263	スポーツ方法学実習 (フットサル)	1	許可	—	後期	—	—	—	2	3	4	星野 実	○		○
		4264	スポーツ方法学実習 (ソフトボール1)	1	条件付	—	前期	—	—	—	2	3	4	畑島 一翔	○		○
		4265	スポーツ方法学実習 (ソフトボール2)	1	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	—	2	3	4	畑島 一翔	○		○
		—	フィールドワーク (身体表現1)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
		—	フィールドワーク (身体表現2)	4	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
演習	演習	4608	身体環境共生論演習1[矢田]	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	矢田 秀昭	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
		4609	身体環境共生論演習2[野中]			—		—	—	2	3	4	野中 浩一				
		4610	身体環境共生論演習3[制野]			—		—	—	2	3	4	制野 俊弘				
		—	身体環境共生論演習4[堂前]			—		—	—	2	3	4	—				
		4612	身体環境共生論演習5[上野]			—		—	—	2	3	4	上野 俊哉				
		4613	身体環境共生論演習6[大橋]			—		—	—	2	3	4	大橋 さつき				
		4614	身体環境共生論演習7[原田]			—		—	—	2	3	4	原田 尚幸				
		4615	身体環境共生論演習8[岩本]			—		—	—	2	3	4	岩本 陽児				
卒業研究	卒業研究	4616	卒業研究[矢田]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	矢田 秀昭	—	×	和光ポータルの指示に従うこと		
		4617	卒業研究[野中]			—		—	—	—	4	野中 浩一					
		4618	卒業研究[制野]			—		—	—	—	4	制野 俊弘					
		—	卒業研究[堂前]			—		—	—	—	4	—					
		4620	卒業研究[上野]			—		—	—	—	4	上野 俊哉					
		4621	卒業研究[大橋]			—		—	—	—	4	大橋 さつき					
		4622	卒業研究[原田]			—		—	—	—	4	原田 尚幸					
		4623	卒業研究[岩本]			—		—	—	—	4	岩本 陽児					

2024年度 現代人間学部 身体環境共生学科 授業一覧表

2018年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「一」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は身体環境共生学科生以外も履修可能です。「×」は身体環境共生学科生専用です。

身体環境共生学科専門科目（2018年度入学生用）																
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
＜学部共通科目＞ ※学生自主企画ゼミナールの総合計単位数は1年間で4単位まで、卒業までに8単位までしか履修できない。																
自由履修科目	現代人間学部共通科目	3001	社会学A	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割内	—	2	3	4	周 筱	×	○	
		3002	社会学B	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	中力 えり	×	○	
		3003	心理学概論	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	阿部 慶賀	×	○	
		3004	教育学	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	稲葉他 子ども教育専修教員	×	○	
		—	国際関係学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		3006	女性学	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	西山 千恵子	×	○	
		3007	男性学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	加藤 敦也	×	○	
		3008	社会福祉	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	牧野 賢一	×	○	
		3009	文化人類学	2	なし	—	集中講義	—	—	2	3	4	矢野原 佑史	×	○	
		3010	生態学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 健	×	○	
		—	環境思想論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	学生自主企画ゼミナールA	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		—	学生自主企画ゼミナールB	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	※	○	2024年度休講
		—	インターンシップ	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	2024年度休講

5. 取得できる資格

(1) 目標資格の取得について

身体環境共生学科では、コーチングアシスタント、アシスタントマネージャー、キャンパインストラクター、認定ムーブメント教育・療法指導者を目標資格として取得を推奨しています。これらの資格の内容、資格要件、受験案内、資格取得申請方法等については、4月の履修説明会で配布する資料をご覧ください。また、相談等は、身体環境共生学科の専任教員にしてください。

(2) 取得できる資格・免許状の種類

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得すれば、学士の学位が得られることになっています。このようにして学士の学位を得た者が、各々の課程に定められた必要な授業科目のいくつかを学科のなかで学修し、必要な単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位修得証明書を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

中学校教諭1種免許状（保健体育）

高校教諭1種免許状（保健体育）

図書館司書

学校図書館司書教諭

博物館学芸員

社会教育主事

また、社会福祉主事（任用資格）の取得も可能です。社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2016～2024年度入学生 総合文化学科

1. 総合文化学科の特徴 P 204

2. 卒業要件と履修要領 P 205

3. 専門科目の説明 P 206

4. 授業一覧表 P 209

5. 取得できる資格 P 217

6. 資料室 P 217

表現学部

カリキュラムは大学生活と未来の人生の道しるべ

カリキュラム (curriculum) とは、卒業・資格取得のため必要とする履修課程のことですが、もともとは走者が駆けぬけるコースをいう言葉 (ラテン語) でした。どんな辞書でもカリキュラムの項に、カリキュラム・ヴァイティー (curriculum vitae) という言葉をのせていますが、これは人生の歩いた道筋、つまり履歴という意味です。みなさんがこれから選びとる科目もそれと同じで、その一つ一つが大学での生活の軌跡となるのです。ですから一つ一つの科目からどんな自分のカリキュラムを築いてゆくかは、大きくいえば、卒業後歩みだす自分の人生の道筋と深くかかわっているのです。広く基礎的なものからじっくりと土台を形成してゆかねば、波瀾万丈の人生の重さを支えることはできません。必修科目や共通教養の諸科目は、その土台づくりに必要な素材なのです。しかし、それをどんな仕方で組み合わせ、利用するかは、それぞれが自らの特性と希望に照らして考えねばなりません。

自由選択制は創意の場

自由選択制教科課程のことを英語では cafeteria type of curriculum (カリキュラムのカフェテリア制) ともいいます。表現学部の特徴の一つは、この課程の科目が広く多様であることにあります。それぞれの学科は工夫をこらしてもっともアクチュアルな、もっとも創意に富んだ斬新な科目を用意しています。みなさんはここで、自由に飲み物や食べ物、ケーキを選ぶカフェテリアのような楽しさを十二分に味わうことになります。また、自分の個性にふさわしい学修プランが立てられるのもここです。

しかし過食 (科目のとり過ぎ) や偏食 (科目の片より) は、せっかくの学修意欲をそぐことになりかねませんし、自分の目で内容を確認めないと、かならず消化不良におちいります。これではせっかくの楽しく自由な学修構想も台なしということになりかねません。ここでも初めゆるやかに、手さぐりの、そしてやがて相關的に、着実にというのが良いでしょう。

横断的に専門的に

表現学部は言葉やイメージを通して世界と人間を深く考察し、謎に満ちた多彩な表現世界に研究と創造の双方から迫る学部です。表現学部を構成する二つの学科はめざすところ、アプローチの仕方など、それぞれに異なっています。自己形成の求めに従って、自分の目で確かめてカリキュラムを選び取らねばなりません。それぞれの専門科目を通して独自の領域へと次第に深く傾斜してゆくと同時に、その専門性のゆえに展開される周辺領域へと横断的に踏み込んでゆく必要があるでしょう。専門性とは多様な領域の認識でもあるからです。深さと広がり、その探究の角度の違いを学び合うことが大切なのです。

具体的なカリキュラムについては、それぞれの学科のページで確認してください。

1. 総合文化学科の特徴

(1) 総合文化学科で学ぶこと

総合文化学科は、言語・文学などの「ことば」による表現を中心として、図像・音楽・映像・演劇・思想までふくむ人類の文化的事象を複眼的に探究し、それによって新たな思考を生み出し、さらにはそれを発信できる人の育成を目指しています。

(2) カリキュラムのしくみ

1 年次～2 年次

1 年次では、受信から発信までを初歩的に体験する「プロゼミ」を基軸に学びます。また、1 年次・2 年次で、学科基礎科目を履修します。学科基礎科目には、学科の学びを広く見渡す「オムニバス総合文化」や「フィールドワーク入門」、そして各専門分野の基礎を学ぶ科目があります。

2 年次～3 年次

専門性を深めるための科目は、「世界の多様な文化」、「日本の文学と文化」、「英語圏の文学と文化」、「神話とファンタジー」、「映像・演劇・音楽」に分類されています。

いずれかの科目群を中心に学び専門性を深めることも、複数の分野を自分自身のテーマに結

びつけて学ぶことも、どちらも可能です。専門科目には1年次から履修できるものが多いですが、とくに2年次・3年次では、自分のテーマを見つけ掘り下げするために、興味関心にある科目を選択して、自分独自のカリキュラムを構成してください。

3年次

探究すべきテーマの方向が見えてくる3年次には、「ゼミナール」を根拠地にして、自らのテーマを磨きます。調査し、報告し、討議して、その成果をまとめる本格的な発信型の授業です。

4年次

4年次には学びの集大成として「卒業論文」（テーマによって卒業制作も可）にとりくみ、複眼的思考から生まれる自らの表現を社会へ発信します。

2. 卒業要件と履修要領

（1）卒業要件

①卒業に必要な単位数

《2018～2024年度入学生 総合文化学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	プロゼミ		4単位	
	総合文化学科 専門科目	学科基礎科目 8単位 ゼミナール 4単位を含めること	● 20単位	
	卒業論文・卒業制作		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注) 資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		66単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

《2016～2017年度入学生 総合文化学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	24単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	プロゼミ		4単位	
	総合文化学科 専門科目	学科基礎科目 8単位 ゼミナール 4単位を含めること	● 20単位	
	卒業論文・卒業制作		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注) 資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		62単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

（2）履修の要領

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たすこと。

合わせて34単位

プロゼミ 4単位 + 総合文化学科専門科目20単位（ただし、学科基礎科目 8単位およびゼミナ

①専門科目

②自由履修科目

ール4単位を必ず含めること) + 卒業論文・卒業制作10単位

共通教養科目、外国語科目、総合文化学科専門科目について、卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

3. 専門科目の説明

(1) プロゼミ

「プロゼミ」は大学での学びを理解し、学びの姿勢を身につけるゼミナール形式の必修科目(前期2単位、後期2単位)です。前期にはテキスト・リーディングや要約などを書くレッスン、図書・情報館などを利用した文献調査実習と、それに基づく小レポート作成をします。後期には、前期学修事項に加えて、プレゼンテーション(口頭発表やレジュメ作成方法)と討論を重視した授業になります。

「プロゼミ」のクラス分けは、4月の新入生学科説明会時に発表されます。どのクラスも授業は金曜日の第2時限です。前期も後期もクラスの構成メンバーは同じですが、担当教員は前期と後期で異なります。

「プロゼミ」を4単位修得していないと、3年次に「ゼミナール」を履修することができません。下記「ゼミナール履修条件」を参照してください。

(2) 学科基礎科目

各専門分野の基礎を学ぶ科目です。8単位以上履修してください。単位は、総合文化学科専門科目または自由履修科目の単位になります。

「オムニバス総合文化」は、〔3年次にゼミナールを選択するためのステップになる科目であるため〕1年次・2年次のみ履修できます。

その他の科目は原則として1年次から4年次にわたって履修できます。

(3) 専門科目

専門性を深めるための科目で、選択専門科目です。

「世界の多様な文化」「日本の文学と文化」「英語圏の文学と文化」では、それぞれの文化圏の言語、文学作品、文化的事象を扱います。「神話とファンタジー」では、世界各地の神話・伝説・物語をそれぞれの文化とともに学びます。「映像・演劇・音楽」では、言語による表現の枠組みを超え、図像、映像、身体、音楽などによる表現文化を深く学びます。

(4) ゼミナール

「ゼミナール」(以下ゼミと記す)は、教員とも積極的に交流しながら、各自の専門性や研究テーマを深める場となる科目で、1科目4単位が必修です。4単位を超えて修得したゼミの単位は、総合文化学科専門科目または自由履修科目の単位になります。

3年次・4年次のために開講されていますが、できるだけ3年次に必修単位を修得してください。また、複数のゼミを履修することも可能ですが、4年次にはその中で卒業論文・卒業制作のテーマに最も近いゼミを継続して履修するとよいでしょう。卒業論文・卒業制作指導はゼミと直結していることが多いので、4年次でもゼミを履修することを強く勧めます。

・ゼミナール履修条件

プロゼミ4単位修得済みであること。

・ゼミナール履修の手続き

2年次の後期にゼミ選択を開始します。

11月に「ゼミ・パンフレット」を配付し、ゼミ説明会を開催します。その後、各ゼミ教員が開くゼミ履修相談会に参加して、履修したいゼミを決め、「ゼミ希望票」を提出します。希望者が募集人数を超過したゼミは選抜を行います。後期通常授業期間内には、履修するゼミが決まります。

履修登録方法の詳細は和光ポータルでお知らせします。

複数のゼミ(いわゆる「サブゼミ」)を履修したい学生は、履修したい教員のゼミが募集を終了しておらず、かつ、担当教員が許可した場合に限り、履修することができます。履修の可否は、希望するゼミ担当教員に直接聞いてみましょう。

(5) 卒業論文・卒業制作(4年次必修)

総合文化学科では、4年次に、「卒業論文・卒業制作」を必修(10単位)としています。「卒業論文」は、和光大学の学生として身につけた知識や思考力をフルに活用して、各自が追求するテーマを論文のかたちで表現する重要な課題です。それぞれのテーマによっては、論文とい

注意点	<p>うかたちに限らず、言葉を用いた創作や、音楽・映像・造形・身体パフォーマンスなどの「卒業制作」を以てその表現とすることもあります。その場合は必ず、<u>とりくむ前に主査教員（主にゼミの担当教員が引き受けます）</u>によく相談し、<u>了承を得てください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の主査は学科の全教員が引き受けますが、卒業制作は一部教員のみが引き受けます。 ・テーマや内容が特殊なもので、本学の専任教員その他で指導が不可能な場合には、テーマ・内容の変更を求めることがあります。 ・4年次生の必修科目とはいっても、卒業論文・卒業制作作成の助走はすでに3年次から始まっています。主査と相談しながら、次のような段階を踏んで、作成し、提出します。
<p>【卒業論文・卒業制作ガイダンスから単位認定までの流れ】</p> <p>ア、卒業論文・制作ガイダンス 3年次11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次生のための、卒業論文・卒業制作に関する説明会です。 ・卒業論文・卒業制作とはどのようなものか、どのようなことに注意し、どのようにして進めていけばよいのかなど、執筆から提出までの重要事項が説明されますので、3年次生は必ず出席してください。 ・詳細は和光ポータルでお知らせします。
<p>イ、卒業論文・制作 題目届の提出 3年次1月下旬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題目を決め、内容について必ず主査の承諾を得て、所定の期日までに教学支援課に提出してください。 ・題目届を提出していないと、4年次の4月に卒業論文・卒業制作の履修登録ができなくなります。 ・題目が決まったら、主査の指導を受けながら、執筆ないし制作にとりくみ始めます。
ウ、指導教員について	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文・卒業制作の主査は、総合文化学科の専任教員（総合文化学科のゼミを担当する教員）に限りです。 ・主査の判断により副査をつけます。 ・特定の教員に依頼が集中するなど、指導が困難な場合には、主査ないしは副査を調整することがあります。 ・副査は総合文化学科の専任教員を原則としますが、必要に応じて他学部他学科の専任教員、もしくは非常勤講師に、総合文化学科教員会議を通じて依頼することもできます。その場合には、必ず主査に相談してください。
<p>エ、履修登録 4年次4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題目届を期日内（3年次1月下旬）に提出することにより、履修登録完了となります。
<p>オ、題目変更届 4年次9～10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やむをえず題目や論文・制作の別を変更する場合には、題目変更届の提出が必要です。 題目変更届の提出締切 2024年10月31日（木） ・主査の同意を得た上で題目変更届を教学支援課に提出してください。主査によっては論文・制作の別を変更する場合はより早い段階で締め切ります。主査との連絡を密に行ってください。
<p>カ、卒業論文・制作の提出 4年次12月</p>	<p>卒業論文・卒業制作の提出締切 4年次 2024年12月17日（火）14：00（午後2時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の時刻（14：00）を過ぎると受け付けられないので、十分注意すること。受付時間内に提出手続きが行われなかった場合には成績評価対象外となり、卒業できません。 ・下記の「必要なもの」、および論文の体裁が整っていれば、締切日より前に教学支援課窓口での提出も可能です。締切の前日あるいは当日の午前中までに提出することを強く勧めます。 ・当日の提出先は和光ポータルにて指示します。

キ、提出の体裁について
〈論文〉

必要なもの

1. 本文
2. 中表紙（題目、学籍番号、氏名、主査、副査名を記載）
3. 要約※
4. 受領票
5. ファイル（又は表紙）（製本する場合は不要）

★11月より教学支援課にて用紙を配布

※副査提出分の要約はコピーでも可

体裁

- ・ 以上を中表紙、要約、本文の順にファイルに綴じるか製本するなどして2部（主査用と副査用）提出すること（副査がいない場合は1部提出）
- ・ ファイル（又は表紙）に受領票を貼る（受領票の裏に両面テープがついています）

★不明な点があれば、主査教員および教学支援課窓口で総合文化学科担当に問い合わせること

〈制作〉

必要なもの

1. 作品
2. 制作に関わる文章
3. 中表紙（題目、学籍番号、氏名、主査、副査名を記載）
4. 要約※
5. 受領票
6. 「制作に関わる文章」を綴じるファイル（又は表紙）
7. 作品と文章をひとまとめにできるようなケースまたは袋（中身が確認できるもの）

★11月より教学支援課にて用紙を配布

※副査提出分の要約はコピーでも可

体裁

- ・ 中表紙、要約、「制作に関わる文章」の順にファイルに綴じ、ケースまたは袋に作品とファイルを入れて密封したものを2セット（主査用と副査用）提出すること（副査がいない場合は1セット提出）
- ・ ケースまたは袋に受領票を貼る（受領票の裏に両面テープがついています）

★卒業制作のコピーや窓口提出が形態上困難である場合、早急に主査教員と相談すること

★不明な点があれば、主査教員および教学支援課窓口で総合文化学科担当に問い合わせること

ク、口頭試問

- ・ 4年次の1月後半に口頭試問（面接試験）が行われます。その詳しい日時は主査教員がお知らせします。口頭試問を受けない場合は卒業論文・卒業制作の単位を認定しません。

【論文作成上の留意点】

ア、手書きの場合

- ・ 鉛筆書きは不可

イ、巻末に参考文献表を付記すること

ウ、目次をつけ、ページ番号を入れること

- ・ 序論から参考文献表まで各ページに通し番号を記入し、序論の前に目次を添えること

エ、次のような内容のものは、卒業論文としては認められない

- ・ 他人の論文や、インターネット上の記事などをそのまま写したり、要約しただけのもの
- ・ 作品の全訳や注釈、あるいは筋書きなどを書いただけのもの
- ・ 特にテーマを持っていない日記や生活記録の類

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目（2016～2024年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
プロセスⅡ	5001	ﾌﾟﾚﾐ1[宮崎]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	—	—	—	宮崎 かすみ	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5002	ﾌﾟﾚﾐ2[津田]			—	後期	—	1	—	—	—	津田 博幸	×	×	
	5003	ﾌﾟﾚﾐ1[阿部]			—	前期	—	1	—	—	—	阿部 明子	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5004	ﾌﾟﾚﾐ2[稲葉]			—	後期	—	1	—	—	—	稲葉 有祐	×	×	
	5005	ﾌﾟﾚﾐ1[加藤]			—	前期	—	1	—	—	—	加藤 三由紀	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5006	ﾌﾟﾚﾐ2[田村]			—	後期	—	1	—	—	—	田村 景子	×	×	
	5007	ﾌﾟﾚﾐ1[名嘉山]			—	前期	—	1	—	—	—	名嘉山 リサ	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5008	ﾌﾟﾚﾐ2[苅宿]			—	後期	—	1	—	—	—	苅宿 紀子	×	×	
	5009	ﾌﾟﾚﾐ1[田村]			—	前期	—	1	—	—	—	田村 景子	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5010	ﾌﾟﾚﾐ2[沖田]			—	後期	—	1	—	—	—	沖田 瑞穂	×	×	
	5011	ﾌﾟﾚﾐ1[坂井]			—	前期	—	1	—	—	—	坂井 弘紀	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5012	ﾌﾟﾚﾐ2[角尾]			—	後期	—	1	—	—	—	角尾 宣信	×	×	
	5013	ﾌﾟﾚﾐ1[長尾]			—	前期	—	1	—	—	—	長尾 洋子	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5014	ﾌﾟﾚﾐ2[西田]			—	後期	—	1	—	—	—	西田 桐子	×	×	
	5015	ﾌﾟﾚﾐ1[馬場]			—	前期	—	1	—	—	—	馬場 淳	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表
	5016	ﾌﾟﾚﾐ2[佐藤]			—	後期	—	1	—	—	—	佐藤 真理子	×	×	
	5017	ﾌﾟﾚﾐ3[西田]			—	前期	—	—	2	3	4	西田 桐子	○	×	4月の学科説明会で発表
	5018	ﾌﾟﾚﾐ4[酒寄]			—	後期	—	—	2	3	4	酒寄 進一	○	×	
学科基礎科目	5101	ｵｰﾊﾞｰｽ「総合文化」	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	—	—	総合文化学科専任教員	×	×	3-ﾌﾞﾚｯﾄﾞ: 加藤 三由紀
	—	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ入門1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	5103	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ入門2	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	馬場 淳	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5104	地域文化とコミュニケーション	2	許可	—	前期	—	—	2	3	—	長尾 洋子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 学外でのフィールドワークを含む。
	5105	異文化理解の方法	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	馬場 淳	×	○	学科「異文化理解の方法」単位修得者の履修×
	5106	文学へのいざない1	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	
	5107	文学へのいざない2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	酒寄 進一	○	○	
	5108	宗教と神話	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5109	神話学入門	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5110	日本の文化と文学1	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5111	日本の文化と文学2	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5112	日本の文化と文学3	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	○	
	—	日本の文化と文学4	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	日本語の歴史	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)															
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限	開講期	オンライン	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考
					(抽選) 優先条件	(形態)	科目	1 年	2 年	3 年	4 年				
学科基礎科目	5115	日英比較文化論1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	宮崎 かすみ	×	○	
	5116	日英比較文化論2	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	宮崎 かすみ	×	○	
	5117	日中比較文化論1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	×	○	
	5118	日中比較文化論2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	×	○	
	5119	言語学1	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	×	○	2020年度以前「言語学」単位修得者の履修× 科目名変更 旧科目名:言語学
	—	言語学2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講 2021年度以前「言語学」単位修得者の 履修× 科目名変更 旧科目名:言語学
	—	ことばの理論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5122	比較言語学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5123	英語で楽しむ1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	宮崎 かすみ	×	○	
	—	英語で楽しむ2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5125	映像文化論1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	飯田 基晴	○	○	
	5126	映像文化論2	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	飯田 基晴	○	○	
	5127	文化とアイデンティティ	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
	5128	メディア論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
総合文化学科専門科目 (自由履修科目)	世界の多様な文化														
	5201	中国古典のこぼれ1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	大戸 温子	○	○	
	5202	中国古典のこぼれ2	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	大戸 温子	○	○	
	5203	中国文学との対話	2	なし	—	集中 講義	—	1	2	3	4	莊 魯迅	○	○	
	5204	中国の歴史と文化	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割外	1	2	3	4	張 玉萍	○	○	
	5205	中国語のしくみ	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	孫 国震	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5206	中国語で楽しむ	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 三由紀	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5207	中国語コミュニケーション1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	郭 偉	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5208	中国語コミュニケーション2	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	郭 偉	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5209	中国芸能の世界	2	人数制限 (抽選)	—	後期	時間割外	1	2	3	4	平林 宣和	×	○	
	5210	叙事詩を読む	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀	○	○	
	5211	知恵と暮らし	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀	×	○	
	5212	ヨーロッパの文学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	酒寄 進一	×	○	
	5213	無文字社会の文化	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山下 宗久	×	○	
	5214	アジアの芸能	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	村山 和之	○	○	
	5215	ヨーロッパの文化にふれる	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	赤坂 恒明	○	○	新規科目
	5216	フランス語とその世界	2	人数制限 (抽選)	—	前期	時間割内	1	2	3	4	ダソワ ロン・ミ	○	○	
	5217	トルコ語とその世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀	○	○	

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目(2016～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
総合文化学科専門科目(自由履修科目)	5218	インド語とその世界	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	斎藤 正道	○	○	
	5219	アラビア語とその世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	佐川 信子	○	○	
	5220	チャット語とその世界	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	野口 翔(ゴッホ)マヰリ	○	○	
	—	中国語とその世界	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5222	朝鮮半島の文化と歴史	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	陸 善	×	○	
	5223	太平洋の文化と歴史	2	人数制限(抽選)	有	後期	時間割外	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	I学科「太平洋の社会と文化」単位修得者の履修×
	5224	アフリカの文化と歴史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	I学科「アフリカの社会と文化」単位修得者の履修×
	5225	世界の性文化	2	人数制限(抽選)	有	前期	時間割外	—	2	3	4	馬場 淳	×	○	I学科「性の人類学」単位修得者の履修×
	5226	世界の家族	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	馬場 淳	×	○	
	5227	グローバル化時代の文化学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	馬場 淳	×	○	2020年度以前開講I学科「グローバル社会学」単位修得者の履修×
	5228	地図の文化学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	○	
	5229	旅と観光文化	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	○	
	5230	文化遺産と社会	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	○	
	5231	異文化フィールドワーク	4	許可	—	後期+フィールドワーク	—	—	2	3	4	坂井 弘紀	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定 学外でのフィールドワークを含む
	—	異文化体験実習1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
	—	異文化体験実習2	4	—	—	—	—	1	2	3	4	—	—	—	2024年度休講
	日本の文学と文化														
	5301	日本文学序論1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	○	
	5302	日本文学序論2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	○	
	5303	日本文化の諸相1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	西田 桐子	○	○	
	5304	日本文化の諸相2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	西田 桐子	○	○	
	5305	日本文化の諸相3	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	○	
	—	日本文化の諸相4	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5307	日本文化に分け入る1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	西田 桐子	×	○	
	5308	日本文化に分け入る2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	西田 桐子	×	○	
	5309	日本文化に分け入る3	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5310	日本文化に分け入る4	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5311	世界の中の日本文学1	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	西田 桐子	×	○	
	—	世界の中の日本文学2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5313	近現代の文学1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	西田 桐子	○	○	
	5314	近現代の文学2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	西田 桐子	○	○	
	—	近現代の文学3	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	近現代の文学4	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目(2016～2024年度入学生用)

卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	全 学 開 講	備 考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
総 合 文 化 学 科 専 門 科 目 (自 由 履 修 科 目)	5317	こどもと文学1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	那須田 淳	○	×	
	5318	こどもと文学2	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	那須田 淳	○	×	
	5319	作詩に挑む	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	カニエ・ナハ	○	○	
	—	宗教思想論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5321	漢文学の世界	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5322	歴史資料を読む1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	小島 裕子	○	○	
	5323	歴史資料を読む2	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	小島 裕子	○	○	「歴史資料を読む1」単位修得者のみ履修可
	5324	書道1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	嶋口 章子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5325	書道2	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	嶋口 章子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5326	日本語学序論1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	×	○	
	5327	日本語学序論2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	×	○	
	5328	日本語の文法	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	○	○	
	5329	日本語の意味	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	○	○	
	—	日本語の表現	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	5331	日本語の諸相	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	山岡 華菜子	×	○	
	5332	日本語の分析	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5333	日本語教授法1	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	藤原 未雪	×	○	1・2連続履修が望ましい
	5334	日本語教授法2	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	藤原 未雪	×	○	
	5335	日本語教育の現在	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	苅宿 紀子	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定 2023年以前「日本語教育実践研究」単位修得者の履修× 科目名変更 旧科目名：日本語教育実践研究
	5336	日本古語を学ぶ1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	
	5337	日本古語を学ぶ2	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	
	5338	日本古語を学ぶ3	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5339	日本古語を学ぶ4	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	稲葉 有祐	○	○	
	5340	民俗芸能論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	○	
	5341	地域文化フィールドワーク	4	許可	—	後期+フィールドワーク	—	—	2	3	—	長尾 洋子	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 学外でのフィールドワークを含む
英語圏の文学と文化															
5401	英米文学序論1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	名嘉山 リサ	×	○		
5402	英米文学序論2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	名嘉山 リサ	×	○		
5403	英語の古典文芸1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	撫原 華子	○	○		
5404	英語の古典文芸2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	撫原 華子	○	○		

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目(2016～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
総合文化学科専門科目(自由履修科目)	5405	映像と英文学批評1	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	宮崎 かすみ	○	○	
	—	映像と英文学批評2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	英語詩精読	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5408	英語圏の文化1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	名嘉山 リサ	×	○	
	5409	英語圏の文化2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	名嘉山 リサ	×	○	
	5410	英語学序論1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 明子	×	○	
	5411	英語学序論2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	阿部 明子	×	○	
	5412	英語学の世界1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	井川 壽子	×	○	新規科目
	5413	英語学の世界2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	井川 壽子	×	○	新規科目
	5414	英語の歴史	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	阿部 明子	×	○	
	5415	日英語の比較	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	阿部 明子	×	○	
	5416	ことば・心・社会	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	井川 壽子	×	○	
	5417	音声学1	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	松原 理佐	○	○	
	5418	音声学2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	松原 理佐	○	○	
	—	音とことば	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5420	外国語習得理論	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	佐藤 真理子	×	○	
	—	英語を学ぶ1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	英語を学ぶ2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	—	英語を学ぶ3	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5424	英語を学ぶ4	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	井川 壽子	×	○	
	5425	英語で語る1	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	○	
	5426	英語で語る2	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	○	
	5427	英語で語る3	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	バット・バット・バット	○	○	
	5428	英語で語る4	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	バット・バット・バット	○	○	
	5429	英語文章表現1	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	○	
	5430	英語文章表現2	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	エミリー・アラン	○	○	
	神話とファンタジー														
	5501	ヨーロッパの神話1	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5502	ヨーロッパの神話2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5503	ヨーロッパの神話1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	坂井 弘紀	×	○	
	5504	ヨーロッパの神話2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○	
	5505	日本の神話	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	
	5506	神話と儀礼	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)																
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複 履修	全学 開講	備考	
								1 年	2 年	3 年	4 年					
総合文化学科専門科目 (自由履修科目)	5507	神話学特論	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	沖田 瑞穂	○	○		
	5508	ファンタジーと昔話	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	酒寄 進一	○	○		
	5509	中国のファンタジー	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	上原 かおり	×	○		
	5510	中国のユートピア文学	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	上原 かおり	×	○		
	5511	ファンタジーの作法	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	那須田 淳	○	○		
	映像・演劇・音楽															
	—	映像と物語	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
	—	映画論1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
	—	映画論2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
	—	ドキュメンタリー映画史1	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
	—	ドキュメンタリー映画史2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
	5606	映像と現代社会1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	飯田 基晴	○	○		
	5607	映像と現代社会2	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	飯田 基晴	○	○		
	5608	中国の映像文化	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	韓 瑩	○	○		
	5609	映像制作基礎[1]	2	許可	—	前期	—	1	2	—	—	飯田 基晴	×	○	新規科目 7学科優先 4月許可手続き期間に履修者決定 卒業までにいずれか1つ履修可	
	5610	映像制作基礎[2]	2	許可	—	後期	—	1	2	—	—	飯田 基晴	×	○	7学科優先 4月許可手続き期間に履修者決定	
	5611	地域・同時代を撮る1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	飯田 基晴	○	○	7学科優先 4月許可手続き期間に履修者決定	
	5612	地域・同時代を撮る2	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	飯田 基晴	○	○	7学科優先 4月許可手続き期間に履修者決定	
	5613	現代演劇論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	田村 景子	○	○		
	—	戯曲を読む	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	
	5615	身体と表現	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	新見 真琴	○	○		
	5616	劇を作る1	2	許可	—	集中 講義	—	1	2	3	4	山下 悟	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定 1・2連続履修が望ましい	
	5617	劇を作る2	2	許可	—	後期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	山下 悟	○	○		
	5618	日本の芸能1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	時間割外	1	2	3	4	石川 高	×	○		
	5619	日本の芸能2	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	後藤 幸浩	○	○		
	5620	大衆芸能の社会史	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	長尾 洋子	×	○		
	5621	音楽の想像力1	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	中川 つよし	○	○		
	5622	音楽の想像力2	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	中川 つよし	○	○		
	5623	現代の音楽1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	山本 和智	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
	5624	現代の音楽2	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	山本 和智	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
	5625	サントゥスケープ論	2	人数制限 (抽選)	—	前期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	鈴木 治行	×	○		
	5626	音の比較文化論1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	山本 和智	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
	5627	音の比較文化論2	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	山本 和智	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目（2016～2024年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
総合文化学科専門科目(自由履修科目)	5628	ジェンダー表象論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	津田 博幸	○	○	旧科目名: 女と男の表現空間
	5629	若者文化論	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	駒井 稔	×	○	
	5630	編集の現場1	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	須藤 巧	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	5631	編集の現場2	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	須藤 巧	○	○	1・2連続履修が望ましい(2のみの履修不可)
	—	ルポルタージュ入門	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5633	ホビュラー・カルチャー	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
	5634	笑いの歴史1	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
	5635	笑いの歴史2	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
	5636	勤労の文化学	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
	5637	心と文化	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	角尾 宣信	×	○	
ゼミナール	5901	英語のしくみを考える	4	クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	阿部 明子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5902	近世の文化と言語表現			—	通年	—	—	—	3	4	稲葉 有祐	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	—	ことばの詩学			—	—	—	—	—	3	4	—	○	○	2024年度休講
	5904	神話学			—	通年	—	—	—	3	4	沖田 瑞穂	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5905	現代中国の社会とことば			—	通年	—	—	—	3	4	加藤 三由紀	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5906	日本語のしくみを考える			—	通年	—	—	—	3	4	苅宿 紀子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5907	エラシアの文化と歴史			—	通年	—	—	—	3	4	坂井 弘紀	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5908	ドイツの文化と歴史			—	通年	—	—	—	3	4	酒寄 進一	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5909	英語コミュニケーションと文化			—	通年	—	—	—	3	4	佐藤 真理子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5910	現代文学のメディア・ミックス			—	通年	—	—	—	3	4	田村 景子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5911	古代の文化と言語表現			—	通年	—	—	—	3	4	津田 博幸	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5912	ホビュラー・カルチャー分析			—	通年	—	—	—	3	4	角尾 宣信	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5913	文化編成のダイナミクス			—	通年	—	—	—	3	4	長尾 洋子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5914	シネマ・スタディーズ(映画研究)			—	通年	—	—	—	3	4	名嘉山 リサ	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定 旧科目名: 映画と文化
	5915	日本近現代文学の多様性			—	通年	—	—	—	3	4	西田 桐子	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5916	文化人類学研究			—	通年	—	—	—	3	4	馬場 淳	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定 旧科目名: 人との関係史
	5917	テクニカル・ジェンダー・テキスト			—	通年	—	—	—	3	4	宮崎 かすみ	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定
	5918	映像制作研究	8	—	通年(連続2コマ)	—	—	—	—	3	4	飯田 基晴	○	○	T学科3年次生は前年度希望票で決定

2024年度 表現学部 総合文化学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は総合文化学科生以外も履修可能です。「×」は総合文化学科生専用です。

総合文化学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
卒業論文・卒業制作	5951	卒業論文・卒業制作[阿部]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	阿部 明子	×	×	
	5952	卒業論文・卒業制作[稲葉]			—	通年	—	—	—	—	4	稲葉 有祐	×	×	
	—	卒業論文・卒業制作			—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2024年度休講
	5954	卒業論文・卒業制作[沖田]			—	通年	—	—	—	—	4	沖田 瑞穂	×	×	
	5955	卒業論文・卒業制作[加藤]			—	通年	—	—	—	—	4	加藤 三由紀	×	×	
	5956	卒業論文・卒業制作[苅宿]			—	通年	—	—	—	—	4	苅宿 紀子	×	×	
	5957	卒業論文・卒業制作[坂井]			—	通年	—	—	—	—	4	坂井 弘紀	×	×	
	5958	卒業論文・卒業制作[酒寄]			—	通年	—	—	—	—	4	酒寄 進一	×	×	
	5959	卒業論文・卒業制作[佐藤]			—	通年	—	—	—	—	4	佐藤 真理子	×	×	
	5960	卒業論文・卒業制作[田村]			—	通年	—	—	—	—	4	田村 景子	×	×	
	5961	卒業論文・卒業制作[津田]			—	通年	—	—	—	—	4	津田 博幸	×	×	
	5962	卒業論文・卒業制作[角尾]			—	通年	—	—	—	—	4	角尾 宣信	×	×	
	5963	卒業論文・卒業制作[長尾]			—	通年	—	—	—	—	4	長尾 洋子	×	×	
	5964	卒業論文・卒業制作[名嘉山]			—	通年	—	—	—	—	4	名嘉山 リサ	×	×	
	5965	卒業論文・卒業制作[西田]			—	通年	—	—	—	—	4	西田 桐子	×	×	
	5966	卒業論文・卒業制作[馬場]			—	通年	—	—	—	—	4	馬場 淳	×	×	
	5967	卒業論文・卒業制作[宮崎]			—	通年	—	—	—	—	4	宮崎 かすみ	×	×	
	5968	卒業論文・卒業制作[飯田]			—	通年	—	—	—	—	4	飯田 基晴	×	×	

5. 取得できる資格

（1）資格課程

中学校教諭1種免許状（国語・英語）
高等学校教諭1種免許状（国語・英語）

図書館司書
学校図書館司書教諭
社会教育主事
博物館学芸員

総合文化学科生が取得できる免許状・資格は上のとおりです。
他学科が認定を受けた免許状取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談をしてください。

また、社会福祉主事（任用資格）の取得も可能です。社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

6. 資料室

教員・学生共通の研究活動の場として、A棟7階に資料室Ⅰ・Ⅱが設けられています。資料室Ⅰは参考書・辞書類とコピー機、PCがあります。資料の検索や学習、討議等に利用できます。

資料室Ⅱはカメラ、録音機材等学科の備品を管理しています。授業等で指示があるときに、借り出しに行ってください。貸出期間や返却の手続などについては担当職員の指示に従ってください。個人やサークルで使用するための貸し出しは行いません。

資料室では、会議が行われることがあります。その時は利用できません。使用可能な時間は、開校日の1限目から5限目までとします。鍵がかかっている場合は、総合文化学科専任教員に申し出てください。また資料室での共同研究や会議は予約制です。希望する場合は、総合文化学科専任教員に申し出てください。

2016～2024年度入学生

芸術学科

1. 芸術学科の特徴

..... P 220

2. 専門科目の説明

..... P 222

3. 卒業要件と履修要領

..... P 225

4. 授業一覧表

..... P 227

5. 取得できる資格

..... P 232

6. 学科資料室・その他

..... P 232

表現学部

カリキュラムは大学生活と未来の人生の道しるべ

カリキュラム (curriculum) とは、卒業・資格取得のため必要とする履修課程のことですが、もともとは走者が駆けぬけるコースをいう言葉 (ラテン語) でした。どんな辞書でもカリキュラムの項に、カリキュラム・ヴァイティー (curriculum vitae) という言葉をのせていますが、これは人生の歩いた道筋、つまり履歴という意味です。みなさんがこれから選びとる科目もそれと同じで、その一つ一つが大学での生活の軌跡となるのです。ですから一つ一つの科目からどんな自分のカリキュラムを築いてゆくかは、大きくいえば、卒業後歩みだす自分の人生の道筋と深くかかわっているのです。広く基礎的なものからじっくりと土台を形成してゆかねば、波瀾万丈の人生の重さを支えることはできません。必修科目や共通教養の諸科目は、その土台づくりに必要な素材なのです。しかし、それをどんな仕方方で組み合わせ、利用するかは、それぞれが自らの特性と希望に照らして考えねばなりません。

自由選択制は創意の場

自由選択制教科課程のことを英語では cafeteria type of curriculum (カリキュラムのカフェテリア制) ともいいます。表現学部の特徴の一つは、この課程の科目が広く多様であることにあります。それぞれの学科は工夫をこらしてもっともアクチュアルな、もっとも創意に富んだ斬新な科目を用意しています。みなさんはここで、自由に飲み物や食べ物、ケーキを選ぶカフェテリアのような楽しさを十二分に味わうことになります。また、自分の個性にふさわしい学修プランが立てられるのもここです。

しかし過食 (科目のとり過ぎ) や偏食 (科目の片より) は、せっかくの学修意欲をそぐことになりかねませんし、自分の目で内容を確認めないと、かならず消化不良におちいります。これではせっかくの楽しく自由な学修構想も台なしということになりかねません。ここでも初めゆるやかに、手さぐりの、そしてやがて相關的に、着実にというのが良いでしょう。

横断的に専門的に

表現学部は言葉やイメージを通して世界と人間を深く考察し、謎に満ちた多彩な表現世界に研究と創造の双方から迫る学部です。表現学部を構成する二つの学科はめざすところ、アプローチの仕方など、それぞれに異なっています。自己形成の求めに従って、自分の目で確かめてカリキュラムを選び取らねばなりません。それぞれの専門科目を通して独自の領域へと次第に深く傾斜してゆくと同時に、その専門性のゆえに展開される周辺領域へと横断的に踏み込んでゆく必要があるでしょう。専門性とは多様な領域の認識でもあるからです。深さと広がり、その探究の角度の違いを学び合うことが大切なのです。

具体的なカリキュラムについては、それぞれの学科のページで確認してください。

1. 芸術学科の特徴

芸術学科は、芸術の研究と実践をとおして人間と社会を考え、新しい時代の文化の創造に参画できる人材を世に送り出すことを、大きな目標としています。

この目標のために、私たち芸術学科は、これまでの芸術単科大学とは異なる道を歩いてきました。つまり芸術を他の科学の分野から独立した特殊なものと考えのではなく、様々な人間の営みと相互に刺激し合う文化実践の場に位置づけてきたのです。

(1) 多様な表現を学ぶ

私たちが暮らしている社会では、テレビ、広告、写真、絵画、商品などから様々なメッセージが伝達されています。たとえば有名ブランドのハンドバッグのマークからモナ・リザの肖像画まで、視覚的な文化は広い範囲に及んでいます。しかもそれらが孤立した存在ではなく、互いに刺激しあいながら時代をつくり、時代を反映し、それらは過去の出来事とも相互に影響しあっているのです。芸術学科はこれらの広い範囲にあるあらゆる形式の表現、つまり人間がつくりだし、私たちをとりまいている多様な表現を、批判精神をもって見る能力を養わなければならないと考えます。

(2) 理論と実践を学ぶ

あなたにとって、表現の実践とはどのようなことでしょうか。描きたい絵を描き、作りたいものを作る。そのための技術を獲得すること。もちろんそれもあるでしょう。しかし、高等教育機関である大学で、一人の大人として芸術を学ぶとは、もはや自分のためだけの営為ではありません。自分の表現を社会に向かって開き、他者の表現を理解しようとする意志と方策が伴って、はじめて真の表現行為に近づくことができるのです。そのため、私たちは他学科の科目

(3) カリキュラムの概要

を広く履修することを推奨しています。真の芸術を学びたい者にとって、本学はまたとない恵まれた条件にあるといえるでしょう。

芸術学科のカリキュラムは、大きく3つのコース（アート、デザイン、プランニング）の専門科目と、1年生のときに全員必修のプロゼミ、それから学科基礎科目の3つで構成されています。

これらはタテ糸とヨコ糸のような関係にある科目で、一枚の布を織るように、4年間でゆるやかな階段に従いながら、それぞれのコース科目群の科目を選択することができます。

1年次に履修する科目でおおよそ3つのコースを体験し、2年次で何れかのゼミナールを履修することを推奨します。履修科目の選択は、卒業年次にそれぞれの研究テーマに近づけるように組み立ててください。

「芸術学科のカリキュラム（授業一覧表）」を参考にしながら3つのコースとそれを横断する科目群の意味を読み取ってください。

カリキュラムには半期の科目を多く設けました。これをセメスター制と言います。半期ごとに一つの科目が終了します。ただし、前期と後期の連続履修が推奨されている科目、条件や定員の設けられた科目があるため、注意して履修登録してください。

(4) 3つの系について

アート系

アート系には絵画、立体、版画、古典技法、写真、映像などの科目があります。ただし、それぞれの領域は孤立した技術の伝承の場ではありません。表現技術を横断的に学びながら新しい表現に至る科目群を配してあります。多様な技術を学び、自分に適した表現手段は何かを考えることを勧めます。

デザイン系

デザイン系には、グラフィック・デザイン、映像デザイン、コミュニケーション・デザインなどを学ぶ科目群があります。学生諸君が狭い意味のデザインではなく、アートや美術史、工芸などと手を結ぶことができる新しいデザインの領域を開拓できるような試みをしています。また、PC技術を利用した実技の科目はこのコースに多く配置されています。この分野の就職にも必要なため、初級～中級等、グラフィック系ソフトの経験値に基づいて履修することを勧めています。

プランニング系

プランニング系は、出版物やイベントを企画する過程を学ぶコースと思われるでしょう。それもあります。しかしここでは、映像の文法、書物の解剖、メディア史、プランニング（企画）、美術史、製本、空間編集、展示プロデュースなど、一人の人間による表現を発端として、それが最終的に作品として成立するまで、その過程全般を学び取ることを考えています。

2. 専門科目の説明

(1) プロゼミ (必修科目)

芸術学科の科目には年次指定のあるもの、人数や設備の関係から履修条件に制限のあるものがあります。また、実験実習費とは別に科目ごとに材料費などの実費が掛かる場合もあります。それぞれの授業で確かめてください。

入学して最初の1年次では、学部の全員がプロゼミ(前期、後期)を履修することになります。プロゼミは金曜日の2限です。ここでは芸術学科の教員たちが和光大学芸術学科の全体像を語りながら、そのコースやその教員の専門領域の入り口をみなさんに見せます。この時期に、友人も増やし、大学で学ぶということの意味を体感してください。

プロゼミの単位を全く修得していないと、2年次以降ゼミナールを取ることができず、再履修が必要になります。

(2) 学科基礎科目 (選択必修)

学科基礎科目は、選択専門科目に行く前の入門の役割を果たす、文字どおりの基礎科目です。理論系科目と実技・実践的科目、フィールドワークとキャリア系科目が提供され、どのコースに進む場合でも、共通して身につけておくという良い要素があります。

(3) 選択専門科目

この科目群の科目は、それぞれ3つのコースに分類されています。専門性によって特徴づけられた科目が配置されています。技術や知識を得るとともに、それらを利用して何を表現し、研究するか主眼がおかれた科目です。自らのテーマに関連する科目を効率よく渉猟してください。多くの科目は1年次から履修することが出来るように設定されています。

(4) ゼミナール (専門科目)

ゼミナールは、2年次から履修することが出来ます。2年次で必ず1つは登録し、自身の専門分野を意識するように心掛けてください。4年目の卒業年次を含めた3年間にそれぞれの専門領域を深め、卒業制作・卒業論文につながるようにゼミナールを選択してください。ゼミナールは学生が自発的にテーマを設定し、制作と研究の成果を発表し、互いに批判的に討議する場です。

2・3年次では、曜日時限が重ならない限り複数のゼミナールに登録することが出来ます。ただし、4年次(卒業年次)には、ゼミナールを1つに絞り、卒業制作・卒業論文に力を集中させることが大事になります。ゼミナールの内容・登録方法の説明会は後期末に掲示の上、実施します。

(5) コース選択 (2年次終了時)

1～2年次で3つのコースを横断的に学びましたが、この段階までに、あなたの専門のコースを決めてください。3年次にコースを横断することは可能ですが、ここで決めたコースで卒業制作・卒業論文に取り組むこととなります。コース選択については、ゼミナール選択と共に後期末に掲示の上、説明します。

(6) ポートフォリオ展 (2年次)

「プレゼンテーション技法」は、2年次に全員が履修します(編転入等で未履修の場合は3年次以降も可)。後期末に学内で行われるポートフォリオ展に参加することで単位となります。あなたの作品や活動をファイルにまとめ、他の人に見てもらうことで、仕事を客観化することが目的です。提出方法は11～12月の掲示とゼミナール等での指導に沿ってください。

(7) 選抜展 (3年次)

単位化はされていませんが、学外で教員推薦による学生の展覧会を行います。各々の活動のステップアップとなるように工夫されています。詳細は前期半ばに掲示されます。

(8) 卒業制作・卒業論文 (4年次以上)

芸術学科を卒業するに際して、大学生活の総決算となる必修科目です。これは4年次になってからではなく、1年次から3年次にわたる学修計画の視野におくべき課題です。自らテーマを発見し、それに沿ってカリキュラムを組み立ててゆくことになるからです。4年間の経験が集約される所こそ卒業制作・卒業論文であり、あなたにとって最大の財産となるはずで、ゼミナールの指導教員とよく相談し、テーマを決めて1年間取りくんでください。

なお、卒業制作は学内外のいずれかの場所で展示公開しています。この「卒展」企画・展示とカタログ制作は学生諸君が主体的に行うことになっています。

卒業制作・卒業論文に関するいくつかの注意点

- 1) 卒業年次生は、各自、規程通りの卒業要件を満たす見通しがあるかどうか、念入りに確認し、疑問がある場合は、教員、教学支援課、先輩諸君などに相談してください。
- 2) 卒業制作・卒業論文の手続きを行う際には、ゼミナールでの指導にもとづき、次ページのように「卒業制作・卒業論文調査票」に記入してください。
- 3) 主査として指導を担当できるのは学科の専任教員に限られますが、副査としては他の学部・学科の教員・非常勤教員などに指導を求めることができます。

卒業制作・卒業論文調査票の提出

卒業制作・卒業論文の調査票は、2024年4月2日（火）23：59までに、グーグルフォームで提出してください。

この手続きをおこなっていないと、卒業制作・卒業論文の履修登録・提出・評価ができなくなりますので、十分注意してください。

履修登録

調査票を期日内に提出することにより履修登録完了となります。

提出方法

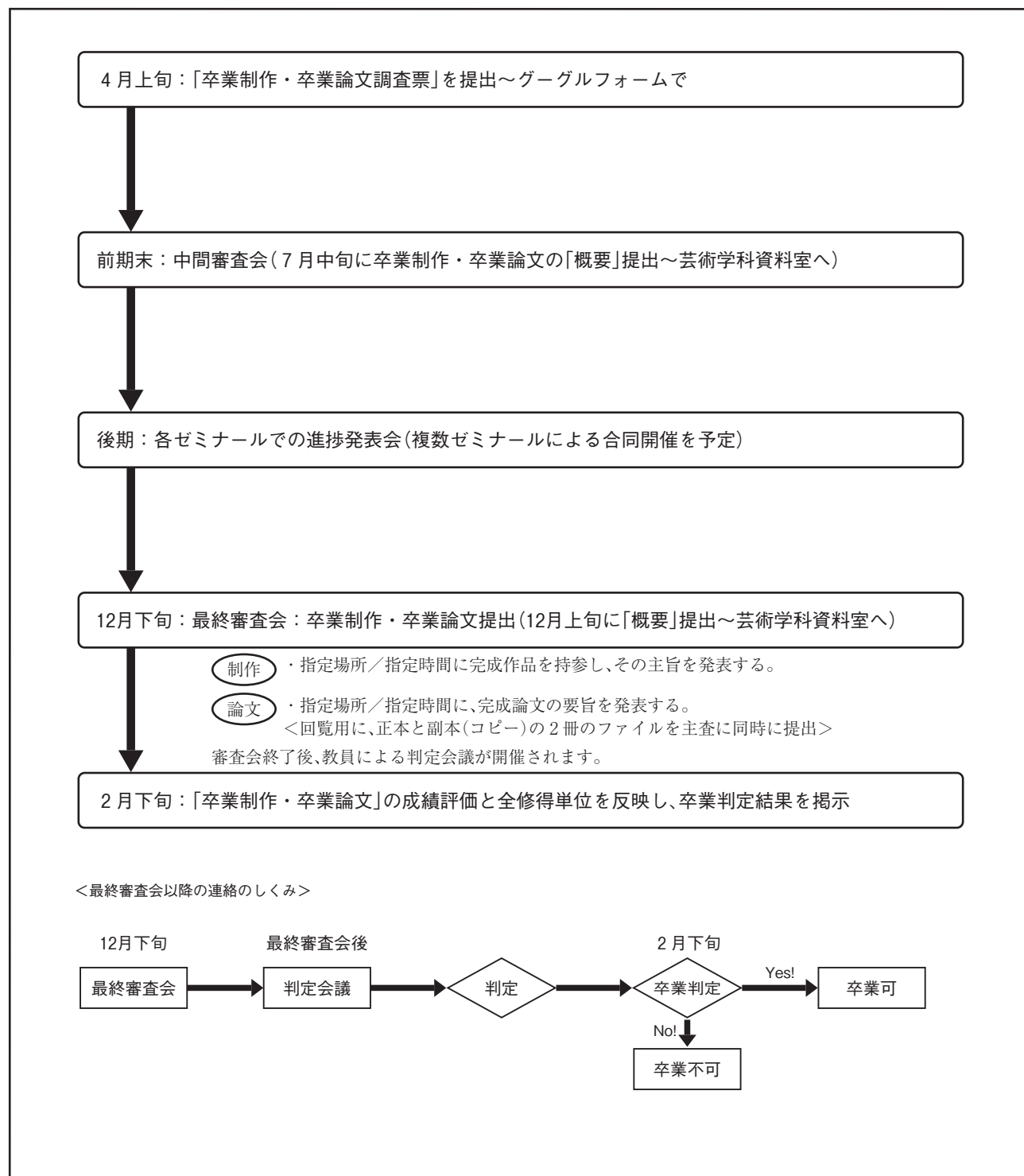
卒業制作・卒業論文の提出は原則12月下旬の最終審査会になります。

なお、卒業制作・卒業論文では成果物の提出の方法に若干のちがいががあります。

次頁のフローチャートを参照してください。

○卒業制作・卒業論文の提出までのフローチャート

詳細日程については、オリエンテーションとゼミナールで、順次伝達されます。



※このほか、例年2月頃、学生が主体となって運営する卒業制作展（学外展）が開催される予定があります。
詳細日程・内容は、掲示やゼミナール指導教員および卒業制作委員の学生からの連絡にご注意ください。

3. 卒業要件と履修要領

(1) 芸術学科の卒業要件

① 卒業に必要な単位数

《2018～2024年度入学生 芸術学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

				小計	合計
共通教養科目				● 20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で			● 4 単位	
専門科目	芸術学科 専門科目	プロゼミ		4 単位	
		学科基礎科目	●	8 単位	
		ゼミナール	●	4 単位	
		卒業論文・卒業制作		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・芸術学科選択専門科目（50単位以上が望ましい。） ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） ※資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。			74単位	

《2016～2017年度入学生 芸術学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

				小計	合計
共通教養科目				● 24単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で			● 4 単位	
専門科目	芸術学科 専門科目	プロゼミ		4 単位	
		学科基礎科目	●	8 単位	
		ゼミナール	●	4 単位	
		卒業論文・卒業制作		10単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・芸術学科選択専門科目（50単位以上が望ましい。） ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目（全学開講欄が○のもの） 注) 資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。			70単位	

(2) 履修の要領

① 専門科目

各課程合わせて124単位

各課程（共通教養、外国語、専門科目、自由履修科目）それぞれについて必要単位数を満たすこと。

合わせて26単位

プロゼミ 4単位 + 学科基礎科目 8単位 + ゼミナール 4単位 + 卒業論文・卒業制作 10単位

② 自由履修科目

※専門性を修得するには、自由履修科目のうち50単位以上の芸術学科専門科目を含むことが望ましい。

共通教養科目、外国語科目、芸術学科専門科目について、卒業所要単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目単位としてカウントされます。また、他学部他学科専門科目も含まれます。ただし、資格課程専用科目を除きます。

2024年度 表現学部 芸術学科 開講科目区分

各課程	各科目単位数	アート系	デザイン系	プランニング系
必修科目	プロゼミ (各2単位)	プロゼミ (前期・後期) (※クラスは学科説明会で発表)		
学科基礎科目 (選択必修)	フィールドワーク (各1-2単位)	新入生フィールドワーク フィールドワークの実践5,6		
	キャリア系科目 (各1-2単位)	プレゼンテーション技法 クリエイティブ・キャリア研究 キャリアデザイン研究		
	理論系科目 (各2-4単位)	現代美術史基礎 芸術の基礎理論 日本／世界写真史 視覚芸術表現の基礎1,2 宗教造形論基礎 近代デザイン史基礎 現代デザインの基礎 平面表現基礎演習 クリエイティブ特別講義 現代絵画論基礎1		
	実技・実践的科目 (各2-4単位)	デッサン (※1年次のクラスはオリエンテーションで振り分けられます) 写真表現の基礎1,2 絵画表現の基礎1 彫刻表現の基礎1,2 デザイン基礎実習 コミュニケーションデザイン A デジタルデザインの基礎 [A], [B], [C], [D] 映像撮影・編集技法 情報表現の基礎 文字とレイアウトの基礎 タイポグラフィ基礎		
選択専門科目 ※前ページも参照	選択専門科目 (各2-4単位)	絵画材料の研究1,2 絵画表現の研究 A1, A2 絵画表現の研究 B1, B2 現代美術の造形技法研究1,2 現代美術の立体表現研究1,2 中世古典技法 版画技法1,2,3 ことばと版画 トライアル・ワーキング 日本古典技法1,2 日本画研究1,2 写真表現研究1,2 美術の思考(周辺について) 芸術の実践 美術の輪郭	アニメーション表現論 アートアニメーション制作 イラストレーション研究 色彩学 色彩研究演習 デザイン描画法 広告表現研究 プロダクトデザインの思考 CG表現技法 CGアニメーション研究 WEBデザイン研究 デジタル表現技法 マンガ表現技法1,2 グラフィックデザイン研究 映像表現技法 コミュニケーションデザイン B クラフト造形の基礎 タイポグラフィ研究	日本美術史1 (上代—近世) 日本美術史2 (近代) 文化財と保存科学 製本ワークショップ メディアと表現の歴史 映像の文法 空間をつくる アートブック研究 アートドキュメンテーション 西洋美術史1,2 信仰と文化 アートカタログ編集術 見えるものの歴史: 視覚と造形
ゼミナール	ゼミナール (各8単位)	現代絵画・絵画工房 コンテンポラリーアート・絵画表現工房 現代の造形表現・立体工房 現代写真・映像工房	グラフィック・デザイン ヴィジュアル・デザイン 情報メディア・デザイン 映像デザイン	ヴィジュアル・アート メディアと編集 イメージを読む
卒業論文・ 卒業制作	卒業論文・ 卒業制作 (10単位)	卒業論文・卒業制作		

※この表の中には本年度休講の科目も記載されています。次頁以降の授業一覧表を参照してください。

2016～2024年度入学生用

注9) 全学開講について……………「○」の授業は芸術学科生以外も履修可能です。「×」は芸術学科生専用です。

芸術学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
プロゼミ	6001	アートⅠ[大坪]	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	大坪 晶	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表	
	6002	アートⅡ[里見]			—	後期	—	1	2	3	4	里見 佳音	×	×		
	6003	アートⅠ[野々村]			—	前期	—	1	2	3	4	野々村 文宏	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表	
	6004	アートⅡ[佐藤勲]			—	後期	—	1	2	3	4	佐藤 勲	×	×		
	6005	アートⅠ[半田]			—	前期	—	1	2	3	4	半田 滋男	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表	
	6006	アートⅡ[君島]			—	後期	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	×		
	6007	アートⅠ[詫摩]			—	前期	—	1	2	3	4	詫摩 昭人	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表	
	6008	アートⅡ[高橋]			—	後期	—	1	2	3	4	高橋 啓祐	×	×		
	6009	アートⅠ[君島]			—	前期	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	×	前期・後期 固定クラス 4月の学科説明会で発表	
	6010	アートⅡ[木村]			—	後期	—	1	2	3	4	木村 史紅	×	×		
フィールドワーク																
	6101	新入生フィールドワーク	1	許可	—	前期	—	1	2	3	4	野々村・君島	○	×	4月号手帳と期間に履修者決定 国内研修 学科説明会で案内 1～4年生は編入生・転入学生・サポート学生のみ対象	
—		フィールドワークの実践5	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講 国内研修 学科説明会で案内(掲示版に注意)	
	6103	フィールドワークの実践6	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	半田 滋男	○	○	毎年研修 学科説明会で案内(掲示版に注意)	
キャリア系科目																
	6201	プレゼンテーション技法	1	クラス指定	—	後期	—	—	2	3	4	半田 滋男	×	×	2年生全員12月作品集提出 掲示版・前号1～4での通知に注意(3・4年生履修希望者は代表教員の半田へ)	
—		クリエイティブ・キャリア研究	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	×	2024年度休講 デザイン系対象(Adobe CC/Blender所持のこと)	
	6203	キャリアデザイン研究	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	野々村 文宏	×	×	3年生対象(就活準備が必要な4年生も可) 掲示版・和光1～4での通知に注意	
学科基礎科目	理論系科目															
		6301	現代美術史基礎	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	野々村 文宏	×	○	
		6302	芸術の基礎理論	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	半田 滋男	×	○	
		6303	日本／世界写真史	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	野々村 文宏	○	○	
		6304	宗教造形論基礎	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	○	
		6305	近代デザインの基礎	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	1	2	3	4	高橋 啓祐	×	×	内容はデザイン系教員に任ず
		6306	現代デザインの基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	木村 史紅	×	○	6学科デザイン系2年推奨
		6307	クリエイティブ特別講義	2	人数制限 (抽選)	有	前期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	芸術学科教員	○	○	学科説明会および初回授業で説明 した形式(代表教員:野々村)
		6308	現代絵画論基礎1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	梶田 ちひろ	×	○	
		6309	平面表現基礎演習	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	1	2	3	4	梶田 ちひろ	×	○	旧科目名「平面表現演習」との重複履修不可
		6310	視覚芸術表現の基礎1	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	大坪 晶	×	○	
	—		視覚芸術表現の基礎2	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講 1・2連続受講が望ましい

2024年度 表現学部 芸術学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生の履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は芸術学科生以外も履修可能です。「×」は芸術学科生専用です。

芸術学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
学科基礎科目	実技・実践的科目														
	6401	デッサンA1	2	許可	—	前期	—	1	—	—	梶田 ちひろ	×	×	学科説明会で7/7発表 1・2連続履修が望ましい	
	6402	デッサンA2	2	許可	—	後期	—	1	—	—	梶田 ちひろ	×	×		
	6403	デッサンB1	2	許可	—	前期	—	1	—	—	詫摩 昭人	×	×	学科説明会で7/7発表 1・2連続履修が望ましい	
	6404	デッサンB2	2	許可	—	後期	—	1	—	—	詫摩 昭人	×	×		
	6405	デッサンC1	2	許可	—	前期	—	1	—	—	佐藤 勲	×	×	学科説明会で7/7発表 1・2連続履修が望ましい	
	6406	デッサンC2	2	許可	—	後期	—	1	—	—	佐藤 勲	×	×		
	6407	デッサンD1	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	杉内 あやの	×	○	1・2連続履修が望ましい
	6408	デッサンD2	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	杉内 あやの	×	○	
	—	絵画表現の基礎1(油彩画)	2	—	—	—	—	1	2	—	—	×	○	2024年度休講	
	6410	彫刻表現の基礎1	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	杉内 あやの	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	6411	彫刻表現の基礎2	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	杉内 あやの	○	○	1・2連続履修が望ましい
	6412	デジタルデザインの基礎[A]	2	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	里見 佳音	×	×	学科説明会で7/7発表	
	6413	デジタルデザインの基礎[B]	2	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	清水 麻美子	×	×	学科説明会で7/7発表	
	6414	デジタルデザインの基礎[C]	2	クラス指定	—	後期	—	1	—	—	清水 麻美子	×	×	学科説明会で7/7発表	
	6415	デジタルデザインの基礎[D]	2	クラス指定	—	前期	—	1	2	—	高橋 啓祐	×	×	学科説明会で7/7発表	
	6416	デザインの基礎実習	4	クラス指定	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	—	—	高谷 康	×	×	デザインの系で22年7/7指定
	—	文字とレイアウトの基礎	4	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	×	2024年度休講 PC初級以上
	—	タイポグラフィ基礎	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	×	2024年度休講
	6419	コミュニケーションデザインA	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	—	里見 佳音	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定。旧科目名「デザインコミュニケーションデザインの基礎」との重複履修不可
	6420	情報表現の基礎	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	清水 麻美子	○	×	教職課程とデザインの系優先 4月許可手続き期間に履修者決定
	6421	写真表現の基礎1(デジタル)	4	クラス指定	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	大坪 晶	○	×	1の初回授業に出席すること 1・2連続履修必須 定員8名 出席重視
	6422	写真表現の基礎2(アナログ)	4	クラス指定	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	大坪 晶	○	×	旧科目名「写真表現基礎1・2」
	6423	映像撮影・編集技法	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	高橋 啓祐	×	×	新規科目 4月許可手続き期間に履修者決定 映像の7/7初級。デザインの・映像系ゼミ優先

2024年度 表現学部 芸術学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について………「○」の授業は芸術学科生以外も履修可能です。「×」は芸術学科生専用です。

芸術学科専門科目（2016～2024年度入学生用）

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
芸術学科選択専門科目（自由履修科目）	アート系														
	6501	絵画材料の研究1	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	清瀬 ゆり亜	○	○	
	6502	絵画材料の研究2	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	有村 麻里	×	○	
	6503	絵画表現の研究A1	4	人数制限 (抽選)	有	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	桃田 ちひろ	×	○	「絵画表現の研究1」との連続履修が望ましい 旧科目名「絵画表現」との重複履修不可 4月許可手続き期間に履修者決定
	6504	絵画表現の研究A2	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	桃田 ちひろ	×	○	「絵画表現の研究1」との連続履修が望ましい 旧科目名「絵画表現」との重複履修不可 4月許可手続き期間に履修者決定
	6505	絵画表現の研究B1	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	詫摩 昭人	×	○	「絵画表現の研究1」との連続履修が望ましい 旧科目名「絵画表現」との重複履修不可 4月許可手続き期間に履修者決定
	6506	絵画表現の研究B2	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	詫摩 昭人	×	○	「絵画表現の研究1」との連続履修が望ましい 旧科目名「絵画表現」との重複履修不可 4月許可手続き期間に履修者決定
	6507	現代美術の造形技法研究1	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	佐藤 勲	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定
	6508	現代美術の造形技法研究2	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	佐藤 勲	×	○	1・2連続履修が望ましい
	—	現代美術の立体表現研究1	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	現代美術の立体表現研究2	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	1・2連続履修が望ましい
	6511	中世古典技法	4	人数制限 (抽選)	有	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	有村 麻里	○	○	旧科目名「中世古典技法（フベラで描く）」
	6512	版画技法1(銅版・木版)	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	豊泉 綾乃	○	○	
	6513	版画技法2(シルクスクリーン)	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	吉永 晴彦	○	○	
	6514	版画技法3(リトグラフ)	4	人数制限 (抽選)	有	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	吉永 晴彦	○	○	
	6515	ことばと版画	4	人数制限 (抽選)	有	通年	—	1	2	3	4	竹上 妙	○	○	旧科目名「大学版画展の実践」
	6516	日本古典技法1(墨で描く)	4	人数制限 (抽選)	有	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	酒井 祐二	○	○	1・2連続履修が望ましい
	6517	日本古典技法2(にかわで描く)	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	酒井 祐二	○	○	2は1修得者のみ履修可
	6518	日本画研究1	4	人数制限 (抽選)	有	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	酒井 祐二	○	○	1・2連続履修が望ましい
	6519	日本画研究2	4	人数制限 (抽選)	有	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	酒井 祐二	○	○	「日本古典技法1・2」を履修しておくことが望ましい
	6520	写真表現研究1	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	大坪 晶	○	×	1・2連続履修が望ましい
	6521	写真表現研究2	2	クラス指定	—	後期	—	—	—	3	4	大坪 晶	○	×	
	6522	芸術の実践	2	クラス指定	—	通年	—	1	2	3	4	佐藤勲、詫摩、野々村	○	○	不定期開催のため、掲示板に注意
	—	美術の思考(周辺について)	2	—	—	—	—	1	2	3	—	—	×	○	2024年度休講
	—	トライアル・ワーキング	4	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講
	6525	美術の輪郭	2	許可	—	前期	—	—	—	3	4	佐藤 勲	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定
	デザイン系														
	6601	コミュニケーションデザインB	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	—	里見 佳音	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定。旧科目名「デザインコミュニケーションデザイン研究」との重複履修不可
	—	タイポグラフィ研究	4	—	—	—	—	—	2	3	4	—	○	×	2024年度休講
	—	アニメーション表現論	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	×	2024年度休講
—	アートアニメーション制作	2	—	—	—	—	1	2	3	—	—	○	×	2024年度休講	

2024年度 表現学部 芸術学科 授業一覧表

2016～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は芸術学科生以外も履修可能です。「×」は芸術学科生専用です。

芸術学科専門科目 (2016～2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
芸術学科選択専門科目 (自由履修科目)	6605	色彩学	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	秋元 未奈子	×	×	「色彩研究演習」との連続履修が望ましい。4月許可手続き期間に履修者決定	
	6606	色彩研究演習	2	許可	—	後期 (隔週2コマ)	—	1	2	3	4	秋元 未奈子	×	×	「色彩学」同時履修または修得者のみ履修可。旧科目「色彩研究」との重複履修不可 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6607	デザイン描画法	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	—	里見 佳音	×	×	4月許可手続き期間に履修者決定	
	6608	イラストレーション研究	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	さかうえ だいすけ	○	○	4月許可手続き期間に履修者決定	
	6609	マンガ表現技法1	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	岡野 める	○	×	1・2連続履修が望ましい	
	6610	マンガ表現技法2	2	許可	—	後期 (隔週2コマ)	—	—	2	3	4	岡野 める	○	×	2は1修得者のみ履修可 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6611	プロダクトデザインの思考	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	高橋 秀樹	○	○	新規科目 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6612	クラフト造形の基礎	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	1	2	3	4	木村 史紅	×	×	新規科目 教職優先 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6613	映像表現技法	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	高橋 啓祐	×	×	新規科目 映像の1取得が望ましい。「映像撮影・編集技法」の許可手続きに出席のこと。4月許可手続き期間に履修者決定	
	6614	CG表現技法	2	人数制限 (抽選)	有	前期	時間割外	1	2	3	4	小林 均	○	×	PC中級(意欲があれば初級者でも可) 高年次生優先	
	6615	CGアニメーション研究	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	うもと ゆーじ	○	×	PC中級(詳細はP.67参照) 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6616	広告表現研究	4	許可	—	後期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	木村 史紅	○	×	PC中級(G学科デザイン系3・4年優先) 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6617	デザイン表現技法	2	クラス指定	—	後期	—	—	2	3	4	清水 麻美子	○	×		
	6618	WEBデザイン研究	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	飛澤・塩原	○	×	PC中～上級(詳細はP.67参照) 4月許可手続き期間に履修者決定	
	6619	グラフィックデザイン研究	4	許可	—	前期 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	木村 史紅	×	×	PC中級以上 G学科デザイン系優先 4月許可手続き期間に履修者決定	
	プランニング系															
	6701	日本美術史1(上代～近世)	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	1	2	3	4	山本 ゆかり	×	○	
	6702	日本美術史2(近代)	2	なし	—	後期	—	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	○	
	6703	文化財と保存科学	2	人数制限 (抽選)	有	後期	時間割外	—	1	2	3	4	白石 明香	×	○	
6704	製本ワークショップ	2	人数制限 (抽選)	有	集中講義	—	—	1	2	3	4	四釜 裕子	×	×		
6705	デザインと表現の歴史	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	野々村 文宏	○	○		
6706	映像の文法	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	1	2	3	4	野々村 文宏	○	○		
6707	空間をつくる	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	野々村 文宏	×	○		
6708	アートブック研究	2	なし	—	後期	—	—	1	2	3	4	野々村 文宏	×	○		
—	アート・キュレーション	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
6710	西洋美術史1	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	○		
6711	西洋美術史2	2	なし	—	後期	—	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	○		
6712	信仰と文化	2	なし	—	前期	—	—	1	2	3	4	君島 彩子	×	○		
6713	アートカタログ編集術	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	1	2	3	4	半田 滋男	×	○	PC初級～中級 掲示板に注意	
—	見えるものの歴史：視覚と造形	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	○	○	2024年度休講	

2016～2024年度入学生用

芸術学科専門科目（2016～2024年度入学生用）																	
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
<ゼミナール> 芸術学科生は事前説明会に基づき選択。2・3年次は複数科目、卒業年次生は1科目を履修できます。 卒業必修単位（4単位）修得後は自由履修単位になります。																	
ゼミナール	アート系																
	6801	現代の造形表現・立体工房	8	クラス指定	—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	佐藤 勲	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	6802	マンガ・イラスト・絵画表現工房			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	梶田 ちひろ	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	6803	現代絵画・絵画工房			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	詫摩 昭人	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	6804	現代写真・映像工房			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	大坪 晶	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定 担当教員による指定科目を履修しておくことが望ましい		
	—	版画研究			—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講		
	デザイン系																
	6811	グラフィック・デザイン	8	クラス指定	—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	木村 史紅	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定 担当教員による指定科目を履修しておくことが望ましい		
	—	情報メディア・デザイン			—	—	—	—	2	3	4	—	○	○	2024年度休講 6学科生は前年度希望票にて決定 担当教員による指定科目を履修しておくことが望ましい		
	6813	映像デザイン			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	高橋 啓祐	○	○	新規科目 6学科生は前年度希望票にて決定 担当教員による指定科目を履修しておくことが望ましい		
	6814	グラフィック・デザイン			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	里見 佳音	○	○	新規科目 6学科生は前年度希望票にて決定 担当教員による指定科目を履修しておくことが望ましい		
	プランニング系																
	6821	メディアと編集	8	クラス指定	—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	野々村 文宏	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	6822	グラフィック・アート			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	半田 滋男	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	6823	イメージを読む			—	通年 (連続2コマ)	—	—	2	3	4	君島 彩子	○	○	6学科生は前年度希望票にて決定		
	<卒業論文・卒業制作> ゼミナールの教員を主査として登録すること。																
	卒業論文・卒業制作	アート系															
		6901	卒業論文・卒業制作[佐藤勲]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	佐藤 勲	×	×		
		6902	卒業論文・卒業制作[梶田]			—	通年	—	—	—	—	4	梶田 ちひろ	×	×		
		6903	卒業論文・卒業制作[詫摩]			—	通年	—	—	—	—	4	詫摩 昭人	×	×		
6904		卒業論文・卒業制作[大坪]	—			通年	—	—	—	—	4	大坪 晶	×	×			
デザイン系																	
6911		卒業論文・卒業制作[木村]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	木村 史紅	×	×			
—		卒業論文・卒業制作			—	—	—	—	—	—	4	—	×	×	2024年度休講		
6913		卒業論文・卒業制作[高橋]			—	通年	—	—	—	—	4	高橋 啓祐	×	×			
6914		卒業論文・卒業制作[里見]			—	通年	—	—	—	—	4	里見 佳音	×	×			
プランニング系																	
6921		卒業論文・卒業制作[野々村]	10	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	野々村 文宏	×	×			
6922		卒業論文・卒業制作[半田]			—	通年	—	—	—	—	4	半田 滋男	×	×			
6923		卒業論文・卒業制作[君島]			—	通年	—	—	—	—	4	君島 彩子	×	×			

5. 取得できる資格

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得したとき、みなさんは「学士」という学位を得たことになります。芸術学科生が取得可能な免許状・資格は下記の通りです。他学科が認定を受けた免許、資格取得を希望する場合は、教学支援課窓口で相談してみてください。詳しくは資格課程の手びきを参照のこと。

中学校1種免許状（美術）

高等学校1種免許状（美術）

※上記以外の科目の教職免許状を希望する場合は、教学支援室窓口で相談をすること。

図書館司書

学校図書館司書教諭

社会教育主事

博物館学芸員

社会福祉主事（任用資格）※

※社会福祉主事とは福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される資格です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

6. 学科資料室・その他

芸術学科資料室

A棟8階のエレベーターを降りてすぐ、教員研究室に並んでいます。図書・情報館の合本とは別に雑誌やカタログ、美術館の発行した紀要などが閲覧できます。ここは芸術学科の情報発信センターでもあります。廊下の掲示板や壁面には、一面に展覧会のポスターが掲示しており、備え付けのラックには、各地の展覧会、コンテスト、セミナーやグラントの情報がびっしり詰まっています。また、室内には各地の美術館から送付されてきた展覧会招待券をストックしており、希望者に配布しています。招待券は早い者勝ちですので、毎日でもチェックしてください。

基本的に、学期中は週2～3回、10時30分から18時30分まで開室しています。またそれ以外の時間帯でも、開いていることがあります。ドア前にも開室日の掲示や書類提出箱があります。

メディア室

E棟に設置されたこの教室は、コンピュータ機器を中心とする作業場であり、もう一つのアトリエです。ここではコンピュータによる演習、研究、作品制作などを行うことができます。中でも、アート、デザイン業界の標準であるアドビのグラフィック系ソフトを備えたMac教室が3室あります。平日の9時から17時50分（最終受付17時20分）までの、授業で使用していない時間帯は、皆さんが自習に利用することが出来ます。利用方法は、E棟3階のメディア準備室か、図書・情報館のホームページで確認してください。

また、この部屋以外に図書・情報館3階にはメディアサロンがあり、多種の情報機器の他に、ポスターサイズ対応の大判インクジェットプリンターなどが設備されています。こちらは平日は20時00分まで利用できます。グラフィックソフトの入ったノートパソコン（Macintosh など）も書類手続を経て借りることができます。

感染症対策のため、利用時間やサービスを変更している場合がありますので注意してください。

ホワイトギャラリー

G棟2階の端にある小さな展示スペースです。白い壁で囲まれた空間で、絵画、グラフィック、マンガ、写真、立体等のほか、照明や暗幕を工夫することによって映像やインスタレーション、パフォーマンスイベント等を行うことができます。

芸術学科の授業関係の展示のほか、学生の個展やグループ展に利用され、ほぼ1週間単位で何かが展示されています。予約方法と予約状況については、芸術学科のホームページか芸術学科資料室にて確認してください。

2024年度入学生 **経済経営学部 経済学科**

1. 経済学科の特徴 P 234

2. 卒業要件と履修要領 P 235

3. 専門科目の説明と履修上の注意 P 237

4. 授業一覧表 P 239

経済経営学部

経済経営学部の 研究対象

経済経営学部は経済学科と経営学科という2つの学科から構成されています。経済学は、財とお金の流れを通して社会の仕組みを解明する学問であり、経営学は、企業を始めとするさまざまな組織を運営するための知識と技能を修得する学問です。そして、両者は密接に結びついています。社会の仕組みを知らなければ、組織を運営することはできません。組織運営の実際が分からなければ、社会の仕組みを明らかにすることはできません。

こうした観点から、経済経営学部では、総合的で実践的なカリキュラムが用意されており、経済学科と経営学科が互いに協力しながら、授業を運営しています。

自発的・自立的な 学習の要請

本学は、建学以来、「自由な研究と学習の共同体」であることを理念に掲げてきました。教職員と学生がともに自由な立場で「研究と学習」に勤しみ、その営みを通じて大学という「共同体」がかたちづくられることを意味しています。皆さんには、自発的で自立的な研究と学習が期待されているのです。

したがって、本学において有意義な学生生活を送るためには、学習計画を主体的に組み立てること、自主的に授業に取り組むこと、そしてみずからの問題意識をつねに持ち続けることが大切です。

学生は学習権の主体者です。このことを忘れずに、学業に励んでください。

1. 経済学科の特徴

(1) 4年間を通じた キャリア教育

経済学は、希少な資源を使ってどのような財がどれだけ生産されるのか、生産された財がどのように流通して行くのか、生産活動を通じて生じた富が誰にどれだけ分配されるのかを解明する学問です。生活者として、働く人としての判断力を養うことを主たる目的としています。

経済学科では、1年次から4年次まで「キャリア研究」という必修科目の授業を受けます。「キャリア研究」では、数人でチームを組んで課題に取り組むグループ・ワークなどを通じて、就職の際に必要とされるコミュニケーション能力や発言力を磨くと共に、資格取得にチャレンジしたり、一般教養の講座を受けることによって、高い社会人基礎力を身につけます。

(2) コア・クラスを 通じた学修指導

上述したように、経済学科では、1年次から4年次まで「キャリア研究」という授業を受けます。「キャリア研究1a・b」、「キャリア研究2a・b」は年度ごとにクラス替えが行われます。「キャリア研究」は、社会人基礎力を磨く場であると同時に、学修指導や生活指導を受ける場でもあります。「キャリア研究」のクラスは大学生活の中心となるクラスという意味でコア・クラスと呼ばれ、1年次のときの担当教員は、4年間を通じてコア・クラス・ティーチャー(C.C.T.)となります。C.C.T.は、いわば中学校や高等学校のクラス担任に相当する存在です。分からないことや相談したいことがあるときには、C.C.T.と連絡をとってください。

(3) ゼミナールと卒 業論文による専 門教育

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」を設けています。「ゼミナールⅠ・Ⅱ」では、担当教員の指導の下、自分が選んだ分野を能動的、専門的に研究します。少人数の個別指導が行われる「ゼミナールⅠ・Ⅱ」は、大学における学修の中心となります。3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」の単位を修得した学生は、4年次に同じ担当教員の下で「卒業論文」を履修することができます。「卒業論文」では、個別指導を通じて研究を深化させた上で、研究の成果を論文等にまとめます。

(4) 実践的・総合的 な学習

経済学科では、専門科目で学んだ理論や知識をより深化させることを目的として、「フィールドワークA・B」、「インターンシップ」、「ワークショップ」など実践的な科目を設置しています。また、1年次には「はじめての経済学」を設置し、経済学を総合的に理解する機会を提供しています。学生の皆さんには、これらの制度を積極的に利用し、実社会で役に立つ知識と能力を養成することが望まれます。

2. 卒業要件と履修要領

(1) 卒業要件

和光大学では単位制を採っています。卒業するまでに、各課程から決められた数の単位を修得しなければなりません。単位は、履修登録した科目について、決められた基準を超える成績を得ることで修得できます。

《2024年度入学生 経済学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	必修専門科目		12単位	
	キャリア研究		8単位	
	選択専門科目 全て経済学科選択専門科目単位として修得すること	●	40単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部他学科専門科目 (全学開講欄が○のもの) 注) 資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		40単位	

(2) 履修の要領

- 卒業に必要な単位を修得するにあたって、特に次の点に注意してください。
- ①合計で124単位を修得すること。
 - ②各課程の必要単位数を修得すること。
 - ③必修科目の単位を修得すること。
 - ④就職活動に必要とされる「卒業見込証明書」を4年次前期に発行できるように履修計画を立てること (卒業見込証明書の発行基準はP29を参照)。
 - ⑤各授業の履修可能学年に注意し、履修計画を立てるにあたって分からないことがあるときは、コア・クラス・ティーチャー (C. C. T.)、教学支援課、教学支援担当教員に質問・相談してください。

(3) 共通教養課程

必要単位

共通教養課程は、全学部に通じて開かれている課程です。幅広い知識と深い教養の修得を目的とし、さまざまな学問領域の科目が開講されています。

受講学年

卒業までに最低20単位を修得しなければなりません。20単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目 (40単位)」に充当されます。

授業ごとに設定された履修可能学年を守ればどの学年で履修しても構いませんが、経済学科専門課程のカリキュラムは高学年になるほど専門性が高まるよう構成されていますので、1～2年次において積極的に履修することを推奨します。

(4) 外国語課程

必要単位

外国語課程は、全学部に通じて開かれている課程です。英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、日本語 (留学生対象) を学ぶことができます。

受講学年

卒業までに、同一外国語で4単位を修得しなければなりません。例えば、英語で2単位、中国語で2単位といった単位の修得方法では、「外国語科目」の卒業要件を満たしません。4単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目 (40単位)」に充当されます。

授業ごとに設定された要件 (1年次にしか履修できない・複数の授業をセットで履修しなければならないなど) を守って履修してください。1～2年次において積極的に履修することを推奨します。手続きの詳細については外国語課程のページを参照してください。

(5) キャリア研究

クラス分け

キャリア研究は必修科目です。全員が必ず履修し、単位を修得しなければなりません。1～4までを4年間かけて履修します(下表参照)。単位を修得することができなかった場合には、再履修しなければなりません。

「キャリア研究1 a・1 b」、「キャリア研究2 a・2 b」では、それぞれ複数のクラスが開講されます。クラス分けは、各年度初めに学科説明会、掲示板、和光ポータルでお知らせします。各自、自分がどのクラスに属するかを確認してください。

「キャリア研究3 a・3 b」、「キャリア研究4 a・4 b」は、1クラスです。

履修学年	科目名	開講期	単位数
1 年次	キャリア研究1 a	前期	1 単位
	キャリア研究1 b	後期	1 単位
2 年次	キャリア研究2 a	前期	1 単位
	キャリア研究2 b	後期	1 単位
3 年次	キャリア研究3 a	前期	1 単位
	キャリア研究3 b	後期	1 単位
4 年次	キャリア研究4 a	前期	1 単位
	キャリア研究4 b	後期	1 単位

(6) 必修専門科目

必修専門科目は、全員が必ず履修し、単位を修得しなければならない科目です。経済学科の必修専門科目は下表の通りです。単位を修得することができなかった場合には、翌年度に再履修しなければなりません。

履修学年	科目名	開講期	単位数
1 年次	ミクロ経済学Ⅰ	前期	2 単位
	ミクロ経済学Ⅱ	後期	2 単位
	マクロ経済学Ⅰ	前期	2 単位
	マクロ経済学Ⅱ	後期	2 単位
2 年次	現代経済史Ⅰ	前期	2 単位
	現代経済史Ⅱ	後期	2 単位

(7) 選択専門科目

必要単位

卒業するまでに、経済学科選択専門科目から40単位以上を修得しないといけません。40単位を超えて修得した単位は「自由履修科目 (40単位)」に充当されます。

(8) 自由履修科目

単位の数え方

自由履修科目として40単位以上の修得が必要です。

「自由履修科目」については、下記に示す科目の単位が充当されます。

- ・共通教養科目より、20単位を超過した単位
- ・外国語科目より、4 単位を超過した単位
- ・選択専門科目より、40単位を超過した単位
- ・現代人間学部・表現学部専門科目、経営学科専門科目

注意すべき点

現代人間学部・表現学部専門科目、経営学科専門科目については、「全学開講」欄が「○」となっている授業を履修可能です。ただし、授業ごとに履修できる条件は異なりますので、各課程の「授業一覧表」をよく確認してください。

3. 専門科目の説明 と履修上の注意

(1) ゼミナールと 卒業論文

入室方法

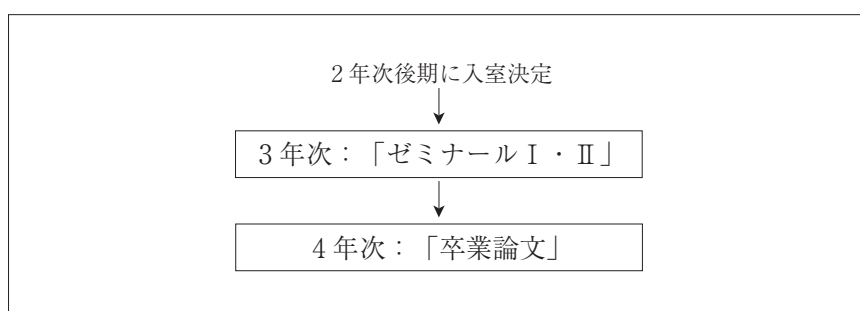
位置づけ

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」が設置されています。ゼミナールでは、1つの研究室に所属し、少人数の参加型授業を通して、1つの学問領域を専門的に研究します。

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」の単位を修得した学生は、4年次に同じ研究室の「卒業論文」を履修することができます。卒業論文では、3年次に研究した学問の理解をさらに深め、それを大学での学修の集大成として論文等にまとめます。

異なった研究領域を持つ複数の研究室が開設されています。研究室に所属するには、入室選考を受け、担当教員の許可を得なければなりません。2年次の後期に説明会と入室選考が行われますので、入室の機会を逃さないよう注意してください。

「ゼミナールⅠ・Ⅱ」は、大学における学修の中心に位置づけられています。必修科目ではありませんが、積極的に履修をし、学修の充実に役立ててください。



(2) フィールドワーク

「フィールドワークA・B」は、実際に見聞したり体験したりすることを通じて経済学の理解をより深めることを目的とした授業です。通常の授業に加えて、学外研修によって構成されています。学外研修では、地域視察、施設見学、聞き取り調査、アンケート調査などを行います。「フィールドワークA・B」は2年次から履修することができます。

(3) インターンシップ

「インターンシップ」では、前期中にビジネスマナー講座や業界研究の授業を受け、夏休み中に企業や団体で所定の期間、就業体験をします。職業選択や職業生活への理解を深めるとともに、専攻分野と実社会との関連を理解することを目的としています。「インターンシップ」は3年次生のみ履修することができます。

(4) ワークショップ

「ワークショップ」は、専門科目をより深く学ぶために設けられている授業です。少人数参加型で行うことを特徴としています。授業形態（実習、講義、制作）や履修可能学年は授業ごとに異なりますので留意してください。

※フィールドワーク、インターンシップについては、社会情勢等により、実施形態が変更されたり、講義が開講されなかったりする可能性があります。

(5) 公務員対策プログラム

国家公務員、地方公務員、警察官、消防官をめざす学生のためのプログラムです。本プログラムで設定されている科目は卒業必要単位として認定されます。また、模擬試験の実施、夏期休暇を利用した集中勉強合宿、個人指導による学習相談や2次試験面接対応など、「合格」に結びつく徹底した採用試験対策を行います。プログラムへの参加の仕方については、4月に行われるガイダンス（プログラム説明会）に参加して確認してください。（ガイダンスの開催に代えて説明用動画を配信する場合があります）

(6) はじめての経済学

「はじめての経済学」は、経済学を体系的、総合的に学習するために設けられている授業です。経済学科所属の専任教員がリレー方式で交代に講義を行い、経済学科の主要専門科目のエッセンスを紹介します。1年次生のみ履修することができます。

(7) 学生のための情報活用法

大学での学修や研究には、文献や資料を収集する能力、そうした情報を読み解く能力、そしてそれらの情報を体系的にまとめる能力が必要不可欠です。「学生のための情報活用法」では、パソコンなどを使った実習を通じて、4年間の学生生活に有用な能力を身につけます。1年次生のみ履修することができます。

(8) 取得できる資格・免許状の種類

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得すれば、学士の学位が得られることになっています。学士の学位を得た者が、各々の課程に定められた必要な授業科目のいくつかを学科のなかで学修し、必要な単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位修得証明書を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

経済学科生が取得できる免許状・資格は次のとおりです。

社会 中学校教諭一種免許状
地理歴史 高等学校教諭一種免許状
公民 高等学校教諭一種免許状

学校図書館司書教諭
図書館司書
博物館学芸員
社会教育主事（社会教育士）

また、本学では福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される「社会福祉主事（任用資格）」を取得することができます。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
＜必修科目＞ 再履修の学生は、経済学科説明会に参加して、説明を受けてください。																
必修科目	必修専門科目	7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	×	7001と同時開講 経済学科生以外が対象
		7002	ミクロ経済学Ⅰ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	○	
		7003	ミクロ経済学Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	×	7003と同時開講 経済学科生以外が対象
		7004	ミクロ経済学Ⅱ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	○	
		7005	マクロ経済学Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	×	7005と同時開講 経済学科生以外が対象
		7006	マクロ経済学Ⅰ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7007	マクロ経済学Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	×	7007と同時開講 経済学科生以外が対象
		7008	マクロ経済学Ⅱ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7009	現代経済史Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	×	7009と同時開講 経済学科生以外が対象
		7010	現代経済史Ⅰ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○	
		7011	現代経済史Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	×	7011と同時開講 経済学科生以外が対象
		7012	現代経済史Ⅱ [他学科生]	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○	
	キャリア研究1	＜キャリア研究1＞ 入学時に決定したクラスを履修してください。														
		7101	キャリア研究1a [伊藤]	1	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	×	新規科目
		7102	キャリア研究1a [上野隆]	1			前期	—	1	2	3	4	上野 隆生	×	×	新規科目
		7103	キャリア研究1a [加藤巖]	1			前期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	×	新規科目
		7106	キャリア研究1a [棚井]	1			前期	—	1	2	3	4	棚井 仁	×	×	新規科目
		7104	キャリア研究1a [徳永]	1			前期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	×	新規科目
		7105	キャリア研究1a [日臺]	1			前期	—	1	2	3	4	日臺 健雄	×	×	新規科目
		—	キャリア研究1a [再履修生]	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		7111	キャリア研究1b [伊藤]	1			後期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	×	新規科目
		7112	キャリア研究1b [上野隆]	1			後期	—	1	2	3	4	上野 隆生	×	×	新規科目
		7113	キャリア研究1b [加藤巖]	1			後期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	×	新規科目
		7116	キャリア研究1b [棚井]	1			後期	—	1	2	3	4	棚井 仁	×	×	新規科目
		7114	キャリア研究1b [徳永]	1			後期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	×	新規科目
		7115	キャリア研究1b [日臺]	1			後期	—	1	2	3	4	日臺 健雄	×	×	新規科目
		—	キャリア研究1b [再履修生]	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
＜必修科目＞ 再履修の学生は、経済学科説明会に参加して、説明を受けてください。																
必修科目	キャリア研究2	＜キャリア研究2＞ クラス編成は、学科説明会で発表されます。掲示板も確認してください。														
		—	キャリア研究 2a	1	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a	1			前期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2a [再履修生]	1			前期	—	—	3	4	—	×	×	2026年度から開講	
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b	1			後期	—	—	2	3	4	—	×	×	2025年度から開講
		—	キャリア研究 2b [再履修生]	1			後期	—	—	3	4	—	×	×	2026年度から開講	
	キャリア研究3	＜キャリア研究3＞														
		—	キャリア研究 3a	1	クラス指定必修	—	前期	—	—	3	4	—	×	×	2026年度から開講	
		—	キャリア研究 3a [再履修生]	1			前期	—	—	4	—	×	×	2027年度から開講		
		—	キャリア研究 3b	1			後期	—	—	3	4	—	×	×	2026年度から開講	
	—	キャリア研究 3b [再履修生]	1	後期			—	—	4	—	×	×	2027年度から開講			
	キャリア研究4	＜キャリア研究4＞														
		—	キャリア研究 4a	1	クラス指定必修	—	前期	—	—	4	—	×	×	2027年度から開講 再履修生も対象となる場合があります。		
		—	キャリア研究 4a [再履修生]	1			後期	—	—	4	—	×	×	2027年度から開講		
		—	キャリア研究 4b	1			後期	—	—	4	—	×	×	2027年度から開講 再履修生も対象となる場合があります。		
		—	キャリア研究 4b [再履修生]	1			前期	—	—	4	—	×	×	2028年度から開講		

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
<選択専門科目>															
選択専門科目 ↓	選択専門科目 ↓	7301 はじめての経済学	2	なし	—	前期	—	1	—	—	—	経済学科教員	×	○	
		7302 学生のための情報活用法	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	—	—	—	経済学科教員	×	×	
		7303 ビジネス英語A	1	なし	—	前期	—	1	2	3	4	イシイ ヨウスケ	×	○	
		7304 ビジネス英語B	1	なし	—	後期	—	1	2	3	4	イシイ ヨウスケ	×	○	
		7305 エンターテインメントと地域社会A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7306 エンターテインメントと地域社会B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7307 ファッションと経済A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7308 ファッションと経済B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7309 法学概論Ⅰ (国際法を含む)	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7310 法学概論Ⅱ (国際法を含む)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7311 環境学A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	○	
		7312 環境学B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	○	
		7313 環境政策	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	田上 貴彦	×	○	
		7314 世界の環境システム	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	田上 貴彦	×	○	
		7315 政治と思想	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	森分 大輔	×	○	
		7316 先進国における格差・貧困	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	其田 茂樹	×	○	
		7317 海外投資論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	○	
		7320 パーソナル・ファイナンス	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7321 ファイナンシャル・プランニング	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7318 ツーリズム経済論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	永石 尚子	×	○	「観光学」より科目名変更
		7322 ツーリズム人材論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	永石 尚子	×	○	新規科目
		7357 経済学史Ⅰ	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	吉本 惣一	×	○	
		7358 経済学史Ⅱ	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	吉本 惣一	×	○	
		7364 統計学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	平井 太規	×	○	
		7365 経済統計	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	平井 太規	×	○	
		7471 データサイエンスA	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	池内 健太	×	○	「コンピュータ」より科目名変更
		7472 データサイエンスB	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	池内 健太	×	○	「コンピュータ」より科目名変更
		7378 政治のシステムA (国際政治を含む)	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 誉明	×	○	
		7379 政治のシステムB (国際政治を含む)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 誉明	×	○	
		7395 経済地理	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	渡邊 圭一	×	○	
		7396 グローバル経済と世界都市	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	渡邊 圭一	×	○	
		7397 行政学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 誉明	×	○	
		7398 行政の組織と運用	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 誉明	×	○	
		7351 国際関係論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	上野 隆生	×	○	
		7352 日本政治史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 隆生	×	○	
		7353 憲法Ⅰ	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7354 憲法Ⅱ	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7380 民法A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	亀田 浩一郎	×	○	
		7381 民法B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	亀田 浩一郎	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について………「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																	
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	7355	日本経済史A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○		
		7356	日本経済史B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	
		7359	現代経済理論A (国際経済を含む)	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7360	現代経済理論B (国際経済を含む)	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7361	現代日本経済論A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7362	現代日本経済論B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7363	国際経済学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	加藤 巖	×	○	
		7323	農業経済学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	「現代農業経済論」より科目名変更
		—	農林業再生論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	アジアの農林業問題	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	欧米の農林業問題	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7368	資源エネルギー論Ⅰ	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7369	資源エネルギー論Ⅱ	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7370	環境経済学A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7371	環境経済学B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7372	社会政策	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	堀川 祐里	×	○	
		—	日本の社会保障	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7374	金融論A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融論」より科目名変更
		7324	金融論B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融論」より科目名変更
		7377	財政学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	
		7376	公共経済学	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	
		7382	フィールドワークA (ファッションと経済)	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7383	フィールドワークB (ファッションと経済)	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		—	フィールドワークA (環境学)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	フィールドワークB (環境学)	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	公共政策A	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	公共政策B	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7386	経済政策	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7387	計量経済学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7388	産業組織論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7389	現代企業の生態	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7390	都市経済学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	浅利 隆文	×	○	
		7391	不動産経済論	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	浅利 隆文	×	○	
		7392	エンターテインメント経済学A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7393	エンターテインメント経済学B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7394	ファッション経済学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複 履修	全学 開講	備考	
								1 年	2 年	3 年	4 年					
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	7399 環境法A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	桑原 勇進	×	○		
		7400 環境法B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	桑原 勇進	×	○	
		7401 ライフサイクルアセスメント	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		— ソーシャル・マナー演習	2	—	—	前期	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— ライフ・ディベロップメント	2	—	—	前期	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7404 ビジネス・マナー演習	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	津田 典子	×	○	
		7405 キャリア・ディベロップメント	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	津田 典子	×	○	
		7325 キャリア形成論A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7326 キャリア形成論B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7319 ホスピタリティ論	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	永石 尚子	×	○	
		7327 ホスピタリティ・サービス論	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	永石 尚子	×	○	新規科目
		7406 労働経済学A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	国府 俊一郎	×	○	
		7407 労働経済学B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	国府 俊一郎	×	○	
		— 行動経済学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 地球資源論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 生態系の保全	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 人間行動学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 人間社会と生命科学	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 経済政策史	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7328 農業経済史	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	
		7329 社会経済学A	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7330 社会経済学B	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7331 経済哲学	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7332 経済倫理	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7459 社会福祉	2	なし	—	後期	—	—	—	2	3	4	柴崎 祐美	×	○	
		— コミュニティケア論	2	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7466 ソ連経済の歴史と現代ロシア経済	2	なし	—	前期	—	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○	
		7453 キャリア・マネジメントA	2	なし	—	前期	—	—	—	—	3	4	永石 尚子	×	○	「キャリア・マネジメント」より科目名変更
		7333 キャリア・マネジメントB	2	なし	—	後期	—	—	—	—	3	4	永石 尚子	×	○	「キャリア・マネジメント」より科目名変更
		7463 キャリア研究特論A	2	なし	—	前期	—	—	—	—	3	4	新保 友恵	×	○	
		7464 キャリア研究特論B	2	なし	—	後期	—	—	—	—	3	4	新保 友恵	×	○	
		7454 インターンシップ	4	なし	—	通年	—	—	—	—	3	—	伊藤 隆治	×	×	
		7334 資本市場論	2	なし	—	前期	—	—	—	—	3	4	梶原 真紀	×	○	新規科目
		7375 国際金融論	2	なし	—	後期	—	—	—	—	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融政策論」より科目名変更
		7455 開発経済学	2	なし	—	前期	—	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		7456 世界の不平等問題	2	なし	—	後期	—	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																	
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
↑ 選択専門科目 ↓		— グローバル化の経済史	2	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 財政史	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 地方財政論	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 租税論	2	—	—	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	公務員講座	＜公務員試験対策＞ 履修希望者は学科説明会時に配布されたガイダンス資料を確認すること。															
		7498	公務員講座（行政学基礎）	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	新規科目	
		7494	公務員講座（数的処理基礎）	2	なし	—	後期	時間割内	1	2	3	4	半谷 俊彦	×	○		
		7483	公務員講座（英文理解）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7484	公務員講座（文章理解）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	瀧口 雅仁	×	○		
		7485	公務員講座（日本史）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7486	公務員講座（世界史）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7487	公務員講座（地理）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7488	公務員講座（政治）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	古川 晴之	×	○		
		7489	公務員講座（法律）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	古川 晴之	×	○		
		7490	公務員講座（経済）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7491	公務員講座（社会）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7481	公務員講座（数的処理A）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	牛田 勝弘	×	○		
		7482	公務員講座（数的処理B）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	牛田 勝弘	×	○		
		7492	公務員講座（小論文）	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	瀧口 雅仁	×	○		
		7493	公務員講座（公共セクター研究）	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	1	1	4	経済学科教員	×	○		
	ワークショップ	＜ワークショップ＞															
		7495	ワークショップ（グローバル人材養成）	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	○		
		7496	ワークショップ（ファッション経済学）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○		
		7499	ワークショップ（経済学史）	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目	
		—	ワークショップ（キャリア・マネジメント）	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について………「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	ゼミナール	<ゼミナール> 入室にあたっては掲示板を確認すること。														
		7201	ゼミナールⅠ [エンターテインメント経済学]	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7202	ゼミナールⅡ [エンターテインメント経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [公共政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [公共政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7205	ゼミナールⅠ [資源エネルギー論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7206	ゼミナールⅡ [資源エネルギー論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7207	ゼミナールⅠ [国際関係論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	上野 隆生	×	○	
		7208	ゼミナールⅡ [国際関係論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	上野 隆生	×	○	
		7209	ゼミナールⅠ [国際経済学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		7210	ゼミナールⅡ [国際経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [日本経済史]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [日本経済史]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7213	ゼミナールⅠ [環境経済学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7214	ゼミナールⅡ [環境経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7215	ゼミナールⅠ [現代経済理論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7216	ゼミナールⅡ [現代経済理論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7217	ゼミナールⅠ [憲法学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7218	ゼミナールⅡ [憲法学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	徳永 貴志	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [公共経済学]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [公共経済学]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅠ [社会政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [社会政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7223	ゼミナールⅠ [現代経済史]	2		—	前期	—	—	—	3	4	日臺 健雄	×	○	
		7224	ゼミナールⅡ [現代経済史]	2		—	後期	—	—	—	3	4	日臺 健雄	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [現代農業経済論]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [現代農業経済論]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
↑ 選 択 専 門 科 目	卒 業 論 文	＜卒業論文＞ 履修希望者は前年度ゼミナール担当教員に確認すること。													
		7251	卒業論文 [エンターテインメント経済学]	4	クラス 指定	—	通年	—	—	—	4	伊藤 隆治	×	○	
		7252	卒業論文 [公共政策]	4		—	通年	—	—	—	4	棚井 仁	×	○	
		7253	卒業論文 [資源エネルギー論]	4		—	通年	—	—	—	4	岩間 剛一	×	○	
		—	卒業論文 [国際関係論]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7255	卒業論文 [国際経済学]	4		—	通年	—	—	—	4	加藤 巖	×	○	
		—	卒業論文 [日本経済史]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7257	卒業論文 [環境経済学]	4		—	通年	—	—	—	4	清水 雅貴	×	○	
		—	卒業論文 [社会政策]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7260	卒業論文 [憲法学]	4		—	通年	—	—	—	4	徳永 貴志	×	○	
		7261	卒業論文 [現代経済理論]	4		—	通年	—	—	—	4	坪井 美都紀	×	○	
		—	卒業論文 [公共経済学]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7263	卒業論文 [現代経済史]	4		—	通年	—	—	—	4	日臺 健雄	×	○	
		—	卒業論文 [現代農業経済論]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講

2017～2023年度入学生

経済経営学部 経済学科

1. 経済学科の特徴

..... P 248

2. 卒業要件と履修要領

..... P 249

3. 専門科目の説明と履修上の注意

..... P 251

4. 授業一覧表

..... P 253

経済経営学部

経済経営学部の 研究対象

経済経営学部は経済学科と経営学科という2つの学科から構成されています。経済学は、財とお金の流れを通して社会の仕組みを解明する学問であり、経営学は、企業を始めとするさまざまな組織を運営するための知識と技能を修得する学問です。そして、両者は密接に結びついています。社会の仕組みを知らなければ、組織を運営することはできません。組織運営の実際が分からなければ、社会の仕組みを明らかにすることはできません。

こうした観点から、経済経営学部では、総合的で実践的なカリキュラムが用意されており、経済学科と経営学科が互いに協力しながら、授業を運営しています。

自発的・自立的な 学習の要請

本学は、建学以来、「自由な研究と学習の共同体」であることを理念に掲げてきました。教職員と学生がともに自由な立場で「研究と学習」に勤しみ、その営みを通じて大学という「共同体」がカタチづくられることを意味しています。皆さんには、自発的で自立的な研究と学習が期待されているのです。

したがって、本学において有意義な学生生活を送るためには、学習計画を主体的に組み立てること、自主的に授業に取り組むこと、そしてみずからの問題意識をつねに持ち続けることが大切です。

学生は学習権の主体者です。このことを忘れずに、学業に励んでください。

1. 経済学科の特徴

(1) 4年間を通じた キャリア教育

経済学は、希少な資源を使ってどのような財がどれだけ生産されるのか、生産された財がどのように流通して行くのか、生産活動を通じて生じた富が誰にどれだけ分配されるのかを解明する学問です。生活者として、働く人としての判断力を養うことを主たる目的としています。

経済学科では、1年次から3年次まで「キャリア研究」という必修科目の授業を受けます。「キャリア研究」では、数人でチームを組んで課題に取り組むグループ・ワークなどを通じて、就職の際に必要とされるコミュニケーション能力や発言力を磨くと共に、資格取得にチャレンジしたり、一般教養の講座を受けることによって、高い社会人基礎力を身につけます。

(2) コア・クラスを 通じた学修指導

上述したように、経済学科では、1年次から3年次まで「キャリア研究」という授業を受けます。「キャリア研究」は年度ごとにクラス替えが行われます。「キャリア研究」は、社会人基礎力を磨く場であると同時に、学修指導や生活指導を受ける場でもあります。「キャリア研究」のクラスは大学生活の中心となるクラスという意味でコア・クラスと呼ばれ、1年次のときの担当教員は、4年間を通じてコア・クラス・ティーチャー (C. C. T.) となります。C. C. T. は、いわば中学校や高等学校のクラス担任に相当する存在です。分からないことや相談したいことがあるときには、C. C. T. と連絡をとってください。

(3) ゼミナールと卒業論文による専門教育

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」を設けています。「ゼミナールⅠ・Ⅱ」では、担当教員の指導の下、自分が選んだ分野を能動的、専門的に研究します。少人数の個別指導が行われる「ゼミナールⅠ・Ⅱ」は、大学における学修の中心となります。3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」の単位を修得した学生は、4年次に同じ担当教員の下で「卒業論文」を履修することができます。「卒業論文」では、個別指導を通じて研究を深化させた上で、研究の成果を論文等にまとめます。

(4) 実践的・総合的な学習

経済学科では、専門科目で学んだ理論や知識をより深化させることを目的として、「フィールドワークA・B」、「インターンシップ」、「ワークショップ」など実践的な科目を設置しています。また、1年次には「はじめての経済学」を設置し、経済学を総合的に理解する機会を提供しています。学生の皆さんには、これらの制度を積極的に利用し、実社会で役に立つ知識と能力を養成することが望まれます。

2. 卒業要件と履修要領

(1) 卒業要件

和光大学では単位制を採っています。卒業するまでに、各課程から決められた数の単位を修得しなければなりません。単位は、履修登録した科目について、決められた基準を超える成績を得ることで修得できます。

《2017～2023年度入学生 経済学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

			小計	合計
共通教養科目		●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	同一外国語で	●	4単位	
専門科目	必修専門科目		12単位	
	キャリア研究		12単位	
	選択専門科目 うち経済学科の選択専門科目12単位 うち経済学科または経営学科の選択専門科目24単位	●	36単位	
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部専門科目 (全学開講欄が○のもの) 注) 資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		40単位	

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

卒業に必要な単位を修得するにあたって、特に次の点に注意してください。

- ①合計で124単位を修得すること。
- ②各課程の必要単位数を修得すること。
- ③必修科目の単位を修得すること。
- ④就職活動に必要とされる「卒業見込証明書」を4年次前期に発行できるように履修計画を立てること (卒業見込証明書の発行基準はP29を参照)。
- ⑤各授業の履修可能学年に注意し、履修計画を立てるにあたって分からないことがあるときは、コア・クラス・ティーチャー (C. C. T.)、教学支援課、教学支援担当教員に質問・相談してください。

(3) 共通教養課程

共通教養課程は、全学部に通じて開かれている課程です。幅広い知識と深い教養の修得を目的とし、さまざまな学問領域の科目が開講されています。

必要単位 卒業までに最低20単位を修得しなければなりません。20単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目 (40単位)」に充当されます。

受講学年 授業ごとに設定された履修可能学年を守ればどの学年で履修しても構いませんが、経済学科専門課程のカリキュラムは高学年になるほど専門性が高まるよう構成されていますので、1～2年次において積極的に履修することを推奨します。

(4) 外国語課程

外国語課程は、全学部に通じて開かれている課程です。英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、日本語 (留学生対象) を学ぶことができます。

必要単位 卒業までに、同一外国語で4単位を修得しなければなりません。例えば、英語で2単位、中国語で2単位といった単位の修得方法では、「外国語科目」の卒業要件を満たしません。4単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目 (40単位)」に充当されます。

受講学年 授業ごとに設定された要件 (1年次にしか履修できない・複数の授業をセットで履修しなければならないなど) を守って履修してください。1～2年次において積極的に履修することを推奨します。手続きの詳細については外国語課程のページを参照してください。

(5) キャリア研究

クラス分け

キャリア研究は必修科目です。全員が必ず履修し、単位を修得しなければなりません。Ⅰ～Ⅲまでを3年間かけて履修します(下表参照)。単位を修得することができなかった場合には、翌年度に再履修しなければなりません。

「キャリア研究Ⅰ a・Ⅰ b」、「キャリア研究Ⅱ a・Ⅱ b」では、それぞれ複数のクラスが開講されます。クラス分けは、各年度初めに学科説明会、掲示板、和光ポータルでお知らせします。各自、自分がどのクラスに属するかを確認してください。

「キャリア研究Ⅲ a・Ⅲ b」は、1クラスです。

履修学年	科目名	開講期	単位数
1 年次	キャリア研究Ⅰ a	前期	2 単位
	キャリア研究Ⅰ b	後期	2 単位
2 年次	キャリア研究Ⅱ a	前期	2 単位
	キャリア研究Ⅱ b	後期	2 単位
3 年次	キャリア研究Ⅲ a	前期	2 単位
	キャリア研究Ⅲ b	後期	2 単位

(6) 必修専門科目

必修専門科目は、全員が必ず履修し、単位を修得しなければならない科目です。経済学科の必修専門科目は下表の通りです。単位を修得することができなかった場合には、翌年度に再履修しなければなりません。

履修学年	科目名	開講期	単位数
1 年次	ミクロ経済学Ⅰ	前期	2 単位
	ミクロ経済学Ⅱ	後期	2 単位
	マクロ経済学Ⅰ	前期	2 単位
	マクロ経済学Ⅱ	後期	2 単位
2 年次	現代経済史Ⅰ	前期	2 単位
	現代経済史Ⅱ	後期	2 単位

(7) 選択専門科目

必要単位

卒業するまでに、経済学科選択専門科目から12単位を修得した上で、経済学科または経営学科の選択専門科目から24単位以上を修得しないといけません。選択専門科目で合計36単位を超えて修得した単位は「自由履修科目(40単位)」に充当されます。

(8) 自由履修科目

単位の数え方

自由履修科目として40単位以上の修得が必要です。

「自由履修科目」については、下記に示す科目の単位が充当されます。

- ・共通教養科目より、20単位を超過した単位
- ・外国語科目より、4単位を超過した単位
- ・選択専門科目より、36単位を超過した単位
- ・現代人間学部・表現学部専門科目

注意すべき点

現代人間学部・表現学部専門科目、経営学科専門科目については、「全学開講」欄が「○」となっている授業を履修可能です。ただし、授業ごとに履修できる条件は異なりますので、各課程の「授業一覧表」をよく確認してください。

3. 専門科目の説明 と履修上の注意

(1) ゼミナールと 卒業論文

入室方法

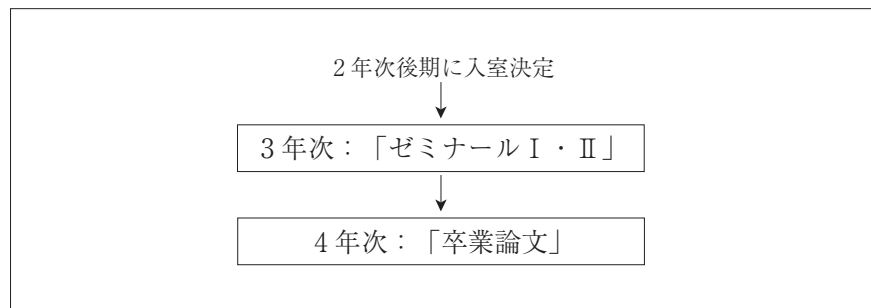
位置づけ

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」が設置されています。ゼミナールでは、1つの研究室に所属し、少人数の参加型授業を通して、1つの学問領域を専門的に研究します。

3年次に「ゼミナールⅠ・Ⅱ」の単位を修得した学生は、4年次に同じ研究室の「卒業論文」を履修することができます。卒業論文では、3年次に研究した学問の理解をさらに深め、それを大学での学修の集大成として論文等にまとめます。

異なった研究領域を持つ複数の研究室が開設されています。研究室に所属するには、入室選考を受け、担当教員の許可を得なければなりません。2年次の後期に説明会と入室選考が行われますので、入室の機会を逃さないよう注意してください。

「ゼミナールⅠ・Ⅱ」は、大学における学修の中心に位置づけられています。必修科目ではありませんが、積極的に履修をし、学修の充実に役立ててください。



(2) フィールドワーク

「フィールドワークA・B」は、実際に見聞したり体験したりすることを通じて経済学の理解をより深めることを目的とした授業です。通常の授業に加えて、学外研修によって構成されています。学外研修では、地域視察、施設見学、聞き取り調査、アンケート調査などを行います。「フィールドワークA・B」は2年次から履修することができます。

(3) インターンシップ

「インターンシップ」では、前期中にビジネスマナー講座や業界研究の授業を受け、夏休み中に企業や団体で所定の期間、就業体験をします。職業選択や職業生活への理解を深めるとともに、専攻分野と実社会との関連を理解することを目的としています。「インターンシップ」は3年次生のみ履修することができます。

(4) ワークショップ

「ワークショップ」は、専門科目をより深く学ぶために設けられている授業です。少人数参加型で行うことを特徴としています。授業形態（実習、講義、制作）や履修可能学年は授業ごとに異なりますので留意してください。

※フィールドワーク、インターンシップについては、社会情勢等により、実施形態が変更されたり、講義が開講されなかったりする可能性があります。

(5) 公務員対策プログラム

国家公務員、地方公務員、警察官、消防官をめざす学生のためのプログラムです。本プログラムで設定されている科目は卒業必要単位として認定されます。また、模擬試験の実施、夏期休暇を利用した集中勉強合宿、個人指導による学習相談や2次試験面接対応など、「合格」に結びつく徹底した採用試験対策を行います。プログラムへの参加の仕方については、4月に行われるガイダンス（プログラム説明会）に参加して確認してください。（ガイダンスの開催に代えて説明用動画を配信する場合があります）

(6) はじめての経済学

「はじめての経済学」は、経済学を体系的、総合的に学習するために設けられている授業です。経済学科所属の専任教員がリレー方式で交代に講義を行い、経済学科の主要専門科目のエッセンスを紹介します。1年次生のみ履修することができます。

(7) 学生のための情報活用法

大学での学修や研究には、文献や資料を収集する能力、そうした情報を読み解く能力、そしてそれらの情報を体系的にまとめる能力が必要不可欠です。「学生のための情報活用法」では、パソコンなどを使った実習を通じて、4年間の学生生活に有用な能力を身につけます。1年次生のみ履修することができます。

(8) 取得できる資格・免許状の種類

規定の授業科目を修了し、卒業に必要な単位数を修得すれば、学士の学位が得られることになっています。学士の学位を得た者が、各々の課程に定められた必要な授業科目のいくつかを学科のなかで学修し、必要な単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位修得証明書を取得することができます。詳しくは資格課程の手びきを参照してください。

経済学科生が取得できる免許状・資格は次のとおりです。

社会 中学校教諭一種免許状
地理歴史 高等学校教諭一種免許状
公民 高等学校教諭一種免許状

学校図書館司書教諭
図書館司書
博物館学芸員
社会教育主事（社会教育士）

また、本学では福祉事務所や児童相談所において援護、育成・更生などに関する相談業務（ソーシャルワーク）を行う者に要求される「社会福祉主事（任用資格）」を取得することができます。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
 注9) 全学開講について………「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目（2017～2023年度入学生用）																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
＜必修科目＞ 再履修の学生は、経済学科説明会に参加して、説明を受けてください。																	
必修科目	必修専門科目	7001 ミクロ経済学Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	×	7001と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7002 ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	○			
		7003 ミクロ経済学Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	×	7003と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7004 ミクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	梶原 真紀	×	○			
		7005 マクロ経済学Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	×	7005と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7006 マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	○			
		7007 マクロ経済学Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	×	7007と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7008 マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	坪井 美都紀	×	○			
		7009 現代経済史Ⅰ	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	×	7009と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7010 現代経済史Ⅰ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	前期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○			
		7011 現代経済史Ⅱ	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	×	7011と同時開講 経済学科生以外が対象		
		7012 現代経済史Ⅱ[他学科生]	2	人数制限(抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○			
	キャリア研究Ⅰ	＜キャリア研究Ⅰ＞ 再履修の学生は、以下のキャリア研究Ⅰを履修してください。															
		7109 キャリア研究Ⅰa[再履修生]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	×			
		7119 キャリア研究Ⅰb[再履修生]	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	×			
	キャリア研究Ⅱ	＜キャリア研究Ⅱ＞ クラス編成は、学科説明会で発表されます。掲示板も確認してください。															
		7121 キャリア研究Ⅱa [岩間]	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	×			
		7124 キャリア研究Ⅱa [梶原]	2			前期	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	×			
		7122 キャリア研究Ⅱa [加藤巖]	2			前期	—	—	2	3	4	加藤 巖	×	×			
		7126 キャリア研究Ⅱa [合田]	2			前期	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	×			
		7123 キャリア研究Ⅱa [清水]	2			前期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	×			
		7125 キャリア研究Ⅱa [吉本]	2			前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	×			
		7129 キャリア研究Ⅱa [再履修生]	2			前期	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	×				
		7131 キャリア研究Ⅱb [岩間]	2			後期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	×			
		7134 キャリア研究Ⅱb [梶原]	2			後期	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	×			
		7132 キャリア研究Ⅱb [加藤巖]	2			後期	—	—	2	3	4	加藤 巖	×	×			
		7136 キャリア研究Ⅱb [合田]	2			後期	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	×			
		7133 キャリア研究Ⅱb [清水]	2			後期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	×			
		7135 キャリア研究Ⅱb [吉本]	2			後期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	×			
		7139 キャリア研究Ⅱb [再履修生]	2			後期	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	×				
	キャリア研究Ⅲ	＜キャリア研究Ⅲ＞															
		7141 キャリア研究Ⅲa	2	クラス指定必修	—	前期	—	—	3	4	永石 尚子	×	×				
		7142 キャリア研究Ⅲa [再履修生]	2			前期	—	—	4	半谷 俊彦	×	×					
		7151 キャリア研究Ⅲb	2			後期	—	—	3	4	永石 尚子	×	×				
		7152 キャリア研究Ⅲb [再履修生]	2			後期	—	—	4	半谷 俊彦	×	×					

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2017～2023年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
＜選択専門科目＞															
選択専門科目 ↓	選択専門科目 ↓	7301 はじめての経済学	2	なし	—	前期	—	1	—	—	—	経済学科教員	×	○	
		7302 学生のための情報活用法	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	—	—	—	経済学科教員	×	×	
		7303 ビジネス英語A	1	なし	—	前期	—	1	2	3	4	イシイ ヨウスケ	×	○	
		7304 ビジネス英語B	1	なし	—	後期	—	1	2	3	4	イシイ ヨウスケ	×	○	
		7305 エンターテインメントと地域社会A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7306 エンターテインメントと地域社会B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7307 ファッションと経済A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7308 ファッションと経済B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7309 法学概論Ⅰ (国際法を含む)	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7310 法学概論Ⅱ (国際法を含む)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7311 環境学A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	○	
		7312 環境学B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	川江 文美子	×	○	
		7313 環境政策	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	田上 貴彦	×	○	
		7314 世界の環境システム	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	田上 貴彦	×	○	
		7315 政治と思想	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	森分 大輔	×	○	
		7316 先進国における格差・貧困	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	其田 茂樹	×	○	
		7317 海外投資論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	○	
		7320 パーソナル・ファイナンス	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7321 ファイナンシャル・プランニング	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7318 ツーリズム経済論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	永石 尚子	×	○	「観光学」より科目名変更
		7322 ツーリズム人材論	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	永石 尚子	×	○	新規科目
		7357 経済学史Ⅰ	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	吉本 惣一	×	○	
		7358 経済学史Ⅱ	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	吉本 惣一	×	○	
		7364 統計学	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	平井 太規	×	○	
		7365 経済統計	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	平井 太規	×	○	
		7471 データサイエンスA	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	池内 健太	×	○	「コンピュータ」より科目名変更
		7472 データサイエンスB	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	1	2	3	4	池内 健太	×	○	「コンピュータ」より科目名変更
		7378 政治のシステムA (国際政治を含む)	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	○	
		7379 政治のシステムB (国際政治を含む)	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	○	
		7395 経済地理	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	渡邊 圭一	×	○	
		7396 グローバル経済と世界都市	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	渡邊 圭一	×	○	
		7397 行政学	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	○	
		7398 行政の組織と運用	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 啓明	×	○	
		7351 国際関係論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	上野 隆生	×	○	
		7352 日本政治史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	上野 隆生	×	○	
		7353 憲法Ⅰ	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7354 憲法Ⅱ	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7380 民法A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	亀田 浩一郎	×	○	
		7381 民法B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	亀田 浩一郎	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
 注9) 全学開講について………「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目（2017～2023年度入学生用）															
卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
↑ 選択専門科目 ↓	↑ 選択専門科目 ↓	7355 日本経済史A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	
		7356 日本経済史B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	
		7359 現代経済理論A(国際経済を含む)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7360 現代経済理論B(国際経済を含む)	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7361 現代日本経済論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7362 現代日本経済論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7363 国際経済学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	加藤 巖	×	○	
		7323 農業経済学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	「現代農業経済論」より科目名変更
		— 農林業再生論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— アジアの農林業問題	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 欧米の農林業問題	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7368 資源エネルギー論Ⅰ	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7369 資源エネルギー論Ⅱ	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7370 環境経済学A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7371 環境経済学B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7372 社会政策	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	堀川 祐里	×	○	
		— 日本の社会保障	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7374 金融論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融論」より科目名変更 「金融論」単位修得者の履修は不可
		7324 金融論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融論」より科目名変更 「金融論」単位修得者の履修は不可
		7377 財政学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	
		7376 公共経済学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	
		7382 フィールドワークA (ファッションと経済)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		7383 フィールドワークB (ファッションと経済)	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	
		— フィールドワークA (環境学)	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— フィールドワークB (環境学)	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 公共政策A	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 公共政策B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7386 経済政策	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	「経済政策AB」単位修得者の履修は不可
		7387 計量経済学	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	坪井 美都紀	×	○	「計量経済学AB」単位修得者の履修は不可
		7388 産業組織論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7389 現代企業の生態	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7390 都市経済学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	浅利 隆文	×	○	
		7391 不動産経済論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	浅利 隆文	×	○	
		7392 エンターテインメント経済学A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7393 エンターテインメント経済学B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7394 ファッション経済学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2017～2023年度入学生用)															
卒業 要件	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複 履修	全学 開講	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	7399 環境法A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	桑原 勇進	×	○	
		7400 環境法B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	桑原 勇進	×	○	
		7401 ライフサイクルアセスメント	2	人数制限 (抽選)	—	後期	—	—	2	3	4	清水 雅貴	×	○	
		— ソーシャル・マナー演習	2	—	—	前期	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— ライフ・ディベロップメント	2	—	—	前期	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7404 ビジネス・マナー演習	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	津田 典子	×	○	
		7405 キャリア・ディベロップメント	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	津田 典子	×	○	
		7325 キャリア形成論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7326 キャリア形成論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	合田 菜実子	×	○	新規科目
		7319 ホスピタリティ論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	永石 尚子	×	○	
		7327 ホスピタリティ・サービス論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	永石 尚子	×	○	新規科目
		7406 労働経済学A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	国府 俊一郎	×	○	
		7407 労働経済学B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	国府 俊一郎	×	○	
		— 行動経済学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 地球資源論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 生態系の保全	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 人間行動学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 人間社会と生命科学	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		— 経済政策史	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7328 農業経済史	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	棚井 仁	×	○	
		7329 社会経済学A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7330 社会経済学B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7331 経済哲学	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7332 経済倫理	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目
		7459 社会福祉	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	柴崎 祐美	×	○	
		— コミュニティケア論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7466 ソ連経済の歴史と現代ロシア経済	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	日臺 健雄	×	○	
		7453 キャリア・マネジメントA	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	永石 尚子	×	○	「キャリア・マネジメント」より科目名変更 「キャリア・マネジメント」単位修得者の履修は不可
		7333 キャリア・マネジメントB	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	永石 尚子	×	○	「キャリア・マネジメント」より科目名変更 「キャリア・マネジメント」単位修得者の履修は不可
		7463 キャリア研究特論A	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	新保 友恵	×	○	
		7464 キャリア研究特論B	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	新保 友恵	×	○	
		7454 インターンシップ	4	なし	—	通年	—	—	—	3	—	伊藤 隆治	×	×	
		7334 資本市場論	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	梶原 真紀	×	○	新規科目
		7375 国際金融論	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	梶原 真紀	×	○	「金融政策論」より科目名変更
		7455 開発経済学	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		7456 世界の不平等問題	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1眼までに資料や動画が配信され、土曜日5眼までに課題提出する授業です。
 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
 注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目（2017～2023年度入学生用）																
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓		— グローバル化の経済史	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 財政史	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 地方財政論	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 租税論	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	
	公務員講座	＜公務員試験対策＞ 履修希望者は学科説明会時に配布されたガイダンス資料を確認すること。														
		7498 公務員講座（行政学基礎）	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	半谷 俊彦	×	○	新規科目	
		7494 公務員講座（数的処理基礎）	2	なし	—	後期	時間割内	1	2	3	4	半谷 俊彦	×	○		
		7483 公務員講座（英文理解）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7484 公務員講座（文章理解）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	瀧口 雅仁	×	○		
		7485 公務員講座（日本史）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7486 公務員講座（世界史）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7487 公務員講座（地理）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	渡辺 美香子	×	○		
		7488 公務員講座（政治）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	古川 晴之	×	○		
		7489 公務員講座（法律）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	古川 晴之	×	○		
		7490 公務員講座（経済）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7491 公務員講座（社会）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	吉本 惣一	×	○		
		7481 公務員講座（数的処理A）	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	牛田 勝弘	×	○		
		7482 公務員講座（数的処理B）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	牛田 勝弘	×	○		
		7492 公務員講座（小論文）	2	なし	—	前期	—	—	—	3	4	瀧口 雅仁	×	○		
		7493 公務員講座（公共セクター研究）	2	人数制限 (抽選)	—	前期	—	—	—	—	4	経済学科教員	×	○		
	ワークショップ	＜ワークショップ＞														
		7495 ワークショップ（グローバル人材養成）	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	加藤 巖	×	○		
		7496 ワークショップ（ファッション経済学）	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	三浦 彰	×	○		
		7499 ワークショップ（経済学史）	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	吉本 惣一	×	○	新規科目	
		— ワークショップ（キャリア・マネジメント）	2	—	—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講	

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
注9) 全学開講について………「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2017～2023年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
↑ 選 択 専 門 科 目 ↓	ゼミナール	<ゼミナール> 入室にあたっては掲示板を確認すること。														
		7201	ゼミナールⅠ [エンターテインメント経済学]	2	クラス指定	—	前期	—	—	—	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		7202	ゼミナールⅡ [エンターテインメント経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	伊藤 隆治	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [公共政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [公共政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7205	ゼミナールⅠ [資源エネルギー論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7206	ゼミナールⅡ [資源エネルギー論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	岩間 剛一	×	○	
		7207	ゼミナールⅠ [国際関係論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	上野 隆生	×	○	
		7208	ゼミナールⅡ [国際関係論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	上野 隆生	×	○	
		7209	ゼミナールⅠ [国際経済学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		7210	ゼミナールⅡ [国際経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	加藤 巖	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [日本経済史]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [日本経済史]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7213	ゼミナールⅠ [環境経済学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7214	ゼミナールⅡ [環境経済学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	清水 雅貴	×	○	
		7215	ゼミナールⅠ [現代経済理論]	2		—	前期	—	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7216	ゼミナールⅡ [現代経済理論]	2		—	後期	—	—	—	3	4	坪井 美都紀	×	○	
		7217	ゼミナールⅠ [憲法学]	2		—	前期	—	—	—	3	4	徳永 貴志	×	○	
		7218	ゼミナールⅡ [憲法学]	2		—	後期	—	—	—	3	4	徳永 貴志	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [公共経済学]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [公共経済学]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅠ [社会政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [社会政策]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7223	ゼミナールⅠ [現代経済史]	2		—	前期	—	—	—	3	4	日臺 健雄	×	○	
		7224	ゼミナールⅡ [現代経済史]	2		—	後期	—	—	—	3	4	日臺 健雄	×	○	
		—	ゼミナールⅠ [現代農業経済論]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナールⅡ [現代農業経済論]	2		—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講

2024年度 経済経営学部 経済学科 授業一覧表

2017～2023年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
 注6) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
 注9) 全学開講について……「○」の授業は経済学科生以外も履修可能です。「×」は経済学科生専用です。

経済学科専門科目 (2017～2023年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考
								1 年	2 年	3 年	4 年				
↑ 選 択 専 門 科 目	卒 業 論 文	＜卒業論文＞ 履修希望者は前年度ゼミナール担当教員に確認すること。													
		7251	卒業論文 [エンターテインメント経済学]	4	クラス 指定	—	通年	—	—	—	4	伊藤 隆治	×	○	
		7252	卒業論文 [公共政策]	4		—	通年	—	—	—	4	棚井 仁	×	○	
		7253	卒業論文 [資源エネルギー論]	4		—	通年	—	—	—	4	岩間 剛一	×	○	
		—	卒業論文 [国際関係論]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7255	卒業論文 [国際経済学]	4		—	通年	—	—	—	4	加藤 巖	×	○	
		—	卒業論文 [日本経済史]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7257	卒業論文 [環境経済学]	4		—	通年	—	—	—	4	清水 雅貴	×	○	
		—	卒業論文 [社会政策]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7260	卒業論文 [憲法学]	4		—	通年	—	—	—	4	徳永 貴志	×	○	
		7261	卒業論文 [現代経済理論]	4		—	通年	—	—	—	4	坪井 美都紀	×	○	
		—	卒業論文 [公共経済学]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講
		7263	卒業論文 [現代経済史]	4		—	通年	—	—	—	4	日臺 健雄	×	○	
		—	卒業論文 [現代農業経済論]	4		—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講

2017～2024年度入学生

経済経営学部 経営学科

1. 経営学科の特徴

..... P 262

2. 卒業要件と履修要領

..... P 263

3. 専門科目の説明と履修上の注意

..... P 265

4. 取得できる免許状・資格

..... P 267

5. 授業一覧表

..... P 268

経済経営学部 経済経営学部の 研究対象

自発的・自立的な 学習の要請

経済経営学部は経済学科と経営学科という2つの学科から構成されています。経済学は、財とお金の流れを通して社会の仕組みを解明する学問であり、経営学は、企業を始めとするさまざまな組織を運営するための知識と技能を修得する学問です。そして、両者は密接に結びついています。社会の仕組みを知らなければ、組織を運営することはできません。組織運営の実際が分からなければ、社会の仕組みを明らかにすることはできません。

こうした観点から、経済経営学部では、総合的で実践的なカリキュラムが用意されており、経済学科と経営学科が互いに協力しながら、授業を運営しています。

本学は、建学以来、「自由な研究と学習の共同体」であることを理念に掲げてきました。教職員と学生がともに自由な立場で「研究と学習」に勤しみ、その営みを通じて大学という「共同体」がかたちづくられることを意味しています。皆さんには、自発的で自立的な研究と学習が期待されているのです。

したがって、本学において有意義な学生生活を送るためには、学習計画を主体的に組み立てること、自主的に授業に取り組むこと、そしてみずからの問題意識をつねに持ち続けることが大切です。

学生は学習権の主体者です。このことを忘れずに、学業に励んでください。

1. 経営学科の特徴

経営学科では、企業や非営利団体など、各種の組織の活動にかかわる問題を分析し、そのメカニズムや本質を解明していきます。経営学科のカリキュラムの特徴は、経営学、簿記・会計学、ICT（情報通信技術）に関する専門知識を習得する学びの体系が充実しているところにあります。経営学科での学びを通じて、経営者として、ビジネスパーソンとして、そして起業家として、現代社会を生きぬく力を身につけてください。

(1)ゼミナールによ る4年間の専門 教育

経営学科では、1年次に「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」を、2～4年次に「ゼミナール2・3・4」を必修科目として設けています。「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」では、主体的・創造的に経営学を学び、みずからキャリアを築いていくための基礎を培います。「ゼミナール2・3・4」では、担当教員の指導のもと、みずから選んだ分野を自発的・専門的に研究します。少人数で個別指導の行われるゼミナールは、大学における学習と生活の中心となります。

(2)実践力を養うキ ャリア開発科目

経営学の専門科目は、起業家や経営者として、あるいはビジネスパーソンとして、ビジネスの世界で求められる知識・能力を身につけることができる実践的なものばかりです。そのなかでも、より実践的な知識の習得を目的とした科目、フィールドワークなどの現場で体験的に学習する科目、さらに簿記・会計学や情報技術・情報メディアなどの分野における資格取得を目的とした実習系科目を、経営学科では「キャリア開発科目」と位置づけています。この「キャリア開発科目」は、卒業までの4年間で、みずからのキャリアを実現する力を養うために4単位以上修得することになっています。積極的に履修することが望まれます。

(3)コア・クラスを 通じた学修指導

上記のように、経営学科では、1年次から4年次までゼミナールを履修します。ゼミナールは経営学の専門教育の場であると同時に、学修指導やキャリア指導を受ける場でもあります。ゼミナールのクラスは大学生活の中心となるクラスという意味でコア・クラスとよばれ、その担当教員はコア・クラス・ティーチャー（C. C. T.）とよばれます。C. C. T. は、いわば中学校や高等学校のクラス担任に相当する存在です。分からないことや相談したいことがあるときには、C. C. T. を訪ねてください。

2. 卒業要件と履修要領

(1) 卒業要件

和光大学では単位制を採っています。卒業するまでに、各課程から決められた数の単位を修得しなければなりません。単位は、履修登録した科目について、決められた基準を超える成績を得ることで修得できます。

《2017～2024年度入学生 経営学科》

卒業に必要な単位数は下表のとおりです。

		小計	合計
共通教養科目	●	20単位	124単位 (うち、 対面科目 が最低64 単位含ま れている こと)*
外国語科目	●	4単位	
専門科目	必修専門科目	10単位	
	ゼミナール	16単位	
	選択専門科目	● 38単位	
	うち経営学科の選択専門科目12単位 うちキャリア開発科目(★)4単位 うち経営学科または経済学科の選択専門科目22単位		
自由履修科目	下記のものは自動的に自由履修科目単位としてカウントされます。 ・上記●の単位を超えて修得した単位 ・他学部専門科目(全学開講欄が○のもの) 注)資格課程専用(8000番台)科目は含めることができません。		36単位

※2023年度以前に修得した単位は、全て対面科目の単位数として算入します。

(2) 履修の要領

卒業に必要な単位を修得するにあたって、特に次の点に注意してください。

- ①合計で124単位を修得すること。
- ②各課程の必要単位数を修得すること。
- ③必修科目の単位を修得すること。
- ④就職活動に必要とされる「卒業見込証明書」を4年次前期に発行できるように履修計画を立てること(卒業見込証明書の発行基準はP29を参照)。
- ⑤各授業の履修可能学年に注意し、履修計画を立てるにあたって分からないことがあるときは、コア・クラス・ティーチャー(C.C.T.)、教学支援課、教学支援担当教員に質問・相談してください。

(3) 共通教養課程

共通教養課程は、全学部に通じて開かれている課程です。幅広い知識と深い教養の修得を目的とし、さまざまな学問領域の科目が開講されています。

必要単位

卒業までに最低20単位を修得しなければなりません。20単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目(36単位)」に充当されます。

受講学年

授業ごとに設定された履修可能学年を守ればどの学年で履修しても構いませんが、経営学科専門課程のカリキュラムは高学年になるほど専門性が高まるよう構成されていますので、1～2年次において積極的に履修することを推奨します。

(4) 外国語課程

外国語課程は、全学部に通じて開かれている課程です。英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、日本語(留学生対象)を学ぶことができます。

必要単位

卒業までに、同一外国語で4単位を修得しなければなりません。例えば英語で2単位、中国語で2単位といった単位の修得方法では「外国語科目」の卒業要件は満たしません。4単位を超えて修得した場合、その単位は「自由履修科目(36単位)」に充当されます。

受講学年

授業ごとに設定された要件(1年次にしか履修できない・複数の授業をセットで履修しなければならないなど)を守って履修してください。1～2年次において積極的に履修することを推奨します。手続きの詳細については外国語課程のページを参照してください。

(5) 必修専門科目

必修専門科目は、全員が必ず履修し、単位を修得しなければならない科目です。経営学科では、1年次に「基本経営学」・「入門簿記」、2年次に「経営基本管理」を履修することが義務づけられています。単位を修得することができなかった場合には、翌年度に再履修しなければなりません。

履修学年	科目名	開講期	単位数
1年次	基本経営学	通年	4単位
	入門簿記	前期	2単位
2年次	経営基本管理	通年	4単位

(6) 選択専門科目

必要単位

経済経営学部を選択専門科目は、卒業までに38単位修得することが必要です。なお、このうち12単位は経営学科の選択専門科目、4単位は「キャリア開発科目」であることが求められます。38単位を超えて修得した単位は、「自由履修科目（36単位）」に充当されます。

(7) 自由履修科目

単位の数え方

自由履修科目として36単位以上修得が必要です。

「自由履修科目」には下記に示す科目の単位が充当されます。

- ・ 共通教養科目より、20単位を超過した単位
- ・ 外国語科目より、4単位を超過した単位
- ・ 選択専門科目より、38単位を超過した単位
- ・ 現代人間学部・表現学部専門科目

注意すべき点

現代人間学部、表現学部専門科目については、「全学開講」欄が「○」となっている授業を履修可能です。ただし、授業ごとに履修できる条件は異なりますので、各課程の「授業一覧表」をよく確認してください。

3. 専門科目の説明 と履修上の注意

(1) ゼミナール

ゼミナールは、1～4年次に設置されている必修科目であり、全員が必ず履修しなければなりません。

1年次のゼミナールである「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」では、大学での学修や専門的な研究を行うための基礎学力を養うとともに、社会人に必要な能力である社会人基礎力を身につけます。また、大学における学習方法の指導や各種連絡の場ともなります。

「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」は、入学時にクラスが決定されます。あらかじめ大学で履修登録を行うので、和光ポータル履修登録画面や掲示板を確認の上、指定されたクラスを履修してください。「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」の単位を修得できなかった場合には、翌年度に再履修をしなければなりません。

2～4年次の「ゼミナール2・3・4」は、3年間継続してひとつの学問領域を専門的に研究します。全員がいずれかのゼミナールに入室し、少人数による参加型授業やグループワークを通して、担当教員の指導を受けながら研究を進めます。

「ゼミナール2・3・4」は、3年間継続して同じクラスで学ぶことを前提としています。「ゼミナール2」は1年次後期に応募と選考が行われます。希望する「ゼミナール2」に入室できるように、遺漏なく手続きを進めてください。1年次の選考で所属するクラスが決まった後には、2年次以降はあらかじめ大学で「ゼミナール2・3・4」の履修登録を行うので、和光ポータル履修登録画面から正しく登録されていることを確認してください。「ゼミナール2・3・4」の単位を修得できなかった場合には、翌年度に再履修をしなければなりません。その場合は同じ担当教員のゼミナールを履修する必要があります。なお、「ゼミナール4」については、時間割には記載されません。

(2) 卒業論文

4年次には、ゼミナール担当教員の指導の下で、それまでの研究成果をまとめる「卒業論文」に取り組むことができます。「卒業論文」は必修科目ではありませんが、大学4年間の研究・学習の集大成として位置づけられるものです。経営学科では、卒業論文の執筆を強く推奨しています。

「卒業論文」に取り組むことを4年次必修科目である「ゼミナール4」の単位修得の前提としている教員もいます。経営学科では、「卒業論文」の取り扱いを各ゼミナールの裁量に委ねていますので、かならず担当教員の指示を受けてください。

卒業論文の執筆方法や提出方法に関しても、担当教員の指示を受けてください。

「卒業論文」は時間割に記載されていません。あらかじめ大学で履修登録を行うので、和光ポータル履修登録画面で正しく登録されていることを確認してください。

(3) フィールドワーク

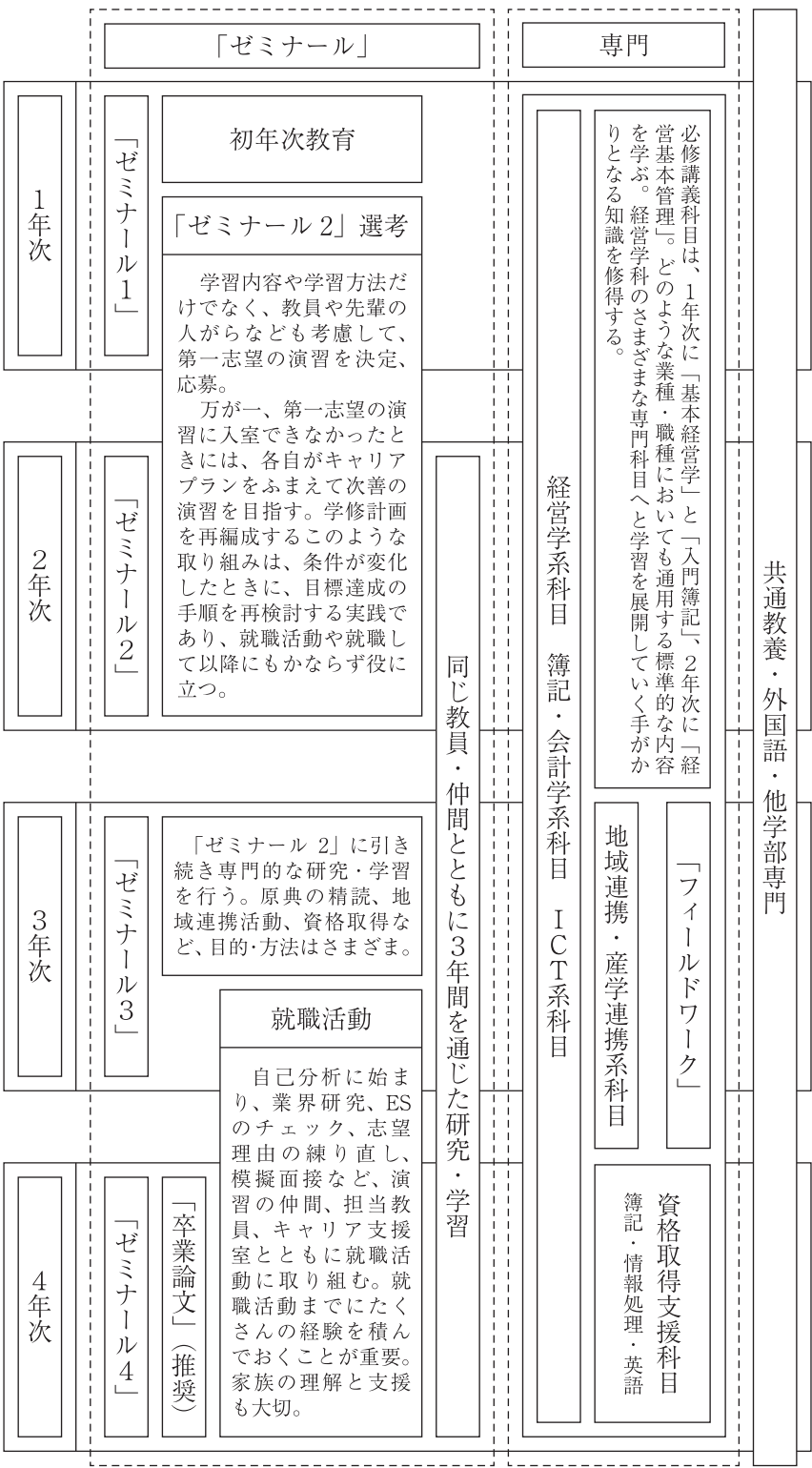
「フィールドワーク」は、さまざまな「現場」に向かうことで、理解を深めることを目的とした授業です。通常の授業と学外研修によって構成されています。学外研修では、現地視察、施設見学、聞き取り調査、アンケート調査などを行います。「フィールドワーク」は2年次から履修することができます。種別「許可」の授業ですので、前期の許可期間中に履修許可を得てください。

※フィールドワークは、社会情勢等により、実施形態が変更されたり、授業が開講されなかったりする可能性があります。

(4) 経営学科の知の 体系

「経営学科の知の体系」は、1年次前期に開講される経営学科専任教員によるオムニバス形式の授業です。この授業を履修すれば、経営学科の各教員がどのような専門領域を有し、それぞれの「ゼミナール2・3・4」でどのような知識を修得することができるのかを知ることができます。ゼミナールを選ぶにあたって役立つ情報が得られますから、積極的に受講してください。

(5) 経営学科における4年間の学習



(6) 公務員対策プログラム

国家公務員、地方公務員、警察官、消防官をめざす学生のためのプログラムです。本プログラムで設定されている科目は卒業必要単位として認定されます。また、模擬試験の実施、夏期休暇を利用した集中勉強会、個人指導による学習相談や2次試験面接対応など、「合格」に結びつく徹底した採用試験対策を行います。詳細は経済学科の授業一覧表を参照してください。プログラムへの参加の仕方については、4月に行われるガイダンス（プログラム説明会）に参加して確認してください。（ガイダンスの開催に代えて説明用動画を配信する場合があります）

4. 取得できる免許状・資格

(1) 教員免許状

経営学科では、高等学校教諭一種免許状（商業）・高等学校教諭一種免許状（情報）の教員免許状を取得することができます。免許状の取得には、卒業に必要な単位に加え、教職課程の単位を修得しなければなりません。決して簡単ではありません。しかし、だからこそやりがいがあり、教職課程を受講する学生は、いずれも大きく成長し、希望する進路で充実したキャリアを歩むことができます。

本学の教職課程は、2年次から受講申請が行われますが、商業科・情報科の教員免許状の取得に必要な科目のなかには、1年次から履修できるものもあります。詳しくは経営学科オリエンテーション・資格課程オリエンテーションで確認してください。

また、本学では、他学科に設けられている教員免許状の教職課程を受講することができます。教職課程について、詳しくは『資格課程の手びき』を参照してください。

(2) 検定試験・資格試験

経営学科における学習はさまざまな実務の現場と密接に結びついています。このため、各種の検定試験・資格試験の出題範囲をカバーする専門科目も少なくありません。経営学科の卒業生の多くは、営利企業にとどまらず、さまざまな事業体で実際に業務にあたることになります。専門科目の学習の延長として、各種の検定試験・資格試験に挑戦してください。検定試験・資格試験を目指して計画的に対策に取り組み、合格したという実績は、皆さんにとってかけがえない成功体験となり、就職活動では、有効なアピール材料となります。

商業高校や総合高校の出身者のなかには、全国商業高等学校協会の簿記実務検定試験・情報処理検定試験に合格していたり、高等専修学校の出身者のなかには、日本情報処理検定協会の情報処理技能検定に合格していたりする皆さんがいます。大学では、このような学校教育の一環としての検定試験からさらに専門性を高め、実務を前提とした資格試験に挑戦してください。簿記については、日本商工会議所の簿記検定、情報処理については、国家試験である情報処理技術者試験の受験を勧めます。いずれも、経営学科の専門科目で出題範囲をカバーしています。

高校時代に日本英語検定協会の実用英語技能検定（英検）に合格した皆さんは、さらに上級の試験を目指すのと同時に、実務の現場で英語力の指標となっている TOEIC を受験してみましょう。経営学科には、TOEIC 受験の手ほどきをする専門科目も用意されています。

その他、日本商工会議所のビジネスマネジャー検定やリテールマーケティング検定（販売士検定）、コンピュータを使った実務能力の標準的資格であるオデッセイコミュニケーションズのマイクロソフトオフィススペシャリスト試験（MOS 試験）、データサイエンティスト協会のデータサイエンティスト検定など、専門科目の学習が試験対策にもなるさまざまな検定試験・資格試験があります。詳しくは経営学科オリエンテーションで確認するか、C.C.T. などに相談してみてください。

(3) 図書館司書・社会教育主事・博物館学芸員

これらの資格は本学においてすべての学部学科の学生が取得を目指すことができるものです。詳しくは『資格課程の手びき』を参照してください。

(4) その他

教員免許状・検定試験・資格試験ではありませんが、本学では、履修プログラムとして、地域・流域プログラムおよびジェンダー・スタディーズ・プログラムを設けています。経営学科の学生にも、プログラムを履修しているものがあります。詳しくは本『学修の手びき』の P38～41 を参照してください。

また、社会福祉主事任用資格の取得も可能です。詳しくは大学ホームページを参照してください。

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目 (2017～2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
必修科目 ↓	必修専門科目	<必修専門科目> クラス分けをしていますので、登録時には注意してください。														
		7501	基本経営学	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	當間 政義	×	×	経営学科生のみが履修
		7503	基本経営学[他学科生]		許可	—	通年	—	1	2	3	4	當間 政義	×	○	7501と同時開講 経営学科生以外が対象 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7504	経営基本管理	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	2	3	4	福田 好裕	×	×	経営学科生のみが履修
		7507	入門簿記	2	クラス指定必修	—	前期	—	1	2	3	4	海老原 諭	×	×	経営学科生のみが履修
		7508	入門簿記[他学科生]		人数制限 (抽選)	—	前期	—	1	2	3	4	海老原 諭	×	○	7507と同時開講 経営学科生以外が対象
	ゼミナール1	<ゼミナール1> 入室にあたっては掲示板を確認すること。														
		7601	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [岩見]	4	クラス指定必修	—	通年	—	1	2	3	4	岩見 昌邦	×	×	
		7602	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [大野]			—	通年	—	1	2	3	4	大野 幸子	×	×	
		7603	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [小林正]			—	通年	—	1	2	3	4	小林 正典	×	×	
		7606	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [小林稔]			—	通年	—	1	2	3	4	小林 稔	×	×	
		7605	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [鈴木]			—	通年	—	1	2	3	4	鈴木 岩行	×	×	
		7604	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [平井]			—	通年	—	1	2	3	4	平井 宏典	×	×	
		7607	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [福田]			—	通年	—	1	2	3	4	福田 好裕	×	×	
		7608	ゼミナール1 (ビジネスキャリア基礎) [丸山]			—	通年	—	1	2	3	4	丸山 一彦	×	×	
	ゼミナール2	<ゼミナール2> 入室にあたっては掲示板を確認すること。														
		7612	ゼミナール2 [テクノロジーマネジメント]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	2	3	4	岩見 昌邦	×	○	
		7613	ゼミナール2 [会計学]			—	通年	—	—	2	3	4	海老原 諭	×	○	
		7614	ゼミナール2 [マーケティング・コミュニケーション]			—	通年	—	—	2	3	4	大野 幸子	×	○	
		—	ゼミナール2 [国際ビジネス論]			—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7616	ゼミナール2 [ビジネス・コミュニケーション]			—	通年	—	—	2	3	4	小林 猛久	×	○	
		7617	ゼミナール2 [地域経営論]			—	通年	—	—	2	3	4	小林 正典	×	○	
		7618	ゼミナール2 [経営情報システム論]			—	通年	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	
		7619	ゼミナール2 [情報処理技術論]			—	通年	—	—	2	3	4	杉本 昌昭	×	○	
		—	ゼミナール2 [企業論]			—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7621	ゼミナール2 [基本経営学]			—	通年	—	—	2	3	4	當間 政義	×	○	
		7622	ゼミナール2 [メディアビジネス論]			—	通年	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	
		7623	ゼミナール2 [産学連携実践論]			—	通年	—	—	2	3	4	平井 宏典	×	○	
		7624	ゼミナール2 [経営基本管理]			—	通年	—	—	2	3	4	福田 好裕	×	×	
		7625	ゼミナール2 [マーケティング論]			—	通年	—	—	2	3	4	丸山 一彦	×	○	
		7626	ゼミナール2 [管理会計論]			—	通年	—	—	2	3	4	吉沢 壮二期	×	○	
		—	ゼミナール2 [イノベーション論]			—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		—	ゼミナール2 [スポーツビジネス論]			—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について……「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目 (2017～2024年度入学生用)																	
卒業要件	授業コード	科 目 [授 業] 名	単位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担 当 者	重複履修	全学開講	備考		
								1年	2年	3年	4年						
↑ 必修科目	＜ゼミナール3＞ 入室にあたっては掲示板を確認すること。																
	7632	ゼミナール3 [テクノロジーマネジメント]	4	クラス 指定必修	—	通年	—	—	—	3	4	岩見 昌邦	×	○			
	7633	ゼミナール3 [会計学]			—	通年	—	—	—	3	4	海老原 諭	×	○			
	7634	ゼミナール3 [マーケティング・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	3	4	大野 幸子	×	○			
	7635	ゼミナール3 [国際ビジネス論]			—	通年	—	—	—	3	4	池田 芳彦	×	○			
	7636	ゼミナール3 [ビジネス・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	3	4	小林 猛久	×	○			
	—	ゼミナール3 [地域経営論]			—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講		
	7638	ゼミナール3 [経営情報システム論]			—	通年	—	—	—	3	4	小林 稔	×	○			
	7639	ゼミナール3 [情報処理技術論]			—	通年	—	—	—	3	4	杉本 昌昭	×	○			
	—	ゼミナール3 [企業論]			—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講		
	7641	ゼミナール3 [基本経営学]			—	通年	—	—	—	3	4	當間 政義	×	○			
	7642	ゼミナール3 [メディアビジネス論]			—	通年	—	—	—	3	4	バンバン ルディアント	×	○			
	7643	ゼミナール3 [産学連携実践論]			—	通年	—	—	—	3	4	平井 宏典	×	○			
	7644	ゼミナール3 [経営基本管理]			—	通年	—	—	—	3	4	福田 好裕	×	×			
	7645	ゼミナール3 [マーケティング論]			—	通年	—	—	—	3	4	丸山 一彦	×	○			
	7647	ゼミナール3 [管理会計論]			—	通年	—	—	—	3	4	吉沢 壮二郎	×	○			
	—	ゼミナール3 [イノベーション論]			—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講		
	—	ゼミナール3 [スポーツビジネス論]			—	—	—	—	—	3	4	—	×	○	2024年度休講		
	＜ゼミナール4＞ 入室にあたっては掲示板を確認すること。																
	7652	ゼミナール4 [テクノロジーマネジメント]	4	クラス 指定必修	—	通年	—	—	—	4		岩見 昌邦	×	○			
	7653	ゼミナール4 [会計学]			—	通年	—	—	—	4		海老原 諭	×	○			
	7654	ゼミナール4 [マーケティング・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	4		大野 幸子	×	○			
	—	ゼミナール4 [国際ビジネス論]			—	—	—	—	—	4		—	×	○	2024年度休講		
	7656	ゼミナール4 [ビジネス・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	4		小林 猛久	×	○			
	7657	ゼミナール4 [地域経営論]			—	通年	—	—	—	4		小林 正典	×	○			
	7658	ゼミナール4 [経営情報システム論]			—	通年	—	—	—	4		小林 稔	×	○			
	7659	ゼミナール4 [情報処理技術論]			—	通年	—	—	—	4		杉本 昌昭	×	○			
	7660	ゼミナール4 [企業論]			—	通年	—	—	—	4		鈴木 岩行	×	○			
	7661	ゼミナール4 [基本経営学]			—	通年	—	—	—	4		當間 政義	×	○			
	7662	ゼミナール4 [メディアビジネス論]			—	通年	—	—	—	4		バンバン ルディアント	×	○			
	7663	ゼミナール4 [産学連携実践論]			—	通年	—	—	—	4		平井 宏典	×	○			
	7664	ゼミナール4 [経営基本管理]			—	通年	—	—	—	4		福田 好裕	×	×			
	7665	ゼミナール4 [マーケティング論]			—	通年	—	—	—	4		丸山 一彦	×	○			
	7666	ゼミナール4 [管理会計論]			—	通年	—	—	—	4		吉沢 壮二郎	×	○			
	—	ゼミナール4 [イノベーション論]			—	—	—	—	—	4		—	×	○	2024年度休講		
	—	ゼミナール4 [スポーツビジネス論]			—	—	—	—	—	4		—	×	○	2024年度休講		

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目 (2017～2024年度入学生用)																
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考	
								1年	2年	3年	4年					
選択専門科目 ↓	卒業論文	<卒業論文> 履修希望者は前年度ゼミナール担当教員に確認すること。														
		7772 卒業論文 [テクノロジーマネジメント]	6	クラス指定	—	通年	—	—	—	—	4	岩見 昌邦	×	○		
		7773 卒業論文 [会計学]			—	通年	—	—	—	—	4	海老原 諭	×	○		
		7774 卒業論文 [マーケティング・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	—	4	大野 幸子	×	○		
		— 卒業論文 [国際ビジネス論]			—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講	
		7776 卒業論文 [ビジネス・コミュニケーション]			—	通年	—	—	—	—	4	小林 猛久	×	○		
		7777 卒業論文 [地域経営論]			—	通年	—	—	—	—	4	小林 正典	×	○		
		7778 卒業論文 [経営情報システム論]			—	通年	—	—	—	—	4	小林 稔	×	○		
		7779 卒業論文 [情報処理技術論]			—	通年	—	—	—	—	4	杉本 昌昭	×	○		
		7780 卒業論文 [企業論]			—	通年	—	—	—	—	4	鈴木 岩行	×	○		
		7781 卒業論文 [基本経営学]			—	通年	—	—	—	—	4	當間 政義	×	○		
		7782 卒業論文 [メディアビジネス論]			—	通年	—	—	—	—	4	バンバン ルディアント	×	○		
		7783 卒業論文 [産学連携実践論]			—	通年	—	—	—	—	4	平井 宏典	×	○		
		7784 卒業論文 [経営基本管理]			—	通年	—	—	—	—	4	福田 好裕	×	×		
		7785 卒業論文 [マーケティング論]			—	通年	—	—	—	—	4	丸山 一彦	×	○		
		7786 卒業論文 [管理会計論]			—	通年	—	—	—	—	4	吉沢 壮二郎	×	○		
		— 卒業論文 [イノベーション論]			—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 卒業論文 [スポーツビジネス論]			—	—	—	—	—	—	4	—	×	○	2024年度休講	
	選択専門科目 (★はキャリア開発科目) ↓	<選択専門科目>														
		7801 経営学科の知の体系	2	なし	—	前期	—	1	—	—	—	経営学科教員	×	○		
		7802 ★ビジネス・コミュニケーションA	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	小林 猛久	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定	
		7803 ★ビジネス・コミュニケーションB	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	小林 猛久	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定	
		7804 ★基礎簿記演習	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	海老原 諭	×	○		
		7805 企業論Ⅰ	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	鈴木 岩行	×	○		
		7806 企業論Ⅱ	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	鈴木 岩行	×	○		
		7807 マーケティング論A	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	丸山 一彦	×	○		
		7808 マーケティング論B	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	丸山 一彦	×	○		
		7809 現代流通論A	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	丸山 一彦	×	○		
		7810 現代流通論B	2	なし	—	後期	時間割外	1	2	3	4	丸山 一彦	×	○		
		7811 観光ビジネス論A	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	小林 正典	×	○		
		7812 観光ビジネス論B	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	小林 正典	×	○		
		7813 基礎簿記	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	海老原 諭	×	○		
		— 電子会計 (初級)	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		— 電子会計 (中級)	2	—	—	—	—	1	2	3	4	—	×	○	2024年度休講	
		7816 入門簿記演習	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	海老原 諭	×	○		
		7817 TOEIC入門	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	山本 ミッシェール	×	○		
		7818 TOEICスピーキング・ライティング	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	山本 ミッシェール	×	○		

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目(2017～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
↑ 選択専門科目 (★はキャリア開発科目) ↓		7819 環境マネジメントⅠ	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	當間 政義	×	○	
		7820 環境マネジメントⅡ	2	なし	—	後期	—	1	2	3	4	當間 政義	×	○	
		7821 情報の基礎(情報社会論)	4	許可	—	通年	—	1	2	3	4	岩見 昌邦	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7822 コンピュータ[A]	2	なし	—	前期	時間割外	1	2	3	4	橋本 正樹	×	○	卒業までにいずれか1つ履修可 [B][C]経営学科1年次生優先
		7823 コンピュータ[B]	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	小川 真理絵	×	○	[B][C]履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		7824 コンピュータ[C]	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	小川 真理絵	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		7825 ★コンピュータリテラシー基礎1	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	杉本 昌昭	×	○	経営学科2年次生優先
		7826 ★コンピュータリテラシー基礎2	2	許可	—	前期	—	1	2	3	4	小川 真理絵	×	○	「基礎」、「応用」それぞれ1つ履修可 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと
		7827 ★コンピュータリテラシー応用1	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	杉本 昌昭	×	○	4月許可手続き期間に履修者決定
		7828 ★コンピュータリテラシー応用2	2	許可	—	後期	—	1	2	3	4	小川 真理絵	×	○	
		7851 ★自己開発論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	新保 友恵	×	○	
		7852 ★キャリア形成論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	新保 友恵	×	○	
		— ★職業選択論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7854 ★企業研究(業界研究)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	山本 知己	×	○	
		7855 ★産学連携実践論	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	平井 宏典	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7856 ★商業簿記・会計学演習	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
		7857 ★工業簿記・原価計算演習	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
		— ★情報処理技術論Ⅰ-1	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7859 ★情報処理技術論Ⅰ-2	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	杉本 昌昭	×	○	
		— ★情報処理技術論Ⅱ-1	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7861 ★情報処理技術論Ⅱ-2	2	なし	—	後期	時間割外	—	2	3	4	杉本 昌昭	×	○	
		7862 ★ビジネスデザインA	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	當間 政義	×	○	
		7863 ★ビジネスデザインB	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	當間 政義	×	○	
		7864 ★フィールドワーク (世界のエンターテインメント・ビジネスの研究)	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	小林 猛久	×	○	「フー・ド・ワーク(7/18)のエンターテインメント・ビジネスの研究」より科目名変更 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定 「フー・ド・ワーク(7/18)のエンターテインメント・ビジネスの研究」単位修得者は履修不可
		7865 ★フィールドワーク (New Yorkのアート、ファッション、ビジネス)	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7976 ★フィールドワーク (地方再生と企業)	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	鈴木 岩行	×	○	新規科目 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7867 ★フィールドワーク (アジアのビジネス・デザインを学ぶツーリズム)	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	當間 政義	×	○	「フー・ド・ワーク(台湾のビジネス・デザイン探索とツーリズム)」より科目名変更 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定 「フー・ド・ワーク(台湾のビジネス・デザイン探索とツーリズム)」単位修得者は履修不可
		7866 ★フィールドワーク (アジアへの防災教育)	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	「フー・ド・ワーク(アジアの経済経営体験)[防災教育]」より科目名変更 履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定 「フー・ド・ワーク(アジアの経済経営体験)[防災教育]」単位修得者は履修不可
		7868 ★ベンチャー起業論	2	なし	—	後期	時間割内	—	2	3	4	小野瀬 拓	×	○	

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

- 注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。
- 注3) 種別「許可」とは………教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。
- 注4) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。
- 注5) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは………「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注7) オンライン科目とは………全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。
- 「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。
- 注8) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「－」は履修不可です。
- 注9) 全学開講について………「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目 (2017～2024年度入学生用)															
卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
↑ 選択専門科目 (★はキャリア開発科目) ↓		7869 経営行動の論理と理念A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	村山 元理	×	○	
		7870 経営行動の論理と理念B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	村山 元理	×	○	
		7871 経営史A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	井奥 成彦	×	○	
		7872 経営史B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	井奥 成彦	×	○	
	—	経営文化論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
		7874 イノベーション論A	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	岩見 昌邦	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7875 イノベーション論B	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7876 競争戦略論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	平井 宏典	×	○	
		7877 経営戦略論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	平井 宏典	×	○	
		7878 国際ビジネス論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	池田 芳彦	×	○	
		7879 国際ビジネス論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	池田 芳彦	×	○	
		7880 組織論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	福田 好裕	×	○	
		7881 組織論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	福田 好裕	×	○	
		7882 人事マネジメント論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	池田 芳彦	×	○	
		7883 人事マネジメント論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	池田 芳彦	×	○	
		7884 金融ビジネス論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	水野 清	×	○	
		7885 金融ビジネス論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	水野 清	×	○	
		7886 会社法A	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	王子田 誠	×	○	
		7887 会社法B	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	王子田 誠	×	○	
		7888 職業指導	4	なし	—	通年	—	—	2	3	4	弘中 茜	×	○	
		7889 アジアビジネス論 (東アジア)	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	鈴木 岩行	×	○	
		7890 アジアビジネス論 (東南アジア・南アジア)	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	鈴木 岩行	×	○	
		7891 中小企業論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	九川 謙一	×	○	
		7892 グローバル・マーケティング論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	岩谷 昌樹	×	○	「国際マーケティング論A」単位修得者の履修は不可
		7893 グローバル・マーケティング論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	岩谷 昌樹	×	○	「国際マーケティング論B」単位修得者の履修は不可
		7894 マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	大野 幸子	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7895 マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	大野 幸子	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7896 マーケティング・リサーチⅠ	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	大野 幸子	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7897 マーケティング・リサーチⅡ	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	大野 幸子	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7898 商業簿記	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	海老原 諭	×	○	
		7899 会計学	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	海老原 諭	×	○	
		7900 情報デザイン論A	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	橋本 正樹	×	○	
		7901 情報デザイン論B	2	なし	—	後期	時間割外	—	2	3	4	橋本 正樹	×	○	
		7902 経営情報システム論	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7903 情報ネットワーク・システム	2	許可	—	後期	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
		7904 情報メディア産業論Ⅰ	2	許可	—	前期	—	—	2	3	4	小林 稔	×	○	履修希望者は和光ポータルの指示に従うこと 4月許可手続き期間に履修者決定
	—	情報メディア産業論Ⅱ	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講

2024年度 経済経営学部 経営学科 授業一覧表

2017～2024年度入学生用

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて4月に手続きが必要です。手続き方法は和光ポータルを通じてお知らせします。

注4) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注5) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注6) 人数制限(抽選) 優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注7) オンライン科目とは……全授業回の半数超をオンラインで行う授業です。時間割外と時間割内の2種類があります。

「時間割外」は全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

「時間割内」は時間割内に曜時を設定し、教室を割当てます。全授業回の半数超をオンラインで実施します。ハイフレックス型の授業もここに位置付けられます。

注8) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

注9) 全学開講について……「○」の授業は経営学科生以外も履修可能です。「×」は経営学科生専用です。

経営学科専門科目 (2017～2024年度入学生用)

卒業要件	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修	全学開講	備考
								1年	2年	3年	4年				
↑ 選択専門科目 (★はキャリア開発科目)	7906	メディアビジネス論基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	
	7907	メディアビジネス論応用	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	
	7908	データベース論基礎	2	人数制限 (抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	
	7909	データベース論応用	2	人数制限 (抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	バンバン ルディアント	×	○	
	7910	スポーツメディア論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	宇都宮 徹壹	×	○	
	—	スポーツツーリズム論	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	スポーツビジネス論A	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	スポーツビジネス論B	2	—	—	—	—	—	2	3	4	—	×	○	2024年度休講
	7914	地域経営論A	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	小林 正典	×	○	
	7915	地域経営論B	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	小林 正典	×	○	
	—	インターンシップ	4	—	—	—	—	—	3	—	—	—	×	×	2024年度休講
	7952	★リーダーシップ論	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	フンディン チョン	×	○	
	—	★経営者論	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	労働法A	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	労働法B	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講
	7956	組織開発論	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	フンディン チョン	×	○	
	7957	組織行動論	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	フンディン チョン	×	○	
	7958	NPO論	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	松本 潔	×	○	
	7959	財務管理論	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	董 晶輝	×	○	
	7960	国際財務論	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	董 晶輝	×	○	
	—	会計監査[公認会計士の仕事]	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講
	—	税務会計[税理士の仕事]	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講
	7963	管理会計[経営者のための会計]	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	倉井 潔	×	○	
	7964	財務会計[決算書の読み方]	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
	7965	経営分析[決算書の分析]	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
	7966	工業簿記	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
	7967	原価計算	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	吉沢 壮二郎	×	○	
	7968	リスク・マネジメント	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	大久保 明	×	○	
	7969	生産システム論A	2	なし	—	前期	時間割内	—	1	3	4	文田 皓	×	○	
	7970	生産システム論B	2	なし	—	後期	時間割内	—	1	3	4	文田 皓	×	○	
	7971	テクノロジーマネジメント	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	岩見 昌邦	×	○	
	7972	意思決定の科学	2	なし	—	後期	時間割外	—	1	3	4	橋本 正樹	×	○	
	7973	知的財産権法A	2	なし	—	前期	—	—	1	3	4	佐藤 恵太	×	○	
	7974	知的財産権法B	2	なし	—	後期	—	—	1	3	4	佐藤 恵太	×	○	
	—	組織コミュニケーション	2	—	—	—	—	—	1	3	4	—	×	○	2024年度休講

キャリア関連科目

<全学部・学科生、大学院生対象>

キャリア関連科目一覧表

キャリア関連科目

大学在学中に「自分の進路や将来」について考えることはとても大切なことです。
和光大学では、全学部全学科に開かれた様々な「キャリア関連科目」（キャリア形成や進路選択に役立つ科目）があります。授業を通して、自分の将来と向き合い、社会人になるための準備を整えましょう。（履修によるプログラムの認定等はありません。）

科 目 名	科 目 分 類	働き方や人生を考える	基礎的・汎用的能力の向上をめざす	情報処理・コンピュータスキルの向上をめざす	特定分野の知識・スキルの習得をめざす
キャリア発達論	共通教養科目	○	○		
キャリアデザインA	共通教養科目	○	○		
キャリアデザインB	共通教養科目	○	○		
地域デザインA	共通教養科目				○
地域デザインB	共通教養科目				○
タウンマネジメントA	共通教養科目				○
タウンマネジメントB	共通教養科目				○
法令の読み方入門	共通教養科目				○
企業と人間	共通教養科目				○
情報と現代	共通教養科目				○
産業・組織心理学	心理教育学科専門科目				○
生涯学習論	人間科学科専門科目				○
社会教育論	人間科学科専門科目				○
合意形成と対話のデザイン	人間科学科専門科目		○		
ソーシャルデザイン論	人間科学科専門科目	○	○		
パーソナル・ファイナンス	経済学科専門科目	○	○		
ファイナンシャル・プランニング	経済学科専門科目	○	○		○
ソーシャル・マナー演習	経済学科専門科目	○	○		
ライフ・ディベロップメント	経済学科専門科目	○			
ビジネス・マナー演習	経済学科専門科目		○		
キャリア・ディベロップメント	経済学科専門科目	○			
キャリア形成論A	経済学科専門科目	○	○		
キャリア形成論B	経済学科専門科目	○	○		
キャリア・マネジメントA	経済学科専門科目	○	○		
キャリア・マネジメントB	経済学科専門科目	○	○		
キャリア研究特論A	経済学科専門科目	○	○		
キャリア研究特論B	経済学科専門科目	○	○		
ビジネス・コミュニケーションA	経営学科専門科目		○		
ビジネス・コミュニケーションB	経営学科専門科目		○		
基礎簿記演習	経営学科専門科目				○
コンピュータリテラシー基礎1	経営学科専門科目			○	
コンピュータリテラシー基礎2	経営学科専門科目			○	
コンピュータリテラシー応用1	経営学科専門科目			○	
コンピュータリテラシー応用2	経営学科専門科目			○	
自己開発論	経営学科専門科目	○			
キャリア形成論	経営学科専門科目	○			
職業選択論	経営学科専門科目	○			
企業研究（業界研究）	経営学科専門科目	○			
産学連携実践論	経営学科専門科目				○
商業簿記・会計学演習	経営学科専門科目				○
工業簿記・原価計算演習	経営学科専門科目				○
情報処理技術論Ⅰ－1	経営学科専門科目			○	
情報処理技術論Ⅰ－2	経営学科専門科目			○	
情報処理技術論Ⅱ－1	経営学科専門科目			○	
情報処理技術論Ⅱ－2	経営学科専門科目			○	

科 目 名	科 目 分 類	働き方や人生 を考える	基礎的・汎用 的能力の向上 をめざす	情報処理・コ ンピューター スキルの向上 をめざす	特定分野の知 識・スキルの 習得をめざす
ビジネスデザインA	経営学科専門科目				○
ビジネスデザインB	経営学科専門科目				○
フィールドワーク（世界のエンタ ーテインメント・ビジネスの研究）	経営学科専門科目				○
フィールドワーク（New York の アート、ファッション、ビジネス）	経営学科専門科目				○
フィールドワーク（地方再生と企業）	経営学科専門科目				○
フィールドワーク（アジアのビジ ネス・デザインを探るツーリズム）	経営学科専門科目				○
フィールドワーク（アジアへの防 災教育）	経営学科専門科目				○
ベンチャー起業論	経営学科専門科目				○
リーダーシップ論	経営学科専門科目				○
経営者論	経営学科専門科目				○

※今年度の開講状況や授業担当者・内容等の詳細は、学修の手びきの該当ページおよび和光ポータル「シラバス照会」を参照してください。（上記の表には今年度休講科目も含まれています。）

※履修に関する問い合わせは教学支援課（A棟2階）、キャリア・就職に関する相談はキャリア支援課（A棟3階）まで。

科目等履修生制度

1. 科目等履修生制度

(1) 一般科目等履修生

① 一般科目等履修生となるための出願資格

本学に開講している授業科目は、当該学科、当該教員の研究および授業に支障がない限りにおいて、全学教授会の承認を得た上で、科目等履修生として聴講を認めています。聴講した授業科目は、単位認定の対象になります。科目等履修生はその目的により、「一般科目等履修生」、「資格課程科目等履修生」、「履修プログラム・公的資格取得科目等履修生」の三つに分けられます。

※2024年度の「外国人留学生『一般科目等履修基礎資格認定試験』」実施はありません。

本学に開講されている授業科目の履修を希望する人がこれに該当します。なお、外国籍を有し、科目等履修生としてビザの在留期間を延長する予定の人は、年間を通して1週間に10時間以上の授業を受けなければならないとの通達が、入国管理局から出されています。本学の科目等履修生となることで在留期限を延長する予定の人は「外国人留学生『一般科目等履修基礎資格認定試験』」（3月実施）に合格した場合のみ履修申請手続きをすることができます。ただし、本学の科目等履修生は、外国人の留学の在留資格を保証するものではありません。

(1) 本学の定める学部入学資格である次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者（見込みを含む。以下同じ）。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③ 外国において学校教育12年の課程を修了した者。または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規程による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- ⑧ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入學させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
- ⑨ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認める者で、18歳に達した者。

(2) 外国人に関しては、前項とあわせて次の点を注意してください。

※2024年度の「外国人留学生『一般科目等履修基礎資格認定試験』」実施はありません。

- ① 現在の在留資格が留学・短期滞在等であって、本学の一般科目等履修生となることにより在留期間を更新する予定の人は、週10時間以上科目を履修する必要があります。また、本学が3月に実施する「外国人留学生『一般科目等履修基礎資格認定試験』」に合格した人のみ、履修申請手続きをすることができます。不合格者または未受験者は履修申請できません。
- ② 「外国人留学生『一般科目等履修基礎資格認定試験』」に出願するためには、日本語能力試験のN2または2級以上、または日本留学試験「日本語」で200点以上、または実用日本語検定J.TESTでD級500点を取得していることが必要です。
- ③ 現在の在留資格が永住・就労等であっても、本学の一般科目等履修生となることで在留期間を更新する予定のない人は、履修申請できます。

② 履修料・保険料・健康診断受診料

履修料：1単位につき 13,000円
 学生教育研究災害傷害保険（学研災）保険料：800円
 健康診断受診料：2,000円

③ その他

- (1) 科目等履修生は、登校の際には科目等履修生証を常時携帯してください。
- (2) 科目等履修生は、科目等履修生証で図書・情報館の資料が利用できます。
- (3) 科目等履修生は、通学定期券は購入できません。また、JR等の学生割引も適用されません。
- (4) 科目等履修生は、本学の正規学生とは扱いが異なります。従って、正規学生対象の学内サービスについても、一部受けられないものがあります。詳細は、各サービスの担当部局にお

問い合わせください。

- (5) 科目等履修生には、危機管理の観点から「学生教育研究災害傷害保険（学研災）通学中等傷害危険担保特約有り」に加入していただいています。

この保険についての詳細は、授業開始後に配付する「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」をご覧ください。

(2) 資格課程科目等履修生

「教職課程」と「保育課程」、「図書館司書・学校図書館司書教諭・社会教育主事・博物館学芸員課程」に分かれています。詳しくは資格課程の手びきをご覧ください。

(3) 履修プログラム・公的資格取得科目等履修生

履修プログラム・公的資格取得科目等履修生となることによって、学科が設置する履修プログラムおよび学科が推奨する公的資格に関する基礎資格を得ることができます。

① 取得できる資格及び履修プログラム

認定心理士(基礎資格)

言語研修プログラム（日本語教員養成、中国語研修、英語研修、小学校英語指導）

② 出願資格

- (1) 和光大学に在籍していた者（卒業生・退学者・除籍者）。
(2) 各々の資格・履修プログラムについて相当数の必要科目を履修済みの者。

③ 出願方法

- (1) 出願期間 3月上旬（一般科目等履修生と同じ）
(2) 提出書類 ①科目等履修生願 ②履修プログラム・認定心理士受講申請書
③卒業（退学・除籍）証明書 ④成績証明書 ⑤返信用封筒
(3) 選考方法 書類選考

④ 申請手続方法

以下、一般科目等履修生に準じます。

※ただし、各資格・履修プログラムに関する受講申請料は不要です。

2. 科目等履修生 出願申請手続要項

2月初旬から教学支援課窓口で科目等履修生出願申請手続要項と出願書類を配付します。
一般科目等履修生の要項は、大学ホームページでも公開します。

各手続期間には、入試などのため窓口業務を行わない日もあります。必ず要項で窓口日程を確認してください。

その他

諸規程 P 284

キャンパス案内 P 290

履修規程

第1章 授業科目

第1条 授業科目は、その内容により、共通教養科目、外国語科目、専門科目に分ける。授業科目は、年度によって変更することがある。

第2条 共通教養科目、外国語科目及び専門科目は、別表1に掲げる授業科目を開設する。

第3条 教育職員免許法に基づく教職に関する専門科目、学校図書館法に基づく学校図書館司書教諭に関する専門科目、図書館法に基づく図書館司書に関する専門科目、社会教育法に基づく社会教育主事に関する専門科目及び博物館法に基づく博物館学芸員に関する専門科目については、次のとおりとする。

- ① 中学校、高等学校教育職員の資格を取得する場合は別表2のとおり
- ② 学校図書館司書教諭の資格を取得する場合は別表3のとおり
- ③ 図書館司書の資格を取得する場合は別表4のとおり
- ④ 社会教育主事の資格を取得する場合は別表5のとおり
- ⑤ 博物館学芸員の資格を取得する場合は別表6のとおり

第2章 単位

第4条 各授業科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1)共通教養科目は、原則として1時限（1コマ）半期2単位又は通年4単位とする。
- (2)外国語科目は、原則として1時限（1コマ）半期1単位とする。
- (3)専門科目は、授業科目の性質によって10単位、8単位、6単位、4単位、3単位、2単位、1単位とする。

第5条 前条の各号に規定する各授業科目の単位数は、1単位45時間の学修を必要とすることを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、次により計算する。

- (1)講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2)演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (3)実験、実習及び実技の授業については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (4)外国語については、30時間の授業をもって1単位とする。

第3章 授業

第6条 1年間の授業日数は、定期又は臨時試験など含めて35週、実授業日数は30週（30回）を原則とする。

第7条 削 除

第8条 授業は、各授業科目の内容によって、講義、演習、実験、実習、実技、及び外国語のいずれかによって行う。

第4章 教育課程

第9条 履修基準の細目は、各学部学科の教育課程に定める。

第5章 履修方法

第10条 学生は4年以上在学し、次の表に定める履修基準により合計124単位以上を修得しなければならない。なお、履修基準の細目は、各学部学科の教育課程に定める。

2. 現代人間学部心理教育学科子ども教育専修の学生は、2年次初めに主専攻を初等教育課程又は幼児教育課程から選択するものとする。初等教育課程の学生は小学校教諭一種免許状を、幼児教育課程の学生は幼稚園教諭一種免許状を取得するものとする。ただし、教員養成の質を確保する観点から、教育実習の受講資格を満たさない者を除く。
3. 大学を卒業又は中途退学して新たに第1年次に入学した者の以前の大学において修得した単位は、30単位を限度として換算認定できるものとする。また、転・編入学した者の以前の大学において修得した単位の換算認定は、30単位を超えることができるものとする。
4. 外国人留学生及び担当教員の許可を受けた日本語を母語としない学生に限り、日本語を履修し単位を修得した場合には、外国語科目の単位とすることができる。また、他の一外国語と並行履修し、合算して外国語科目の単位とすることができる。

科 目 学部・学科		共通教養科目	外国語科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修科目	自由選択科目	
学現代人間	心理教育学科 心理学専修	20単位以上	4単位以上	10単位	20単位以上	46単位以上	124単位
	心理教育学科 子ども教育専修		4単位以上	28単位	55単位以上	13単位以上	
	現代社会学科		4単位以上	22単位	22単位以上	32単位以上	
	人間科学科		4単位以上	4単位	32単位以上	16単位以上	
表現学部	総合文化学科	20単位以上	4単位以上	10単位	24単位以上	42単位以上	124単位
	芸術学科		4単位以上	10単位	16単位以上	50単位以上	
学経済経営	経済学科	20単位以上	4単位以上	20単位	—	40単位以上	124単位
	経営学科		4単位以上	10単位	20単位以上	34単位以上	

第6章 履修登録

第11条 履修に際しては、教育課程及び授業時間割に基づき、所定の期間に履修登録及び訂正をするものとする。

第12条 履修登録を行わない授業科目の履修は、すべて認定しない。

第13条 履修登録を行う授業科目の単位数の上限は、次のとおりとする。

学年	単位上限
1年次	49単位
2年次	49単位
3年次	49単位
4年次 (含む留年生)	49単位

- ただし、現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生は1年次及び2年次に限り、単位上限を59単位とする。また、教育職員普通免許状幼稚園1種及び小学校1種を受講申請した学生（現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程除く）は、2年次及び3年次に限り、単位上限を59単位とする。
2. 次の各号の科目は、上記の単位数に含めない。

- (1)教職に関する専門教育科目
- (2)司書教諭に関する専門教育科目
- (3)図書館司書に関する専門教育科目
- (4)社会教育主事に関する専門教育科目
- (5)博物館学芸員に関する専門教育科目
- (6)特別聴講学生として他大学で受講する科目

ただし、第1号から第5号の科目のうち、共通教養科目・外国語科目・専門科目としても開講する科目は、第13条第1項に含むものとする。

第7章 単位認定

第14条 単位の認定は、試験・論文・作品提出、及び研究報告により行うものとする。

第15条 単位の認定は、原則として、毎学期末に行うものとする。

第16条 単位認定の評価は、次の基準による。

	評価区分
90～100	秀
80～89	優
70～79	良
60～69	可
59以下	不可

第17条 単位の認定は、次学期初めに各人に通知する。

第18条 不合格者は、当該科目が必修の場合は、次年度に再履修しなければならない。

第19条 本学の第2年次及び第3年次に転・編入学（転部・転科を含む）した者の以前の大学において修得した単位の取扱い、並びに大学（短期大学、高等専門学校、及び外国の大学を含む）を卒業又は中途退学して、若しくは、専修学校の専門課程及び高等学校の専攻科の課程のうち文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了して、新たに本学の第1年次に入学した者の既修得単位の取扱いは、別に

定めるものとする。

2. 前項に定める既修得単位を本学において修得したものとして認定を受けようとする者は、所定の用紙により願出しなければならない。

第20条 在学中に、他の大学において修得した単位の取扱いは、48単位を限度として認めることができるものとする。

2. 在学中に、外国の大学において修得した単位の取扱いは、30単位を限度として認めることができるものとする。

3. 前2項により修得したものとみなす単位数は、第10条第3項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第8章 試験

第21条 試験は、定期又は臨時に行う。

第22条 次の各号のいずれかに該当する者は、受験資格を失う。

- (1)欠席時数が全授業時数の3分の1を超えたもの。

- (2)諸納入金未納者

第23条 指定された試験日時に止むを得ない理由で、試験に欠席する者又は欠席した者は、医者の診断書又は欠席せざるを得ない理由を証明できる公的な機関の証明書を添付して、欠席届を提出する。欠席届の提出期間は、当該試験の前後1週間とする。

第24条 追試験は、欠席届が受理された者についてのみ実施する。追試験を実施する授業科目及び実施方法については、試験期間終了後1週間以内に提示する。

第25条 試験を受験する者は、次の各号に定める規則を守らなければならない。

- (1)受験する科目は、履修登録した授業科目とし、未登録の授業科目については受験することができない。
- (2)受験する者は、定刻までに試験場に入場しなければならない。
- (3)受験する者は、学生証を机上に掲示しなければならない。
- (4)受験する者は、監督者の指示に従わなければならない。
- (5)学籍番号及び氏名等の記入のない者の答案は、無効とする。
- (6)特に許可された教科書、ノート、及び参考書等を除き、携帯品は必ず監督者の指定した場所に置かななければならない。
- (7)試験開始後20分を経過した後は、入場することができない。
- (8)試験開始後30分を経過しなければ、退出することができない。
- (9)試験場において、不正行為があったときは、退場を命じ、当該試験期間中におこなわれる当該学生の総ての試験科目について、単位認定を行わず、成績評価は不合格とする。
- (10)病気、事故その他止むを得ない理由により受験できない者は、速やかに教学支援課に連絡し、第23条の規定に従い欠席届を提出しなければならない。

第9章 国外留学

第26条 在学中に、外国の大学に留学を希望する者は、その学修内容及び方法等をあらかじめ所定の手続きによって届け出るものとする。

第10章 雑則

第27条 この規程の改廃は、教学会議及び教授会の議を経て、学長がこれを行う。

付 則

この規程は、昭和41年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、昭和47年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、昭和55年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

ただし、平成6年度以前の入学者は従前の定めに基づくものとする。

付 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成11年2月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、第11条の規定にかかわらず、人文学部文文学科及び同学部芸術学科の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養科目	外国語科目	専門科目			合 計
				必修科目	選択必修科目	自由選択科目	
人文学部	文学科 芸術学科	24単位以上	12単位以上 4単位以上	10単位 8単位	20単位以上 —	46単位以上 68単位以上	124単位

付 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

ただし、

1. 第1条に規定する共通教養科目について、2003年度以前に入学した学生に対して①問題の認識と②現代の課題との2分野に分けることを継続する。

2. 第10条の規定にかかわらず、経済学部経済学科及び同学部経営学科の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養科目	外国語科目	専門科目			合 計
				必修科目	選択必修科目	自由選択科目	
経済学部	経済学科 経営学科	24単位以上	8単位以上 8単位以上	12単位 16単位	20単位以上 20単位以上	44単位以上 40単位以上	124単位

付 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

ただし、第15条の規定は、平成17年度以降の入学者から適用とする。また、平成20年度からは在籍している全ての学生に適用する。

付 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成17年度以前の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養科目	外国語科目	専門科目			合 計
				必修科目	選択必修科目	自由選択科目	
表現学部	文学科 表現文化学科	24単位以上	8単位以上 6単位以上	10単位 8単位	20単位以上 20単位以上	46単位以上 48単位以上	124単位
経済経営学部	経済学科 経営学科	24単位以上	8単位以上 8単位以上	12単位 16単位	16単位以上 16単位以上	48単位以上 44単位以上	124単位

付 則

この規程は、平成18年7月20日から施行する。

付 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

ただし、第10条の規程は、平成19年度以前の入学者は従前の定めに基づくものとする。

付 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成22年度以前に入学した表現学部総合文化学科及び芸術学科の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科	科目	共通教養科目	外国語科目	専門科目			合 計
				必修科目	選択必修科目	自由選択科目	
表現学部	総合文化学科 芸術学科	24単位以上	4単位以上 4単位以上	10単位 10単位	26単位以上 18単位以上	40単位以上 48単位以上	124単位

付 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

ただし、平成23年度以前の入学者は従前の定めに基づくものとする。

付 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

ただし、第15条の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学者の受講申告を行う授業科目の単位数の上限は次のとおりとする。

学年	単位上限
1 年次	60単位
2 年次	60単位
3 年次	60単位
4 年次 (含む留年生)	70単位

付 則

この規程は、平成25年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成24年度以前に入学した経済経営学部経済学科及び経営メディア学科の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
経済経営 学部	経済学科	24単位以上	4 単位以上	12単位	28単位以上	32単位以上	124単位
	経営メディア学科		4 単位以上	16単位	28単位以上	28単位以上	

付 則

この規程は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は、平成27年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成26年度以前に入学した現代人間学部心理教育学科の学生が在籍する間の当該学部学科の履修基準は、次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科	24単位以上	4 単位以上	10単位	20単位以上	46単位以上	124単位

また、第15条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度に入学した現代人間学部心理教育学科保育専修の学生は、1 年次及び2 年次に限り、単位上限を59単位とし、平成24年度から平成26年度に入学した学生のうち教育職員普通免許状幼稚園 1 種を受講申請した学生（現代人間学部心理教育学科保育専修除く）については、2 年次及び3 年次に限り、単位上限を59単位とする。

付 則

この規程は、平成28年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は、平成29年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成28年度以前の経済経営学部入学者については履修基準を次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
経済経営 学部	経済学科	24単位以上	4 単位以上	12単位	14単位以上	36単位以上	124単位
	経営学科						

付 則

この規程は、平成30年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第10条の規定にかかわらず、平成29年度以前の現代人間学部及び表現学部入学者については履修基準を次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	心理教育学科 心理学専修	24単位以上	4 単位以上	10単位	20単位以上	46単位以上	124単位
	心理教育学科 子ども教育専修		4 単位以上	28単位	55単位以上	13単位以上	
	現代社会学科		4 単位以上	22単位	22単位以上	32単位以上	
	身体運動科学科		4 単位以上	10単位	20単位以上	46単位以上	
表現学部	総合文化学科	24単位以上	4 単位以上	10単位	24単位以上	42単位以上	124単位
	芸術学科		4 単位以上	10単位	16単位以上	50単位以上	

付 則

この規程は、平成31年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第13条の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学者については、履修登録を行う授業科目の単位数の上限は、以下のとお

りとする。

学年	単位上限
1 年次	49単位
2 年次	49単位
3 年次	49単位
4 年次 (含む留年生)	60単位

ただし、現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生は1 年次及び2 年次に限り、単位上限を59単位とする。また、教育職員普通免許状幼稚園 1 種及び小学校 1 種を受講申請した学生（現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程除く）は、2 年次及び3 年次に限り、単位上限を59単位とする。

付 則

この規程は2020年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は2021年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は2022年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は2023年 4 月 1 日から施行する。

付 則

1. この規程は、2024年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第10条に定める履修基準のうち現代人間学部人間科学科については、2021年 4 月 1 日に遡って適用する。

2. 第10条の規定にかかわらず、2020年度以前の現代人間学部人間科学科入学者については履修基準を次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
現代人間 学部	人間科学科	20単位以上	4 単位以上	10単位	20単位以上	46単位以上	124単位

3. 第10条の規定にかかわらず、2023年度以前の経済経営学部経済学科入学者については履修基準を次のとおりとする。

学部・学科		共通教養 科目	外国語 科目	専 門 科 目			合 計
				必修科目	選択必修 科目	自由選択 科目	
経済経営 学部	経済学科	20単位以上	4 単位以上	24単位	—	36単位以上	124単位

退学取扱規程

第1条 退学を希望する者は、学則第37条により、当該年度の授業料を納入している者に限り、教授会の議を経て学長がこれを許可する。

第2条 年度末（3月31日）をもって、退学を希望する場合は、次年度の4月20日までに退学の願い出があれば、これを承認することができる。

第3条 前期末（9月30日）をもって、退学を希望する場合は、10月31日までに退学の願い出があれば、これを承認することができる。

付 則

この規程は昭和46年10月 1 日から施行する。

この規程は昭和50年 4 月 1 日から施行する。

この規程は平成10年 2 月 1 日から施行する。

この規程は平成20年 5 月 9 日から施行し、平成20年 4 月 1 日から適用する。

この規程は平成22年 8 月 1 日から施行する。

この規程は平成24年 4 月 1 日から施行する。

除籍取扱規程

第1条 授業料を滞納し、催告してもなおこれに応じない者及び延納許可者で、延納期日までに授業料を納入しない者は、学則第40条の定めにより、教授会の確認を経て学長が除籍を決定する。

2. 大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料等減免対象者で、適格認定において遡及取消の対象となり、期日までに授業料減免額を納入しない者の除籍に関する取扱いについては別に定める。

第2条 除籍の確認は、9月および翌年2月教授会で行なう。

第3条 9月教授会において除籍を確認する者は、当該年度前期授業料を滞納していて、催告に応じない者及び当該年度前期延納許可者で、延納期日までに授業料を納入しない者とする。この場合の除籍年月日は、8月31日とする。

第4条 2月教授会において除籍を確認する者は、当該年度後期授業料を滞納していて、催告に応じない者及び当該年度後期延納許可者で、延納期日までに授業料を納入しない者とする。この場合の除籍年月日は、2月28日とする。

第5条 退学取扱規程に定められた期日を超えて退学を希望する者は、除籍とする。

第6条 復籍しようとする場合は、学則第38条を適用する。

付 則

この規程は昭和46年10月から施行する。
この規程は昭和50年4月1日から施行する。
この規程は昭和54年4月1日から施行する。
この規程は平成10年2月1日から施行する。
この規程は平成20年5月9日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
この規程は平成24年4月1日から施行する。
この規程は2020年4月3日から施行し、2020年4月1日から適用する。

休学・復学取扱規程

第1条 休学を希望する者は、学則第41条、42条の定めにより、教授会の議を経て学長がこれを許可する。

第2条 休学期間は次のとおりとする。

前期4月1日から9月30日
後期10月1日から翌年3月31日
通年4月1日から翌年3月31日

第3条 4月1日からの休学を希望する場合は、3月1日までに休学の願い出があれば、これを承認することがある。

2. 10月1日からの休学を希望する場合は、9月1日までに休学の願い出があれば、これを承認することがある。

第4条 休学していた者は、休学期間の満了をもって、学長が復学を許可する。

第5条 通年休学を認められた者が、休学期間満了前に復学を希望する場合は、9月1日までに復学の願い出があれば、これを承認することがある。ただし復学日は10月1日とする。

付 則

この規程は平成23年4月1日から施行する。
この規程は平成24年4月1日から施行する。

再入学規程

(目 的)

第1条 この規程は、和光大学学則（以下「本学学則」という。）第38条に基づき、再入学の取り扱いに関して必要な事項を定める。

(出願資格)

第2条 再入学を出願できる者は、再度の学修意欲を認めることが教育上有益であり、再入学後、成業の見込みがある者とする。

2. 再入学の出願は、退学または除籍になった日から起算して10年以内の者とする。

3. 次の各号の一に該当する者は原則として再入学を出願することができない。

(1)本学学則第22条に定める最長在学年数の規定により退学した者
(2)本学学則第64条に定める懲戒により退学に処された者
(3)本規程に基づき再入学した後、退学または除籍された者

(出願できる学科)

第3条 再入学を出願できる学科は、在学時に所属した学部学科とする。ただし、当該者の在籍した学部学科が、改組等により開設されていない場合は、現在開設されている学部学科に、変更して出願することを認める場合がある。

2. 改組等により募集停止となった学部学科と新学部学科がそれぞれ開設されている場合は、別に定める。

(受 付)

第4条 再入学を希望する場合は、前年度2月末日までに所要の手続きを経た上で再入学願を教学支援課に提出することとする。

(選 考)

第5条 再入学の選考は、書類審査のうえ、教授会の承認に基づき、学長がこれを許可する。

(再入学年次)

第6条 再入学する年次は教授会が決定し、再入学後の在学可能年数は残存の期間とする。

(再入学の時期)

第7条 再入学の時期は、年度の始めとする。

(履修規程)

第8条 履修規程は、原則として再入学年次のものを適用する。

(単位認定)

第9条 退学または除籍までの既得単位は、その範囲で認める。

2. 退学または除籍した後、和光大学の科目等履修生で取得した単位は、その範囲で認める。

ただし、在籍期間の変更は行わない。

(納付金)

第10条 授業料、入学金、施設設備資金その他の納付金は、学則別表Ⅶの定めによる。

付 則

この規程は、平成10年2月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成19年2月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2024年4月1日から施行する。

最長在学年数の学生に対する学籍の取扱いについて

1. 和光大学学則（以下「学則」という。）第22条に定められた在学期間8年を超える見込のある者の取扱いは、次のとおりとする。

2. 在学期間が8年目に相当し卒業の見込のない者については、次の第3項に定める期限までに退学願の提出を求める。

3. 退学願の提出期限は、最長当該年度の8年目の前期をもって退学を希望する場合は9月30日、最長当該年度の8年目の後期をもって退学を希望する場合は3月20日とする。

4. 提出期限までに退学願を提出しない者は、学則第40条第2号により除籍する。

5. 除籍の確認は、当該年度10月または翌年度4月定例教授会において行なう。

6. 本規程の改廃は、教授会の議を経て、学長がこれを定める。

附 則

この規程は昭和50年4月1日から施行する。

この規程は平成10年2月1日から施行する。

この規程は平成29年4月1日から施行する。

特別聴講学生規程

(目 的)

第1条 この規程は、学則第61条に基づき、特別聴講学生に関する規則を定めることを目的とする。

(資 格)

第2条 特別聴講学生の資格は、学則第57条の定めによるものとする。

(受入れ)

第3条 本学の授業科目の聴講を希望する他の大学の学生は、本学と当該学生の在籍する大学（以下「当該大学」という。）との間の協議（以下「協議」という。）により、特別聴講学生として受入れることができる。また、本学と他の大学との間に、学生交流に関する

協定又は覚書（以下「協定」という。）を締結し、当該大学から推薦された学生を特別聴講学生として受入れることができる。

2. 協議に基づく同一大学からの特別聴講学生の受入れは若干名とし、受入れ学部議を経て、学長が許可するものとする。また、協定に基づく特別聴講学生の受入れ者数は、当該大学との協議によるものとし、受入れ学部議を経て、学長が許可するものとする。
3. 特別聴講学生の受入れは、前年度3月までを受付期間とし、窓口を教学支援課とする。

（聴講科目）

第4条 特別聴講学生の受講できる授業科目の範囲は、受入れ学部において定めるものとする。

2. 授業科目の単位認定は、48単位を上限とする。
3. 協議に基づく特別聴講学生が、協議以外の授業科目の聴講を希望するときは、聴講規程を適用し、これを単位認定の対象科目とし、また、協定に基づく特別聴講学生が、協定に定める以外の授業科目の聴講を希望するときは、当該大学長を協議するものとする。

（聴講手続）

第5条 特別聴講学生として受入れが許可された者は、教学支援課において所定の手続きをとるものとする。

（特別聴講料）

第6条 特別聴講学生の学費は、学則第57条第3項に定めるところによる。

（特別聴講学生証）

第7条 第3条による聴講が許可された者には、特別聴講学生証を交付する。

（特別聴講期間）

第8条 特別聴講学生の聴講期間は、聴講を許可した年度内とする。（単位認定）

第9条 協議に基づく特別聴講学生の聴講科目の単位認定は、本学単位認定基準によるものとする。また、協定に基づく特別聴講生の聴講科目の単位認定は、授業科目の成績の評価を当該大学長に通知し、当該大学長が単位認定するものとする。

（修得単位の証明）

第10条 協議に基づく特別聴講学生の修得した単位の証明は、当該大学に対して行うものとする。

2. 本人からの証明願は、証明書交付料を添えて教学支援課に申し込むものとする。

（図書館の利用）

第11条 特別聴講学生は、学生に準じて図書・情報館を利用することができる。

（特別聴講の取消し）

第12条 特別聴講学生が、本学の学則に違反したときは、聴講の許可を取消すことがある。

付 則

- この規程は昭和55年5月1日から施行する。
この規程は昭和63年4月1日から施行する。
この規程は平成6年4月1日から施行する。
この規程は平成10年2月1日から施行する。
この規程は平成14年4月1日から施行する。
この規程は平成21年4月1日から施行する。
この規程は2024年4月1日から施行する。

在学中に他の大学において修得した単位の取扱いについて

1. 在学中に他の大学において修得した単位を本学の単位として換算認定を希望するものは、次の要領により手続きするものとする。
2. 希望者は他大学において単位取得しようとする年の前年度10月末までに当該学部長にこれを願い出るものとする。願い出の受付窓口は教学支援課とする。
3. 願い出の科目の認定範囲は、30単位を限度として当該学生の所属する学部教授会の議により定めるものとする。
4. 前項の学部教授会において定められた他大学の科目の聴講は、本学が当該大学と協議の上、その可、否について願い出たものに通知する。
5. 他大学の科目の単位認定は当該大学の定めるところによる。
認定された科目の単位は、当該大学より通知されたものについて換算認定するものとする。

6. 他大学の科目の聴講は、当該大学の定めにより行なうものとする。

附 則

この規程は昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成21年4月1日から施行する。

付 則

この規程は2024年4月1日から施行する。

和光大学科目等履修生規程

（目 的）

第1条 この規程は、和光大学学則（以下「学則」という。）第57条及び第61条に基づき、和光大学科目等履修生（以下「履修生」という。）に関する規則を定めることを目的とする。

（出願資格）

第2条 本学の授業科目（以下「科目」という。）の単位を修得するために履修を志願できる者（以下「一般履修生」という。）は、学則第34条に定める入学資格を有する者とする。

2. 小学校、中学校及び高等学校の教育職員の資格を得る目的で当該科目の単位を修得するために履修を志願できる者（以下「教職課程履修生」という。）は、本学学部在籍中に当該教職課程の受講手続きを行い、かつ学士の学位を有する者で、教育職員免許法（昭和二十四年五月三十一日法律第百四十七号）第5条第1項第3号から第6号に該当しない者とする。

3. 幼稚園教育職員及び保育士の資格を得る目的で当該科目の単位を修得するために履修を志願できる者（以下「保育課程履修生」という。）は、本学心理教育学科子ども教育専修又は保育専修を卒業した者又は、本学学部在学中に当該教職課程の受講手続きを行い、かつ学士の学位を有する者で、教育職員免許法（昭和二十四年五月三十一日法律第百四十七号）第5条第1項第3号から第6号及び児童福祉法第18条の5第1号から第5号に該当しない者とする。

4. 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事（社会教育士）、博物館学芸員の資格を得る目的で当該科目の単位を修得するために履修を志願できる者（以下「資格課程履修生」という。）は、学士の学位を有する者とする。

5. 本学に設置する学科が設ける履修プログラム及び学科が推奨する公的資格に関する基礎資格を得る目的で、当該科目の単位を修得するために履修を志願できる者（以下「プログラム等履修生」という。）は、本学を卒業した者又は退学した者若しくは除籍となった者で、かつ履修を希望する資格に関する相当数の必要科目を履修済みの者とする。

（出願手続）

第3条 履修生を志願する者は、本学が指定する書類に検定料を添えて出願しなければならない。

（出願期間）

第4条 履修生の出願期間は、別にこれを定める。

（履修生選考）

第5条 履修生の選考は、書類審査及びその他の方法により行う。

2. 一般履修生として日本国の査証の在留資格変更及び在留期間更新の許可申請を行う予定の者に、一般科目等履修基礎資格認定試験を課するものとする。
3. 志願者の可否及び履修科目の決定は、当該科目を開講する教授会の議を経て学長が行う。
4. 志願者の選考に関する必要事項は、別にこれを定める。

（履修科目）

第6条 履修生の選考に合格した者は、履修を認める授業科目の中から、希望する授業科目担当の教員の承認を得た上で、履修料を添えて所定の申請書類を教学支援課に提出するものとする。履修を認める授業科目は、別に定めるものとする。

（在学期間）

第7条 履修生の在学期間は、当該科目の履修期間とし、原則として1年又は半年とする。

2. 在学の開始時期は、許可を得た学期の始めとする。
3. 第1項にかかわらず、引き続き履修生を希望する者は、選考を経て継続して在学することができる。

（履 修 料）

第8条 履修生の履修料は、学則第57条第3項に定める別表Ⅷの2のとおりとする。

2. 既納の履修料は理由のいかんを問わず返還しない。

(履修生証)

第9条 履修生の身分を証明するものとして履修生証を交付する。

(単位の認定)

第10条 履修生は、履修した科目の試験を受けることができる。試験に合格した科目については所定の単位を認定し、願い出により成績証明書又は単位修得証明書を交付する。

(資格の取消)

第11条 履修生が大学の秩序を乱したとき、授業の妨げとなる行為をしたと認められるとき、あるいは正当な理由なく長期にわたって授業に出席しないときは、履修生の資格を取り消すことがある。

(諸規程の準用)

第12条 この規程に定めのない事項については、学則並びに諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第13条 本規程の改正は、第8条第1項を除き、教授会の議を経て学長がこれを定める。

付 則

1. この規程は、平成16年4月1日から施行する。
2. 聴講生規程（昭和42年4月1日制定）は廃止する。
3. この規程は、平成21年4月1日から施行する。
4. この規程は、平成23年4月1日から施行する。
5. この規程は、平成25年4月1日から施行する。
6. この規程は、2022年4月1日から施行する。
7. この規程は、2024年4月1日から施行する。

第1年次に入学した学生の入学前の既修得単位の取扱いについて

(目 的)

第1条 この規程は、学則第27条に基づき、第1年次に入学した学生の入学前の既修得単位の取扱いに関する規則を定めることを目的とする。

(資 格)

第2条 大学を卒業又は退学した者、若しくは科目等履修生として大学の単位を取得した者、専修学校の専門課程および高等学校の専攻科の課程のうち文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者が、第1年次に入学した場合、以前の大学等で取得した単位について、教育上有益と認められるとき、本学において修得したものとして認定することができる。

2. 本規定にいう大学とは、四年制大学、短期大学、高等専門学校、制度上正規の学校として位置付けられた外国の大学、及びその他法令により大学に相当すると定められたものとする。

(申請時期)

第3条 申請は原則として、入学した年度を受講科目届提出以前に行うこととし、入学年度を過ぎた申請はこれを認めない。

(認定者)

第4条 第1年次に入学した学生の入学前の既修得単位の認定は、学部において行う。

(認定単位数)

第5条 単位認定のできる範囲は、次の表のとおりとする。

教育課程	上限単位数	合計上限単位数
共通教養科目	16	30
外国語科目	4	
専門科目	12	
教職等諸資格科目	「転・編入学者の単位認定規程」を準用する	

(修業年限)

第6条 本単位認定と関連した修業年限の短縮は、行わない。

附 則

この規程は昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成15年4月1日から施行する。

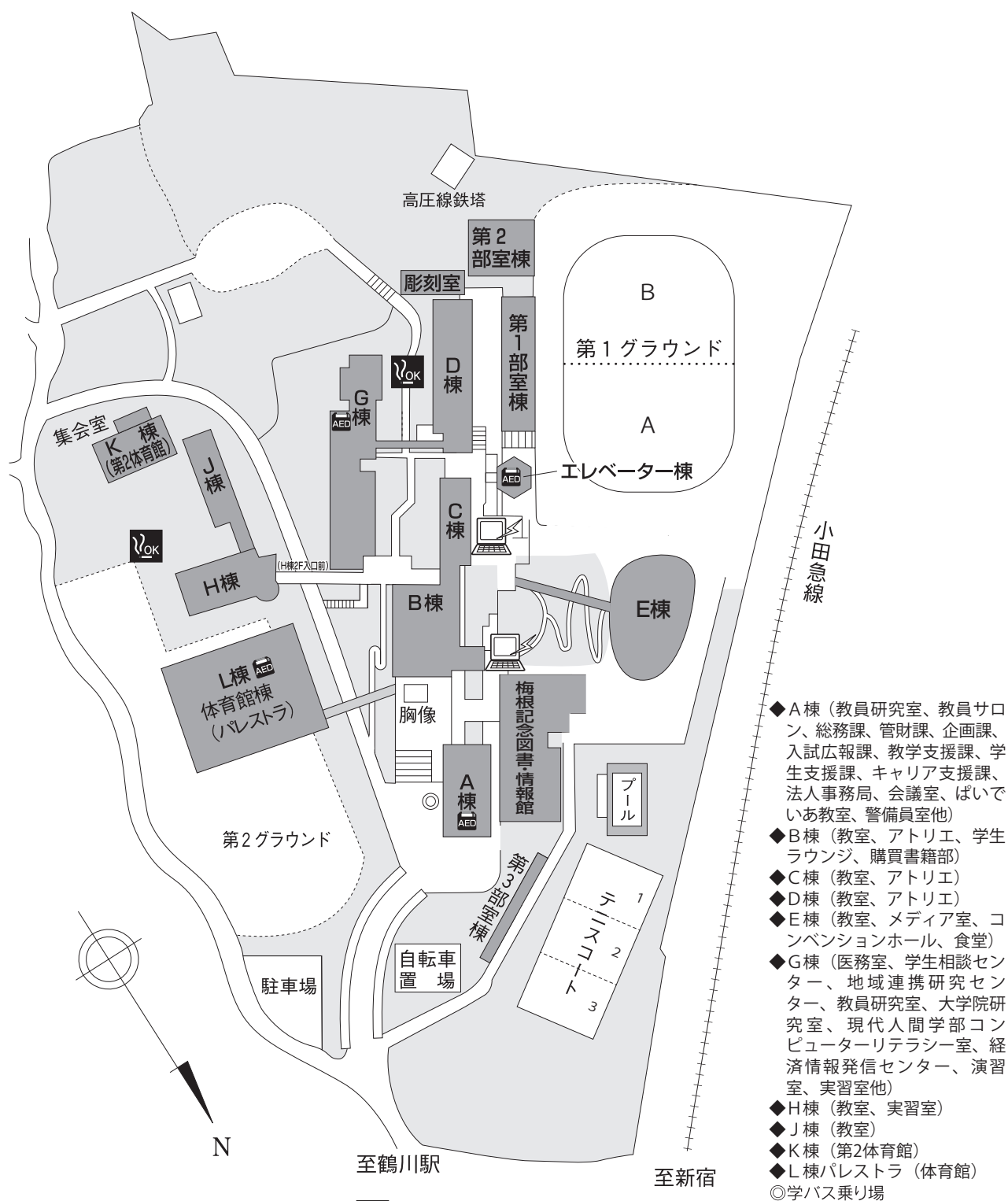
附 則

この規程は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成28年4月1日から施行する。

キャンパス案内

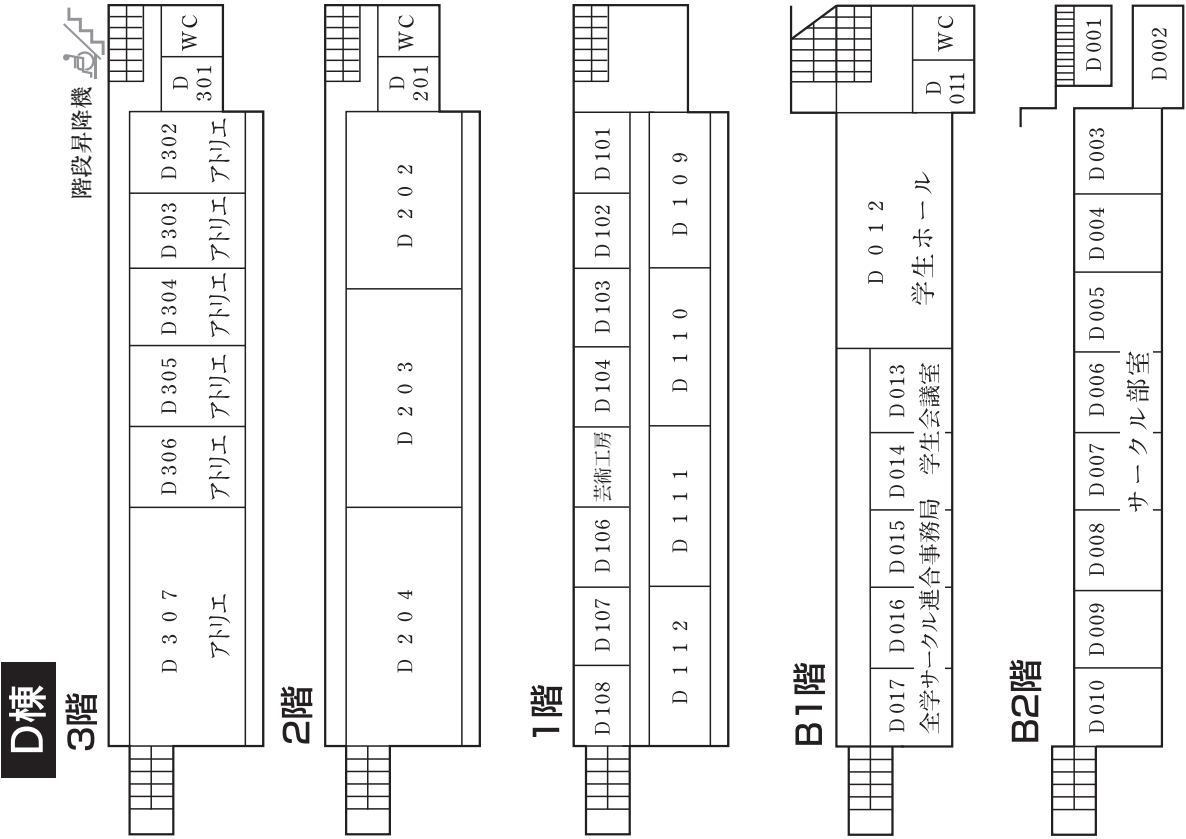
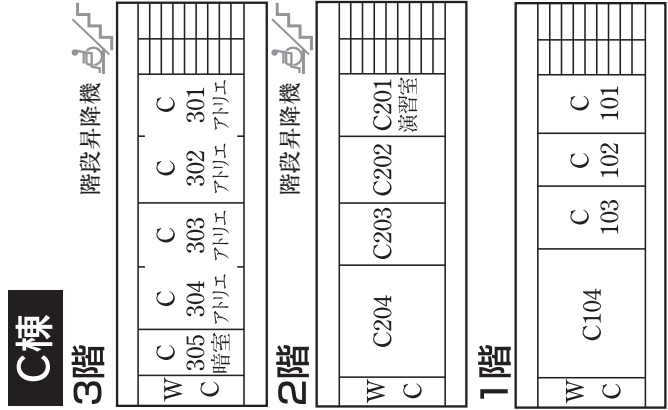
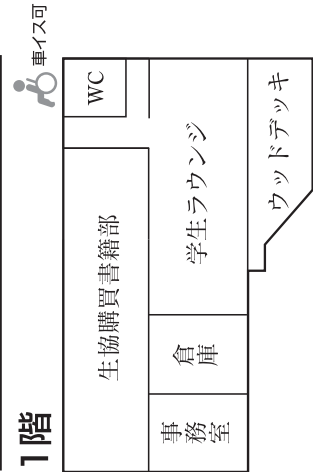
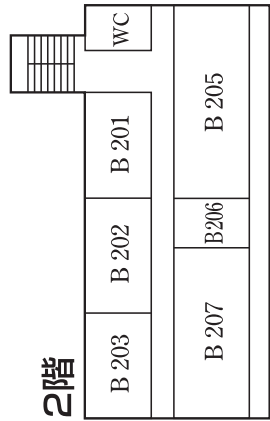
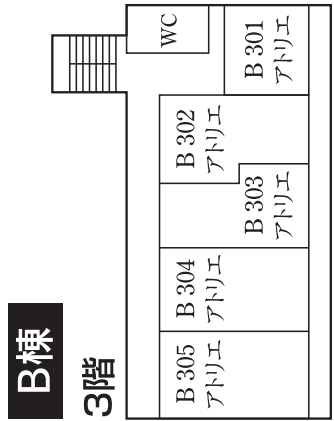


* 建物内は禁煙です。喫煙は の場所をお願いします

* は AED (自動体外式除細動器) の設置してある場所 (A棟 1 階警備員室、体育館パレストラ 1 階メインアリーナ入口脇、G棟 1 階医務室、エレベーター棟地下 1 階) です。

* は屋外で無線 LAN の使える場所です。屋内については、別ページ「校舎案内図」でご確認ください。

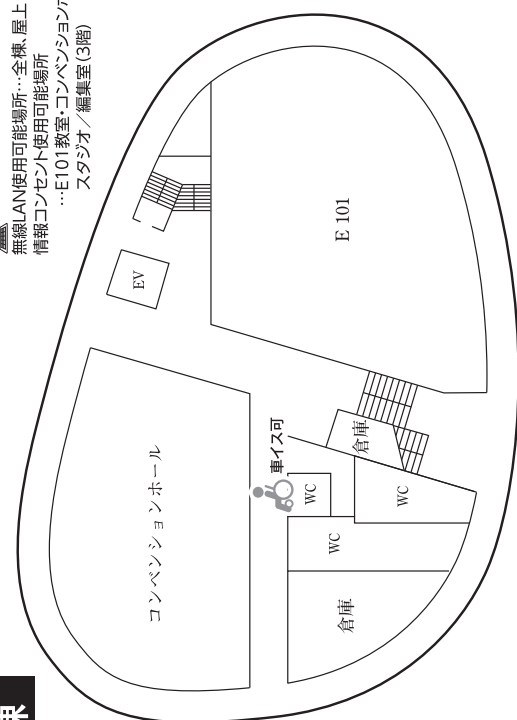
無線LAN使用可能場所
B棟：全棟
C棟：全棟
D棟：1～3階全教室



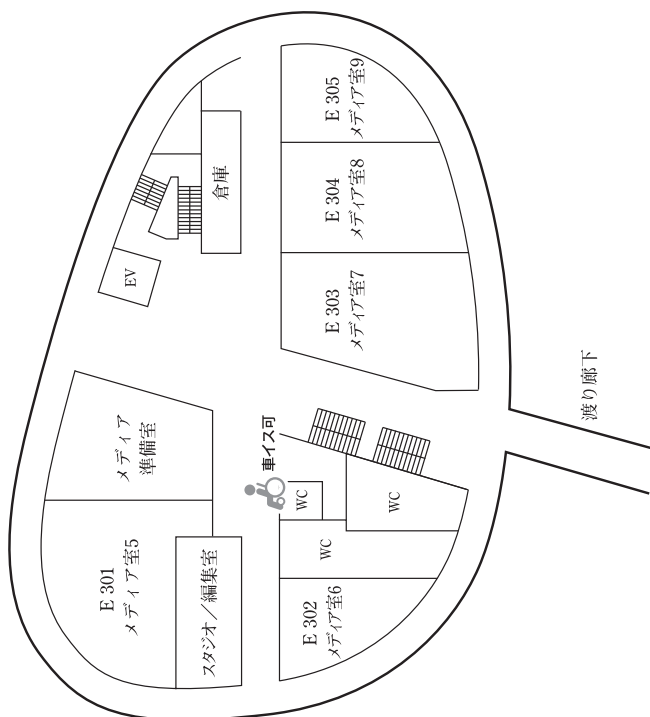
E棟



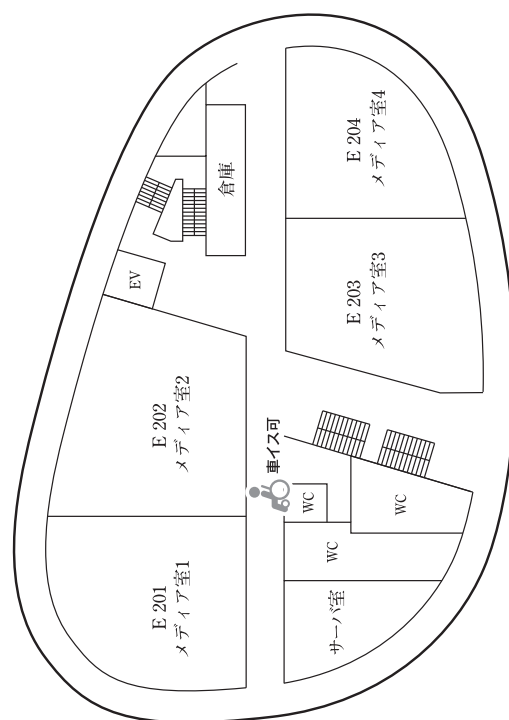
無線LAN使用可能場所…全棟、屋上
情報コンセント使用可能場所
…E101教室・コンベンションホール(1階)、
スタジオ/編集室(3階)



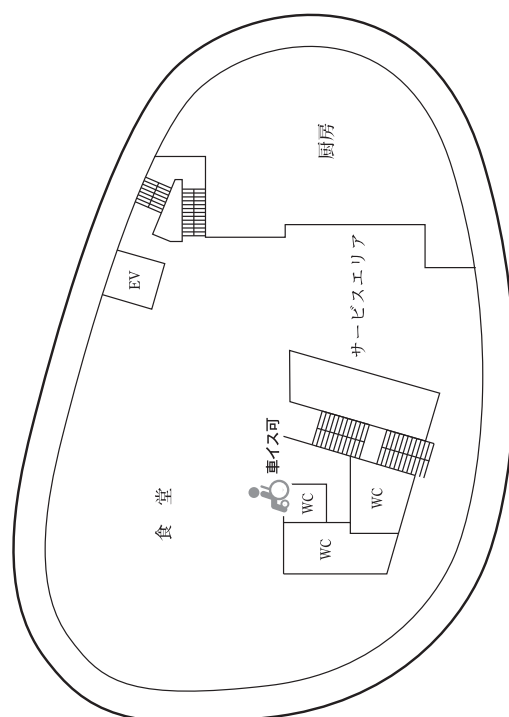
1階



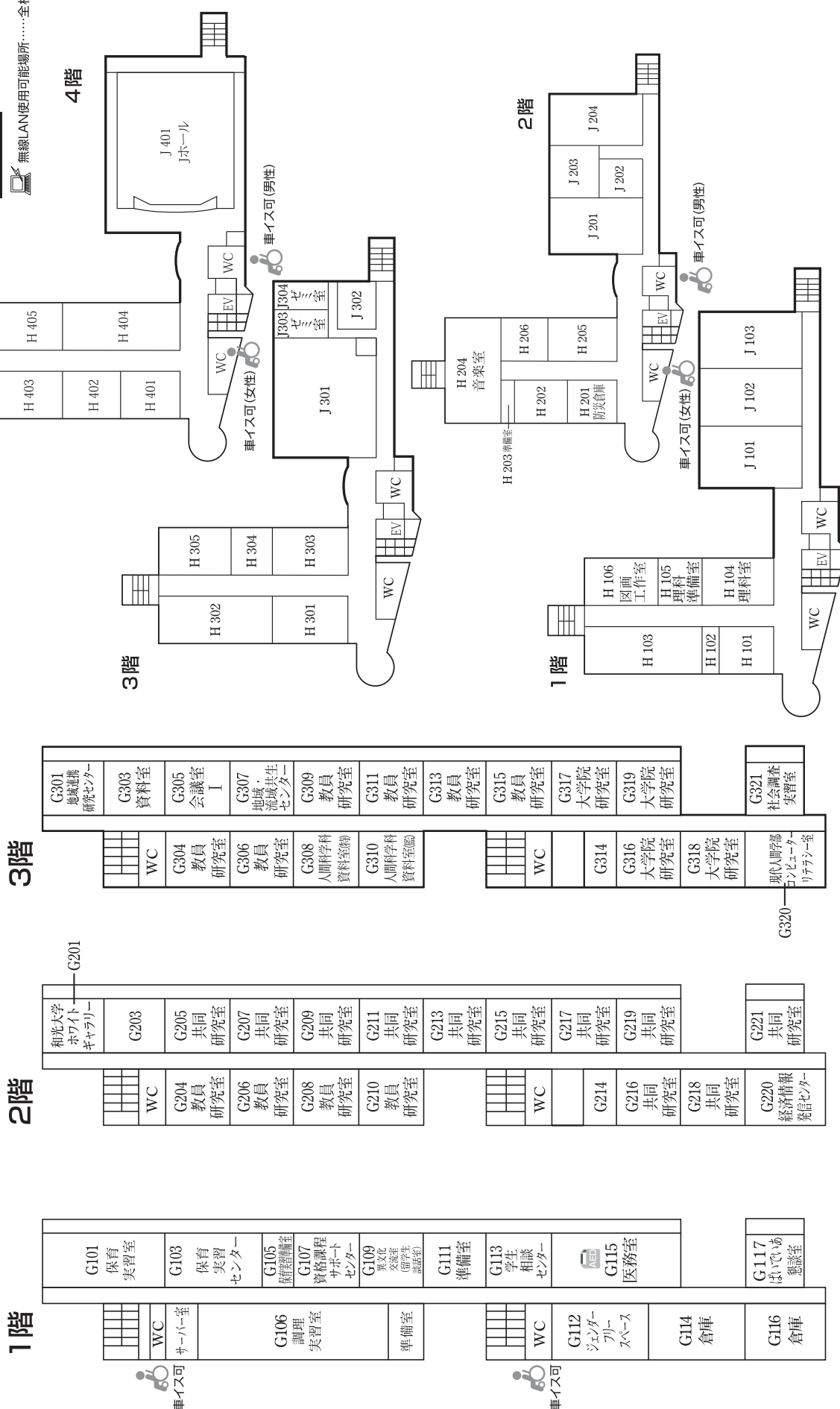
3階



2階

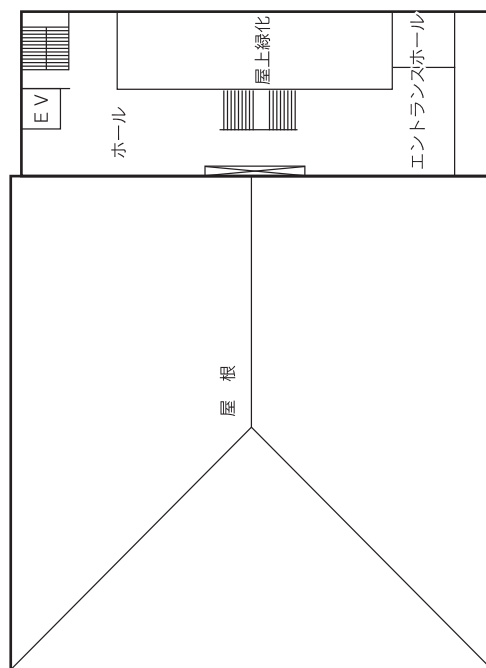


4階

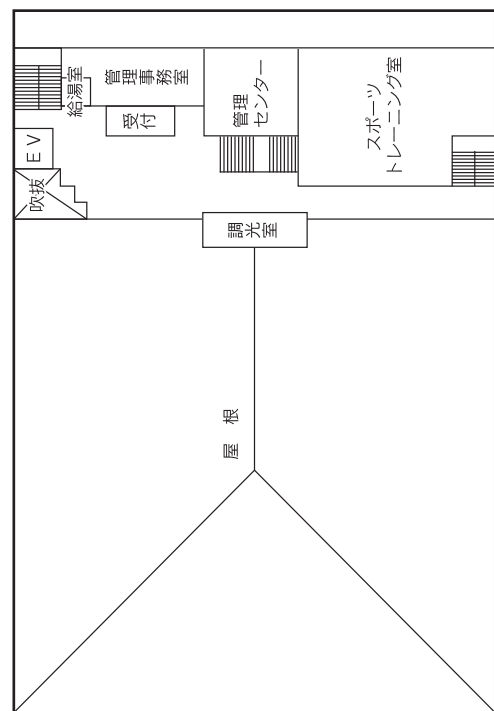


L棟 体育館棟 (パレストラ)

4階

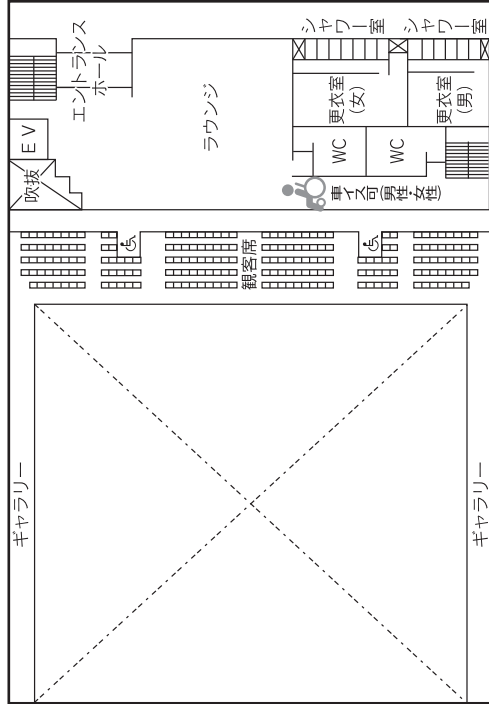


3階

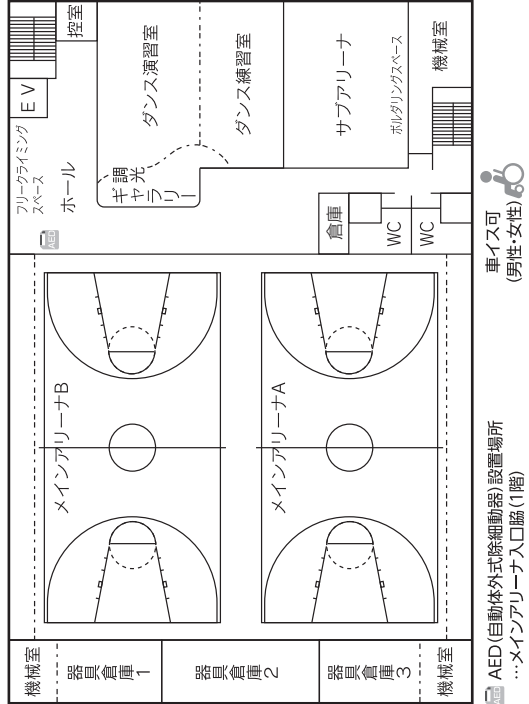


無線LAN使用可能場所…全館

2階



1階



学修の手びき 2024

編集・発行／和光大学教学支援課

〒195—8585 東京都町田市金井ヶ丘5丁目1番1号

TEL 044-989-7487

044-989-7488

044-989-7496

044-819-6627